Fujioka General Hospital 2023

病　院　年　報

公立藤岡総合病院

介護老人保健施設「しらさぎの里」

令和５年度年報発刊に寄せて

病院長　設楽　芳範

令和５年（2023年）度の年報をここに発刊します。2022年２月24日に発生したロシアのウクライナ侵攻が続き、2023年10月７日に中東のパレスチナ自治区のイスラム組織ハマスがイスラエルに侵入・攻撃を行った報復としてイスラエルがガザ地区への空爆、地上戦が行われており、先行きが不透明な世界情勢が続いています。2020 年から猛威を振るっている新型コロナ感染症は、2022年10月頃から第８波となり、2023年に入って死亡数が過去最多を更新するなど急速に増加し、2022年12月からの１か月半に全国で約13,000人が亡くなりました。重症化しやすい80歳以上が占める割合が2022年夏の第７波の1.3倍に増え、また正月休みの帰省や医療機関や介護施設でのクラスター発生で高齢者が感染する機会が増えたことが影響したようです。新型コロナ感染症は、2023年５月８日に季節性インフルエンザと同じ「5類」に分類され、新規感染者数の全数把握がなくなり、全国約５千か所の指定された「定点医療機関」から週１回、感染者数などの報告を受ける「定点把握」に変更となりましたが、夏には第９波が流行（オミクロン株；XBBが主流）し、さらに年末にかけて第10波がインフルエンザと同時流行しました。

診療面では、職員の新型コロナ感染や病棟でのクラスター発生のため、一時的に診療制限せざるを得ない状況がありましたが、全職員の協力により、診療実績は前年から回復傾向です。入院実績は、入院患者数118,968人（7.3%増）、入院稼働額7,091,908千円（4.5%増）でした。外来実績は、外来患者数　162,885 人（0.3%減）、外来稼働額3,841,752千円（3.1%増）でした。病院の合計稼働額は10,933,661千円（3.9%増）でした。DPC 病棟の平均在院日数は 11.2 日（昨年 10.9 日）でした。初診紹介患者数は6,186人（1.6%増）で、紹介率72.4%（前年68.5%）、逆紹介率94.0%（前年90.5%）でした。救急搬送受け入れは4,462件（昨年4,382件）、受け入れ率は81%（前年81%）でした。令和５年度の当院の機能評価係数IIは全国1501病院中38位（0.1452）でした。

医療機器整備では、前年度はX線循環器撮影装置を購入、今年度は外来の全身用X線CT診断装置を購入、12月に入れ替え工事を行い診断精度の質的向上に努めています。

2024年１月１日に発生した能登半島地震では、当院からはDMAT（災害派遣医療チーム）２隊、JRAT（日本災害リハビリテーション支援協会）、災害支援ナースのメンバーが被災地に派遣され、災害支援活動を行っています。

医療安全文化の醸成や接遇向上に向けた取り組みとして、職員から公募で選ばれた医療安全標語「何か変　その違和感が　危険予知」（最優秀作品）他や接遇標語「その態度　あなたがされても　いいですか？」（最優秀作品）他を掲示しています。

今後の課題として、病床改革プラン：①HCUを24床から12床としHCU加算算定申請②地域包括ケア病棟の体制の整備を行なってまいります。2024 年度は医師の働き方改革、診療報酬改定が行われます。５月に当院の電子カルテ更新が予定されています。また、2025 年の病院機能評価受審に向けた課題の整備も進めていく必要があります。職員一同、力を合わせて「地域住民から信頼される医療」の実践に努めてまいります。

病院事業

【公立藤岡総合病院】

Ⅰ　病院の現況

1．病院の概要 …… 1
2．組合構成団体の地勢と位置 …… 4
3．歴史と沿革 …… 6
4．建物配置図及び面積表 …… 12
5．建物設備の概要 …… 13
6．主要医療機器 …… 23
7．令和５年度主な導入医療機器 …… 27
8．医療法に関する許可承認事項 …… 28

Ⅱ　組織及び職員の現況

1．組織 …… 31
2．職員数 …… 32
3．主要役職員名簿 …… 34
4．議会 …… 36

Ⅲ　院内会議及び委員会

1．会議 …… 37
2．委員会 …… 37

Ⅳ　学会及び研修会 …… 41

Ⅴ　研究業績

1．論文 …… 48
2．学会及び研究発表 …… 49
3．講演 …… 53
4．講演会・研修会開催実績 …… 56
5．看護部院内研修 …… 59
6．認定看護師の活動記録 …… 73
7．ＣＰＣ …… 94
8．教育実習生・研修生受入実績 …… 95
9．医師臨床研修制度 …… 97

Ⅵ　購入図書 …… 109

Ⅶ　経営状況

1．損益計算書 …… 110
2．貸借対照表 …… 111
3．経営分析 …… 112

Ⅷ　業務統計

1．入院・外来患者の状況 …… 113
2．診療請求の現況 …… 125
3．救急患者の状況 …… 128
4．分娩件数 …… 130
5．剖検数 …… 130
6．内視鏡件数 …… 130
7．循環器科 …… 131
8．手術件数 …… 131
9．薬剤部 …… 146
10．放射線室 …… 149
11．検査室 …… 153
12．リハビリテーション室 …… 157
13．栄養室 …… 159
14．人工透析室 …… 159
15．患者支援センター …… 160
16．健康管理センター …… 161
17．母親学級 …… 161

Ⅸ　群馬県立赤城特別支援学校
公立藤岡総合病院内教室 …… 162

介護老人保健施設事業

【介護老人保健施設　しらさぎの里】

【訪問看護ステーション　はるかぜ】

Ⅰ　施設の現況

1．施設の概要 …… 164
2．歴史と沿革 …… 166

Ⅱ　職員の現況

1．職員数 …… 167
2．主要役職員名簿 …… 168

Ⅲ　学会及び研修会 …… 169

Ⅳ　教育実習生・研修生受入れ実績 …… 171

Ⅴ　経営状況

1．損益計算書 …… 172
2．貸借対照表 …… 174
3．経営分析 …… 175

Ⅵ　業務統計

1．介護老人保健施設「しらさぎの里」 …… 176
2．訪問看護ステーション「はるかぜ」 …… 178

業務概要

1．診療部 …… 179
2．薬剤部 …… 196
3．診療支援部 …… 197
4．看護部 …… 203
5．経営管理部 …… 218
6．研修管理センター …… 220
7．安全管理センター …… 221
8．患者支援センター …… 222
9．緩和ケアセンター …… 223

病院行事

1．主な病院行事 …… 225
2．職員健康管理 …… 226
3．職員共済行事 …… 226

病　院　事　業

【公立藤岡総合病院】

病院の理念

地域住民から信頼される医療

基　本　方　針

1. 患者さんの権利と意思を尊重し、患者本位の医療を提供します。

2. 地域中核病院として、救急医療、高度専門医療の充実に努めます。

3. 地域の医療・介護・保健機関と密接な連携を行います。

4. 次世代の医療従事者の教育・研修に貢献します。

看護部理念

「患者さんの満足」と「看護者のやりがいの実現」に向けて、人間愛に基づいた専門性の高い看護サービスの提供を目指します。

基 本 方 針

1. 患者さんの命と尊厳を守る心のこもった看護を提供します。

2. 質の高い看護が提供できるよう看護職員の能力開発に努めます。

3. 地域の医療チームと連携し、継続したケアの提供に努めます。

Ⅰ　病院の現況

１．病院の概要（令和６年３月31日現在）

名　　称　公立藤岡総合病院
所 在 地　群馬県藤岡市中栗須813番地１
電話番号等　TEL：0274（22）3311（代表）　FAX：0274（24）3161
E-mail：somu@fujioka-hosp.or.jp
URL：https://www.fujioka-hosp.or.jp
開 設 者　多野藤岡医療事務市町村組合　管理者　新井 雅博
構成市町村　藤岡市、上野村、神流町、高崎市
病 院 長　塚田　義人
病 床 数　399床（一般395床、感染症４床）
診療科目　内科、精神科、神経内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、アレルギー科、リウマチ科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、歯科口腔外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、救急科（27科）

施　　設　敷地面積　40,807.91㎡・職員駐車場面積　16,478㎡
延床面積　34,275.33㎡
構　　造　鉄骨・鉄筋コンクリート造
規　　模　地上７階、入院棟、放射線棟、接続棟、外来棟
附帯施設　駐車場　約1,000台（患者用　約300台）
訪問看護ステーション「はるかぜ」
群馬県立赤城養護学校公立藤岡総合病院分教室
院内保育所

診療指定　保険医療機関、国保療養取扱機関、労災保険、結核指定医療機関、生活保護法、指定自立支援医療機関(更生医療・育成医療・精神通院)、養育医療、救急医療告示病院、母体保護法指定医、肝疾患専門医療機関、特定医療費(指定難病)指定医療機関、小児慢性特定疾病指定医療機関、原爆被害者一般疾病医療機関、地域災害拠点病院、第二種感染症指定病院、群馬県エイズ診療協力病院、群馬県地域周産期母子医療ｾﾝﾀｰ、臨床研修指定病院、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、開放型病院、DPC対象病院、病院機能評価認定、卒後臨床研修機能評価機構認定、人間ドック・健診施設機能評価認定

施設基準
【基本診療料】

歯科点数表の初診料の注１に規定する施設基準
急性期一般入院料１
超急性期脳卒中加算
急性期看護補助体制加算(25対1)看護補助５割未満
医師事務作業補助体制加算１（30対１）
療養環境加算
無菌治療室管理加算１
栄養サポートチーム加算
医療安全対策地域連携加算１
感染防止対策地域連携加算
患者サポート体制充実加算
ハイリスク分娩管理加算
総合評価加算
病棟薬剤業務実施加算１
入退院支援加算１
入院時支援加算
せん妄ハイリスク患者ケア加算
小児入院医療管理料４
地域包括ケア病棟入院料２(告示注９減算)
看護職員処遇改善評価料52
歯科外来診療環境体制加算１
救急医療管理加算
診療録管理体制加算２
急性期看護補助体制加算（夜間100対１）
看護職員夜間配置加算（16対１配置加算１）
重症者等療養環境特別加算
無菌治療室管理加算２
医療安全対策加算１
感染防止対策加算１
抗菌薬適正使用加算
ハイリスク妊娠管理加算
呼吸ケアチーム加算
後発医薬品使用体制加算１
データ提出加算２
地域連携診療計画加算
認知症ケア加算２
地域医療体制確保加算
回復期リハビリテーション病棟入院料１
看護職員配置加算

【特掲診療料】

歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
がん性疼痛緩和指導管理料
がん患者指導管理料ロ
がん患者指導管理料ニ
高度腎機能障害患者指導加算注５
外来栄養食事指導料
糖尿病合併症管理料
がん患者指導管理料イ
がん患者指導管理料ハ
糖尿病透析予防指導管理料
小児運動器疾患指導管理料

乳腺重症化予防ケア・指導料
二次性骨折予防継続管理料 1、3
夜間休日救急搬送医学管理料の注 3 に規定する救急搬送
看護体制加算 1
開放型病院共同指導料
薬剤管理指導料
医療機器安全管理料 2
在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注 2
遺伝学的検査
骨髄微小残存病変量測定
HPV 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
検体検査管理加算（Ⅳ）
長期継続頭蓋内脳波検査
小児食物アレルギー負荷検査
CT 撮影及び MRI 撮影
連携充実加算
先天性代謝異常症検査
心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
がん患者リハビリテーション料
人工腎臓（慢性維持透析を行った場合 1）
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
緊急整復固定加算及び緊急挿入加算
CAD/CAM 冠
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及びセンチネルリンパ節生検（併用）
大動脈バルーンパンピング法（IABP 法）
体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 16 に掲げる手術
輸血適正使用加算
胃瘻造設時嚥下機能評価加算
歯根端切除手術の注 3
放射線治療専任加算
高エネルギー放射線治療
画像誘導放射線治療加算（IGRT）
定位放射線治療
腎代替療法指導管理料
小児科外来診療料
外来放射線照射診療料
外来腫瘍化学療法診療料 1
がん治療連携計画策定料
医療機器安全管理料 1
医療機器安全管理料（歯科）
持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定
持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合）
BRCA1/2 遺伝子検査
検体検査管理加算（Ⅰ）
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
神経学的検査
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
外来化学療法加算 1
遠隔モニタリング加算
無菌製剤処理料
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）
呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
歯科口腔リハビリテーション料 2
導入期加算 2 及び腎代替療法実績加算
下肢末梢動脈疾患指導管理加算
手術用顕微鏡加算
脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術
経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
早期悪性腫瘍大腸結膜下層剥離術
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
輸血管理料Ⅱ
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
広範囲顎骨支持型装置埋入手術
麻酔管理料（Ⅰ）
外来放射線治療加算
1 回線量増加加算（全乳房照射）
体外照射呼吸性移動対策加算
クラウン・ブリッジ維持管理料

【入院時食事療養費】
入院時食事療養費（Ⅰ）

【保険外併用療養費】

入院医療に係る特別の療養環境の提供
200 床以上の病院の初診
入院期間 180 日を超える入院
時間外診察
200 床以上の病院の再診
金属床による総義歯の提供

教 育 指 定

日本内科学会認定医制度教育関連病院
日本呼吸器学会認定施設
日本腎臓学会研修施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本心血管インターベンション治療学会認定研修関連施設
日本呼吸器外科学会専門医合同委員会専門研修連携施設
日本消化器病学会専門医制度認定施設
日本脳神経血管内治療学会研修施設
日本臨床腫瘍学会認定研修施設(特別連携施設)
日本整形外科学会専門医制度研修施設
日本リウマチ学会教育施設
日本脳卒中学会研修教育病院
日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
日本病理学会研修協力施設
日本静脈経腸栄養学会 NST(栄養サポートチーム)専門療法士実地修練施設
日本血液学会血液研修施設
日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設
日本透析医学会専門医制度認定施設
日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設
日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本消化器外科学会専門医制度専門医修練施設
日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本緩和医療学会認定研修施設
日本手外科学会基幹研修施設
日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練場所
日本泌尿器科学会専門医教育施設
日本麻酔科学会麻酔科認定病院
日本静脈経腸栄養学会 NST(栄養サポートチーム）稼働施設
日本小児科学会小児科専門医研修施設
日本リハビリテーション医学会研修施設

日本栄養療法推進協議会 NST(栄養サポートチーム)稼働施設
日本口腔外科学会認定准研修施設
日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
日本気管食道科学会研修施設
日本人間ドック学会研修施設

人間ドック　日本病院会指定、人間ドック・健診施設機能評価認定

人工透析室　ベッド数 29 床

救急体制　救急処置室、救急指定、病院群輪番制（二次救急）

ガン検診治療施設　リニアック、シンチレーションカメラ、循環器撮影装置、全身用 CT、MRI、PET - CT

リハビリテーション施設　運動療法室、作業療法室、言語聴覚療法室、水治療室

未熟児施設　ベッド数 4 床、経皮酸素分圧測定装置、レスピレーター、ECG モニター、光線治療ユニット、エアオキシゲンブレンダー、保育器

病理解剖施設　病理検査室、解剖室、固定標本室

２．組合構成団体の地勢と位置

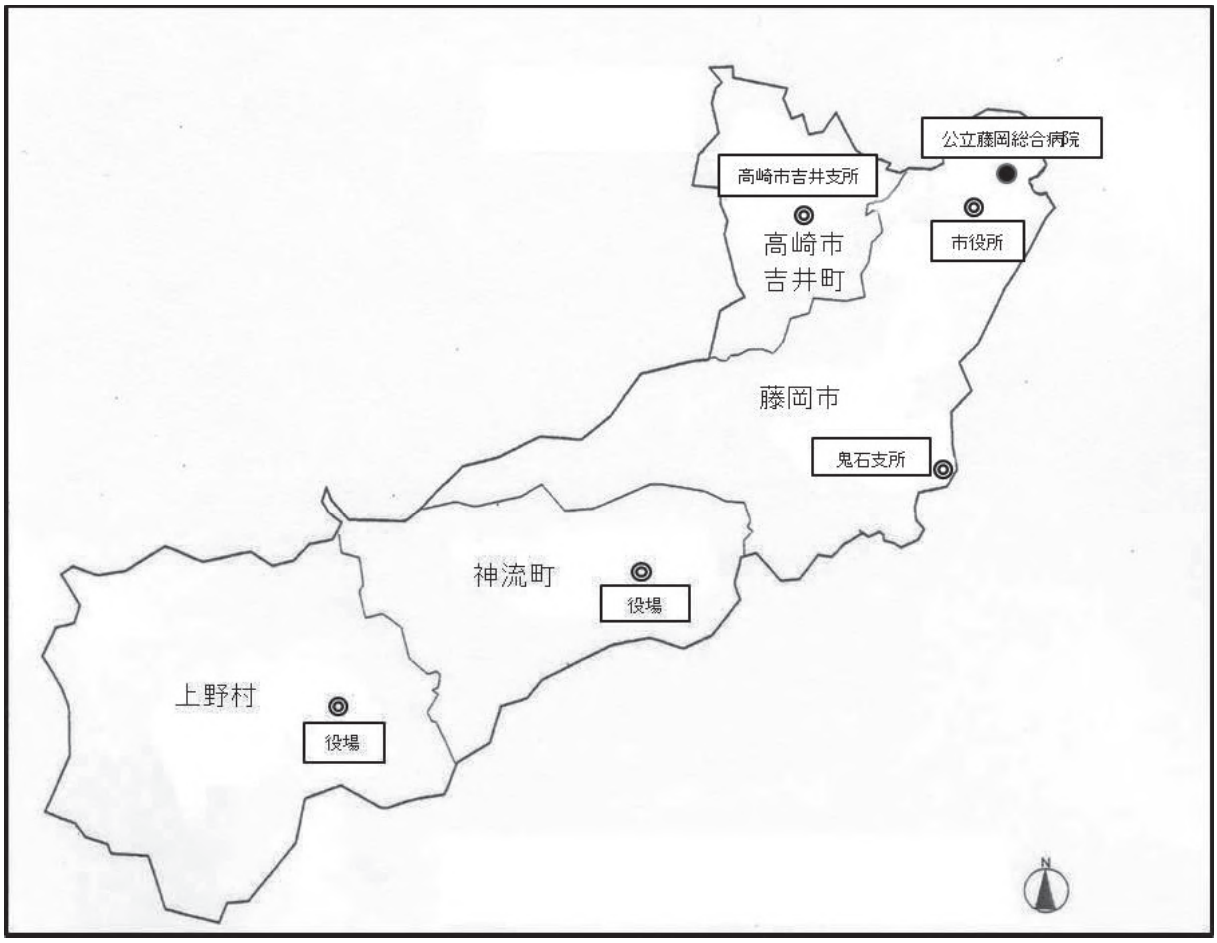
当組合構成市町村は、関東地方の北西部、群馬県の南西部に位置し、地形は東西 52.0km、南北 12.5km、総面積 482.54 km^2 で群馬県面積の 7.6%を占める。藤岡市を中心に上野村、神流町、高崎市（吉井区域）の２市１町１村から構成されている。

高崎市の吉井区域について、平成 21 年６月１日に吉井町は高崎市と合併したが、配置分合により、吉井町が組合を脱退し、吉井区域について高崎市が組合に加入となる。

東南部は神流川を隔てて埼玉県に、西は富岡市及び甘楽郡、北は烏川を隔てて高崎市及び佐波郡玉村町に境界を接している。

南西部は関東山地の秩父荒船連山に囲まれ、中央部は御荷鉾、赤久縄連山で分断され、東北部を除き大部分が山岳地帯であり、西から東へと流れる神流川の上流域は首都圏の水源にもなっていて、山・川等の美しく豊かな自然に恵まれている。中世には関東管領上杉憲実公の城下町として繁栄した歴史を残しながら、関越自動車道と上信越自動車道の分岐点として発展し、群馬県の表玄関となっている。

当病院は、この圏域の東北部の位置にあり、JR 八高線北藤岡駅の南 2km、上信越自動車道藤岡 IC 南東 1km に位置している。



【交通のご案内】

JR 八高線 北藤岡駅から徒歩 25 分
JR 高崎線 新町駅から車で 10 分
上信越自動車道 藤岡 IC から車で 3 分

３．歴史と沿革

昭和25年12月5日	多野郡藤岡町外16ヶ町村多野医療事務町村組合を設立 藤岡町、神流村、新町、小野村、八幡村、美土里村、平井村、美九里村、吉井町、 多胡村、日野村、入野村、三波川村、美原村、万場町、中里村、上野村
昭和26年3月31日	病院建築工事着工（木造2階建）
4月10日	病院開設許可（42床　群馬県指令第363号）　（一般25床　結核17床）
11月15日	病院開院 初代病院長　森 鉄太郎
11月17日	結核予防法による医療機関指定
19日	保険医指定
27日	病院使用許可（30床）　（内科、外科、産婦人科）
昭和27年9月30日	病院使用許可（51床）　（一般28床　結核23床）
昭和28年1月22日	病院開設許可事項一部変更許可（一般8床増床）
5月11日	第二代病院長　中川 恭一
6月 1日	生活保護法による医療機関指定
10日	病院施設増築許可
23日	病院使用許可（59床）　（一般36床、結核23床）
7月15日	小児科、整形外科開設
10月15日	放射線科開設
昭和29年4月23日	病院開設許可事項一部変更許可（結核30床増床）
7月19日	病院使用許可（89床）　（一般36床、結核53床）
10月15日	労災保険指定病院指定
昭和30年4月1日	第三代病院長　藤多 喜一
9月23日	多野藤岡医療事務市町村組合と改称 （藤岡市、新町、鬼石町、吉井町、万場町、中里村、上野村）
12月26日	医師住宅建築（木造平屋建、49.5㎡） 医師住宅建築（木造平屋建、39.6㎡）
昭和32年12月9日	病院開設許可事項一部変更許可（一般44床増床）
昭和33年3月31日	病院増築工事竣工
5月8日	病院使用許可（133床）　（一般80床、結核53床） 耳鼻咽喉科開設
10月1日	基準給食実施承認
昭和35年10月1日	多野藤岡伝染病予防事務市町村組合設立許可
昭和36年6月14日	伝染病棟開設許可
24日	伝染病棟使用許可（35床）
昭和40年7月29日	病院開設許可事項一部変更許可（寝具、消毒室、リネン室）
8月16日	病院使用許可（寝具、消毒室、リネン室）
昭和43年4月1日	地方公営企業法適用
昭和44年2月14日	救急医療告示病院認定
昭和45年6月4日	病院開設許可事項一部変更許可（全面増改築）
9月28日	病院増改築工事着工
昭和46年9月30日	病院増改築工事竣工　鉄筋コンクリート造、地下1階、地上5階、塔屋2階 7,540.68㎡
10月8日	病院使用許可（213床）　（一般180床、結核33床、伝染35床） 眼科、脳神経外科開設
20日	新病棟へ移転開始
昭和48年11月1日	総合病院名称使用承認 （内科、外科、小児科、整形外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、眼科、放射線科）
昭和49年3月31日	多野藤岡伝染病予防事務組合の解散
4月1日	多野藤岡医療事務市町村組合伝染病隔離病舎設立
8月1日	基準看護変更実施承認（一般、特Ⅰ類）
昭和51年9月1日	基準看護変更実施承認（一般、特Ⅱ類　結核、Ⅲ類）
昭和53年3月27日	医師住宅建築（木造平屋建、69.56㎡　2棟）
昭和55年4月1日	第四代病院長　大野 治俊
11月22日	医事課電算機導入
29日	書類倉庫建築（プレハブ　49.5㎡）
昭和56年11月1日	重症者看護及び重症者の収容基準の実施承認（8床）

昭和57年3月10日	全身用CT導入（CT－W3－10形）
31日	医師住宅建築（木造2階建、112㎡）
	看護婦寮竣工（鉄筋コンクリート造、地上3階、1,061.2㎡）　(36人収容)
	カルテ倉庫建築（ブロック造）
昭和59年11月20日	病院開設許可事項一部変更許可（増改築）
24日	病院増改築工事起工式
昭和60年4月10日	群馬県立西毛養護学校多野総合病院分教室開校
18日	中国陝西省衛生友好団来院
8月2日	病院開設許可事項一部変更許可（伝染病棟病床数変更、中央診療棟増築工事）
13日	日航ジャンボ機墜落事故生存者収容（落合由美、川上慶子、吉崎博子、吉崎美紀子）
	日航ジャンボ機墜落事故犠牲者遺体確認レントゲン撮影　～9月26日
14日	日航ジャンボ機墜落事故犠牲者遺体確認派遣（医師1名、看護婦20名）
16日	日航ジャンボ機墜落事故犠牲者遺体確認派遣（看護婦13名）
9月7日	中国研修医来院（陳 君三、白 本寛）　(6ヶ月間)
11月12日	日航ジャンボ機墜落事故犠牲者部分遺体確認レントゲン撮影　～11月23日
12月18日	病院使用許可（中央診療棟、新設病棟）
23日	病院開設許可事項一部変更許可（旧病棟改修）
昭和61年6月14日	病院使用許可（旧病棟）
30日	病院増改築工事竣工（413床）　(一般370床、結核33床、伝染10床)
	病棟管理棟16,406.7㎡、中央診療棟2,495.0㎡、伝染病棟500.0㎡
7月9日	病院使用許可（運動療法室、救急処置室、外来診療）
9月1日	運動療法の施設基準実施承認
10月6日	理学診療科開設
11月10日	病院開設許可事項一部変更許可（麻酔科開設、麻酔科外来）
	中国陝西省衛生友好団来院
12月16日	病院使用許可（麻酔科外来）
昭和62年1月1日	重傷者看護及び重傷者の収容基準の実施承認（20床）
1月29日	短期人間ドック施設認定（日本病院会）
3月1日	多野総合病院院内保育所開所
6月5日	泌尿器科開設
11日	病院使用許可（泌尿器科外来）
19日	会計検査院実地検査
9月3日	中国研修医来院（夏 中淘、顧 暁紅）　(3ヶ月間)
昭和63年6月20日	全身用CT更新（QUANTEX－RX形）
8月1日	ミキシング業務開始（外科病棟）
9月22日	患者専用駐車場用地取得（1,059.44㎡）
平成元年7月25日	駐車場造成舗装工事
平成2年3月20日	人間ドック室改修工事竣工（8床 281.9㎡）
30日	病院使用許可（人間ドック室）
平成3年8月20日	病院開設許可事項一部変更許可（放射線棟増築工事）
平成4年1月10日	放射性同位元素等使用許可
3月10日	放射線棟竣工（鉄筋コンクリート造地下1階、地上2階、457.98㎡）
	放射線治療システム（ライナック）・シンチカメラ・循環器X線撮影装置導入
平成4年4月1日	第五代病院長　小栗 政夫
7日	精神・神経科開設
4月30日	高周波利用設備許可
5月6日	施設検査合格証（放射線棟）
11日	病院施設使用許可（放射線棟）
18日	労働者災害保証保険外科後処置実施医療機関指定
9月4日	理学療法等の施設基準実施承認（作業療法Ⅱ）
12月25日	病院施設使用許可（皮膚科外来）
平成5年1月6日	皮膚科開設
4月1日	週休2日制（週40時間勤務）実施
5月16日	病院開設許可事項一部変更許可（一般11床増床）
31日	病院使用許可（424床）　(一般381床、結核33床、伝染10床)
平成7年5月2日	病院開設許可事項一部変更許可（MRI棟増築工事）
平成8年2月5日	病院施設使用許可（MRI棟2階部分）
2月24日	病院施設使用許可（MRI棟）

7月1日	循環器科開設
平成9年3月27日	災害拠点病院指定（地域災害医療センター）
31日	鬼石町脱退（藤岡市、新町、吉井町、万場町、中里村、上野村）
4月1日	組合規約変更許可
	名称変更　公立藤岡総合病院・議員定数変更（20名）
7月1日	組合立老人保健施設「しらさぎの里」開設
	入所定員80名（一般棟40名、痴呆専門棟40名）、通所定員40名
	病院施設使用許可（414床）　（一般371床、結核33床、伝染10床）
8月1日	老人保健施設「しらさぎの里」に老人訪問看護ステーション開設
11月7日	高周波利用設備許可
平成10年2月12日	身体障害者福祉法指定医指定
9月29日	病院開設許可事項一部変更許可（結核33床の廃止、療養型病床群58床の開設）
30日	病院施設使用許可（381床）　（一般313床、療養58床、伝染10床）
10月22日	病院開設許可事項一部変更許可（事務棟336.73㎡）
7日	病院開設許可事項一部変更許可（一般43床増床）
24日	病院施設使用許可（424床）　（一般356床、療養58床、伝染10床）
平成11年2月1日	救急医療告示病院認定
4月1日	病院開設事項一部変更（伝染病床10床廃止、感染症病床4床に変更）
	組合規約変更許可（伝染病隔離病舎事業廃止、議員定数変更（21名））
	病院施設使用許可（418床）　（一般356床、療養58床、感染症4床）
7月8日	伝染病隔離病舎用途変更（取得財産処分行為）
平成12年1月14日	組合規約変更許可（公立藤岡総合病院附属外来センター設置）
2月23日	病院開設許可事項一部変更許可（一般10床増床）
	精神・神経科の名称を精神科に変更
3月29日	病院施設使用許可（428床）　（一般366床、療養58床、感染症4床）
4月1日	組合規約変更許可
	（名称変更　組合立介護老人保健施設・組合立訪問看護ステーション）
12月27日	開設許可（群馬県指令　医第221号）
平成13年4月1日	労災保険二次健診等給付医療機関指定
5月17日	自治体立優良病院・両会長表彰受賞
8月14日	病院開設許可事項一部変更許可（消化器科開設）
平成14年4月1日	第六代病院長　鈴木 忠
5月21日	病院開設許可事項一部変更許可（西病棟改修）
7月26日	病院開設許可事項一部変更許可（療養病床58床廃止）
平成15年3月7日	病院開設許可事項一部変更許可（395床）（一般391床、感染症4床）
	（神経内科開設）
11日	病院施設使用許可（395床）　（一般391床、感染症4床）
4月1日	万場町と中里村が合併し、神流町となる
	（藤岡市、新町、吉井町、上野村、神流町）
	院内保育所閉所
平成16年3月31日	臨床研修病院指定（厚生労働省発医政第0331050号）
6月15日	手術棟増改築工事着工
7月29日	病院開設許可事項一部変更許可　手術棟（3階建）増設
10月1日	管理型臨床研修病院指定（医政発第1021001号ー145）
平成17年1月28日	病院施設使用許可　手術棟（3階建）増設
3月27日	病院機能評価訪問審査
28日	手術棟増改築工事竣工（地上3階）
6月1日	群馬県地域周産期母子医療センター指定（保予第261ー2号）
20日	病院機能評価認定（JC571号 審査体制区分3Ver.4.0）
	認定期間：平成17年6月20日～平成22年6月19日
平成18年1月23日	新町脱退
	（藤岡市、吉井町、上野村、神流町）
2月24日	議員定数変更（19名）
4月1日	地域医療支援病院名称使用承認（群馬県指令医第166ー1号）
	DPC（診断群分類別包括評価）準備病院
平成19年1月31日	地域がん診療連携拠点病院指定（厚生労働省発健第0131004号）
9月1日	病院敷地内全面禁煙開始
19日	体外式衝撃波結石破砕装置更新

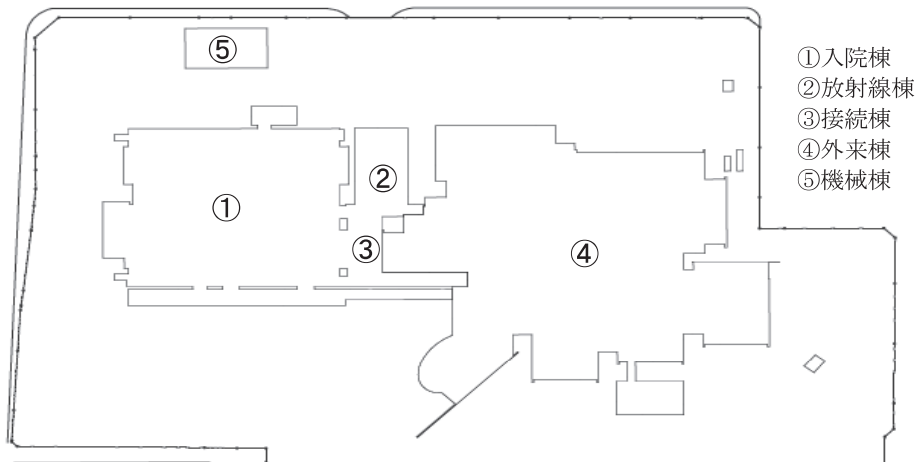
平成20年3月28日	救急医療告示医療機関認定（群馬県指令医第128－7号）
	認定期間：平成20年2月1日～平成23年1月31日
3月28日	放射線治療装置更新（医療用リニアック）
4月1日	リウマチ科開設
	給食調理業務を委託業者に変更
6月30日	医療情報システム更新（医事会計システム・健診システム）
7月1日	DPC（診断群分類別包括評価）対象病院 → DPC請求開始
平成21年1月31日	熱源設備機器更新（ボイラー）
3月19日	公立藤岡総合病院改革プラン策定
4月1日	病院開設届出許可事項等一部変更届（診療科目）
	消化器科→消化器内科、循環器科→循環器内科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科を追加
5月11日	被爆者指定医療機関指定（関厚発第0511054号）
21日	吉井町の配置分合による多野藤岡医療事務市町村組合規約変更許可
	（群馬県指令市第30033－6号）
31日	新医療情報システム更新（オーダリングシステム）
6月1日	吉井町が高崎市と合併
	配置分合により、吉井町が組合を脱退し、吉井区域について高崎市が組合に加入となる。
	（藤岡市、上野村、神流町、高崎市）
平成22年3月14日	病院機能評価Ver.6.0訪問審査（3月14日～16日）
6月20日	病院機能評価認定（第JC571－2号 審査体制区分３Ver.6.0）
	認定期間：平成22年6月20日～平成27年6月19日
平成23年1月14日	救急医療告示病院認定（群馬県医第128－21号）
	認定期間：平成23年2月1日～平成26年1月31日
3月8日	循環器撮影装置更新
5月2日	保険医療機関指定（更新）（関厚発第19号）
	指定期間：平成23年5月1日～平成29年4月30日
11月7日	磁気共鳴断層撮影装置（MRI）更新
8日	高周波利用設備変更許可（関東総合通信局）
21日	電子カルテシステム稼働
平成24年10月1日	第２次公立藤岡総合病院改革プラン策定
平成26年1月21日	救急医療告示病院認定（更新）（群馬県医第発128-5号）
	認定期間：平成26年2月1日～平成29年1月31日
4月1日	第七代病院長　石崎　政利
9月1日	中国研修医来院（程 卫、刘 仕琪）　（3ヶ月間）
30日	病院開設許可事項一部変更許可（群馬県指令医第166-76号）
	西棟1階、X線撮影室に係る一部用途変更（X線撮影室（4））
12月2日	病院開設許可事項一部変更許可（群馬県指令医第166-101号）
	西棟1階、X線撮影室に係る一部用途変更（X線撮影室(3)→医療機器倉庫）
平成27年3月26日	病院開設許可事項一部変更許可（群馬県指令医第166-144号）
	MRI棟1階、CT撮影室に係る一部用途変更（CT撮影室2→画像診断室）
4月1日	臨床研修評価機構認定（新規認定）
	認定期間：平成27年4月1日～平成31年4月1日
	病院内保育所開設
6月5日	病院機能評価認定（機能種別版評価項目3rdG（Ver.1.0）一般病院2）
	認定期間：平成27年6月20日～平成31年6月19日
8月1日	病院開設届出許可事項等一部変更届（診療科目）
	放射線科廃止、放射線診断科・放射線治療科・病理診断科を新設
11月1日	地域包括ケア病棟開設　東棟6階（39床）
平成28年2月1日	新入院棟建設工事着工
28日	公立藤岡総合病院　新入院棟建設・附属外来センター改修工事　起工式
4月1日	病院開設届出許可事項等一部変更届（診療科目）　救急科を新設
10月11日	電子カルテシステム更新
平成29年1月5日	新公立藤岡総合病院改革プラン策定
2月1日	救急医療告示病院認定（更新）（群馬県医第128-24号）
	認定期間：平成29年2月1日～平成32年1月31日
9月30日	公立藤岡総合病院　新入院棟　竣工

10月20日	新公立藤岡総合病院　開設許可　（群馬県指令医第166-44号）
	病床数　　一般病床410床（DPC対応295床、包括ケア47床、回復期リハ48床、
	人間ドック20床）、感染症病床4床　合計414床
	診療科目　内科、精神科、神経内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、血液内科
	腎臓内科、ｱﾚﾙｷﾞｰ科、ﾘｳﾏﾁ科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科
	泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科、放射線診断科
	放射線治療科、麻酔科、病理診断科、救急科、歯科口腔外科、形成外科(27科)
11月1日	旧病院から新病院へ移転　新公立藤岡総合病院　開院
	陽電子放出断層撮影装置（PET-CT）導入
12月1日	保険医療機関指定（関厚発第105号）
	指定期間：平成29年11月1日～平成35年10月31日
28日	公立藤岡総合病院　旧附属外来センター改修工事　竣工
平成30年3月27日	病院開設許可事項一部変更許可（一般病床15床廃止）
4月1日	病床数変更　一般病床395床（DPC対応295床、包括ケア47床、回復期リハ48床、
	人間ドック5床）、感染症病床4床　合計399床
	歯科口腔外科外来開設
	形成外科外来開設
8月31日	職員駐車場整備工事　竣工
平成31年4月1日	第八代病院長　塚田　義人
	臨床研修評価機構認定（更新、エクセレント賞）
	認定期間：平成31年4月1日～令和3年3月31日
令和元年10月1日	16列マルチスライスCT搭載型SPECT装置（SPECT-CT）更新
令和2年2月1日	救急医療告示病院認定（更新）（群馬県医第128-28号）
	認定期間：令和2年2月1日～令和5年1月31日
3月6日	病院機能評価認定（機能種別版評価項目3rdG（Ver.2.0）一般病院2）
	認定期間：令和2年6月20日～令和7年6月19日
令和3年6月28日	旧公立藤岡総合病院解体工事　着工
令和5年1月31日	旧公立藤岡総合病院解体工事　竣工
2月1日	救急医療告示病院認定（更新）（群馬県医第128-36号）
	認定期間：令和5年2月1日～令和8年1月31日
6日	循環器撮影装置更新
令和6年1月5日	全身用X線CT診断装置更新

＊附属外来センター（平成14年4月1日～平成29年10月31日）

平成12年12月27日	病院開設許可　20床（群馬県指令医第221号）
	病院建築工事着工
平成13年3月10日	地鎮祭
平成14年3月18日	病院施設使用許可　20床（その他の病床）
3月25日	病院建築工事竣工
3月27日	労災保険指定医療機関の指定
4月1日	公立藤岡総合病院附属外来センター開院
	初代 外来センター長　田中 壯佶
	保険医療機関の指定
	生活保護法に基づく医療機関指定
	結核予防法に基づく医療機関指定
4月11日	地方公務員災害補償基金群馬県支部指定医療機関指定
平成15年2月28日	労働者災害補償保険法に基づく義肢採型指導医指定
平成17年3月4日	診療所開設許可　19床（藤保指令第203－1号）
3月14日	診療所施設使用許可　19床（一般19床）
3月24日	病院廃止届（廃止年月日：平成17年3月31日）
3月31日	保険医療機関廃止届（廃止年月日：平成17年3月31日）
4月1日	病院から診療所へ変更
	保険医療機関の指定
11月24日	人間ドック・健診施設機能評価訪問審査
平成18年1月16日	人間ドック・健診施設機能評価認定（認定第92号）
平成19年3月1日	障害者自立支援法第64条の規定に基づく指定自立支援医療機関（精神通院医療）指定
4月1日	第二代 外来センター長　田村 勝
9月1日	診療所敷地内全面禁煙開始
平成20年3月7日	診療所開設届出許可事項等一部変更届（診療日及び診療時間の変更）
4月1日	土曜診療の休診
	リウマチ科、禁煙外来開設
平成21年4月1日	第三代 外来センター長　清水 透
5月11日	被爆者指定医療機関指定
平成22年1月6日	人間ドック・健診施設機能評価訪問審査
2月12日	人間ドック・健診施設機能評価更新認定（認定第92号）
	認定期間：平成22年4月1日～平成27年3月31日
平成23年1月1日	肝疾患専門医療機関認定
4月1日	保険医療機関指定（更新）
	指定期間：平成23年4月1日～平成29年3月31日
7月2日	建築基準法第6条第1項の規定による確認（化学療法室増築）
11月27日	化学療法室竣工（218.77㎡）
12月17日	電子カルテシステム外来部門稼働
平成26年8月8日	人間ドック・健診施設機能評価訪問審査
	人間ドック・健診施設機能評価更新認定（認定第92号）
	認定期間：平成27年4月1日～平成32年3月31日
平成29年4月1日	保険医療機関指定（更新）
	指定期間：平成29年4月1日～平成35年3月31日
平成29年10月31日	新公立藤岡総合病院開院に伴う附属外来センター廃院

4. 建物配置図及び面積表



	①入院棟	②放射線棟	③接続棟	④外来棟
7階	南病棟 47床			
6階	北病棟 47床 南病棟 46床			
5階	北病棟 46床 南病棟 47床			
4階	北病棟 38床 南病棟 47床			
3階	HCU 24床 手術室・中央材料滅菌室 麻酔・ﾍﾟｲﾝｸﾘﾆｯｸ科 内視鏡室、血管撮影室	機械室		健康管理ｾﾝﾀｰ 人間ドック宿泊施設
2階	北病棟 48床 人工透析 29床 ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ室、ME室 会議室、ｽﾀｯﾌﾗｳﾝｼﾞ、図書室	核医学診断室	管理事務室	訪問看護ｽﾃｰｼｮﾝ 臨床検査室、内視鏡ｾﾝﾀｰ 産婦人科、小児科、眼科 耳鼻咽喉科、皮膚科 泌尿器科、心療内科 歯科口腔外科、形成外科 医局、病院長室、応接室 研修室、レストラン
1階	感染症病室 4床、救急ｾﾝﾀｰ 放射線診断室、検査室 入院受付、支払窓口 防災ｾﾝﾀｰ、入退院支援室 地域連携室、総合相談室 緩和ケアｾﾝﾀｰ 栄養室・厨房	放射線治療室	SPD	総合案内、外来受付 支払窓口、売店、がんｻﾛﾝ 薬局、お薬ｻﾛﾝ、栄養相談室 検査ｾﾝﾀｰ、画像診断ｾﾝﾀｰ 内科、外科、整形外科 脳神経外科、処置点滴室 化学療法室、外来ｽﾀｯﾌ室 医療情報管理室、病歴管理室 保育所、養護学校 ﾘﾈﾝ諸室、電話交換室

建物面積

	①入院棟	②放射線棟	③接続棟	④外来棟
7階	2,131.46㎡			
6階	2,662.91㎡			
5階	2,662.91㎡			
4階	2,841.31㎡			(搭屋) 81.41㎡
3階	3,063.55㎡	42.15㎡		1,430.66㎡
2階	3,063.55㎡	469.83㎡	353.82㎡	5,180.45㎡
1階	3,065.50㎡	469.83㎡	353.82㎡	6,402.17㎡
計	19,491.19㎡	981.81㎡	707.64㎡	13,094.69㎡

構造
①入院棟　鉄骨・鉄筋コンクリート造　　②放射線棟　鉄筋コンクリート造
③接続棟　鉄骨造　　④外来棟　鉄筋コンクリート造

敷地面積　40,807.91㎡　　職員駐車場面積　16,478㎡

5. 建物設備の概要

＊入院棟

番号	名称	規格	内訳	数量
1	モジュールチラー	空気熱源ヒートポンプ式モジュールチラー RUA-SP243HK5	冷房・暖房	2
2	ジェネリンク	廃熱回収型吸収冷温水機 NHJ-210HN5A	冷房・暖房	2
3	温水ボイラー	真空式温水ボイラー GTL-500BN	暖房・給湯	2
4	冷却塔	開放型、角形、超低騒音 SKB-36×2TS M7 冷却水処理装置 EB-811SC	発電	1
		開放型、角形、超低騒音 SKB-210×2GN 冷却水処理装置 EB-811SC	冷房	1
5	空調用ポンプ群	冷却水ポンプ 65LPD53.7E	発電	2
		冷却水ポンプ 150LPD4J518E	冷房	2
		冷温水一次ポンプ 125LPD4H57.5E	冷房・暖房	2
		冷温水二次ポンプ 80LPD57.5E	冷房・暖房	3
		廃温水ポンプ 65LPD55.5E	冷房・暖房	2
		温水ポンプ(温水余熱) 80LPD53.7E	暖房	1
		温水ポンプ(熱交換器一次側) 40LPD51.5E	暖房	2
		温水ポンプ(熱交換器二次側) 40LPD52.2E	暖房	2
6	熱交換器	プレート式熱交換器(暖房余熱) LX-125A-NJ-17	暖房	1
		プレート式熱交換器(温水) LX-095A-NHJ-9	暖房	2
7	膨張タンク	密閉式膨張タンク(廃温水) AFU-500	冷房・暖房	1
		密閉式膨張タンク(冷温水) AFU-300	冷房・暖房	1
		密閉式膨張タンク(温水一次) HM-24	暖房	2
		密閉式膨張タンク(温水二次) AFU-60	暖房	1
8	空調機	外調機(2管式) EI 30 DT他	冷房・暖房	21
		外調機(4管式) EI 50 DT他	冷房・暖房	6
		全熱交換器組込外調機(2管式) EI 50 RH他	冷房・暖房	2
		空調機(2管式) EI 250 DT	冷房・暖房	1
9	ファンコイルユニット	天カセ1方向 #200 DCR-204KV-LW-J3	冷房・暖房	3
		天カセ2方向 DCR-204～804KW-LW-J3	冷房・暖房	85
10	レヒーターコイル	天井隠蔽ダクト接続型 100～1150m3/h #L 3	暖房	19
11	空冷パッケージ エアコン	冷暖フリーマルチ型室外機 REYP224D～1360DR	冷房・暖房	21
		冷暖切替マルチ型室外機 RXYP224DA～900DAR	冷房・暖房	21
		クリーンルーム用カセット形 マルチ室内機 FBXYP45MB～71MB	冷房・暖房	42
		壁掛マルチ室内機 FXYAP28MB～36MB	冷房・暖房	4
		1方向カセット形マルチ室内機 FXYKP22C～71C	冷房・暖房	15
		2方向カセット形マルチ室内機 FXYCP22MB～80MB	冷房・暖房	215
		4方向カセット形マルチ室内機 FXYFP28MJ～140MJ	冷房・暖房	115
		天吊形マルチ屋内機 FXYHP90MC～160MC	冷房・暖房	3
		天井埋込ダクト形マルチ屋内機 FXYMP45C～90C	冷房・暖房	105
		天井ビルトイン形マルチ屋内機 FXYSP22MB～28MB	冷房・暖房	4
		外気処理天井埋込ダクト形マルチ屋内機 FXYMP224MCF～280MCF	冷房・暖房	3
		店舗用パッケージカセット形 SZRK40BBT～SZRC140BAD	冷房・暖房	5
		店舗用パッケージ天吊形 SZRH112BA～SZRH160BA	冷房・暖房	3
		厨房用パッケージ天吊形 SZRT140BA	冷房・暖房	2
		設備用パッケージ床置形 SZVCP560KR	冷房	7
12	送排風機・排煙機	片吸込シロッコファン 1.5kw 床置	給気	1
		片吸込シロッコファン 5.5kw 天吊	給気	1
		片吸込片持形シロッコファン 0.75kw 天吊	給気	1
		消音ボックス付片吸込シロッコファン 2.2kw 天吊	給気	1
		消音ボックス付両吸込シロッコファン 7.5kw 天吊	給気	1
		消音形ストレートシロッコファン BFS-80TUC～BFS-1000TU	給気	30
		片吸込片持形シロッコファン 0.4kw～11kw 床置	排気	7
		片吸込リミットロードファン 1.5kw～5.5kw 床置	排気	6
		片吸込片持形リミットロードファン 3.7kw 床置	排気	1
		消音ボックス付両吸込シロッコファン 5.5kw 天吊	排気	1
		消音型ストレートシロッコファン BFS-80TUC～BFS-300TX1	排気	112
		片吸込排煙ファン 11kw、22kw 床置	排煙	2

13	換気扇	有圧扇 EWF-30 BTA-Q～35 CTA-Q	給気	4
		天井扇 VD-23ZQ8-W	給気	1
		天井扇 VD-18ZX10-FP	排気	1
14	全熱交換機	天井埋込ダクト形 VAM25GAMS 250m3/h～100GAMES 1000m3/h		7
15	フィルターユニット	RIフィルターユニット(放射線系統) PTS-D4(2+2)PHC-S-AS	排気	1
		HEPAフィルターユニット(感染系統) 1×1.5H-POS-AS	排気	1
		HEPA制気口 CAP-GS-D(H)-SAS-DS-AS他	給気	31
		HEPA制気口 CAP-GS-D(H)-EAS-FS-AS	排気	1
		プレフィルター K-2×3.5P-NG-SP他	給気	7
16	風量制御装置	定風量装置 CDY-150-24他	給気	39
		定風量装置 CDY-150-24他	排気	6
		変風量装置 VDY-150-24他	給気	6
		変風量装置 VDY-150-24他	排気	1
17	自動制御機器(空調)	デジタル設定器器 QY7205A3011	FCU・RH用	一式
		温度検出器 TY7043Z0P00	FCU・RH用	一式
		湿度検出器 HY7043T1000	室内用(計測)	一式
		温湿度発信機 HTY7043T1P00	室内用(計測)	一式
		温度発信機 TY7803C000M(通信タイプ)	ダクト用	一式
		温湿度発信機 HTY7803T1P00	外気用	一式
		温度・露点温度発信機 HTY7903C000M(通信タイプ)	ダクト用	一式
		湿度調節器 HY6000Z2000	室内用(加湿)	一式
		温度検出器 TY7830B1015・1030	配管・貯湯槽用	一式
		盤表面型表示設定器 QY5100W0000	盤面取付	一式
		差圧発信器 JTD930A	熱源バイパス用	一式
		温度指示調節器 R36	盤面取付	一式
		デジタル調節器 WY5206W1000	CAV・VAV用	一式
		デジタル調節器 WY5205W1010	FCU用(on/off)	一式
		デジタル調節器 WY5205W2100	RH用(比例)	一式
		台数制御ユニット WY2000Q	熱源機用	一式
		台数制御ユニット WY2000P	ポンプ用	一式
		電磁流量計(変換器) MGG10C	熱源用	一式
		電磁流量計(検出部) MGG11D	熱源用	一式
		電動バタフライ弁 700G-4IA	熱源用(on/off)	一式
		電動バタフライ弁 700G-4IAP	熱源用(比例)	一式
		電動ボール弁 VY6100D	冷却塔用	一式
		小型電動ニ方ボール弁 VY6202A0012	FCU用(on/off)	一式
		小型電動ニ方弁 VY5502A0021	RH用(比例)	一式
		アクチュエータ MY5560C0000	RH用(比例)	一式
		電動ニ方弁 VY5165K(通信タイプ)	空調機取付	一式
		電動ニ方弁 FVY5160J(通信タイプ)	空調機取付	一式
		電動ニ方弁(通信タイプ) VY5113J	熱源バイパス用	一式
		三方弁 V5065A6078	熱源用	一式
		アクチュエータ QY9403B0001	熱源用	一式
		三方弁 VY5303A0041	熱源用	一式
		アクチュエータ MY5301A1001	熱源用	一式
		積算熱量計 WTY8000A1201	熱源用	一式
		温度検出器 TY7840B1015(熱量計専用)	熱源用	一式
		ダンパモータ MY8040A2001(通信タイプ)	空調機用	一式
		煤煙濃度計 GYY-S2000	煙道取付	一式
		電磁弁 WS-22	受水槽用	一式
		漏水センサ AD-RS(発色タイプ)	漏水監視	一式
		差圧スイッチ PYY-CL13	空調機取付	一式
18	CGS設備	ガスエンジン発電設備389KVA 6600V 50Hz発電装置		一式
19	中央監視設備	savic-net FX2 BEMS管理 システム制御盤 空調制御盤		一式
		加圧送水装置		1
		ステンレスパネル 溶接形消火用補給水槽	1000×1000×1500H	1
		一次圧力調整弁	WVM-02T型	1

20	スプリンクラー設備	湿式 K50/60　流水検知装置	GNA-EA80	7
		スプリンクラー末端試験装置	GSF-C80	7
		閉鎖型スプリンクラーヘッド	EZ72-Q80A（1909個） EZ96-Q80A(31個)	1,940
		補助散水栓格納箱		70
21	連結送水管	放水口格納箱		7
		媒介金具　差込式受け口65A×差込式差し50A鎖付	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾗｰ用×1 連結送水管×2	7
		埋込型双口送水口　100×65×65		1
22	採水口	スタンド型採水口・ストップ弁付(100×65)		1
		65A町男×65A町男		1
		媒介金具　差込式キャップ65A(受け口)		1
23	フード消火	KGL-34HD　評14-011号	フード・ダクト用	1
		KGL-34D　評14-012号	ダクト用	1
		KGL-34RF　評14-013号	小型レンジ・フラーヤ用	1
		KGL-34R2　評14-014号	大型レンジ・フラーヤ用	1
	不活性ガス消火	窒素容器ユニット　83L　20.3m3　36本	電気室用	1
24	医療ガス設備	定置式液酸タンク　5,000ℓ		1
		定置型センサーユニット　液酸タンク用		1
		予備酸素マニフォールド　2列36本		1
		センサーユニット　予備酸素用		1
		笑気マニフォールド　FML-D　2列4本		1
		炭酸ガスマニフォールド　FML-D　2列4本		1
		窒素マニホールド　FMN-D　2列8本立		1
		治療用空気供給ユニット　CUBE-D　3.7kw		1
		センサーユニット　空気用		1
		非治療用空気減圧装置(センサーユニット内蔵タイプ)		1
		吸引ポンプ　オイル式　8.0kw		2
		吸引タンク　1,000ℓ		2
		センサーユニット　吸引用		1
		吸引ポンプ制御盤　自動交互追従型		1
		壁付型アウトレット　NSVタイプ		各室
		天井吊り下げ型アウトレット		26
		シャットオフバルブ		46
		シーリングペンダント	手術室	各室
		余剰ガスフローコントロールユニット	手術室	各室
		高圧窒素アウトレット	手術室	各室
		MMⅡ型エリアモニター		5
		MMⅢ型中央監視モニターL		2
25	受水槽	sus製パネルタンク保温30mm付　81.25m3		2
26	陸上ポンプ類	PWU-J1　加圧給水ポンプユニット　7.5kw×5		1
		PWH-BH1,2　ラインポンプ(SUS製)　32A　110L　0.25KW		2
		PWH-HW1,2　ラインポンプ(SUS製)　25A　30L　0.15KW		2
27	水中ポンプ類	雑排水用水中ポンプ　50A 100L 0.4KW～65A 300L 2.2KW		26
		汚物用水中ポンプ　80A　400L　1.5KW～5.5KW		4
28	貯湯槽	TS-1,2　SUS444　1600φ×2600H　6.135m3		2
29	CGS予熱槽	TVW-CGS-1,2　SUS444　1600φ×2600H　6.135m3		2
30	給湯用膨張タンク	TEX-1,2　密閉式膨張タンク　1000φ×2500H　1.6m3		2
31	厨房機器	多種		一式
32	電気温水器	WHE　貯湯先止め式床下設置型　25L		7
33	衛生器具	洋風大便器 UAXC1BPAL他	各所	127
34	グリーストラップ	GT-1　4槽式耐火防水型　パイプ接続天吊　285L		2
		GT-2　パイプ導入型　地中埋設型　85L		1
35	RI排水処理	J-1　浄化槽　合併処理浄化槽　5人槽		1
		T-1　分配槽　SUSパネルタンク　1000×1500×1000h　1.5m3		1
		T-2～4　貯留槽　SUSパネルタンク 2500×3000×2500h 5m3×3		1
		P-1-1,2　分配ポンプ　50A　150L　0.4KW		2
		P-2-1,2　P-3-1,2　移送ポンプ　50A　150L　0.4KW		4
		P-4-1,2　放流ポンプ　50A　150L　0.75KW		2
		P-5-1,2　ピット配ポンプ　40A　150L　0.4KW		2

		排水処理制御盤		1
		排水処理モニター類		一式
36	排水処理	流動担体　樹脂製　結合固定化担体		一式
		中和緩衝槽スクリーン　1m3　閉止板		1
		誘導剤槽　PVC製　50L　注入ポンプ　0.025KW		1
		厨房調整槽ブロワ　50A　0.97m/分　1.5KW		1
		厨房調整ポンプ　50A　0.07m/分　0.4KW		2
		自動スクリーン　自動掻揚型　0.025KW		1
		ばっ気ブロワ　80A　3.72m/分　3.7KW		1
		流動担体　樹脂製　結合固定化担体		1
		生物流動床スクリーン　SUS製		2
		返送ポンプ　50A　0.08m/分　0.4KW		1
		分配計量計　樹脂製Vノッチ		1
		放流ポンプ　50A　0.08m/分　0.4KW		1
		感染系スクリーン　PVC製		1
		感染系減水ポンプ　50A　0.09m/分　0.4KW		1
		消毒反応槽　0.75m3　FRP製　攪拌機　0.2KW		1
		検査系スクリーン　バスケット型　PVC型		1
		検査系原水槽ブロワ　20A　0.11m/分　0.086KW		1
		感染系原水ポンプ　50A　0.01m/分　0.4KW		1
		中和反応槽　FRP製　攪拌機　0.1KW		1
		消毒薬液槽　PVC製　200L　注入ポンプ　0.025KW		1
		還元剤薬液槽　PVC製　100L　注入ポンプ　0.025KW		1
		酸薬液槽　PVC製　100L　注入ポンプ　0.025KW		1
		アルカリ薬液槽　PVC製　200L　注入ポンプ　0.025KW		1
		脱臭装置　樹脂製　12m/分　0.7KW		1
37	受変電設備	主受電盤　VCB 7.2KV 600A 12.5KA		1
		分岐盤　VCB 7.2KV 600A 12.5KA		16
		母線連絡盤　VCB 7.2KV 600A 12.5KV		6
		保護装置過電流継電器		17
		保護装置不足電圧継電器		1
		保護装置方向地絡継電器		6
		変圧器動力　3相 200～750KVA 6,600/210V		8
		変圧器電灯　単相 100～300KVA 6,600/210 105V		7
		変圧器電灯　スコット 200KVA 6,600/210-105V		1
		変圧器動力　3相 200～500KVA 6,600/415V		3
		コンデンサ　3相　19.1kvar　243V	自動力率調整付	6
		リアクトル　3相　319kvar　7.2kV		6
38	発電設備	発電機　3φ 6.6kV 50Hz 1250KVA(1000kw)		1
		エンジン　ガスタービン　A重油		
		始動装置　蓄電池設備		
39	非常用直流電源装置	制御方式据置鉛(MSE長寿命型)蓄電池　SNSX-400		1
		108V 400AH 54セル(2V×54個)		
40	テレビ共聴	UHF・BS　共聴システム		1
41	ナースコール	自動相互呼出通話		各病棟
42	構内電話	蓄積プログラム制御方式(PCMデジタル制御方式)		1
		アナログ一般電話機		205
		デジタル多機能電話機		80
43	院内携帯電話設備	携帯電話機セットPHS方式		400
		PHS接続装置		54
44	ペーシング設備	無		1
45	防災監視盤	自動火災報知設備　複合GR型(アナログ式)	自動試験機能付	1
		ガス漏れ警報設備　GN3VBAC		1
		防火・防排煙設備		1
		連動制御器		1
46	全館放送装置	放送盤:1640W　出力回線:90回線+一斉		1
		非常用遠隔操作装置		2
		非常用蓄電池設備　DC24V		1
47	通路誘導灯	バッテリー内蔵型		189

48	非常照明	バッテリー別置型		682
49	防火シャッター・ドア			78
50	防火垂れ壁			16
51	オートドアパニックオープン			3
52	会議室AV装置 （大会議室）	大会議室　AV操作ワゴン		一式
		液晶プロジェクター　WXGA5500lm		1
		150型16：10電動スクリーン		1
		コンパクトハイパワースピーカー		2
		シーリングスピーカー		4
		マイクロホン（ダイナミック、ワイヤレス）		7
53	会議室AV装置 （中会議室）	中会議室1．2　AV操作ワゴン		二式
		液晶プロジェクター　WXGA4000lm		2
		100型16：10電動スクリーン		2
		コンパクトスピーカー		2
		ワイヤレスアンテナ		4
		マイクロホン（ワイヤレス）		4
54	映像システム	手術室監視ITV		一式
		23V型ワイド液晶ディスプレイモノター		1
		ネットワークビデオレコーダー		1
		19V型ワイド液晶ディスプレイモノター		1
		監視用PC（23型液晶モニター）		1
		屋内ドーム型IPカメラ		6
		新生児室監視ITV		一式
		23V型ワイド液晶ディスプレイモノター		1
		ネットワークビデオレコーダー		1
		ドーム型HDネットワークカメラ		4
	ITV（防犯監視用）	操作用PC　24型カラー液晶モニター　メインメモリ8GB以上		1
		ネットワークレコーダー		1
		データ保護用兼動作補償用UPS		2
		スイッチングHUB		2
		室内固定ドーム型カメラ		24
		メディアコンバーター		2
55	電気錠システム	ヒューマンインターフェイスサーバ（HIS）		1
		データ保護用兼動作補償用UPS		1
		非接触カード登録機		1
		スイッチングHUB		3
		ロギングプリンタ		1
		連動コントローラ		1
		IDコントローラ（IDC4、8）		12
		非接触カードリーダ		52
		UPS		2
		メディアコンバーター		2
		非接触カード		1,000
56	無停電装置（UPS）	制御方式据置鉛(MSE長寿命型)蓄電池 200kVA　400Ah/10hr 186セル		1
57	手術室BGM設備	機器架		一式
		クリーンルーム用スピーカ		6
		6ch選択リモコン		6
58	エレベーター	人荷用　2方向　1750kg(26名）90m/min		1
		寝台用　2方向　1000kg(15名）90m/min		3
		寝台用　1方向　1000kg(15名）90m/min		2
		寝台用　2方向　1150kg(17名）90m/min		1

＊外来棟

番号	名称	規格	内訳	数量
1	氷蓄熱ユニット	空気熱源ヒートポンプ式ブラインスクリューチラーユニット スタティック内融式・屋外設置水槽形 ブラインポンプ	冷房・暖房	二式
2	冷凍機	直焚き吸収冷温水機 TSA-CUW-400E1GL	冷房・暖房	1

3	冷却塔	開放型、角形、超低騒音 SKB-350GS	冷房	1
		冷却水処理装置WTR-1 PXP-31-VEC-100L		
4	空調用ポンプ群	冷却水ポンプ SJ4-200×150J545	冷房	1
		冷温水ポンプ M100-Ⅲ-2～M150-Ⅱ-1	冷房・暖房	3
		冷温水薬液注入装置1式	冷房・暖房	2
5	開放式膨張タンク	膨張水槽 EXPT-C	冷房・暖房	2
6	空冷パッケージ エアコン	壁掛ルームエアコン S22TDS-W	冷房・暖房	1
		天カセツイン SMYGP280BD	冷房・暖房	1
		天埋形加湿器付 SHYMP140C、160C	冷房・暖房	2
		電算型加湿器付 DSRJ400PA	冷房・暖房	1
		天カセ形 SHYCP112C	冷房・暖房	1
		天埋形 SHYGP80B	冷房・暖房	1
		冷専床置形 SVDP140AR～280AR	冷房	4
		天カセ形 SHYGP40CV	冷房	2
		冷専壁掛形 SAP80B	冷房	1
		マルチ形室外機 RSXYP280KC	冷房・暖房	2
		マルチ室内機 ビルトイン形 FXYSP22KC	冷房・暖房	20
		マルチ室内機 天埋形 FXYMP56KC	冷房・暖房	3
		外気処理エアコン 壁ビルトイン 電熱式加湿器付　RSXYJ140KC～224KC	冷房・暖房	5
		床置きRZYP80BA	冷房	1
		床置きPR－AP140	冷房	1
		マルチ型室外機RXYP500BA	冷房・暖房	1
		天カセ形マルチ型室内機FXYP56B～FXYFP56M	冷房・暖房	8
7	クリーンルーム用 パッケージ	壁吸込ユニット(ツイン)RX-J56M 室外機 PUSY-J112M-B	冷房・暖房	2
		壁吸込ユニット(4台マルチ)RX-J45M 室外機 PUSY-160M-B	冷房・暖房	1
		フィルターファンユニット 天カセ HEPAフィルター付	冷房・暖房	16
		ファンコイルユニット 天カセ HEPAフィルター付	冷房・暖房	11
8	空調機	エアハンドリングユニット EI-75DT 電熱式加湿器付 RS-50J他	冷房・暖房	18
9	ファンコイルユニット	天カセ DCR-202PW-F3 FCC-1他	冷房・暖房	352
		天埋 DCR-202P BHB-3 FCR-1他	冷房・暖房	87
10	送排風機・排煙機	ベルト掛け 0.2kw天吊		63
		ベルト掛け 床置 排煙ファン		2
11	全熱交換機	HEX-STF-1F-1 LGH-15RHW 150m3/h　外		4
12	天井扇	天井埋込型換気扇 低騒音 VD-20ZB5		1
13	空気清浄装置	AFU-ENG-1F-1 FU5-2030S 9900m3/h　外		9
14	床暖房	ネオフロアヒーター FH-20		1
		温度調節器 MD-511		1
		埋設用温度ヒーター S-515M		1
		電気床暖房制御盤 EH-1		8
15	自動制御機器(空調)	ユーザーオペレーション機器 QY7205A3001	FCU用	一式
		温度検出器 TY7003Z0P00	室内用	一式
		湿度検出器 HY7003T1000	室内用	一式
		温度検出器 TY7813Z0P00	ダクト用	一式
		温湿度発信機 HTY7813T1P0	外気用	一式
		屋外センサーシールド DY8000A1001	外気用	一式
		ユニット用温度検出器 TY7820Z0P00	FCU用	一式
		温度・露点温度発信機 HTY7913T1P0	ダクト用	一式
		温度検出器 TY7830B1015	配管用	一式
		温度調節器 T675A1896	配管用	一式
		差圧発信器 JTD930A111A1XXXX1XX	熱源バイパス弁用	一式
		温度指示調節器 R310DA00030	盤面取付	一式
		差圧指示調節器 R315GA00030	盤面取付	一式
		温度指示計 PCA13	盤面取付	一式
		湿度指示計 PCA13	盤面取付	一式
		デジタル調節器 WY7211B2101	AHU用	一式
		デジタル調節器 WY7205W5211	FCU用(on/off)	一式
		デジタル調節器 WY7205W6212	FCU用(比例)	一式
		台数制御ユニット WY2000Q1411010B	熱源用	一式
		冷却水ブロー調節器 R7010B	冷却塔用	一式

		電磁流量計(変換器) MGG10C-DA1A-XBXX-X	熱源用	一式
		電磁流量計(検出部) MGG11D-125E11LS1AHA-X1-X	熱源用	一式
		電動バタフライ弁 616J-M		一式
		電動ボール弁 VY6100D20		一式
		小型電動ニ方ボール弁 VY6202A0011		一式
		電動ニ方弁 VY5110F		一式
		小型比例ニ方弁 VY5912A		一式
		アクアチュエータ M7410C		一式
		モジュトロモータ M904F1076		一式
		バルブリンケージ Q455C		一式
		ニ方弁 V5064A		一式
		ダンパモータ GBB131.1E	ダクト用	一式
		煤煙濃度計 GYY-S2000	煙道取付	一式
		差圧スイッチ PYY-CL13	空調機取付	一式
16	ガスタービン発電設備	500KVA 6600V 50Hz発電装置		一式
17	GS・直流電源装置	整流器 三相 三線 200V 50HZ		一式
18	無停電電源装置(UPS)	20KVA 無停電電源装置		1
		バッテリ盤 50AH×180セル		一式
		入出力盤		1
19	屋内キュービクル式 受変電設備	6.6KVA 1回線		一式
		高圧スイッチギア 気中絶縁形 三相3線 7.2Kv 600A 50Hz 単一母線方式		
		遮断器 水平引出、自動連結形 7.2KV 600A 12.5KA サイクル3 DC100V電動ばね操作		
		計器用変圧器 エポキシレジンモールド形 6600:110V 100VA以上 1P級		
		零相蓄電器 硝子分圧形 6.9KV		
		変流器 エポキシレジンモールド形 6.9KV n＞10以上		
		零相変流器 エポキシレジンモールド形		
		進相用コンデンサ ガス絶縁形 7020KV 530kvar 三相 50Hz		
		直列リアクトル モールド形 6.6KV L=6% 三相 50HZ		
		動力変圧器 モールド形 50Hz 一次6.6kv 二次415V 210V		
		照明変圧器 モールド形 50Hz 一次6.6Kv 二次105/210V 二次単相3線		
		真空コンダクタ(VCS) 3極単投 電磁操作 固定形 6.6KV 200A		
		低圧絶縁監視装置 IR電流検出方式		
20	動力制御盤	屋内自立型 P-1-MR 3.7kw 6.5kw 39.0kw 48.06kw 61.48kw	各所	一式
21	電灯・ コンセント分電盤	屋内自立型 PL-1-ER 9.68kw 9.8kw	各所	一式
		屋内自立型 PL-2-BAI 0.66KVA 0.15KVA		1
22	総合盤・端子盤	ヘッドエンド装置収納架		1
		エレベーター監視盤		1
		医療ガス情報監視システム、誘導灯信号装置		1
		入館入室管理盤ー1、2		2
		ITV監視制御盤		1
		ナースコール表示パソコン		1
		システム制御盤		1
		空調制御盤		1
		コーナー継ぎ板		1
		床暖房用中継端子盤		17
23	手元開閉基盤	手元開閉基盤(50AFx1)		11
24	変圧器	単相300kVAモールド変圧器 RCT-N21		4
		100kVAスコットモールド変圧器 RCTQ-N21		1
		三相300kVAモールド変圧器 RCT-N21 外		6
25	コンデンサー・リアクトル	高圧進相コンデンサ AF702261KHA1 外		2
		高圧進相コンデンサ用6%直列リアクトル CR702261KDE5 外		2
		低圧進相コンデンサ設備 LB3-S形 LB322B5025S26		2
26	照明器具	多種	各所	4,516
27	フル2線ネットワークコントロールユニット	WR3385K	照明中央制御	1
		WR3386K	照明中央制御	1
28	放送設備	多種	各所	一式
29	手術室・分娩室BGM 放送設備	BGM放送架		一式
30	人間ドックBGM	BGM放送架		一式

31	外来ナースコール設備	ナースコール表示パソコン他	各所	一式
32	外来呼出 インターホン設備	待合共同呼出装置 主装置 AME－2031、2101		15
		フレキシブル形卓上マイク AMO－301		50
		ドアホン親機1局 SHN－1BA		1
		夜間受付子機 SG-330-1A		1
33	人間ドック ナースコール設備	ナースコールボード形親機Z型 60局 BZP-20～160		一式
34	健診センター インターフォン設備	待合共同呼出装置 主装置 AME-2031/2101		一式
		フレキシブル形卓上マイク AMO-301		4
35	手術室 インターフォン設備	インターカム交換機 EX-200J		1
		インターカムステーション HF-250M		7
		手術室用子機 BA-303		3
		手術室インターホン制御ボックス BA-303		3
		足押式押ボタン BB-513A-4S		3
		ドアホン形インターカムステーション HF-640S		1
36	テレビ共聴設備	BSアンテナ 90cm型 BL BS-901K		一式
37	ITV設備	ドーム型カラーカメラ WV-CF35		11
		画像記録装置 WJ-DR200		1
38	案内表示設備	診察状況案内表示板システム		一式
		外待合表示盤(42インチ) KD01037-B148		9
		診察室表示盤 KD01037-B149		36
		表示制御パソコン KD96002-L873　外		8
39	防犯設備	入館入室管理システム SAFEWARE		一式
		カードホルダ		20
		パッシブセンサー		7
		マグネットセンサー		12
40	電話設備	D2000交換機(TypeMA)		1
		通話料金管理装置 PS4080A CNSA		1
		多機能電話 DI2106C		38
		アナログ一般電話機　DA2029C		203
		PHS TC-631SE		78
41	自動火災報知設備	熱感知器 DSH-2WRL DFG-TW-60L/70L		109
		煙感知器 SLR-2RL ALG-NRLY-A		454
		消火栓組込型 HURB-10BL		34
		発信機 PPE-1U		34
		表示灯 TL-13D		34
		自動開閉装置 ARS-B 104		16
		ガス漏れ検知器 KN-35B		6
42	中央監視設備	savic-netEV model30		一式
		ヘッドエンド装置収納架 ドアホン、配線架		
		エレベーター監視盤 医療ガス情報監視システム		
		誘導灯信号装置 CL-1-BOU		
		入館入室管理盤－1 入館入室管理盤－2		
		ITV監視制御盤 ナースコール表示パソコン		
		システム制御盤 空調制御盤		
43	避雷針設備	接地測定用端子函：建設省仕様(TB-SSIA)		一式
44	高圧気中負荷開閉器	KLT-M1cHD2N10LT		一式
45	自動ドア設備	両引自動扉		4台
		片引自動扉		16台
		二重片引自動扉		2台
		自閉式(半自動)引戸		一式
46	エレベーター	寝台用 1000KG 60M/min インバータ制御		2台
		乗用展望用 1000KG 45M/min インバータ制御		1台
		乗用 750KG 60M/min インバータ制御		1台
		小荷物用 50KG 30M/min インバータ制御		1台
		乗用 エスカレータ 9000人/h台 30M/min インバータ制御		2台
		電動オペレーター用		一式
		開閉式トップライト 手動操作型		一式

47	排煙	防火ドア		一式
		防火・防炎シートシャッター		一式
		重量シャター・グリルシャッター		一式
		防炎垂壁・スクリーン		一式
48	OAフロアー	500×500×28 FSA500 500×500×28 FSB500 500×500×34 G500		18箇所
49	システムバス	シャワールームユニット	OP室	2
		ユニットバスルーム		22
50	手術室 モジュラーシステム	情報パネル・記録台・無影灯操作盤・シャーカステン3台・ フィルムラック・器材棚・保温庫パイプファンヒーター・ 保冷庫全密閉型圧縮機・アイソレーショントランス・ ラインアイソレーションモニター・ロードモニター		一式
51	受水槽・高架水槽	中仕切付受水槽 NW型 44m3		1
		高架水槽（上水） NW型 5.0m3		1
		高架水槽（雑水用） NW型 5.0m3		1
52	陸上ポンプ類	LP-1/2 上水揚水ポンプ TN-405X4s-M2.2		2
		LP-3/4 雑用水揚水ポンプ TN-405X4s-M2.2		2
		LP-6 散水用ポンプ NF-400TH-A		1
		LP-7 補給水ポンプ KB2-505A2.2		1
		HP-1/2 給湯用循環ポンプ PSS-255-0.15T		2
		FP-1 スプリンクラーポンプ KTY2-1005×4s-M18.5TPB		1
		ジョッキーポンプ CHS-255-M1.5		1
53	水中ポンプ類	DP-1 雨水移送ポンプ SF-5 0.75kw		28
54	軟水器	NS-1 全自動硬水軟化装置 SA-1500ZW-001		1
55	給湯用ボイラ	BH-1 無圧温水器BH-G130 349Kw		1
56	貯湯タンク	ST-1/2 貯湯タンク STV-1500 1500l		2
57	給湯用膨張タンク	密閉式膨張タンク EX-300VS 300l		1
58	厨房機器	多種		一式
59	衛生器具	洋風大便器 C550RU TV750WR TS116W他		589
60	配管ユニット	バンネA型 640×240×150 上水／給湯／ガス／排水		1
61	薬液回収タンク	ダイライトタンク SP 0.5m3 現像液／定着液		2
62	スプリンクラー設備	加圧送水装置	GQH-FB72(1,217ヶ)	1
		起動装置	GQH-FB96(8ヶ)	1
		閉鎖型スプリンクラーヘッド	139℃（3ヶ）	1,228
63	スプリンクラー設備器具	操作盤		1
		流水検知装置 湿式 K50/60併用 自動警報弁型80		5
		圧力スイッチ GPS-EA10T		5
		表示板（自火報受信機）		1
		呼水装置		1
		建設省型補助散水栓格納箱 T49N-103A-HPB		34
		埋込型送水口 N-EKSW1N-C		1
64	医療ガス機器	医療ガス情報監視システムARGUS 医療ガス供給装置MLh型		1
		ガス供給装置 気体用供給装置 予備マニホールド M-LGR（大容量タイプ）		1
		医療ガス情報監視システムARGUS 医療ガス供給装置MMAh/MANh型		1
		日立オイルフリーベビコン 3.7kw		2
		SMC空冷式アフタークーラー HAA7		2
		空気供給装置用タンク500l		1
		医療用空気供給装置メディカルピュアパック PURE550Di		1
		吸引供給装置メディラインパック600l 2.2kw		2
		吸引供給装置メディラインパック600l 2.2kw 除菌フィルター		2
		医療ガス情報監視システムARGUS 予備センサーユニット		1
		医療ガス情報監視システムARGUS 空気センサーユニット		1
		医療ガス情報監視システムARGUS 吸引センサーユニット		1
		医療ガス情報監視システムARGUS センサー内蔵型 非治療用空気減圧装置		1
		医療ガス情報監視システムARGUS 中央監視モニター		1
		医療ガス情報監視システムARGUS エリアモニター ARM-12（8チャンネル）		1
		センチュリアタイプアウトレット NSVタイプ		208
		リール式アウトレット		17
		窒素圧力調整装置		3
		シャットオブバルブ 緊急導入口付表示区域タイプ 埋込型		18

		余剰ガス回収システム イジェクタータイプ		9
65	PH処理装置	原水ポンプ 40TM2.25-51 0.25kw		2
		着脱装置 TOK-3P(VANCS)		1
		位置検出用スナップフロート(レベルスイッチ) RF-5		13
		PH処理装置 SPC0827		1
		PH処理装置制御盤		1
66	グリーストラップ	微細目スクリーン KE-200S-5 41m3/H		1
		微細目自動スクリーン制御盤 屋外自立型		1
67	浄化槽	調整撹拌ブロアー BSS40		1
		ばっ気ブロアー BE80E		2

6. 主要医療機器

所属	医療機械器具名	製造会社名	規格	数量
薬剤部	自動注射薬払出装置	TOSHO	NDS-4000C	1式
	全自動散薬分包機	TOSHO	ｉO-9090EX4	1式
	全自動錠剤分包機	TOSHO	Xana－2720EU	1式
	調剤システム	TOSHO	Pervasive PSQL V10 外	1式
病棟	カラードプラー超音波診断装置	HEWLETT-PACKARD	SONOS-5500	1式
	生体情報モニター	日本光電工業	CNS-9601外	1式
	ポータブル超音波診断装置	GEヘルスケア・ジャパン	LOGIQ-BOOK	1台
	ポータブル超音波診断装置	GEヘルスケア・ジャパン	NANO-MAX	1台
	ベットパンウォッシャー	アトムメディカル	731	10式
	ECGモニター(HCU増設分を除く)	日本光電工業	PU-611R外	1式
	産科カルテシステム	アトムメディカル	f　ｶﾙﾃｯﾄ	1式
	胎児監視システム	アトムメディカル	FSV ｾﾝﾄﾗﾙﾓﾆﾀ　外	1式
	経皮的心肺補助システム	テルモ	HCS-CFP	1式
	超音波診断装置	東芝ﾒﾃﾞｨｶﾙｼｽﾃﾑｽﾞ	Aplio 400 Platinum TUS-A400/AJ	1式
	セントラルモニタ	日本光電工業	PU-611R他	1式
	ﾊﾞｲﾀﾙｻｲﾝﾃﾚﾒｰﾀ	日本光電工業	GZ-130P	1式
	黄疸計	コニカミノルタジャパン㈱	JM-105	1式
	感染防止ｸﾘｰﾝﾍﾞｯﾄﾞ	日本医化器械	NB-1200S	2式
	超音波画像診断装置 Aplio a Verifia	キャノンメディカルシステムズ	CUS-AA000/J4	1式
	超音波画像診断装置 Affiniti70	PHILIPS	Affiniti70	1式
HCU	セントラルモニタ	日本光電工業	ORG一2100　外	1式
	セントラルステーション	GEヘルスケア・ジャパン	Ｂ650　外	1式
	超音波診断装置	GEヘルスケア・ジャパン	Vscan　Extend　R2	1式
	集中治療室ビームシステム	美和医療電機	IS500 特注　外	1式
人工透析室	多人数用透析液供給装置	日機装	DAB-40NX	1式
	逆浸透精製水製造システム	日機装	DRO-NX132H	1式
	透析用監視装置	日機装	DCS-27	3式
	多用途透析用監視装置	日機装	DCG-03	3式
	多用途透析用監視装置	日機装	DCS-100NX-EC 外	16式
	多用途透析用監視装置	日機装	DCS-200Si	3式
	個人用多用途透析装置	日機装	DBG-03	1式
	個人用多用途透析装置	日機装	DBB-100NX-EC 外	5式
	透析通信システム	日機装	FN-WEB　外	1式
	超音波画像診断装置	富士フィルム	FC1-X	1式
	全自動溶解装置	日機装	DAD-50NX	1式
中央手術室	手術用内視鏡ビデオシステム	オリンパスメディカルサイエンス	OTV-S190外	2式
	手術用顕微鏡	カールツァイス	OPMI PENTERO 900	1式
	神経内視鏡セット	カールストルツ	HOPKINSⅡ	1式
	手術用双眼顕微鏡	カールツァイス	6S-DFK-XY 他	2式
	3D内視鏡手術システム	オリンパスメディカルサイエンス	3DV-190外	1式
	手術用顕微鏡システム	オリンパスメディカルサイエンス	VISERA　ELITEｼｽﾃﾑ	2式
	麻酔モニタリングシステム	GEヘルスケア・ジャパン	CSRESCAPE　B650/Unity　iCentral	1式
	急性期患者情報システム	フクダ電子	CVW-5000 外	1式
	手術室映像統合管理システム	セントラルユニ	summit X480-48X	1式
	麻酔器	GEヘルスケア・ジャパン	Carestation 650	4式

所属	医療機械器具名	製造会社名	規格	数量
	電動油圧手術台	ミズホ	MOT-5701	3式
	無影灯	山田医療照明	IXM CJﾘﾌﾞﾗ CJ16-TV55 外	6式
	眼科手術顕微鏡	ライカ	Provo 8	1式
	手術顕微鏡	カールツァイス	OPMVARIO700	1式
	超音波診断装置	富士フィルムメディカル	SONOSITE PX	1式
	電気手術器	コヴィディエンジャパン	FT10パック 外	2式
	ﾚｰｻﾞｰ砕石装置	ドルニエ	ドルニエ Medilas H SOLVO 35	1式
	ﾏﾘｽ ﾊﾞｲﾎﾟｰﾗ 凝固切開装置	日本ストライカー	ﾏﾘｽ ﾊﾞｲﾎﾟｰﾗ ｼﾞｪﾈﾚｰﾀ/ｲﾘﾘｹﾞｰﾀ ｼｽﾃﾑ	1式
	眼科用手術台メプロ4	タカラベルモント㈱	DR-140-ES7	1式
中央滅菌室	過酸化水素ガス滅菌装置	サクラ精機	V-PRO max	1式
	高圧蒸気滅菌装置 外	サクラ精機	VSCR-G45NR外	1式
	ジェット式超音波洗浄装置	サクラ精機	WUSⅡ-4100DX	1式
	ハイブリッド滅菌装置	ゲディンゲ・ジャパン	HS6613TERILTSF-SR	1式
臨床工学室	人工呼吸器	HAMILTON	Ｃ1	9台
	人工呼吸器（小児用）	東機貿	SLE5000	1台
	陽圧式人工呼吸器	フィリップス	V60ﾍﾞﾝﾁﾚｰﾀｰ	3台
	NPPV 人工呼吸器	日本光電工業	NKV－330	1式
	除細動器 デフィブリレータ	日本光電工業	TEC-5631	3台
	救急・搬送用人工呼吸器	ドレーゲル	ｵｷｼﾛｸﾞ3000	2台
	院内搬送用人工呼吸器ﾍﾞﾝﾄｳｪｲ	ﾌｸﾀﾞ電子株式会社		1式
	医用ﾃﾚﾒｰﾀ	日本光電工業株式会社		1式
	ﾍﾞｯﾄﾞｻｲﾄﾞﾓﾆﾀｰ	日本光電工業株式会社	PVM-4761-Q20 外	5式
	生体情報ﾓﾆﾀｰ	日本光電工業株式会社	ZS-630P 外	5式
放射線室	血管造影撮影装置	キャノンメディカルシステムズ	INFX-8000V	1式
	血管造影Ｘ線診断装置	フィリップス	AlluraXperFD20/20	1式
	ＤＲ式汎用Ｘ線透視診断装置	島津	SONIALVISON G4	1式
	ＳＰＥＣＴ-ＣＴ装置	シーメンスヘルスケア	Symbia Intevo16	1式
	磁気共鳴断層撮影装置	GEヘルスケア・ジャパン	SIGNA Explore 1.5T	1式
	デジタルX線画像診断システム	コニカミノルタジャパン㈱	1417Q外	1式
	FPDフラットパネルAeroDR	コニカミノルタジャパン㈱	AeroDR1717HQ2 外	1式
	Ｘ線撮影装置	日立	Radnext50 DHF-155H4	1式
	Ｘ線TV装置	日立	EXAVISTA TU-8500H	1式
	医用放射線画像管理情報システム（PACS）	コニカミノルタジャパン㈱	FINO,View,Pro	1式
	放射線治療情報管理システム/Ｒｔｉｓ	インフォコム	iRad-RT	1式
	医療情報統合システム	コニカミノルタジャパン㈱	NEOVISTA I-PACS CS	1式
	ＰＥＴ-ＣＴ装置	シーメンスヘルスケア	Biograph Horizon	1式
	マルチスライスＣＴスキャナ	GEヘルスケア・ジャパン	Revolution GSI FREEdom	1式
	全身用Ｘ線ＣＴ診断装置	GEヘルスケア・ジャパン	Optima CT580W	1式
	放射線治療システム	ﾊﾞﾘｱﾝ	CLINAC iX	1式
	回診車Ｘ線撮影装置	ケンコー	Certas MX-700	1式
	放射線ﾚﾎﾟｰﾄ（ｖ9）ｼｽﾃﾑ	インフォコム	REPORT（iRedV9）	1式
	大動脈バルーンパンピング	泉工医科	Corart BP－21T	2台
放射線室	核磁気共鳴断層撮影装置	フィリップス	Ingenia 3.0T	1台
	全身用コンピュータ断層撮影装置	GEヘルスケア・ジャパン	Revolution Apex Core	1式
	Ｘ線透視診断撮影装置	日立メディコ	TU-3000DR	2式
	乳房用Ｘ線診断装置	日立メディコ	Slemia Dimensions 3D	1式

所属	医療機械器具名	製造会社名	規格	数量
	一般撮影画像処理装置	コニカミノルタジャパン㈱	無線型ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙAeroDRｼｽﾃﾑ	2式
	Ｘ線骨密度測定装置	GEヘルスケア・ジャパン	PLODIGY　primo	1式
	歯科用撮影装置	モリタ	Veraviewepocs3DfamxiX Type2	1式
結　石破砕室	体外衝撃波結石破砕装置	ドルニエ	DeltaⅡ	1式
検査室	検査システム（自動分析装置、臨床検査システム）	富士通	LAINS-X	1式
	全自動細菌検査システム	ベックマンコールター	Walkawav96plas DXM1096	1式
	生化学自動分析装置	日立ハイテクノロジーズ	LABOSPECT006	1式
	便潜血自動分析装置	アルフレッサファーマ	ﾍﾓﾃｸﾄNS-Prime	1式
	感染症検査業務支援システム	ﾍﾞｯｸﾏﾝ・ｺｰﾙﾀｰ㈱	SMILE　STB	1式
	生理検査システム	日本光電工業	PrimeVitaPlus	1式
	自動染色装置	サクラファインテック	ﾃｨｯｼｭﾃｯｸﾌﾟﾗｽﾞﾏﾌﾟﾗｽ	1式
	β-Dｸﾞﾙｶﾝ測定装置 ESｱﾅﾗｲｻﾞｰ	日水製薬	59570	1式
	血液培養装置　バーサトレック96	ベックマンコールター	B98689	1式
	全自動遺伝子解析検査装置	ﾐｽﾞﾎﾒﾃﾞｨｰ	Smart　Gene　85000	1式
	ﾎﾙﾏﾘﾝ脱気固定装置	東屋	THW-100型2段	1式
	超音波診断装置　EPIQ　Elite	PHILIPS	795200	1式
検査室	採血管準備システム	Techno Medica	BC-ROBO 585	1台
	多項目自動血球分析装置	シスメックス	XN-2000	1台
	生化学自動分析装置	日立ハイテクノロジー	LABOSPECT008	1式
	呼吸機能検査装置	チェスト	CHESTAC-8900D	1式
	超音波診断装置	GEヘルスケア・ジャパン	Vivid　S70N　UltraEdition	1台
	超音波診断装置	フィリップス	EPIQ Elite	1式
内視鏡センター	内視鏡用超音波観測装置	オリンパスメディカルサイエンス	EU-ME2　PREMIER　PLUS	1式
	上部消化管ビデオスコープ	オリンパスメディカルサイエンス	GIF-XP260NS　外	3式
	大腸ビデオスコープ	オリンパスメディカルサイエンス	PCF-Q260AZI　外	2式
	消化管内視鏡システム	オリンパスメディカルサイエンス	CV-290　外	2式
	先端湾曲ビデオスコープ	オリンパスメディカルサイエンス	LTF-S190-5	4式
	超音波気管支ファイバービデオスコープ	オリンパスメディカルサイエンス	BF-UC290F 外	3式
	内視鏡システム	オリンパスメディカルサイエンス	CV-290　外	1式
	高周波焼灼電源装置	オリンパスメディカルサイエンス	ESG-300　外	1式
救急センター	8人用医用テレメーター	日本光電工業	WEP-4208	1式
	超音波診断装置	GEヘルスケアジャパン	Venue Go R3	1式
産婦人科	超音波診断装置	GEヘルスケア・ジャパン	Voluson　S6	1台
	超音波診断装置	コニカミノルタジャパン㈱	Aprio I 700 Prism　Edition	1式
	超音波診断装置	コニカミノルタジャパン㈱	SONOVISTA GX30	1式
	検診台　メグジョイナチュラル回転タイプ	アトムメディカル	1147676(ﾜｻﾋﾞｸﾞﾘｰﾝ)　(ﾊﾟｰﾙﾋﾟﾝｸ)	2式
内科	超音波診断装置	日立アロカメディカル	F37	1台
外科	超音波診断装置	コニカミノルタジャパン㈱	SONIMAGE　HS1	1台
整形外科	超音波診断装置	GEヘルスケア・ジャパン	LOGIQe	1台
耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科内視鏡システム	オリンパスメディカルサイエンス	ENF-Ｖ3	1式
眼科	光干渉断層計（ＯＣＴ）	ニデック	RS-3000Advance	1式
	眼底カメラ	興和	VX-20	1式
	眼科ファイリングシステム	ピーエスシー	ｸﾗｲｵ	1式

所属	医療機械器具名	製造会社名	規格	数量
歯科口腔外科	口腔外科用診察台ユニット	モリタ	ｼｸﾞ/G50 ｾﾚｸｼｮﾝ外	1式
	口腔外科用レントゲン機器外	モリタ　外	ﾍﾞﾗﾋﾞｭｰｴﾎﾟｯｸｽ3DFｱﾙﾌｧP外	1式
	エラン４エレクトロ	ﾋﾞｰ･ﾌﾞﾗｳﾝｴｰｽｸﾗｯﾌﾟ	オシレーティングソー　GA833　外	1式
	電動式外科用ドリル（ﾏｰｸｸﾗｯﾌﾟ　ﾊﾟﾜｰｼｽﾃﾑ）	ﾋﾞｰ･ﾌﾞﾗｳﾝｴｰｽｸﾗｯﾌﾟ	ELAN4 electro	1式
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科	超音波診断装置	ｺﾆｶﾐﾉﾙﾀｼﾞｬﾊﾟﾝ	SONIMAGE　SNiBLE　yb Premium	1式
健診管理センター	乳房用Ｘ線撮影装置	日立製作所	Slemia　Dimensions　2D	1式
	一般Ｘ線撮影装置	日立製作所	Radnext50	1式
	デジタル無散瞳眼底カメラ	トプコン	TRC－NW300	1式
	超音波診断装置	日立製作所	ARIETTA　60	1式
	Ｘ線透視撮影装置	日立製作所	DIAVISTA	1式
	骨密度想定装置	日立製作所	DCS-600EXV	1式
	マンモグラフィ画像保管システム	コニカミノルタジャパン㈱	Plissimo MG	1式

7. 令和5年度主な導入医療機器

所属	医療機械器具名	製造会社	規格	数量
薬剤部	全自動錠剤分包機	トーショー	Xana－2720EU	1式
臨床工学室	NPPV　人工呼吸器	日本光電工業㈱	NKV-330	1式
臨床工学室（HCU）	無線式セントラルユニット（8床）	日本光電工業㈱	ORG－2100　外	1式
麻酔科	超音波診断装置　SONOSITE　PX	富士フィルムメディカル	SONOSITE　PX	1式
整形外科外来	超音波診断装置　Venue　Fit　R4	GEヘルスケアジャパン	Venue　Fit　R4	1式
CT室　外来棟	全身用X線CT診断装置	GEヘルスケアジャパン	Revolution　Apex　Core	1式
臨床工学室	体外式ﾍﾟｰｽﾒｰｶｰ測定器	広和計装株式会社	PMM－101	1式
南6階	輸液・血液加温器	株式会社 八光	AQUVAS1　29050070	1式
看護部	乗せ換え装置付きｽﾄﾚｯﾁｬｰ	株式会社 いうら	HS-260	1式
看護部	救急ワゴン	ナビス	SK-27RI	5式
外科外来	診察台	ﾀｶﾗﾍﾞﾙﾓﾝﾄ	EX-CS2N	1式
産婦人科外来	超音波診断装置	ｺﾆｶﾐﾉﾙﾀｼﾞｬﾊﾟﾝ（キャノン）	Aprio I 700 Prism Edition	1式

８．医療法に関する許可承認事項

（１）施設基準一覧表

令和6年3月31日現在

区分	施設基準名	受理番号	算定開始年月日
基本診療料	歯科点数表の初診料の注1に規定する施設基準	（歯初診）第97号	平成30年6月1日
	歯科外来診療環境体制加算1	（外来環1）第345号	平成30年6月1日
	急性期一般入院料1	（一般入院）第180号	平成30年9月1日
	救急医療管理加算	（救急医療）第34号	令和2年4月1日
	超急性期脳卒中加算	（超急性期）第17号	平成29年11月1日
	診療録管理体制加算2	（診療録2）第90号	平成29年11月1日
	医師事務作業補助体制加算1（30対1）	（事補2）第59号	令和5年9月1日
	急性期看護補助体制加算（25対1）看護補助者5割未満	（急性看補）第62号	令和6年1月1日
	急性期看護補助体制加算（夜間100対1）	（急性看補）第62号	令和5年5月1日
	看護職員夜間配置加算（16対1配置加算1）	（看夜配）第24号	令和元年9月1日
	療養環境加算	（療）第113号	平成29年11月1日
	重症者等療養環境特別加算	（重）第75号	平成29年11月1日
	無菌治療室管理加算1	（無菌1）第10号	平成29年11月1日
	無菌治療室管理加算2	（無菌2）第9号	平成29年11月1日
	栄養サポートチーム加算	（栄養チ）第40号	平成29年11月1日
	医療安全対策加算1（医療安全対策地域連携加算を含む）	（医療安全1）第78号	平成30年4月1日
	感染防止対策加算1（感染防止対策地域連携加算、抗菌薬適正使用加算を含む）	（感染防止1）第25号	平成30年7月1日
	患者サポート体制充実加算	（患サポ）第66号	平成29年11月1日
	ハイリスク妊娠管理加算	（ハイ妊娠）第39号	平成29年11月1日
	ハイリスク分娩管理加算	（ハイ分娩）第29号	平成29年11月1日
	呼吸ケアチーム加算	（呼吸チ）第13号	令和4年4月1日
	総合評価加算	（総合評価）第49号	平成29年11月1日
	後発医薬品使用体制加算1	（後発使1）第34号	平成30年4月1日
	病棟薬剤業務実施加算1	（病棟薬1）第35号	平成29年11月1日
	データ提出加算2	（データ提）第75号	平成29年11月1日
	入退院支援加算1（地域連携診療計画加算、入院時支援加算含む）	（入退支）第83号	平成30年4月1日
	認知症ケア加算2	（認ケア）第105号	令和2年4月1日
	せん妄ハイリスク患者ケア加算	（せん妄ケア）第35号	令和2年6月1日
	地域医療体制確保加算	（地医確保）第9号	令和2年4月1日
	小児入院医療管理料4	（小入4）第25号	令和2年6月1日
	回復期リハビリテーション病棟入院料1	（回1）第8号	平成30年6月1日
	地域包括ケア病棟入院料2	（地包ケア2）第43号	平成29年11月1日
	入院時食事療養費（Ⅰ）	（食）第238号	平成29年11月1日
特掲診療料	歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	（医管）第297号	平成30年4月1日
	外来栄養食事指導料	（外栄食指）第1号	令和2年4月1日
	心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	（遠隔ペ）第30号	令和3年11月1日
	糖尿病合併症管理料	（糖管）第37号	平成29年11月1日
	がん性疼痛緩和指導管理料	（がん疼）第99号	平成29年11月1日
	がん患者指導管理料イ	（がん指イ）第22号	平成29年11月1日
	がん患者指導管理料ロ	（がん指ロ）第23号	平成29年11月1日
	がん患者指導管理料ハ	（がん指ハ）第17号	平成29年11月1日
	がん患者指導管理料ニ	（がん指ニ）第3号	令和2年4月1日
	糖尿病透析予防指導管理料	（糖防管）第20号	平成29年11月1日
	高度腎機能障害患者指導加算注5	（糖防菅）第20号	令和4年4月1日
	小児運動器疾患指導管理料	（小運指管）第12号	令和2年4月1日
	乳腺重症化予防ケア・指導料	（乳腺ケア）第12号	平成30年5月1日
	腎代替療法指導管理料	（腎代替管）第4号	令和2年7月1日
	二次性骨折予防継続管理料1	（二骨菅1）第1号	令和4年4月1日
	二次性骨折予防継続管理料3	（二骨継3）第2号	令和4年4月1日
	小児科外来診療料	（小外診）第255号	令和2年4月1日
	夜間休日救急搬送医学管理料の注3に規定する救急搬送看護体制加算1	（救搬看体）第24号	令和2年4月1日
	外来放射線照射診療料	（放射診）第10号	平成29年11月1日
	外来腫瘍化学療法診療料1	（外化診1）第6号	令和4年4月1日
	開放型病院共同指導料	（開）第16号	平成29年11月1日
	がん治療連携計画策定料	（がん計）第22号	平成29年11月1日
	薬剤管理指導料	（薬）第151号	平成29年11月1日
	医療機器安全管理料１	（機安1）第59号	平成29年11月1日
	医療機器安全管理料２	（機安2）第14号	平成29年11月1日
	医療機器安全管理料（歯科）	（機安歯）第5号	平成30年4月1日
	在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注２	（在看）第14号	令和2年4月1日
	持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	（持血測）第25号	令和元年5月1日
	持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合）	（持血測2）第7号	令和2年5月1日
	遺伝学的検査	（遺伝検）第6号	平成29年11月1日
	骨髄微小残存病変量測定	（骨残測）第1号	平成30年4月1日
	BRCA1/2遺伝子検査	（BRCA）第3号	令和2年4月1日
	先天性代謝異常症検査	（先代異）第9号	令和3年11月1日
	HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）	（HPV）第95号	平成29年11月1日
	検体検査管理加算（Ⅰ）	（検Ⅰ）第109号	平成29年11月1日
	検体検査管理加算（Ⅳ）	（検Ⅳ）第20号	平成29年11月1日
	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	（歩行）第29号	平成29年11月1日
	長期継続頭蓋内脳波検査	（長）第7号	平成29年11月1日
	神経学的検査	（神経）第45号	平成29年11月1日
	小児食物アレルギー負荷検査	（小検）第24号	平成29年11月1日

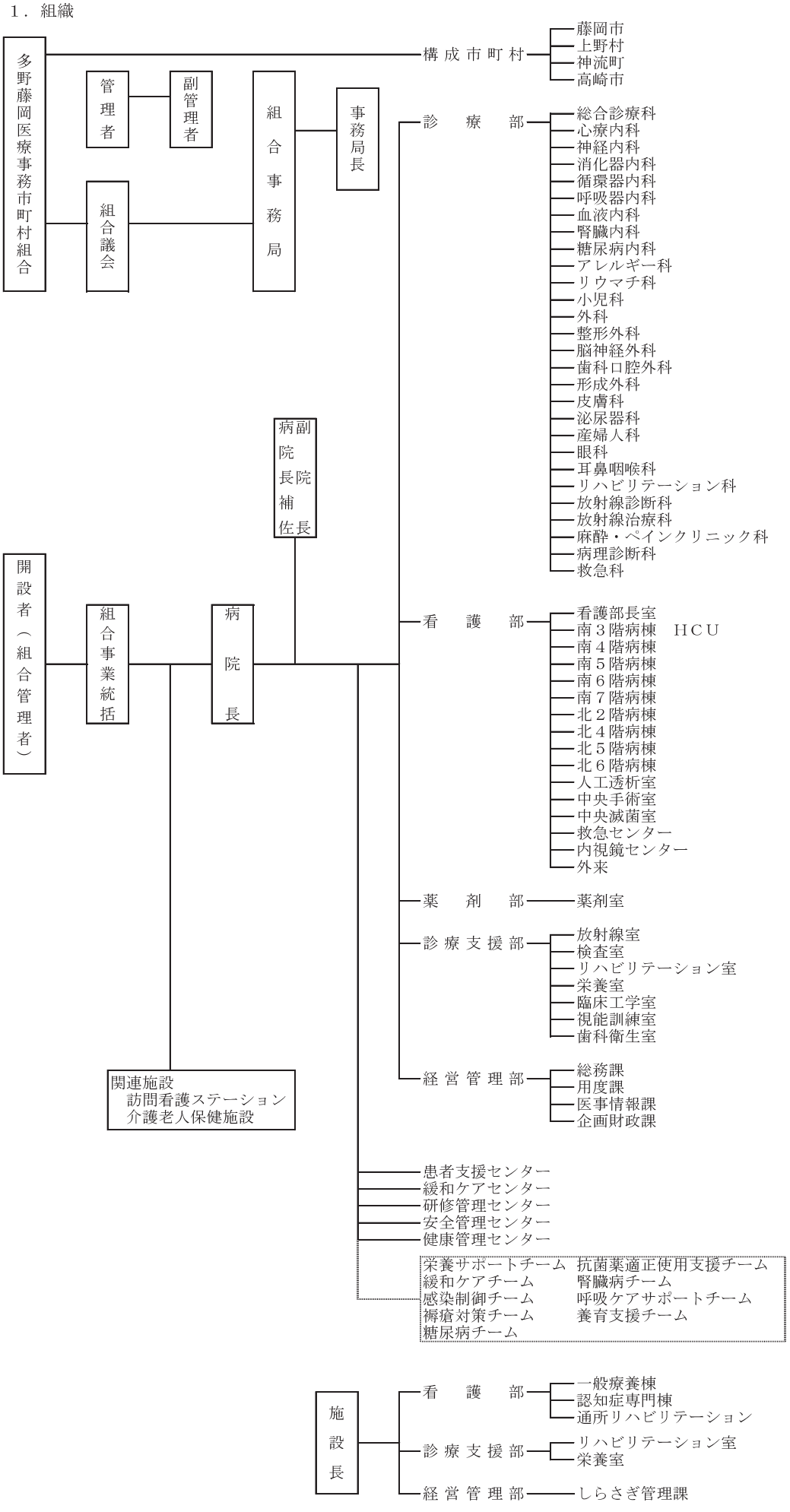
区分	施設基準名	受理番号	算定開始年月日
	ポジトロン断層･コンピューター断層複合撮影	(ポ断コ複)第11号	平成29年11月1日
	CT撮影及びMRI撮影	(C・M) 第341号	平成29年11月1日
	外来化学療法加算1	(外化1)第70号	平成29年11月1日
	連携充実加算	(外化連)第1号	令和2年10月1日
	無菌製剤処理料	(菌) 第77号	平成29年11月1日
	心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）（初期加算を含む）	(心Ⅰ) 第19号	平成29年11月1日
	脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）（初期加算を含む）	(脳Ⅰ) 第78号	平成29年11月1日
	運動器リハビリテーション料（Ⅰ）（初期加算を含む）	(運Ⅰ) 第104号	平成29年11月1日
	呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）（初期加算を含む）	(呼Ⅰ) 第85号	平成29年11月1日
	がん患者リハビリテーション料	(がんリハ) 第39号	平成29年11月1日
	歯科口腔リハビリテーション料2	(歯リハ2) 第127号	平成30年4月1日
	人工腎臓（慢性維持透析を行った場合1）	(人工腎臓) 第59号	平成30年4月1日
	導入期加算2及び腎代替療法実績加算	(導入2) 第11号	令和2年4月1日
	透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	(透析水) 第44号	平成30年4月1日
	下肢末梢動脈疾患指導管理加算	(肢梢) 第38号	平成29年11月1日
	緊急整復固定加算及び緊急挿入加算	(緊整固) 第1号	令和4年4月1日
	手術用顕微鏡加算	(手顕微加) 第34号	平成30年4月1日
	CAD/CAM冠	(歯ＣＡＭ) 第774号	平成30年4月1日
	脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術	(脳刺) 第10号	平成29年11月1日
	脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	(脊刺) 第12号	平成29年11月1日
	乳がんセンチネルリンパ節加算１及びセンチネルリンパ節生検（併用）	(乳セ1) 第22号	平成29年11月1日
	経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）	(経特) 第21号	令和2年4月1日
	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	(ペ) 第68号	平成29年11月1日
	大動脈バルーンパンピング法（IABP法）	(大) 第41号	平成29年11月1日
	体外衝撃波腎・尿管結石破砕術	(腎) 第23号	平成29年11月1日
	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	(腹前) 第10号	平成30年5月1日
	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	(早大腸)第25号	令和5年7月1日
	医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	(胃瘻造) 第73号	平成29年11月1日
	輸血管理料Ⅱ	(輸血Ⅱ) 第52号	平成29年11月1日
特掲診療料	輸血適正使用加算	(輸適) 第47号	平成29年11月1日
	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	(造設前) 第37号	平成29年11月1日
	胃瘻造設時嚥下機能評価加算	(胃瘻造嚥) 第37号	平成29年11月1日
	広範囲顎骨支持型装埋入手術	(人工歯根) 第4号	平成30年8月1日
	歯根端切除手術の注3	(根切顕微) 第31号	平成30年4月1日
	麻酔管理料（Ⅰ）	(麻管Ⅰ) 第78号	平成29年11月1日
	放射線治療専任加算	(放専) 第15号	平成29年11月1日
	外来放射線治療加算	(外放) 第14号	平成29年11月1日
	高エネルギー放射線治療	(高放) 第20号	平成29年11月1日
	1回線量増加加算（全乳房照射）	(増線) 第10号	平成30年4月1日
	画像誘導放射線治療加算（IGRT）	(画誘) 第12号	平成30年9月1日
	体外照射呼吸性移動対策加算	(体対策) 第10号	平成29年11月1日
	定位放射線治療	(直放) 第12号	平成30年4月1日
	クラウン・ブリッジ維持管理料	(補管) 第1371号	平成30年4月1日
	酸素の購入価格に関する届出書	(酸単) 第12511号	平成31年4月1日
保険外併用療養費	入院医療に係る特別の療養環境の提供	(入療養提供) 第852号	令和元年10月1日
	時間外診察	(時間外診察) 第45号	令和元年10月1日
	200床以上の病院の初診	(病院初診) 第70号	令和元年10月1日
	200床以上の病院の再診	(病院再診) 第25号	令和2年6月1日
	入院期間が180日を超える入院	(超過入院) 第339号	令和元年10月1日
	金属床による総義歯の提供	(金属総義歯) 第1275号	令和元年10月1日

（２）許可承認事項（令和5年度分）

許可年月日	許可承認番号	許可及び承認並びに届出事項	許可及び承認者	摘要
令和5年5月1日	関厚発0601第76号	急性期看護補助体制加算（夜間100対1）	関東信越厚生局長	(急性看補)第62号
令和5年7月1日	関厚発0801第72号	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	関東信越厚生局長	(早大腸)第25号
令和5年9月1日	関厚発1002第74号	医師事務作業補助体制加算1（30対1）	関東信越厚生局長	(事補1)第49号
令和6年1月1日	関厚発0201第74号	急性期看護補助体制加算（25対1） 看護補助者5割未満	関東信越厚生局長	(急性看補)第62号

Ⅱ　組織及び職員の現況

１．組織



２．職員数

職員の年度別推移（各年度末）

（単位：人）

部門・職種別		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			職員	会計年度任用職員		職員	会計年度任用職員		職員	会計年度任用職員
診療部	医　師	71	65	6	72	65	7	74	66	8
		71	65	6	72	65	7	74	66	8
薬剤部	薬剤師	23	23		19	19		22	22	
	再任用									
	薬剤助手	3		3	3		3	3		3
		26	23	3	22	19	3	25	22	3
診療支援部	診療放射線技師	21	21		21	21		21	21	
	再任用	2	2		2	2		3	2	1
	臨床検査技師	25	21	4	27	22	5	24	21	3
	再任用									
	理学療法士	31	30	1	31	31		31	31	
	再任用									
	作業療法士	19	18	1	20	19	1	21	20	1
	言語聴覚士	8	8		9	9		10	9	1
	看護師									
	栄養士	6	6		7	6	1	7	6	1
	再任用	2	2		1	1		1	1	
	臨床工学技士	8	8		7	7		7	7	
	再任用				1	1		1	1	
	視能訓練士	3	2	1	3	2	1	3	2	1
	歯科衛生士	4	3	1	3	2	1	4	2	2
		129	121	8	132	123	9	133	123	10
看護部	看護師	340	308	32	338	306	32	343	312	31
	再任用	3	3		4	4		5	5	
	准看護師	3	3		3	3		3	3	
	再任用		1					1	1	
	介護福祉士									
	看護助手	13	3	10	17	3	14	16	3	13
	再任用	1	1							
		360	319	42	362	316	46	368	324	44
経営管理部	事務員	37	30	7	37	29	8	37	29	8
	再任用	2	2		1	1		1	1	
	相談指導員									
	その他労務									
		39	32	7	38	30	8	38	30	8
患者支援センター	看護師	6	5	1	6	5	1	5	5	
	再任用	2	2		2	2		3	3	
	相談指導員	8	8		8	8		9	9	
	再任用									
	事務員	3	3		4	3	1	4	2	2
	再任用		1							
		19	19	1	20	18	2	21	19	2

部門・職種別		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			職員	会計年度任用職員		職員	会計年度任用職員		職員	会計年度任用職員
緩和ケアセンター	看護師	2	2		2	2		3	3	
	相談指導員	1	1		1	1		1	1	
	事務員									
		3	3		3	3		4	4	
研修管理センター	研修医	15		15	15		15	15		15
	看護師									
	事務員	3	2	1	3	2	1	3	2	1
		18	2	16	18	2	16	18	2	16
安全管理センター	看護師	2	2		2	2		2	2	
	事務員	6	6		7	7		6	6	
	再任用	1	1		1	1		1	1	
	その他労務	1		1	1		1	1		1
	再任用									
		10	9	1	11	10	1	10	9	1
健康管理センター	事務員	1	1		1	1		2	2	
		1	1		1	1		2	2	
合計		676	594	84	679	587	92	693	601	92

３．主要役職員名簿

令和6年3月31日

職　名	氏　名	摘　要
管理者	新井　雅博	藤岡市長
副管理者	田村　利男	神流町長
組合事業統括兼病院長	塚田　義人	安全管理ｾﾝﾀｰ長兼内視鏡ｾﾝﾀｰ長
病院長補佐	設楽　芳範	患者支援ｾﾝﾀｰ長
副院長	井上　雅浩	救急ｾﾝﾀｰ長
副院長	渡部　登志雄	
診療部		
総合診療科		
部長	神保　貴宏	
医員	川上　修史	
消化器内科		
部長	山口　泰子	
医員	福田　わかの	
循環器内科		
副院長	井上　雅浩	救急ｾﾝﾀｰ長
統括部長	間渕　由紀夫	
部長	飯島　徹	健康管理ｾﾝﾀｰ長
部長	植田　哲也	
部長	髙松　寛人	
部長	小野　洋平	
医員	西尾　理沙	
呼吸器内科		
統括部長	茂木　充	
医長	髙野　峻一	
医長	梅津　和恵	
医員	黒岩　裕也	
血液内科		
部長	外山　耕太郎	
医長	武井　寿史	
医員	杉﨑　真人	
医員	吉田　源也	
腎臓内科		
組合事業統括兼病院長	塚田　義人	
部長	太田　史絵	
医長	茂木　伸介	
医長	土屋　俊平	
医員	押川　泰士	
医員	小野　長太郎	
糖尿病内科		
部長	中原　理恵子	
小児科		
副院長	渡部　登志雄	患者支援ｾﾝﾀｰ長
部長	小山　晴美	
部長	相馬　洋紀	
外科		
病院長補佐	設楽　芳範	安全管理ｾﾝﾀｰ長兼内視鏡ｾﾝﾀｰ長
部長	中里　健二	
部長	松本　明香	
部長	豊増　嘉高	
医長	原　圭吾	
医長	髙橋　遼	
医長	片山　千佳	
医員	牛久保　陸生	
医員	神田　恒	
整形外科		
部長	中島　大輔	
部長	久保井　卓郎	
医長	坂根　英夫	
医長	齋田　竜太	
医員	横山　尚明	
医員	齋藤　真幹	
脳神経外科		
部長	若林　和樹	
医長	向田　直人	

職　名	氏　名	摘　要
歯科口腔外科		
医長	金井　梢	
医員	丸山　佳恋	
皮膚科		
部長	嶋岡　正利	
泌尿器科		
部長	武井　智幸	
医長	坂本　亮一郎	
医員	高鍬　征大	
産婦人科		
統括部長	遠藤　究	臨床研修統括部長兼研修管理ｾﾝﾀｰ長
部長	阿美　寛人	
医員	中田　成	
リハビリテーション科		
部長	黒崎　みのり	
医長	土肥　清志	
放射線診断科		
部長	神宮　晶子	
医長	小松　嵩和	
放射線治療科		
部長	塩谷　真里子	
麻酔科・ﾍﾟｲﾝｸﾘﾆｯｸ科		
統括部長	牛込　嘉美	中央手術室統括部長兼救急ｾﾝﾀｰ集中治療室担当部長
部長	田口　さゆり	
部長	碓井　正	
部長	金井　真樹	
部長	萩原　竜次	
病理診断科		
部長	吉田　孝友	
臨床研修医		
２年次	井上　俊	
２年次	中島　悠吾	
２年次	黒川　真登	
２年次	横山　響	
２年次	宮下　南	
２年次	清水　湧作	
２年次	新井　萌々花	
２年次	小谷野　拓也	
１年次	田中　千智	
１年次	新井　夏帆	
１年次	宮下　晃汰	
１年次	田中　郁亘	
１年次	松本　栞穂	
１年次	串田　光生	
１年次	大川　真輝	
看護部		
看護部長室		
看護部長	髙田　幸子	
副看護部長	足利　章江	
副看護部長	千木良　直子	
副看護部長	斉藤　康行	
南３階病棟		
看護師長	樋口　美恵子	
副看護師長	高橋　圭	
副看護師長	福田　敦子	
南４階病棟		
看護師長	針谷　ゆかり	
副看護師長	成田　雅子	
副看護師長	吉田　俊介	
南５階病棟		
看護師長	神宮　由香	
副看護師長	根岸　典子	
副看護師長	萩原　香織	

職　名	氏　名	摘　要
南６階病棟		
看護師長	齊田　亜弓	
副看護師長	茂木　裕子	
副看護師長	小林　ゆりえ	
南７階病棟		
看護師長	江原　忍	
副看護師長	町田　かつ江	
北２階病棟		
看護師長	久保　愛	
副看護師長	富山　麻裕子	
北４階病棟		
看護師長	木部　和枝	
副看護師長	原澤　優子	
副看護師長	中村　道子	
北５階病棟		
看護師長	髙木　元美	
副看護師長	萩原　智子	
副看護師長	柳澤　千鶴子	
北６階病棟		
看護師長	南雲　和子	
副看護師長	高橋　久美子	
副看護師長	田村　好美	
人工透析室		
看護師長	武井　浩之	
副看護師長	櫻井　あかり	
中央手術室		
看護師長	宮原　裕三	
副看護師長	児島　厚子	
内視鏡センター		
看護師長	設楽　理枝	
副看護師長	神岡　貴江	
救急センター		
看護師長	設楽　理枝	
副看護師長	本多　里恵子	
外来		
看護師長	飯島　京子	
薬剤部		
薬剤部長	堀口　裕之	
副薬剤部長	久米　隆夫	
薬剤室		
室長	櫻澤　千世	
室長補佐	岩崎　英久	
グループリーダー	増野　貴司	
診療支援部		
診療支援部長	高田　哲也	
放射線室		
室長	萩原　茂紀	
室長補佐	岩村　隆夫	
室長補佐	黒澤　琢磨	
グループリーダー	黒澤　伸司	
グループリーダー	金子　学	
グループリーダー	川﨑　泉	
検査室		
室長	柴崎　洋一	
室長補佐	相馬　千恵子	
グループリーダー	井口　弘美	
グループリーダー	奥田　康子	
グループリーダー	高橋　さゆり	
グループリーダー	飯塚　朋代	
リハビリテーション室		
室長	関根　圭介	副診療支援部長
室長補佐	小林　真	
グループリーダー	松山　励悦	
グループリーダー	福田　大典	
グループリーダー	品田　さゆり	

職　名	氏　名	摘　要
栄養室		
室長補佐	堀越　勝	
臨床工学室		
室長	宇津木　徹	
グループリーダー	吉田　弘	
視能訓練室		
室長補佐	宮本　恵子	
経営管理部		
経営管理部長	新井　滋	
総務課		
課長	塩川　広幸	
課長補佐	秋山　裕子	
課長補佐	中村　悟	
グループリーダー	金澤　祐子	
用度課		
課長	新井　誠十郎	
グループリーダー	鈴木　晃	
グループリーダー	富田　貴英	
医事情報課		
課長	五十嵐　哲二	
グループリーダー	篠崎　清美	
グループリーダー	久保寺　正英	
グループリーダー	山﨑　雄大	
グループリーダー	新井　敬継	
企画財政課		
課長	新井　恵介	
課長補佐	齋藤　功志	
グループリーダー	萩原　和美	
経営戦略室		
参事兼室長	横坂　政彦	
室長補佐	平澤　和興	
患者支援センター		
課長兼事務統括	清宮　きよ江	
副看護師長	青木　裕美	
グループリーダー	青木　雅代	
緩和ケアセンター		
課長兼事務統括	清宮　きよ江	
看護師長	古池　きよみ	
副看護師長	平田　恵美	
副看護師長	森﨑　裕美	
研修管理センター		
事務統括	金澤　祐子	
安全管理センター		
事務統括	塩川　広幸	
看護師長兼 専従リスクマネジャー	高橋　富士美	
課長補佐	黒澤　透	
グループリーダー	大澤　孝一	
グループリーダー	田畑　幸貴	
健康管理センター		
事務統括	五十嵐　哲二	
課長補佐	新井　美春	

４．議会

（１）構成議員

19人（藤岡市11人、上野村1人、神流町1人、高崎市3人、知識経験者3人）

（２）議会開催状況（令和5年度）

令和 5年 7月10日 令和5年第2回多野藤岡医療事務市町村組合議会臨時会

令和 5年10月 2日 行政視察

令和 5年11月16日 令和5年第3回多野藤岡医療事務市町村組合議会定例会

令和 6年 2月14日 令和6年第1回多野藤岡医療事務市町村組合議会定例会

（３）議会議決事項

議案番号	件名	議決年月日
議案第 9号	監査委員の選任について	令和 5年 7月10日
報告第 1号	資金不足比率の報告について	令和 5年11月16日
議案第10号	多野藤岡医療事務市町村組合職員の給与に関する条例の一部改正について	令和 5年11月16日
議案第11号	多野藤岡医療事務市町村組合会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	令和 5年11月16日
議案第12号	多野藤岡医療事務市町村組合職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	令和 5年11月16日
議案第13号	多野藤岡医療事務市町村組合職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	令和 5年11月16日
議案第14号	令和５年度多野藤岡医療事務市町村組合立病院事業会計補正予算（第１号）について	令和 5年11月16日
議案第15号	令和５年度多野藤岡医療事務市町村組合立介護老人保健施設事業会計補正予算（第１号）について	令和 5年11月16日
議案第16号	令和４年度多野藤岡医療事務市町村組合立病院事業会計資本剰余金の処分及び決算認定について	令和 5年11月16日
議案第17号	令和４年度多野藤岡医療事務市町村組合立介護老人保健施設事業会計決算認定について	令和 5年11月16日
議案第 1号	多野藤岡医療事務市町村組合病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	令和 6年 2月14日
議案第 2号	多野藤岡医療事務市町村組合会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	令和 6年 2月14日
議案第 3号	令和５年度多野藤岡医療事務市町村組合立病院事業会計補正予算（第２号）について	令和 6年 2月14日
議案第 4号	令和５年度多野藤岡医療事務市町村組合立介護老人保健施設事業会計補正予算（第２号）について	令和 6年 2月14日
議案第 5号	令和６年度多野藤岡医療事務市町村組合立病院事業会計予算について	令和 6年 2月14日
議案第 6号	令和６年度多野藤岡医療事務市町村組合立介護老人保健施設事業会計予算について	令和 6年 2月14日

Ⅲ　院内会議及び委員会

１．会議

名称	構成員	目的等	開催
幹　部　会　議	病院長、病院長補佐、副院長、施設長、看護部長、副看護部長、薬剤部長、副薬剤部長、診療支援部長、副診療支援部長、放射線室長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、臨床工学室長、経営管理部長、総務課長、企画財政課長、医事情報課長	組合内の管理運営の基本方針・執行、計画に関する審議。 各部門との協議・調整を必要とする事項の審議。 組合の管理運営に重大な影響を与えると認められる事項の審議。	月１回
連絡調整会議	院長、病院長補佐、副院長、施設長、統括部長、部長、看護部長、副看護部長、看護師長、薬剤部長、副薬剤部長、薬剤室長、診療支援部長、副診療支援部長、放射線室長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、臨床工学室長、経営管理部長、経営管理部参事、総務課長、用度課長、医事情報課長、企画財政課長、患者支援事務統括、安全管理事務統括	組合の経営に関する審議。 各部門との協議・調整に関する審議。	月１回
診療科長会議	病院長、病院長補佐、副院長、統括部長、各診療科長	診療部相互の情報交換、診療業務の推進方法及び改善に関する事項を審議。	月１回
看護師長会議	看護部長、副看護部長、看護師長	看護部相互の情報交換、看護業務の推進方法を審議。	月２回
課　長　会　議	経営管理部長、課長	経営管理部の情報交換、経営管理機能の推進及び改善に関する事項を審議。	随時
室　長　会　議	診療支援部長、室長	診療支援部相互の情報交換、診療支援部業務の推進方法及び改善に関する事項を審議。	随時

２．委員会

名称	構成員	目的等	開催
安全衛生委員会	病院長補佐、産業医、施設長、部長、看護部長、副看護部長、看護師、薬剤室、放射線室、検査室長補佐、検査室、臨床工学室、緩和ケアセンター、健康管理センター、医事情報課、総務課長、総務課　計 19 人	職員の健康管理及び衛生管理並びに快適な職場環境について審議する。	月１回
院内感染予防対策委員会	病院長、病院長補佐、副院長、統括部長、部長、看護部長、副看護部長、看護師長、専従リスクマネージャー、看護師、薬剤部長、副薬剤部長、薬剤室、診療支援部長、放射線室長、検査室長、臨床工学室長、検査室、副診療支援部長、栄養室長補佐、視能訓練室長補佐、経営管理部長、総務課長、施設管理センター、安全管理事務統括、研修医、安全管理センター　計 35 人	院内感染に関する組織的対策及び予防に関し協議する。	月１回
栄養管理委員会	病院長補佐、部長、医長、副看護部長、看護師長、副看護師長、看護師、薬剤室長補佐、検査室、委託職員（日清医療食品）栄養室長補佐、栄養室　計 21 人	患者給食の改善向上のため、より適正な事項を協議する。	月１回
医療安全管理委員会	病院長、病院長補佐、副院長、統括部長、部長、医長、看護部長、副看護部長、看護師長、薬剤部長、薬剤室長、診療支援部長、副診療支援部長、放射線室長、検査室長、臨床工学室長、栄養室長補佐、視能訓練室長補佐、経営管理部長、医事情報課長、用度課、研修医、安全管理事務統括、専従リスクマネージャー、安全管理センター　計 29 人	医療事故の防止のための具体的対策の検討及び推進を図る。	月１回
医療事故対策委員会	病院長、病院長補佐、副院長、弁護士、看護部長、経営管理部長、薬剤部長、安全管理事務統括、専従リスクマネージャー、安全管理センター　計 11 人	医療苦情・事故等あった場合、適切かつ速やかに情報を把握し、迅速に対応することを目的とする。	随時

診療情報管理委員会	副院長、部長、医長、副看護部長、看護師長、副看護師長、副薬剤部長、放射線室長補佐、検査室長、総務課長、医事情報課長、研修医、医事情報課　計 21 人	診療録管理等に関し、必要な事項を審議する。	月１回
診療情報開示検討委員会	副院長、部長、副看護部長、総務課長、医事情報課長、医事情報課　計 7 人	診療情報の開示依頼があった場合、その取扱について審議する。	随時
褥瘡対策委員会	部長、看護師長、副看護師長、看護師、薬剤室、栄養室長補佐、リハビリテーション室、用度課、患者支援センター　計 14 人	褥瘡について予防と治癒促進を図り、在院日数の短縮を促す。	月１回
サービス向上委員会	病院長、副院長、統括部長、看護部長、看護師長、薬剤室長、副診療支援部長、放射線室長、臨床工学室長、検査室グループリーダー、栄養室長補佐、視能訓練室長補佐、経営管理部長、医事情報課長、しらさぎ管理課長補佐、専従リスクマネージャー、患者支援事務統括、研修管理事務統括、安全管理センター、委託職員（東朋産業、ソラスト、日清医療）、総務課長、総務課　計 27 人	病院の円滑な業務遂行と患者サービスの改善向上を図る。	月１回
治験審査委員会	副院長、統括部長、部長、副看護部長、看護師長、薬剤部長、検査室長、総務課長、企画財政課長補佐、外部委員（藤岡市職員、養護学校教諭）、副薬剤部長、薬剤室長　計 15 人	治験薬の臨床試験の実施について審査を行う。	月１回
倫理審査委員会	副院長、統括部長、部長、副看護部長、看護師長、薬剤部長、副薬剤部長、薬剤室長、検査室長、企画財政課長補佐、研修医、外部委員（藤岡市職員、養護学校教諭）総務課長、総務課　計 17 人	医療倫理の適正な推進を図ることを目的とする。	随時
薬事委員会	病院長補佐、副院長、統括部長、部長、副看護部長、薬剤部長、用度課長、用度課、薬剤室長、薬剤室長補佐　計 13 人	医薬品の適正な使用管理等に関し、必要な事項を審議する。	随時
輸血療法委員会	病院長補佐、部長、医長、看護師長、副看護師長、看護師、薬剤室長補佐、医事情報課、検査室長、検査室　計 16 人	輸血療法の安全性確保と適正化を図る。	随時
臨床検査業務運営適正化委員会	病院長補佐、副院長、部長、副看護部長、看護師長、臨床工学室長、用度課長補佐、医事情報課、検査室長、検査室長補佐　計 14 人	臨床検査の適正化を図り、制度向上と効率的な業務の遂行を図る。	随時
医療ガス安全管理委員会	統括部長、部長、副看護部長、看護師長、副薬剤部長、診療支援部長、検査室グループリーダー、委託業者（カンサン）、安全管理センター事務統括、安全管理センター　計 12 人	医療ガス整備の安全管理を図り、患者の安全を確保する。	年１回
放射線安全委員会	放射線取扱主任者、部長、診療支援部長、放射線室長、検査室、総務課長、用度課長、専従リスクマネージャー、放射線室長補佐　計 11 人	放射線障害防止について必要な事項を企画審議する。	年１回
防火･防災対策委員会	病院長、防火・防災管理者、病院長補佐、副院長、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、検査室長、副診療支援部長、栄養室長補佐、経営管理部長、総務課長、用度課長、専従リスクマネージャー、安全管理センター　計 16 人	防火管理を徹底し、防災管理を図る。	年３回
中央手術室運営委員会	病院長補佐、統括部長、部長、医長、副看護部長、看護師長、副看護師長、検査室グループリーダー、放射線室長補佐、医事情報課、用度課　計 16 人	各診療科との連絡調整及び手術室の効率的利用について協議し、業務の円滑な運営を図る。	随時
職員採用検討委員会	病院長、病院長補佐、副院長、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、経営管理部長、企画財政課長、総務課長、総務課 計 11 人	効率的な職員の採用を図ることを目的に設置する。	随時

医療機器整備委員会	病院長、病院長補佐、副院長、統括部長、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、経営管理部長、企画財政課長、企画財政課、用度課長、用度課長補佐、用度課　計 13 人	医療機器の調査、審議、機種決定をし、組合内の機器調整を行うことを目的とする。	随時
救急センター運営委員会	副院長、統括部長、部長、医長、副看護部長、看護師長、副看護師長、看護師、薬剤室グループリーダー、放射線室長補佐、検査室グループリーダー、患者支援事務統括、研修医、医事情報課　計 23 人	救急センターの運営管理について審議し、円滑な運営を図る。	月１回
広報委員会	病院長、病院長補佐、統括部長、看護部長、副看護部長、副看護師長、薬剤室長、副診療支援部長、放射線室長補佐、検査室グループリーダー、経営管理部参事、医事情報課長、しらさぎの里介護員、患者支援事務統括、研修管理事務統括、総務課、企画財政課長、企画財政課　計 18 人	院内外に広報活動を進めることを目的とする。	随時
クリニカルパス委員会	部長、医長、副看護部長、看護師長、副看護師長、薬剤室長補佐、検査室グループリーダー、リハビリテーション室、栄養室、医事情報課　計 25 人	入院診療計画書作成を確立し、在院日数の短縮を図る。	月１回
電子化情報委員会	病院長、病院長補佐、副院長、部長、看護部長、副看護部長、看護師長、専従リスクマネージャー、薬剤室長、診療支援部長、副診療支援部長、臨床工学室長、検査室長、栄養室長補佐、経営管理部長、用度課長、医事情報課長、企画財政課長、患者支援事務統括、研修管理事務統括、医事情報課、委託業者（高崎共同センター）　計 28 人	院内の電子化整備と円滑な運用を図る。	随時
図書委員会	統括部長、副看護部長、薬剤室グループリーダー、副診療支援部長、臨床工学室長、検査室、検査室グループリーダー、栄養室長補佐、用度課、企画財政課、しらさぎ管理課、研修管理事務統括、研修管理センター　計 12 人	効率的な図書室の運営（図書購入、情報発信・収集・利用促進等）を行うことを目的とする。	随時
がん診療委員会	病院長補佐、統括部長、部長、看護師長、副看護師長、看護師、薬剤室グループリーダー、検査室長、リハビリテーション室、栄養室グループリーダー、医事情報課長、患者支援センター、緩和ケアセンター、医事情報課　計 30 人	がん診療の向上と患者への支援等、がん登録業務の円滑な運営を行うことを目的とする。	月１回
研修委員会	統括部長、部長、看護部長、副看護部長、看護師長、薬剤室長、副診療支援部長、放射線室長、臨床工学室長、検査室グループリーダー、栄養室長補佐、視能訓練室長補佐、経営管理部長、総務課長、しらさぎ管理課補佐、委託職員（東朋産業、ソラスト）、研修管理事務統括、研修管理センター 計 20 人	病院の職員研修及び病院外研修について、的確かつ円滑に行うことを目的とする。	年４回
職員提案委員会	病院長、病院長補佐、副院長、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、経営管理部長、企画財政課長、総務課長、総務課 計 11 人	組合の円滑な運営を図るとともに、業務の改善について適切な提案をし、もって医療サービスの推進及び業務の能率的、効率的向上を図ることを目的とする。	随時
ＩＣＬＳ委員会	副院長、部長、副看護部長、看護師長、副看護師長、看護師、薬剤室、放射線室、検査室、リハビリテーション室、栄養室、臨床工学室、患者支援事務統括、患者支援センター　計 16 人	組合全職員が BLS 及び ICLS を学び実践し、地域への啓蒙活動を行うことを目的とする。	年４回
勤務負担軽減委員会	病院長、病院長補佐、看護部長、副薬剤部長、副診療支援部長、放射線室長、臨床工学室長、検査室長、栄養室長補佐、経営管理部長、医事情報課長、総務課長、研修管理事務統括、研修管理センター　計 14 人	安心・安全な医療を提供することを目的に医師への勤務負担について検討する。	随時

透析機器安全管理委員会	部長、看護師長、副看護師長、専従リスクマネージャー、臨床工学室長、臨床工学室グループリーダー、安全管理事務統括、臨床工学室　計 12 人	透析機器の安全管理を図り、患者の安全を確保する。	随時
SPD 委員会	病院長、病院長補佐、副院長、副看護部長、看護師長、副薬剤部長、臨床工学室長、検査室長、経営管理部長、医事情報課長、企画財政課長、用度課長、用度課長補佐、用度課　計 15 人	公立藤岡総合病院・公立藤岡総合病院附属外来センターにおいて使用する診療材料、薬品等の物流、整備、管理について、医療水準の向上、患者サービスのより一層の向上を図るために必要な事項を調査、審議する。	年２回
健康管理センター運営委員会	統括部長、部長、看護部長、看護師長、看護師、放射線室グループリーダー、検査室グループリーダー、栄養室長補佐、経営管理部参事、医事情報課長、企画財政課長、委託職員（ソラスト）、健康管理センター　計 16 人	地域住民及び公立藤岡総合病院における職員の健康推進を図る。	随時
糖尿病治療支援委員会	部長、看護師長、副看護師長、看護師、薬剤室長、薬剤室、検査室長、検査室、リハビリテーション室、栄養室、栄養室、患者支援センター　計 18 人	公立藤岡総合病院及び附属外来センターにおける糖尿病患者の合併症等の予防を図ると共に QOL の向上を促す。	随時
研修管理委員会	病院長、病院長補佐、副院長、施設長、統括部長、部長、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、経営管理部長、企画財政課長、他病院・他施設の研修実施責任者、有識者、研修医、研修管理事務統括、研修管理センター　計 34 人	医師臨床研修制度の基本理念を遵守するとともに、研修内容の充実とその資質の向上を図り、研修プログラムの策定、研修医・指導医の評価及び処遇など、臨床研修病院群との連携の下に新医師臨床研修制度の構築を図る。	随時
TQM 委員会	病院長、病院長補佐、副院長、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、経営管理部長、経営管理部参事、医事情報課長、企画財政課長、企画財政課長補佐、プロジェクトチーム　計 13 人	地域医療の負託にこたえ、医療の質を向上させることを目的とする。	随時
診療報酬委員会	病院長、病院長補佐、副看護部長、経営管理部長、経営管理部参事、企画財政課長、委託職員（ソラスト）、医事情報課長、医事情報課　計 10 人	診療報酬請求の適正な請求をすることを目的とする。	随時
内視鏡センター運営委員会	病院長補佐、統括部長、部長、看護部長、副看護部長、看護師長、副看護師長、放射線室グループリーダー、検査室グループリーダー、医事情報課、用度課長補佐 計 15 人	組合が実施する内視鏡検査・処置の適正かつ効果的な運営を図る。	随時
虐待防止委員会	副院長、専従リスクマネージャー、看護師長、医事情報課長、患者支援事務統括、患者支援センター　計 12 人	虐待への迅速な対応及び組織的な対処を行うことを目的とする。	随時
呼吸ケアサポート委員会	統括部長、医長、副看護師長、看護師、臨床工学室長、臨床工学室、リハビリテーション室、医事情報課 計 10 人	医療従事者の呼吸ケア、呼吸療法、呼吸リハビリ関連の知識、技術の水準を引き上げ、その状態を維持発展させ、安全で効率的な質の高い医療の提供が行えるように啓発、育成し、患者に対する最善の医療の提供につなげることを目的とする。	月１回

Ⅳ　学会及び研修会

名称	開催場所	開催月	出席人数
診療部			
産業医セミナー	前橋市	4月	1人
第109回日本消化器病学会総会	Web参加	4月	1人
第110回日本泌尿器科学会総会	神戸市	4月	1人
第120回日本内科学会講演会	Web参加	4月	12人
第120回日本内科学会講演会	東京都	4月	1人
第123回日本外科学会定期学術集会	Web参加	4月	1人
第123回日本外科学会定期学術集会	東京都	4月	4人
第126回日本小児科学会学術集会	Web参加	4月	1人
第31回日本医学会総会2023東京	前橋市	4月	2人
第31回日本医学会総会2023東京	東京都	4月	1人
第43回関東腹腔鏡下胃切除術研究会	Web参加	4月	1人
第63回日本呼吸器学会学術講演会	Web参加	4月	1人
第63回日本呼吸器学会学術講演会	東京都	4月	3人
第66回日本手外科学会学術集会	東京都	4月	1人
第82回日本医学放射線学会総会	Web参加	4月	2人
第97回日本感染症学会総会・学術講演会	横浜市	4月	1人
日本麻酔科学会e-Learning	Web参加	4月	2人
令和5年度群馬県スポーツドクター協議会総会・研究発表・研修会	前橋市	4月	1人
JCR2023アニュアルコースレクチャー	Web参加	5月	1人
第105回日本消化器内視鏡学会総会	東京都	5月	1人
第43回日本脳神経外科コングレス総会	Web参加	5月	2人
第43回日本脳神経外科コングレス総会	大阪市	5月	1人
第45回院内ICLSコース	藤岡市	5月	1人
第61回日本心血管インターベンション治療学会関東甲信越地方会	東京都	5月	1人
第66回日本手外科学会学術集会	Web参加	5月	1人
第71回日本輸血・細胞治療学会学術総会	千葉市	5月	1人
第75回日本産科婦人科学会学術講演会	Web参加	5月	2人
第82回日本医学放射線学会総会	Web参加	5月	1人
第96回日本整形外科学会学術総会	横浜市	5月	1人
2023年度 日本内科学会生涯教育講演会Bセッション	Web参加	6月	1人
医療機関の放射線業務従事者のための放射性同位元素等規制法講習会	Web参加	6月	1人
群馬県医師会母体保護法指定医師研修会	前橋市	6月	1人
第112回日本病理学会総会	Web参加	6月	1人
第13回豊橋ライブデモンストレーションコース	Web参加	6月	1人
第145回関東連合産科婦人科学会総会・学術集会	Web参加	6月	1人
第28回日本緩和医療学会学術大会	神戸市	6月	1人
第31回日本乳癌学会学術総会	Web参加	6月	1人
第31回日本乳癌学会学術総会	横浜市	6月	1人
第32回日本脳ドック学会総会	Web参加	6月	2人
第45回日本血栓止血学会学術集会	北九州市	6月	1人
第46回日本呼吸器内視鏡学会学術集会・第35回気管支鏡セミナー	Web参加	6月	1人
第46回日本呼吸器内視鏡学会学術集会・第35回気管支鏡セミナー	横浜市	6月	2人
第48回日本超音波検査学会学術集会	大阪市	6月	1人
第49回日本骨折治療学会学術集会	静岡市	6月	1人
第60回日本リハビリテーション医学会学術集会	福岡市	6月	1人
第63回日本リンパ網内系学会学術集会・総会・第26回日本血液病理研究会	Web参加	6月	1人
第63回日本リンパ網内系学会学術集会・総会・第26回日本血液病理研究会	大宮市	6月	1人
第66回日本腎臓病学会学術総会	Web参加	6月	2人
第66回日本腎臓病学会学術総会	横浜市	6月	1人
第68回日本透析医学会学術集会・総会	神戸市	6月	1人
第70回日本麻酔科学会学術集会	Web参加	6月	1人
第70回日本麻酔科学会学術集会	神戸市	6月	3人
第96回日本整形外科学会学術総会	Web参加	6月	2人
2023年度日本内科学会生涯教育講演会Aセッション	Web参加	7月	1人
2023年度日本内科学会生涯教育講演会Cセッション	Web参加	7月	1人
自治体病院協議会関東ブロック会議	宇都宮市	7月	1人

第114回日本皮膚科学会群馬地方会	前橋市	7月	1人
第123回日本外科学会定期学術集会	Web参加	7月	1人
第28回日本緩和医療学会学術大会	Web参加	7月	1人
第29回日本ヘリコバクター学会学術集会	Web参加	7月	1人
第40回日本呼吸器外科学会学術集会	Web参加	7月	1人
第49回日本骨折治療学会学術集会	Web参加	7月	2人
第57回学術集会　日本ペインクリニック学会	佐賀市	7月	1人
第78回日本消化器外科学会総会	函館市	7月	3人
第5回JOHBOC アップデートセミナー	Web参加	8月	1人
第63回臨床呼吸機能講習会	仙台市	8月	1人
国際肩肘関節学会	ローマ	9月	1人
第29回群馬県救急医療懇談会	前橋市	9月	1人
第64回日本人間ドック学会学術大会	高崎市	9月	1人
2023年度第34回専門医認定申請	東京都	10月	1人
第44回関東腹腔鏡下胃切除研究会	Web参加	10月	1人
第48回日本足の外科学会学術集会	大阪市	10月	1人
第59回日本医学放射線学会秋期臨床大会	Web参加	10月	1人
第85回日本血液学会学術集会	Web参加	10月	1人
第85回日本血液学会学術集会	東京都	10月	3人
日本脳神経外科学会第82回学術総会	Web参加	10月	1人
2023年第3回専門医(第63回認定医・専門医)研修会	Web参加	11月	1人
第115回日本皮膚科学会群馬地方会	前橋市	11月	1人
第23回日本クリニカルパス学会学術集会	さいたま市	11月	1人
第26回日本整形外傷セミナー	Web参加	11月	1人
第39回日本脳神経血管内治療学会	京都市	11月	1人
第63回日本核医学会学術総会	Web参加	11月	1人
第68回日本口腔外科学会総会・学術大会	大阪市	11月	2人
第7回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会	宮崎市	11月	1人
第9回Pan-Pacific Primary Angioplasty Conference 2023	東京都	11月	1人
日本血栓止血学会第11回教育セミナー	大阪市	11月	1人
日本消化器関連学会週間	神戸市	11月	1人
日本放射線腫瘍学会第36回学術大会	横浜市	11月	1人
2023年度九州歯科大学歯科医師臨床研修指導歯科医講習会	Web参加	12月	1人
第19回日本乳癌学会関東地方会	大宮市	12月	1人
第270回日本循環器学会関東甲信越地方大会	東京都	12月	1人
第33回日本リウマチ学会関東支部学術集会	横浜市	12月	2人
第36回日本内視鏡外科学会総会	横浜市	12月	1人
第38回日本女性医学学会学術集会	Web参加	12月	1人
第39回日本脳神経血管内治療学会学術集会	Web参加	12月	1人
第51回内科学の展望	Web参加	12月	1人
日本臨床麻酔学会第43回大会	宮崎市	12月	3人
第28回群馬県内視鏡外科研究会	前橋市	1月	1人
第42回日本口腔腫瘍学会総会	札幌市	1月	1人
日本核医学会臨時アミロイドＰＥＴ読影講習会	Web参加	1月	1人
Ao Trauma Course-Advanced Principles of Fracture Management	横浜市	2月	1人
第300回北海道地方会（日本内科学会 講演会・地方会）	Web参加	2月	1人
第31回東海ライブ研究会	Web参加	2月	2人
第693回関東地方会（日本内科学会 講演会・地方会）	Web参加	2月	2人
日本手外科学会2023年度教育研修会	Web参加	2月	1人
日本乳癌学会2023年度乳腺専門医・認定医セミナー	Web参加	2月	1人
福島エチコントレーニング	郡山市	2月	4人
令和5年度産業医研修会	東京都	2月	1人
医療機関の放射線業務従事者のための放射性同位元素等規制法講習会	Web参加	3月	1人
第146回関東連合産科婦人科学会総会・学術集会	Web参加	3月	1人
第20回日本血液学会関東甲信越地方会	東京都	3月	2人
第31回日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医大会	Web参加	3月	1人
第31回日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医大会	名古屋市	3月	1人
第36回日本肘関節学会学術集会	Web参加	3月	1人
第40回ＳＡＨ/スパズム・シンポジウム	Web参加	3月	1人

第46回日本造血・免疫細胞療法学会総会	東京都	3月	1人
第49回日本脳卒中学会学術集会	Web参加	3月	1人
第53回日本脳卒中の外科学会学術集会	Web参加	3月	1人
第64回関東整形災害外科学会	横浜市	3月	1人
第82回東北支部生涯教育講演会	Web参加	3月	1人
第88回日本循環器学会学術集会	Web参加	3月	1人
第91回北陸支部生涯教育講演会	Web参加	3月	1人
第92回ＪＡＢＯ研修会	Web参加	3月	1人
薬剤部			
第97回日本感染症学会・学術講演会第71回日本化学療法学会学術集会　合同学会	Web参加	4月	1人
第38回日本臨床栄養代謝学会学術集会	Web参加	5月	1人
第6回群馬県薬学大会	Web参加	5月	2人
第6回群馬県薬学大会	高崎市	5月	6人
群馬感染対策協議会総会	前橋市	6月	1人
第66回日本腎臓学会学術総会	Web参加	6月	1人
日本病院薬剤師会関東ブロック第53回学術大会	新潟市	8月	8人
日本腎臓病薬物療法学会学術集会	名古屋市	10月	1人
第33回日本医療薬学会年会	Web参加	11月	1人
群馬県感染症対策連絡協議会合同カンファレンス	前橋市	12月	1人
第61回日本糖尿病学会関東甲信越地方会	Web参加	1月	1人
群馬県感染症対策連絡協議会合同カンファレンス	前橋市	2月	1人
第39回日本臨床栄養代謝学会学術集会	Web参加	2月	1人
第88回日本循環器学会学術集会	神戸市	3月	1人
日本臨床腫瘍薬学会学術大会2024	Web参加	3月	3人
日本臨床腫瘍薬学会学術大会2024	神戸市	3月	1人
放射線室			
2023年度Ｘ線ＣＴ認定技師更新ｅ－ｌｅａｒｎｉｎｇ	Web参加	4月	1人
国際医用画像総合展ITEM2023	横浜市	4月	4人
第79回日本放射線技術学会総会学術大会	Web参加	4月	1人
第79回日本放射線技術学会総会学術大会	横浜市	4月	3人
2023年度第1回CTGUMセミナー	Web参加	5月	1人
4th Cyber MRI Basic	Web参加	5月	1人
第16回核医学専門技師研修セミナーe-learning開催セミナー・講習会	Web参加	5月	1人
第49回Ｘ線ＣＴ認定技師講習会	Web参加	5月	1人
医療機関の放射線業務従事者のための放射性同位元素等規制法講習会	Web参加	6月	1人
第11回CV-NET信州 研修会	Web参加	6月	1人
第254回群馬MR研究会	前橋市	6月	1人
第75回デジタルマンモグラフィ品質管理講習会	仙台市	6月	1人
2023年度　関東ＲＴ研究会ミニ講習会	Web参加	7月	1人
2023年度関東RT研究会ミニ講習会	Web参加	7月	1人
Ｔｏｋｙｏマンモグラフィ技術講習会	東京都	7月	1人
第39回日本核医学技術学会関東地方会学術大会	大宮市	7月	1人
第4回群馬県臨床検査技師会群馬県放射線技師会合同勉強会	前橋市	7月	1人
第62回日本消化器がん検診学会総会	Web参加	7月	1人
令和3年厚生労働省告示第273号研修	毛呂山町	7月	1人
第2回核医学精度管理技術セミナー	Web参加	8月	1人
2023年度　日本放射線技術学会　九州支部放射線治療セミナー①	Web参加	9月	1人
５ｔｈ Cyber MRI Basic	Web参加	9月	1人
第155回東京支部セミナー（放射線治療）	Web参加	9月	1人
第36回放射性医薬品取り扱いガイドライン講習会	Web参加	9月	1人
第82回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会	長野市	9月	1人
群馬県がん検診エックス線撮影従事者講習会「乳がん検診に関する講演」	前橋市	10月	1人
第18回Tokyoマンモグラフィ技術講習会	東京都	10月	1人
第60回放射線治療セミナー	Web参加	10月	1人
第8回胃がん検診専門技師研修会	Web参加	10月	1人
群馬Gyro Users Meeting	前橋市	11月	1人
第17回群馬ＧＹＲＯ ＵＳＥＲＳ ＭＥＥＴＩＮＧ	前橋市	11月	1人
第31回群馬ＣＴ研究会	前橋市	11月	2人
第41回群馬ＭＲ医学研究会	前橋市	11月	2人

第63回日本核医学会学術総会・第43回日本核医学技術学会総会学術大会	大阪市	11月	1人
2023年度Ｘ線ＣＴ認定技師更新ｅ－ｌｅａｒｎｉｎｇ	Web参加	12月	1人
医療機関の放射線業務従事者のための放射性同位元素等規制法講習会	Web参加	12月	1人
東京・関東支部合同研究発表大会2023	東京都	12月	1人
第68回Raadiology Update学術講演会	東京都	3月	1人
第9回 ACST meeting	Web参加	3月	1人
検査室			
第72回日本医学検査学会	高崎市	5月	4人
第48回日本超音波検査学会学術集会	Web参加	6月	2人
第48回日本超音波検査学会学術集会	大阪市	6月	1人
令和5年度群馬県感染対策連絡協議会総会	前橋市	6月	1人
タスク・シフト/シェア(放射線技師会との合同研修)	前橋市	7月	1人
群馬県合同輸血療法委員会世話人会	前橋市	9月	2人
第37回関東臨床細胞学会	高崎市	9月	4人
肺高血圧勉強会	前橋市	9月	1人
JACLaS（自動分析器展示の視察）	横浜市	10月	1人
第33回関甲信支部・首都圏支部合同一般検査研修会	越谷市	10月	1人
群馬県合同輸血療法委員会	前橋市	11月	2人
群馬県臨床検査技師会70周年記念式典	高崎市	11月	1人
首都圏支部・関甲信支部医学検査学会（第59回）	横浜市	11月	1人
タスク・シフト/シェア実技研修会	前橋市	12月	1人
一般検査セミナー栄研2023	東京都	12月	1人
日立ラボスペクト006研修会	東京都	12月	1人
輸血研究班12月例会	前橋市	12月	1人
第38回輸血検査基礎実技研修会	前橋市	1月	1人
令和5年度群馬県感染症研修会	前橋市	1月	1人
令和6年群馬臨床細胞学会	高崎市	1月	4人
令和5年度群馬県感染症対策連絡協議会　合同訓練	前橋市	2月	1人
群馬県細胞検査士学術講演会「LBC標本を用いた子宮内膜細胞診」	前橋市	3月	3人
リハビリテーション室			
第60回日本リハビリテーション医学会学術集会	福岡市	6月	1人
第8回日本がんサポーティブケア学会学術集会	奈良市	6月	1人
埼玉環境適応講習会Ａコース	越谷市	7月	1人
第10回STのための嚥下実習講習会	Web参加	7月	1人
第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会	Web参加	7月	1人
第3回腎臓リハビリテーションガイドライン講習会	Web参加	7月	1人
Asia Conference on Kinesiology：ACK2023	Web参加	8月	1人
2023年夏期教育研修講座Aｺｰｽ「失語症状の診かた」	Web参加	9月	1人
2023年夏期教育研修講座Aｺｰｽ「失語症状の診かた」+Bｺｰｽ「高次脳機能障害の診かた」	Web参加	9月	1人
第21回日本神経理学療法学会学術大会	横浜市	9月	2人
第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会	横浜市	9月	1人
第7回日本循環器理学療法学会学術大会	東京都	9月	1人
第9回日本呼吸理学療法学会学術大会	Web参加	9月	4人
第9回日本呼吸理学療法学会学術大会	東京都	9月	1人
日本呼吸・循環器合同理学療法学会学術大会2023	Web参加	9月	1人
病院中堅職員育成研修「医療技術部門管理ｺｰｽ」	東京都	9月	1人
嚥下障害に対する物理療法　認定基礎セミナー	Web参加	9月	1人
失語症講習会inオンライン 2023秋	Web参加	10月	1人
第10回日本予防理学療法学会学術大会	函館市	10月	1人
介護予防推進コース	Web参加	11月	1人
介護予防推進コース 導入研修	Web参加	11月	1人
第26回日本全体構造臨床言語学会学術集会	Web参加	11月	1人
第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会	横浜市	11月	1人
第57回日本作業療法学会	宜野市	11月	2人
リハビリ部門管理職向けマネジメント基礎講座	Web参加	12月	1人
第10回日本地域理学療法学会学術大会	八王子市	12月	2人
第7回日本安全運転医療学会学術集会	千葉市	12月	3人
認定作業療法士取得研修	Web参加	12月	1人
DMAT技能維持研修	東京都	1月	1人

ボバース講習会	高崎市	1月	2人
第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会	さいたま市	1月	2人
第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会	大宮市	1月	1人
第43回群馬脳卒中医療連携の会本会議兼特別公演	前橋市	1月	4人
第60回日本糖尿病学会関東甲信越地方会	Web参加	1月	1人
第5回合同シンポジウム	Web参加	2月	1人
栄養室			
群馬県栄養士会医療事業部総会研修会	前橋市	5月	3人
回復期リハビリテーション病棟協会 第7回管理栄養士スキルアップセミナー	Web参加	6月	1人
第66回日本腎臓学会学術総会	Web参加	7月	1人
2023年度認定臨床栄養医研修会	Web参加	8月	2人
2023年認定臨床栄養医研修会	Web参加	8月	1人
第10回日本糖尿病協会年次学術集会	Web参加	8月	2人
リハ栄養フォーラム2023	Web参加	9月	1人
群馬県栄養士会令和5年度医療事業部研修会	Web参加	10月	1人
2023年度日本病態栄養学会 糖尿病透析予防指導セミナー	Web参加	11月	1人
第37回臨床栄養学術セミナー	Web参加	1月	1人
第27回日本病態栄養学会年次学術集会	Web参加	2月	2人
第58回糖尿病学の進歩	Web参加	2月	2人
令和5年度群馬県栄養士会医療事業部研修会	伊勢崎市	3月	3人
臨床工学室			
第23回　人工呼吸器安全対策セミナー	川口市	1月	1人
第10回JHAT隊員養成研修会	東京都	2月	1人
第47回群馬県透析懇話会	前橋市	2月	3人
第21回群馬県臨床工学技士会学術大会	Web参加	6月	4人
第33回埼玉臨床工学会	さいたま市	6月	2人
第22回血液浄化セミナー	Web参加	7月	1人
第33回日本臨床工学会	広島市	7月	1人
令和5年度透析技術認定士認定更新のための講習会	Web参加	7月	1人
2023年度ＣＰＡＰ療法士資格更新オンライン講座	Web参加	11月	1人
視能訓練室			
新人教育プログラム技術日程「関東甲信越ブロック(両眼視・眼位・眼球運動検査)」	東京都	1月	1人
第79回日本弱視斜視学会総会第48回日本小児眼科学会総会	仙台市	6月	1人
第64回日本視能矯正学会	Web参加	11月	1人
関東甲信越ブロック（視野検査）新人教育プログラム	相模原市	12月	1人
歯科衛生室			
令和5年度　駒込病院周術期口腔ケア実施状況見学会	東京	9月	1人
看護部			
第1回院内コーディネーター研修会(群馬県臓器移植院内コーディネーター)	前橋市	5月	2人
看護補助者推進のための看護管理者研修	前橋市	6月	6人
日本老年看護学会学術集会	横浜市	6月	1人
認定看護管理者教育課程セカンドレベル	前橋市	6月	1人
病棟看護業務研修会	前橋市	6月	1人
令和5年度第1回群馬県合同輸血療法委員会	前橋市	6月	1人
令和5年度訪問看護研修	前橋市	6月	2人
2023年度医療安全管理者養成研修	Web参加	7月	2人
R5実習指導者養成講習会	前橋市	7月	2人
患者のそばで看護に専念できる！「セル看護提供方式」の導入と実践	東京都	7月	5人
群馬県看護協会役員会	前橋	7月	1人
第18回群馬クリニカルパス研究会	Web参加	7月	13人
第18回群馬クリニカルパス研究会	前橋市	7月	4人
第31回群馬県中材業務研究会講演会	前橋市	7月	1人
第3回腎臓リハビリテーションガイドライン講習会	Web参加	7月	2人
認定看護管理者教育課程セカンドレベル	前橋市	7月	1人
訪問看護実習	前橋市	7月	1人
訪問看護研修「入門プログラム」	伊勢崎市	7月	1人
看護職員認知症対応力向上研修	前橋市	8月	10人
特殊性のあるスタッフに対する理解と接し方	前橋市	8月	1人
認定看護管理者教育課程セカンドレベル	前橋市	8月	1人

訪問看護研修「入門プログラム」	前橋市	8月	1人
訪問看護師養成研修ステップ1	前橋市	8月	1人
R5実習指導者養成講習会	前橋市	9月	1人
看護師に必要なコミュニケーションスキルトレーニング	高崎市	9月	1人
看護補助者活用推進のための看護管理者研修	前橋市	9月	2人
第31回糖尿病重症予防（フットケア）研修	Web参加	9月	1人
認定看護管理者教育課程セカンドレベル	下仁田町	9月	1人
認定看護管理者教育課程セカンドレベル	前橋市	9月	1人
認定看護管理者教育課程ファーストレベル	前橋市	9月	3人
訪問看護師養成研修ステップ1	前橋市	9月	1人
令和5年度第2回群馬県合同輸血療法委員会輸血関連看護師会	前橋市	9月	1人
群馬医療福祉大学　卒業生講話	前橋市	10月	1人
新人看護職員実地指導者研修	前橋市	10月	1人
第16回群馬ストーマリハビリテーション講習会	前橋市	10月	2人
第20回群馬県災害医療研修	前橋市	10月	2人
第31回糖尿病重症予防（フットケア）研修	名古屋市	10月	1人
認定看護管理者教育課程セカンドレベル	前橋市	10月	1人
認定看護管理者教育課程ファーストレベル	前橋市	10月	3人
訪問看護師養成研修ステップ1	前橋市	10月	1人
群馬県看護協会藤岡地区支部五師会災害時研修	前橋市	11月	1人
新人看護職員責任者研修	前橋市	11月	1人
第14回群馬県クリティカルケア研究会	前橋市	11月	1人
第26回日本腎不全看護学会	仙台市	11月	1人
第44回日本死の臨床研究会年次大会	松山市	11月	2人
第51回日本救急医学会学術集会	東京都	11月	1人
認定看護管理者教育課程ファーストレベル	前橋市	11月	3人
令和5年度第2回研修会「看護師が生き生きと働き続けられる為に」	前橋市	11月	2人
令和5年度第3回群馬県合同輸血療法委員会輸血関連看護師会	前橋市	11月	1人
医療安全管理者養成研修	前橋市	12月	1人
初めてのプリセプター	前橋市	12月	16人
新人看護職員責任者研修	前橋市	12月	1人
全ての看護師のための看取りケア研修会	高崎市	12月	1人
第33回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会	仙台市	12月	1人
認定看護管理者教育課程ファーストレベル	前橋市	12月	1人
群馬県災害支援ナース養成研修	前橋市	1月	3人
外来における在宅療養支援技術向上のための研修	前橋市	2月	1人
第38回日本がん看護学会学術集会	神戸市	2月	1人
令和5年度腎代替療法研修会	前橋市	2月	1人
令和5年度第4回群馬県合同輸血療法委員会輸血関連看護師会	太田市	2月	1人
全国自治体病院協議会の看護師派遣（市立輪島病院）	輪島市	3月	2人
認定看護管理者教育課程ファーストレベル	前橋市	3月	2人
令和5年度第2回群馬県院内コーディネーター研修会	前橋市	3月	2人
研修管理センター			
第43回日本脳神経外科コングレス総会	大阪市	5月	1人
第45回院内ICLSコース	藤岡市	5月	4人
第66回日本糖尿病学会年次学術集会	鹿児島市	5月	1人
第75回日本産科婦人科学会学術講演会	東京都	5月	1人
第46回院内ICLSコース	藤岡市	6月	3人
第46回日本呼吸器内視鏡学会学術集会	横浜市	6月	2人
第63回日本リンパ網内系学会学術集会・総会・第26回日本血液病理研究会	大宮市	6月	2人
第15回研修医（初期・後期）のための血液学セミナー	大津市	7月	1人
日本周産期・新生児医学会学術集会	名古屋市	7月	1人
臨床研修病院事務・実務担当者講習会	東京都	8月	1人
第29回群馬県救急医療懇談会	前橋市	9月	1人
第85回日本血液学会学術集会	東京都	10月	1人
第88回日本泌尿器科学会東部総会	札幌市	10月	1人
日本脳神経外科学会第82回学術総会	横浜市	10月	1人
日本臨床麻酔学会第43回大会	宮崎市	12月	1人
医師の働き方改革に関する説明会	前橋市	2月	2人

福島エチコントレーニング	郡山市	2月	5人
福島エチコントレーニング	須賀川市	2月	1人
川崎エチコントレーニング	川崎市	3月	1人
安全管理センター			
ICN分科会	前橋市	5月	1人
群馬県感染症対策連絡協議会合同訓練	前橋市	5月	1人
令和5年度群馬県感染症対策連絡協議会総会	前橋市	6月	1人
令和5年度結核担当者研修会	前橋市	8月	1人
第2回群馬県感染対策連絡協議会ＩＣＮ分科会	前橋市	10月	1人
第2回病院看護業務研修会	前橋市	11月	1人
令和5年度第2回研修会「看護師が生き生きと働き続けられる為に」	前橋市	11月	1人
群馬県感染対策連絡協議会 合同訓練	前橋市	2月	1人
自衛消防業務講習	東京都	2月	1人
自衛消防業務新規講習	前橋市	2月	1人
ボイラー取扱業務従事者安全衛生教育能力向上教育講習	前橋市	3月	1人
第5回群馬県感染対策連絡協議会 ICN分科会	前橋市	3月	1人
令和5年度群馬県感染症対策連絡協議会合同カンファレンス	前橋市	3月	1人
緩和ケアセンター			
第28回日本緩和医療学術集会	神戸市	6月	1人
令和5年度群馬県看護協会通常総会	前橋市	6月	1人
群馬県看護協会役員会議	前橋市	10月	1人
患者支援センター			
群馬県児童虐待防止医療ネットワーク事業及び子どもの死亡検証(CPR)体制整備関係医療機関全体会議	前橋市	6月	1人
第43回群馬脳卒中医療連携の会本会議兼特別講演会	前橋市	1月	3人
群馬県児童虐待防止医療ネットワーク事業及び子どもの死亡検証(CDR)体制整備関係医療機関全体会議	前橋市	3月	1人
経営管理部			
自衛消防業務講習	東京都	2月	2人
群馬県内医療機関材料調達関係者打合せ	前橋市	5月	1人
改正定年制度実務研修会	東京都	6月	1人
給与実務研修会	東京都	7月	2人
国際モダンホスピタルショウ2023	東京都	7月	2人
令和5年度全国自治体病院協議会関東ブロック会議	宇都宮	7月	1人
勤務時間・休暇制度実務研修会	東京都	9月	1人
市町村等人事・給与担当課長会議	前橋市	10月	2人
第20回群馬県災害医療研修	前橋市	10月	1人
訪問看護ステーション			
訪問看護師養成研修ステップ1	前橋市	7月	1人
訪問看護師養成研修ステップ1	前橋市	8月	1人
訪問看護師養成研修ステップ1	前橋市	9月	1人
訪問看護師養成研修ステップ1	前橋市	10月	1人

Ⅴ　研究業績

1．論文　（原著・総説・著書等）

【呼吸器内科】

筆頭者名	共著者名	論文名	雑誌名	巻（号）	頁（初頁・終頁）	発行年月
茂木充		新型コロナウイルス感染症（COVID-19）～実臨床と感染予防対策～	群馬県歯科医師会雑誌	27	19・24	2023年

【血液内科】

筆頭者名	共著者名	論文名	雑誌名	巻（号）	頁（初頁・終頁）	発行年月
Kohtaro Toyama	Kohtaro Toyama , Keita Nakayama, Sachie Terasaki, Ikuko Matsumura, Shuhei Kanaya, Hiromasa Iino, Hiroyuki Noguchi, Kenichi Tahara, Takatomo Yoshida, Akio Saito	Real-world efficacy of DA-EPOCH-R/HD-MTX regimen in CD5-positive diffuse large B cell lymphoma: a single-institute analysis	Journal of Clinical and Experimental Hematopathology	63(1)	19-24	2023年3月

【脳神経外科】

筆頭者名	共著者名	論文名	雑誌名	巻（号）	頁（初頁・終頁）	発行年月
Manabu Shirakawa	Kiyofumi Yamada, Hiroko Watase, Baocheng Chu, Yukiko Enomoto, Takao Kojima, Kazuki Wakabayashi, Jie Sun, Dniel Hippe, Marina Ferguson, Niranjan Balu, Shinichi Yoshimura, Thomas S Hatsukami, Chun Yuan	Atherosclerotic carotid plaque characteristics vary with time from ischemic event:A multicenter, prospective magnetic resonance vessel wall imaging registry study.	Journal of the Neurological Science	446	15	2023年
常岡明加	登坂雅彦、山口玲、田中志岳、向田直人、島内寛也、藍原正憲、清水立矢、好本祐平	The Signifivance of the Intercarotid Distances for Transsphenoidal Pituitary Surgery:A Megnetic Resonance Imaging Study	World Neurosurgery	175	e704・e712	2023年
小島丈夫	藍原正憲、内藤功、清水立矢、宮本直子、山口玲、相島薫、佐藤晃之、島内寛也、神徳亮介、若林和樹、好本祐平	Management of Cervical Carotid Artery Stenosis or Occlusion in Tandem Lesion with Acute Ischemic Stroke:Which Is More Appropriate Percutaneous Transluminal Angioplasty or Stent?	World Neurosurgery	175	e208・e217	2023年
淺野鉱史	向田直人、込山和毅、和田元、若林和樹	急性心筋梗塞合併の脳主幹動脈閉塞症に対し、経皮的冠動脈形成術先行で血栓回収療法を施行した1例	脳卒中	46（1）	25・29	2024年

【リハビリテーション室】

筆頭者名	共著者名	論文名	雑誌名	巻（号）	頁（初頁・終頁）	発行年月
清水姫乃	岡﨑秦、御供茜里、中川和昌	成長期バスケットボール選手における成長区分に基づいた身体機能の非対称性と膝前面痛発生の関連	スポーツ理学療法学	2（1）	36・43	2024年3月

２．学会及び研究発表

【循環器内科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
布施智博	髙松寛人、小野洋平、植田哲也、間渕由紀夫、井上雅浩	15年後に急性大動脈解離を来した若年女性急性心筋梗塞の一例 ～当院における特発性冠動脈解離の報告も含めて～	第61回日本心血管インターベンション治療学会 関東甲信越地方会	2023年5月	東京都	口演
田中実穂	高松寛人、相馬千恵子、服部誠也	超音波検査装置と18F FDG-PETにおける心臓サルコイドーシス病変の比較検討	第48回日本超音波検査学会学術集会	2022年6月	大阪府	口演
新井萌々花	高松寛人、西尾理沙、小野洋平、植田哲也、間渕由紀夫、井上雅浩	心室細動に至った若年完全房室ブロックの一例	第29回群馬県救急医療懇談会	2023年9月	群馬県	口演

【呼吸器内科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
竹村仁男	茂木充、高野峻一、池田香菜、吉田佑貴、原健太郎、若松郁生、前野敏孝	オシメルチニブによりうっ血性心不全を来した3症例の検討	第63回日本呼吸器学会学術講演会	2023年4月	東京都	口演
茂木充	高野峻一、竹村仁男、池田香菜、吉田佑貴、原健太郎、若松郁生、前野敏孝	COVID-19肺炎に対するトシリツマブ治療例の臨床的検討：2022年症例の検討	第63回日本呼吸器学会学術講演会	2023年4月	東京都	口演
梅津和恵		患者の内服行動を検知する見守りシステムの開発	第120回日本内科学会総会・講演会	2023年4月	東京都	口演
竹村仁男	吉田佑貴、原健太郎、若松郁生、高野峻一、池田香菜、茂木充	EBUSにて病変を描出できた末梢肺生検における診断率に影響を与える因子の検討	第46回日本呼吸器内視鏡学会学術集会	2023年6月	神奈川県	口演
新井萌々花	高野峻一、吉田佑貴、竹村仁男、池田香菜、茂木充	クライオバイオプシーを使用せずゲノムプロファイル検査を行った症例の検討	第46回日本呼吸器内視鏡学会学術集会	2023年6月	神奈川県	口演
井上俊	高野峻一、新井萌々花、竹村仁男、池田香菜、茂木充	胸膜生検組織の培養によって診断されたT-SPOT陰性の結核性胸膜炎の1例	第46回日本呼吸器内視鏡学会学術集会	2023年6月	神奈川県	口演

【血液内科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
梶田樹矢		単一施設でのびまん性大細胞型B細胞リンパ腫（DLBCL）における 初発時高カルシウム血症の有病率の検討	日本リンパ網内系学会学術集会・総会	2023年6月	埼玉県	口演
外山耕太郎		Two CML patients harboring BCR-ABL exon 7 deletion showed resistance to 2nd-generation TKI	日本血液学会学術総会	2023年10月	東京都	口演
武井寿史		初発DLBCLに対するPola-R-CHP療法後に再燃を繰り返したサイトメガロウイルス抗原血症の1例	日本血液学会・関東甲信越地方会	2024年3月	東京都	口演

【腎臓リウマチ膠原病科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
土屋俊平	小野長太郎，押川泰士、茂木伸介、太田史絵、塚田義人	ロキサデュスタット投与により中枢性甲状腺機能低下症を発症した腹膜透析患者の2例	第53回日本腎臓学会東部学術総会	2023年9月	宮城県	示説

【外科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
片山千佳	遠藤瑞貴、高橋遼、原圭吾、松本明香、加藤寿英、中里健二、設楽芳範、石崎政利	当院における原発性小腸癌症例の臨床的検討	第123回日本外科学会定期学術集会	2023年4月	東京都	示説
神田恒	菊地健太、長谷川真理子、五十嵐昭宏、畑中政博、重田孝信、藤野順子、土岡丘、藤井晶子、佐藤泰樹	受傷から腹痛を認めるまでに時間を要した回腸穿孔の1例	第60回日本小児外科学会学術集会	2023年6月	大阪府	示説
片山千佳	遠藤瑞貴、高橋遼、原圭吾、松本明香、加藤寿英、中里健二、設楽芳範、石崎政利	当院における成人鼠径ヘルニア手術症例の検討	第78回日本消化器外科学会総会	2023年7月	北海道	示説
牛久保陸生	伊部崇史、井田晃頌、高坂貴行	多発肋骨骨折に対する肋骨固定手術の工夫	第40回日本呼吸器外科学会学術集会	2023年7月	新潟県	示説
片山千佳	神田恒、牛久保陸生、高橋遼、原圭吾、松本明香、豊増嘉高、中里健二、設楽芳範、石崎政利	当院における高齢者大腸癌Oncologic Emergency症例の検討	第5回群馬Emergency Surgery研究会	2023年10月	群馬県	口演
豊増嘉高	牛久保陸生、神田恒、片山千佳、髙橋遼、原圭吾、松本明香、中里健二、設楽芳範、石崎政利	胃glomus腫瘍に対して腹腔鏡下胃部分切除術を施行した1例	第36回日本内視鏡外科学会総会	2023年12月	神奈川県	口演

【整形外科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
久保井卓郎	中島大輔、坂根英夫、西川和博、筑田博隆	脛骨近位骨端線損傷に対して手術的治療を行った2例	第49回骨折治療学会学術集会	2023年6月	静岡県	口演
西川和博	久保井卓郎、中島大輔、坂根英夫、筑田博隆	大転子部褥瘡を合併した大腿骨転子部骨折に対してエンダー法を選択した一例	第49回骨折治療学会学術集会	2023年6月	静岡県	口演
久保井卓郎	中島大輔、坂根英夫、齋藤真幹、筑田博隆	上腕骨外側上顆炎に対する複数回のステロイド局所注射後に発生した外側側副靭帯損傷の1例	第64回関東整形災害外科学会	2024年3月	神奈川県	口演
坂根英夫		大腿骨近位部骨折における二次骨折予防の“リアル”	社内講演（旭化成ファーマ株式会社）	2023年8月	群馬県	口演
坂根英夫		ステロイド性骨粗鬆症への整形外科医の関わり	骨粗鬆症 update seminar	2024年2月	群馬県	口演
久保井卓郎	中島大輔、内田徹	肘頭骨折に対するプレート固定による近位骨片脱転予防の工夫	第1回群馬手外科研究会	2024年3月	群馬県	口演

【脳神経外科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
淺野鉱史	清水立矢、若林和樹、藍原正憲、山口玲、神徳亮介、島内寛也、和田元、向田直人、登坂雅彦、好本祐平	脳底動脈閉塞症に対する急性期血行再建の術前MRIで狭窄病変の有無を評価できるか	第82回日本脳神経外科学会総会	2023年10月	神奈川県	口演
淺野鉱史	清水立矢、若林和樹、藍原正憲、山口玲、神徳亮介、島内寛也、和田元、向田直人、登坂雅彦、好本祐平	脳底動脈閉塞症に対する急性期血行再建の術前MRIで狭窄病変の有無を評価できるか	第39回日本脳神経血管内治療学会	2023年11月	京都府	示説
向田直人	山口玲、登坂雅彦、好本祐平	非機能性下垂体腺腫のMRIにおける左右非対称；ICA Notch signの意義	第24回日本下垂体腫瘍学会	2024年2月	愛知県	口演

【歯科口腔外科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
丸山佳恋	金井梢、横尾聡	交替療法後の下顎歯肉に生じたoral focal mucinosisの一例と症例集積解析	第68回日本口腔外科学会総会・学術大会	2023年11月	大阪府	口演
金井梢	丸山佳恋、横尾聡	交替療法後の下顎歯肉に生じたoral focal mucinosisの一例と症例集積解析	第42回日本口腔腫瘍学会総会・学術学会	2024年1月	北海道	示説

【泌尿器科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
須長理沙	坂本亮一郎、武井智幸	前立腺基底細胞癌の一例	第92回日本泌尿器科学会群馬地方会	2024年2月	群馬県	口演

【リハビリテーション科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
黒崎みのり	伊部洋子、有井大典、田澤昌之、和田直樹	重度片麻痺がある脳卒中患者のリハビリテーション治療による機能回復	第60回日本リハビリテーション医学会学術集会	2023年6月	福岡県	口演

【薬剤部】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
岩崎英久	櫻澤千世、久米隆夫、堀口裕之	当院入院予定患者に対する薬剤部の取り組み	第6回群馬県薬学大会	2023年5月	群馬県	示説
岩崎英久		シンポジウム2 薬剤師のアイデンティティー	第6回群馬県薬学大会	2023年5月	群馬県	座長
岩崎英久		長引く医薬品の流通不足に対して薬剤部ができること	院内学会	2023年12月	群馬県	口演
増野貴司	中山和彦、黒澤瑛里、上田由紀、櫻井望、服部龍太郎、塩野智則、高山仁美、岩崎英久、櫻澤千世、堀口裕之	アナモレリン塩酸塩の治療効果に影響する因子の後方視的探索研究	日本臨床腫瘍薬学会学術大会2024	2024年3月	兵庫県	口演
清水祥正	井上拓也、増野貴司、岩崎英久、櫻澤千世、久米隆夫、堀口裕之	HIF−PH阻害薬の投与量推移と検査値および医療経済への影響	第17回日本腎臓病薬物療法学会　学術集会・総会	2023年10月	愛知県	示説
久米隆夫	岩崎英久、清水祥正	抗菌薬適正使用 “PK/PD理論を中心に”	職員必須研修（感染症対策）	2023年6月	群馬県	口演

【放射線室】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
清水正挙	飯塚隆、本松弘嗣、金子勇二、小松嵩和、神宮晶子、勘崎貴雄	SPECT性能評価ファントムによる陰性像の検討	第43回日本核医学技術学会総会学術大会	2023年11月	大阪府	口演

【検査室】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
宮一菜々子	相馬千恵子、井口弘美、奥田康子、飯塚朋代、渡辺佑美	当院外来採血における検査室の取り組み	第72回日本医学検査学会	2023年5月	群馬県	示説
羽鳥瑞歩	松本絢子、高橋さゆり、深町勲、吉田孝友	甲状腺細胞診における腫瘍様病変と濾胞性腫瘍の再検討	第72回日本医学検査学会	2023年5月	群馬県	示説
田中実穂	相馬千恵子、服部誠也、飯塚朋代、渡辺佑美	心不全を発症した若年者の左室緻密化障害の一例	第72回日本医学検査学会	2023年5月	群馬県	口演
柴﨑洋一	高橋さゆり、金子恵美、安藤咲貴子、矢嶋直人、大竹純矢、井口弘美、相馬千恵子	ビトロスＸＴ7600　マイクロスライド技術を利用したHbA1c 試薬の検討	第72回日本医学検査学会	2023年5月	群馬県	口演
柴﨑洋一	高橋さゆり、金子恵美、安藤咲貴子、矢嶋直人、大竹純矢、奥田康子、相馬千恵子	ミニ搬送システム導入による宿日直業務の効果　～ビトロス　オートメーション　ソリューションズを利用して～	第72回日本医学検査学会	2023年5月	群馬県	口演
田中実穂	相馬千恵子、服部誠也、高松寛人	超音波診断装置と^{18}F-FDG PETにおける心臓サルコイドーシス病変の比較検討	第48回日本超音波検査学会	2023年6月	大阪府	口演

【リハビリテーション室】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
藤井洋有	近藤健，下田葵，深澤彩，崎本将貴，関根圭介	周術期消化器がん患者の退院時の日常生活動作に関連する因子	第8回がんサポーティブケア学会	2023年6月	奈良県	口演
藤井洋有	近藤健，小田俊一，関根圭介	周術期消化器がん患者における入院中の不安・抑うつに影響する因子の検討	第57回日本作業療法学会	2023年11月	沖縄県	口演
齊藤翔太		日本語版入院患者の生活空間評価尺度Life-space assessment in institutionalaized settings-Jの信頼性・妥当性の予備的研究	第10回日本地域理学療法学会	2023年12月	東京都	口演
清水姫乃	岡﨑秦、高橋裕子、濱﨑りな、久保一樹、須藤祐太、御供茜里、中川和昌	成長期バスケットボール選手における成長区分別の1年間の身体機能の変化～スポーツ障害発生リスクに着目して～	第10回日本スポーツ理学療法学術大会	2024年1月	東京都	示説
藤井洋有	下田葵，深澤彩，崎本将貴，関根圭介	消化器がん術後における歩行距離の変化と関連する因子	第8回北関東信越ブロック学会	2024年2月	栃木県	口演

【臨床工学室】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
丸岡正行		透析施設における災害対策 ～私はこんな対策をしている～	第21回群馬県臨床工学技士会学術大会	2023年6月	WEB	口演
吉田弘	加藤弘樹、水石怜佑、田島伸哉、松村真紀夫、丸岡正行、宇津木徹	当院におけるCIEDｓ使用者への磁石付き人工呼吸用マスク運用改善の取り組み	第33回日本臨床工学会	2023年7月	広島県	口演

【緩和ケアセンター】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
古池きよみ	森﨑裕美、恩田千栄子、菅原恵里子、平田恵美、荒井頼道	地域を越え想いを紡いだ在宅支援	第28回日本緩和医療学会学術大会	2023年6月	兵庫県	示説

【健康管理センター】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
飯島徹	山岸美保、神保貴宏、塚田義人、石崎政利、田村勝	当院の乳がん検診でマンモグラフィ偽陽性（カテゴリー1）の乳癌症例が数年に1例あったがブレストアウェアネスの認知度は低い	第64回日本人間ドック学会学術大会	2023年9月	群馬県	口演

３．講　演

【呼吸器内科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
茂木充	第268回一般定期健康診断における胸部レントゲン写真の読影講座		高崎市総合保健センター	2023年5月12日
茂木充	肺結核の臨床と院内感染予防対策 -日常診療で見逃さないために-	令和5年度第1回藤岡地域感染防止対策カンファレンス	公立藤岡総合病院	2023年7月7日
茂木充	第269回一般定期健康診断における胸部レントゲン写真の読影講座		高崎市総合保健センター	2023年7月28日
茂木充	第270回一般定期健康診断における胸部レントゲン写真の読影講座		高崎市総合保健センター	令和5年9月15日
茂木充	第272回一般定期健康診断における胸部レントゲン写真の読影講座		高崎市総合保健センター	令和5年11月24日
茂木充	第273回一般定期健康診断における胸部レントゲン写真の読影講座		高崎市総合保健センター	令和6年1月26日
茂木充	第274回一般定期健康診断における胸部レントゲン写真の読影講座		高崎市総合保健センター	令和6年3月22日

【血液内科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
外山耕太郎	Lenalidomide, Bortezomibに不応後、IsaPd療法を導入した症例	群馬県血液疾患セミナー	Web開催	令和5年11月1日
外山耕太郎	VEN＋AZA療法を継続している骨髄線維化を来たした再発AML with mutated NPM1の1例	AML expert meeting	Web開催	令和6年1月26日

【腎臓・リウマチ内科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
塚田義人	腎臓を守ろう ～慢性腎臓病の治療戦略～	公立藤岡総合病院地域医療連携講演会	Web開催	令和6年2月29日
太田史絵	当院の腎臓病診療	藤岡多野医師会学術講演会	Web開催	令和6年3月26日

【外科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
松本明香	当院におけるBRCA検査の現状	Breast Cancer Seminar in 群馬	前橋市	令和5年5月23日
高橋遼	RAS野生型進行・再発大腸癌に対する治療について	群馬大腸癌化学療法セミナー	Web開催	令和5年6月30日
高橋遼	大腸がんってどんな病気？	第27回藤岡がん市民講座	藤岡市	令和5年7月8日
原圭吾	当院における切除不能進行・再発食道癌に対するICI療法の現状	第5回群馬胃と腸の会	前橋市	令和6年1月30日
佐伯浩司	当院における肥満手術の取り組み	藤岡多野医師会学術講演会	Web開催	令和6年2月26日

【整形外科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
久保井卓郎	大腿骨近位部骨折と骨粗鬆症 ～二次骨折予防への道のり～	整形外科 Winter Seminar	高崎市	令和6年1月26日

【歯科口腔外科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
金井梢	高齢者における骨粗鬆症とMRONJについて	藤岡多野歯科医師会研修会	藤岡商工会議所	令和5年11月28日

【薬剤部】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
増野貴司	当院におけるレジメン解説⑥ 肝細胞がんのレジメン・胆道癌のレジメン	第25回藤岡地域がん化学療法 薬薬連携定例会	藤岡市 WEB配信	令和5年4月27日
清水祥正	経管栄養患者に対する医療用栄養剤使用時のリン吸着薬の最適な投与方法に関する検討	第21回「群馬腎と薬剤研究会」 講演会	Web開催	令和5年5月17日
井上拓也	このくすり飲んでも大丈夫？ ～きちんと確認して腎臓を守ろう～	第5回腎臓病教室	公立藤岡総合病院	令和5年5月19日
増野貴司	ディスカッション NK-1受容体拮抗薬の使い方の現状とこれから ～制吐薬ガイドラインの改訂を踏まえて～	第1回制吐療法スキルアップセミナー	Web開催	令和5年5月24日
櫻澤千世	糖尿病の治療薬 ～インスリンのことを知りましょう～	令和5年度第2回糖尿病教室	藤岡市	令和5年9月20日
中山和彦	当院呼吸器内科病棟での薬剤師の活動と肺がんのレジメン解説・続編	第26回藤岡地域がん化学療法 薬薬連携定例会	Web開催	令和5年11月21日
増野貴司	ディスカッション 「制吐薬適正使用ガイドラインの改訂への対応と問題点について」	第2回制吐療法スキルアップセミナー	藤岡市	令和5年12月6日
伊藤惇史	輸液の基礎知識と種類	令和5年度医薬品安全使用研修会	MyWeb	令和6年1月15日

【検査室】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
柴﨑洋一	検査業務に安心を与えてくれるミドルウェアとコンパクト搬送システム	第72回日本医学検査学会 ランチョンセミナー	Gメッセ群馬	令和5年5月20日

【リハビリテーション室】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
関根圭介	生活行為向上マネジメント概論	現職者選択研修　生活行為向上マネジメント	Web開催	令和5年7月9日
小林真	患者・家族教育の意義とその方法	認定理学療法士　臨床認定カリキュラム	Web開催	令和5年9月11日 ～令和5年9月24日
小林真	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編）、高齢心血管器疾患に対する運動療法の実際	認定理学療法士　臨床認定カリキュラム	Web開催	令和5年9月11日 ～令和5年9月24日
藤井洋有	日本作業療法士協会 専門作業療法士（がん）取得研修	緩和ケア・緩和医療学 -身体的苦痛に対するケア-	Web開催	令和5年12月20日

【栄養室】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
堀越勝	当院の食事について	北6看護師向け勉強会	藤岡市	令和5年4月24日
野口恵理子	もしもカリウムが高いと言われたら	腎臓病教室	藤岡市	令和5年5月19日
野口恵理子	糖尿病の食事療法と献立の立て方	糖尿病教室	藤岡市	令和5年5月31日
渡邊恵子	家でできる簡単レシピ	糖尿病教室	藤岡市	令和5年5月31日
堀越勝	当院の食事について	言語聴覚士勉強会	藤岡市	令和5年6月16日
成瀬智美	知っておきたい大腸がんの食事のこと	第27回藤岡がん市民講座	藤岡市	令和5年7月8日
山本果南	当院の栄養補補助食品について	言語聴覚士、北2階看護師向け勉強会	藤岡市	令和5年9月13日
渡邊恵子	家でできる簡単レシピ	糖尿病教室	藤岡市	令和5年9月20日
山本果南	腎臓病の補助食品について	言語聴覚士、北2階看護師向け勉強会	藤岡市	令和5年10月18日
堀越勝	食事の工夫を褥瘡予防に活かす	褥瘡委員会勉強会	藤岡市	令和5年10月20日
野口恵理子	年末年始に気をつけたい食事のこと	腎臓病教室	藤岡市	令和5年11月17日
野口恵理子	家でできる簡単レシピ	糖尿病教室	藤岡市	令和5年11月29日
渡邊恵子	家でできる簡単レシピ	糖尿病教室	藤岡市	令和6年2月28日
成瀬智美	食中毒について	しらさぎの里職員向け勉強会	藤岡市	令和6年2月28日
山本果南	生活習慣病予防（脂質について）	事務職向け勉強会	藤岡市	令和6年3月12日

４．講演会・研修会開催実績

【公開】

開催日	名称	テーマ・内容	講師	開催場所（開催形式）	参加者数	
					院内	院外
4月20日	第23回藤岡地域がん化学療法薬薬連携定例会	①乳癌における治療の実際 ②当院におけるレジメンの解説④乳癌のレジ	①公立藤岡総合病院 外科部長　松本明香 ②公立藤岡総合病院 薬剤師　塩野智則	藤岡商工会議所 Web配信	20	12
5月9日	メディカルコントロール	藤岡消防署合同救急症例検討会	公立藤岡総合病院 副院長兼救急センター統括部長　井上雅浩	公立藤岡総合病院 大会議室	1	28
5月20日	腎臓病教室	①「透析が必要です」といわれたら知っておきたいこと ②適塩生活のすすめ ③これだけは知っておきたい制度/治療編	①公立藤岡総合病院 腎臓・リウマチ内科　月田真祐子 ②公立藤岡総合病院 管理栄養士　野口恵理子 ③公立藤岡総合病院 社会福祉士　川井大輔	公立藤岡総合病院 大会議室	14	16
6月22日	第1回糖尿病教室	①糖尿病と内服薬のお話 ②家でできる簡単レシピ ③家の中で出来る運動 ④糖尿病とストレス	公立藤岡総合病院　薬剤師 公立藤岡総合病院　管理栄養士 公立藤岡総合病院　理学療法士 公立藤岡総合病院　中原理恵子	公立藤岡総合病院 大会議室	19	26
7月11日	メディカルコントロール	藤岡消防署合同救急症例検討会	公立藤岡総合病院 副院長兼救急センター統括部長　井上雅浩	公立藤岡総合病院 大会議室	1	29
7月11日	第13回脊椎圧迫骨折地域連携パス会… 第44回大腿骨頚部骨折地域医療連携パス会議	地域連携パスの運用について	患者支援センター	オンライン	9	22
7月15日～31日	第26回藤岡がん市民講座	乳がんについて ①乳がんってどんな病気？ ②知っておきたい乳がんのこと	公立藤岡総合病院 外科部長　松本明香 乳がん看護認定看護師　平田恵美	オンライン	521	
9月2日	第31回藤岡緩和ケア研究会	緩和ケアの現場で生じる倫理的問題	公立藤岡総合病院 がん看護専門看護師　森崎裕美	公立藤岡総合病院 大会議室	25	71 (WEB)
9月12日	メディカルコントロール	藤岡消防署合同救急症例検討会	公立藤岡総合病院 副院長兼救急センター統括部長　井上　雅	公立藤岡総合病院 大会議室	1	28
9月28日	第2回糖尿病教室	①放っておくと怖い動脈硬化 ②家でできる簡単レシピ ③家の中で出来る運動 ④糖尿病から腎臓を守る	公立藤岡総合病院　検査室 公立藤岡総合病院　管理栄養士 公立藤岡総合病院　理学療法士 公立藤岡総合病院　中原理恵子	公立藤岡総合病院 大会議室	16	18
10月19日	藤岡がん診療講演会	がん患者の神経障害疼痛　どう対応するか	埼玉県立がんセンター 緩和ケア科　余宮きのみ	公立藤岡総合病院 大会議室	28	28 (WEB)
10月25日	第24回藤岡地域がん化学療法薬薬連携定例会	①当院におけるレジメン解説　肺がんのレジ ②化学療法室の看護の立場から	公立藤岡総合病院 薬剤部　中山和彦 看護部　高山仁美	藤岡商工会議所 Web配信	11	15
11月12日	藤岡緩和ケア研修会	①e-ラーニング復習と質問 ②全人的苦痛に関する緩和ケア ③療養場所の選択と地域連携 ④がん患者への支援 ⑤コミュニケーション	伊勢崎市民病院　緩和ケア内科　押本直子 済生会前橋病院　緩和ケア内科　平山　功 公立藤岡総合病院　武井智幸 公立藤岡総合病院　武井智幸 群馬大学病院　精神科神経科　藤平和平	公立藤岡総合病院 大会議室	12	2
11月14日	メディカルコントロール	藤岡消防署合同救急症例検討会	公立藤岡総合病院 副院長兼救急センター統括部長　井上　雅	公立藤岡総合病院 大会議室	1	28
11月18日	腎臓病教室	①腎臓に関連する検査項目について ②筋トレ、ストレッチ ③腎臓病と仲良く付き合うために	公立藤岡総合病院 ①臨床検査技師　柴崎洋一 ②理学療法士　塚田健人 ③看護師　高野千里	公立藤岡総合病院 大会議室	15	27
11月30日	第3回糖尿病教室	①シックデイについて ②家でできる簡単レシピ ③家の中で出来る運動 ④アドボカシーとスティグマ	公立藤岡総合病院　看護師 公立藤岡総合病院　管理栄養士 公立藤岡総合病院　理学療法士 公立藤岡総合病院　中原理恵子	公立藤岡総合病院 大会議室	17	12
12月12日	第45回大腿骨頚部骨折地域連携パス会議	地域連携パスの運用等について		オンライン	9	23
12月12日	第14回脊椎圧迫骨折地域連携パス会議	地域連携パスの運用等について		オンライン	9	23
2月3日	藤岡緩和ケア研究会	「外来で安全に化学療法を行うために」 ～当院における連携のあり方～	公立藤岡総合病院 がん化学療法看護認定看護師　高山仁美	大会議室	29	15
2月22日	第4回糖尿病教室	嫌にならない運動～NEATを知っていますか？ 家の中で出来る運動 家でできる簡単レシピ インスリン100年の歴史	公立藤岡総合病院 リハビリテーション室 栄養室 糖尿病内科部長　中原理恵子	公立藤岡総合病院 大会議室	18	24
3月6日	メディカルコントロール	藤岡消防署合同救急症例検討会	公立藤岡総合病院 副院長兼救急センター統括部長　井上　雅	公立藤岡総合病院 大会議室	1	28
3月13日	第46回大腿骨頚部骨折地域連携パス会議	地域連携パスの運用等について		オンライン	11	26
3月13日	第15回脊椎圧迫骨折地域連携パス会議	地域連携パスの運用等について		オンライン	11	26
3月15日	藤岡がん診療講演会	急性期がん専門病院の専門緩和ケア なんの意味があるか・無いか	新潟県立がんセンター新潟病院 緩和ケア内科部長　本間英之	Web配信	29	30
3月16日	公立藤岡総合病院地域連携講演会	頭痛について　片頭痛の最新情報 糖尿病治療　Update	公立藤岡総合病院　甲賀英明 公立藤岡総合病院　中原理恵子	Web講演	19	9

【院内】

開催日	名称	テーマ・内容	講師	開催場所（開催形式）	参加者数	
					院内	院外
4月1・4・5日	新入職者オリエンテーション	病院概要・医療倫理・チーム医療 各部門紹介等	公立藤岡総合病院 病院長　塚田　義人　他	公立藤岡総合病院 大会議室	36	
5月1日～31日	2022年度　前期医療安全必須研修 （eラーニング）	医療機関におけるハラスメント	SOMPOリスクマネジメント株式会社 医療・介護コンサルティング部	公立藤岡総合病院	717	
5月12日	第47回M＆Mカンファレンス	症例　肺腺癌	公立藤岡総合病院 呼吸器内科医長　髙野峻一	公立藤岡総合病院 大会議室	42	
5月12日	第45回キャンサーボード	症例　小腸癌	公立藤岡総合病院 外科医長　片山千佳	公立藤岡総合病院 大会議室	42	
5月13日	第177回公開ＣＰＣ	症例　悪性リンパ腫疑い	公立藤岡総合病院 血液内科部長　外山耕太郎 病理診断科部長　吉田孝友 研修医　林紘太	公立藤岡総合病院 大会議室	34	
5月22日	第42回院内ＩＣＬＳコース	ＩＣＬＳ	公立藤岡総合病院 中央手術室統括部長兼集中治療室担当部長 荒井　賢一	公立藤岡総合病院 大会議室	12	
6月1日～30日	2022年度　前期医療安全必須研修 （eラーニング）	医療安全とヒューマンエラー	SOMPOリスクマネジメント株式会社 医療・介護コンサルティング部	公立藤岡総合病院	709	
6月1日	医療機器安全研修会	人工呼吸器HAMILTON-C6新規導入に係る説明	公立藤岡総合病院 臨床工学士　田島　伸哉	公立藤岡総合病院 中会議室２	10	
6月9日	第48回M＆Mカンファレンス	症例　末期腎不全、老衰	公立藤岡総合病院 腎臓内科　土屋俊平	公立藤岡総合病院 大会議室	44	
6月9日	第46回キャンサーボード	症例　膀胱癌、前立腺癌、腎盂尿管癌	公立藤岡総合病院 泌尿器科　須長理沙	公立藤岡総合病院 大会議室	44	
6月9日	第44回画像カンファレンス	メトロニダゾールによる末梢神経障害とメトロニダゾール脳症の画像所見	放射線診断科部長　神宮　晶子 放射線診断科　安井宏有貴	公立藤岡総合病院 大会議室	36	
6/21.22.24 29.30.7/1.4 1/7	感染対策必須研修会（前期）	標準予防策について 抗菌薬適正使用について	ICT AST	大会議室	642	
6月25日	第43回院内ＩＣＬＳコース	ＩＣＬＳ	公立藤岡総合病院 中央手術室統括部長兼集中治療室担当部長 荒井　賢一	公立藤岡総合病院 大会議室	12	
7月1日	Training for Safety Use 2022	縫合糸・針の基礎　糸結び　皮膚縫合	ジョンソンエンドジョンソン株式会社	研修室	15	
7月4日	医療機器研修	輸液ポンプ新機種（TE-I81)操作説明会	日本光電	公立藤岡総合病院 中会議室２	125	
7月8日	Training for Safety Use 2022	真皮縫合	ジョンソンエンドジョンソン株式会社	研修室	12	
7月14日	第49回M＆Mカンファレンス	症例　肝癌	公立藤岡総合病院 外科部長　加藤寿英	公立藤岡総合病院 大会議室	49	
7月14日	第47回キャンサーボード	症例　進行胃癌	公立藤岡総合病院 消化器内科科部長　山口　泰子	公立藤岡総合病院 大会議室	48	
7月14日	第178回公開ＣＰＣ	症例　メソトレキセート関連リンパ増殖性疾患	公立藤岡総合病院 血液内科部長　外山耕太郎 病理診断科部長　吉田孝友 研修医　大屋裕	公立藤岡総合病院 大会議室	43	
7月22日	Training for Safety Use 2022	トロッカー固定と小切開閉創	ジョンソンエンドジョンソン株式会社	研修室	11	
7月30日	第44回院内ＩＣＬＳコース	ＩＣＬＳ	公立藤岡総合病院 中央手術室統括部長兼集中治療室担当部長 荒井　賢一	公立藤岡総合病院 大会議室	12	
8月5日	Training for Safety Use 2022	消化管吻合　真皮縫合	ジョンソンエンドジョンソン株式会社	研修室	13	
8月25日	部署別医療安全取り組み発表会	取り組み事項の選択理由・対応策など	公立藤岡総合病院 薬剤室、放射線室、検査室、栄養室、南3～7階病棟、北2・4～6病棟、人工透析室、救急ｾﾝﾀｰ、外来、しらさぎの里 臨床工学室、ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ室、中央手術室 医事情報課	公立藤岡総合病院 大会議室	47	
9月8日	第50回M＆Mカンファレンス	症例　右頚部内頸動脈狭窄症	公立藤岡総合病院 脳神経外科　向田直人	公立藤岡総合病院 大会議室	38	
9月8日	第48回キャンサーボード	症例　び慢性大細胞型B型細胞リンパ腫	公立藤岡総合病院 血液内科医員　梶田樹矢	公立藤岡総合病院 大会議室	44	
9月9日	第45回画像カンファレンス	急性腹症と画像所見	放射線診断科部長　神宮　晶子 放射線診断科　安井宏有貴	公立藤岡総合病院 大会議室	34	
9月13日	骨折予防院内研修会	骨粗鬆症性大腿骨近位部骨折に対する当院の取り組み	公立藤岡総合病院 整形外科　坂根英夫	公立藤岡総合病院 大会議室	54	
10月3日～28日	医薬品安全使用研修会	内服薬の相互作用	公立藤岡総合病院 薬剤部　羽鳥和博	公立藤岡総合病院 電子ｶﾙﾃMy　Web	592	
10月13日	第51回M＆Mカンファレンス	症例　消化管出血	公立藤岡総合病院 循環器内科　布施智博	公立藤岡総合病院 大会議室	53	
10月13日	第49回キャンサーボード	症例　直腸癌	公立藤岡総合病院 外科医長　髙橋遼	公立藤岡総合病院 大会議室	46	
10月13日	第179回公開ＣＰＣ	症例　肺炎、肺膿瘍	公立藤岡総合病院 血液内科部長　外山耕太郎 病理診断科部長　吉田孝友 研修医　中島悠吾 研修医　横山響	公立藤岡総合病院 大会議室	41	
10月27日	保険診療講習会	入院料と新設加算について	公立藤岡総合病院 医事情報課	公立藤岡総合病院 大会議室	97	
10月27日	保険診療講習会	入院料と新設加算について	公立藤岡総合病院 医事情報課	公立藤岡総合病院 大会議室	56	

10月28日	保険診療講習会	入院料と新設加算について	公立藤岡総合病院 医事情報課	公立藤岡総合病院 大会議室	62	
11月10日	第52回M＆Mカンファレンス	症例　蘇生に成功した心停止	公立藤岡総合病院 血液内科　梶田樹矢	公立藤岡総合病院 大会議室	41	
11月10日	第50回キャンサーボード	症例　小細胞癌	公立藤岡総合病院 呼吸器内科医長　髙野峻一	公立藤岡総合病院 大会議室	41	
11月10日	第46回画像カンファレンス	Ai（Autopsy imaging）死後変化や蘇生術後変化を中心に	放射線診断科部長　神宮　晶子 放射線診断科　安井宏有貴	公立藤岡総合病院 大会議室	35	
11月30日	第１回養育支援体制を確保するための研修	子どもの虐待とは何か？	公立藤岡総合病院 小児科科長　渡部登志雄	公立藤岡総合病院 大会議室	19	
12月8日	第180回公開ＣＰＣ	症例　再発性難治性多発性骨髄腫	公立藤岡総合病院 血液内科医長　武井寿史 病理診断科部長　吉田孝友 研修医　清水湧作 研修医　新井萌々花	公立藤岡総合病院 大会議室	36	
12月8日	第53回M＆Mカンファレンス	症例　卵巣癌	公立藤岡総合病院 産婦人科　似内敦志	公立藤岡総合病院 大会議室	40	
12月10日	第51回キャンサーボード	症例　横行結腸癌、乳癌の重複癌	公立藤岡総合病院 外科医長　原圭吾	公立藤岡総合病院 大会議室	40	
12月13日	クリニカルパス研修会				26	
1月27日	保険診療講習会	入院診療計画書について	公立藤岡総合病院 医事情報課　新井・儘田・設楽	大会議室	96	
1月30日	保険診療講習会	入院診療計画書について	公立藤岡総合病院 医事情報課　新井・儘田・設楽	大会議室	94	
1月31日	保険診療講習会	入院診療計画書について	公立藤岡総合病院 医事情報課　新井・儘田・設楽	大会議室	71	
2月1日～28日	2022年度　後期医療安全必須研修	BLS（必須研修） 部署別取り組み結果		My-Web	699	
2月4日	災害医療研修会	①災害拠点病院の役割 ②災害総論 ③災害各論（CSCATTT） ④グループディスカッション	公立藤岡総合病院 D-MAT隊員	大会議室	56	
2月9日	第54回M＆Mカンファレンス	症例　前立腺基底細胞癌	公立藤岡総合病院 泌尿器科　須長理沙	公立藤岡総合病院 大会議室	39	
2月9日	第52回キャンサーボード	症例　卵巣癌によるPseudo-Meigs症候群	公立藤岡総合病院 産婦人科医長　似内敦志	公立藤岡総合病院 大会議室	39	
2月9日	第47回画像カンファレンス	上腹部MRIの画像診断	放射線診断科部長　神宮　晶子 放射線診断科　安井宏有貴	公立藤岡総合病院 大会議室	31	
2月17日	メンタルヘルス研修会	管理監督者向けラインケア研修 メンタル不調を発生させない職場づくり	日本産業カウンセラー協会 山口　佳子	大会議室 Web配信	100	
3/1.6.10.15	感染対策必須研修会	新型コロナウイルス感染症　院内クラスターについて 正しい細菌検体採取法について	ICT AST	大会議室	590	
3月9日	第181回公開ＣＰＣ	症例　多臓器不全	公立藤岡総合病院 外科医長　原圭吾 病理診断科部長　吉田孝友 研修医　井上俊 研修医　黒川真登	公立藤岡総合病院 大会議室	41	
3月9日	第55回M＆Mカンファレンス	症例　左化膿性膝関節炎	公立藤岡総合病院 整形外科医員　西川和博	公立藤岡総合病院 大会議室	43	
3月9日	第53回キャンサーボード	症例　大腸癌	公立藤岡総合病院 外科医員　遠藤瑞貴	公立藤岡総合病院 大会議室	46	
3/14～24	第２回養育支援体制を確保する研修	子ども虐待の概要と虐待予防システムの紹介	虐待防止委員会	Web研修	650	

５．看護部院内研修

新人・新入職看護職員集合研修

集合教育（基本看護技術）

〈目的〉

日常生活援助のための基本的な技術・態度を身につけ、ベットサイドケアが安全・確実にできる。

月日	講義内容	受講者数	講　師
4月6日	看護部の目標と理念	25名	看護部長　髙田幸子
	看護職の倫理綱領	22名	外来　看護師　飯島京子
	院内オリエンテーション 看護協会について	22名	副看護部長　足利章江
	しらさぎの里見学	22名	教育担当師長　藤巻淳子
4月7日	コミュニケーションの基本	27名	看護部長　髙田幸子
	ユニホーム・看護師免許について	22名	教育担当師長　藤巻淳子
	感染予防策	26名	院内感染対策管理者　金子美佐
	接遇・身だしなみについて	26名	北4階病棟　副看護師長 中村道子
4月10日	医療安全	22名	医療安全管理者　高橋富士美
4月11日	電子カルテの操作	27名	北6階階病棟　看護師 梅沢千恵子　黒澤歩夢
4月12日	キャリアラダーについて	22名	教育担当師長　藤巻淳子
	新人看護師基礎看護技術チェックリストについて	22名	教育担当師長　藤巻淳子
4月13日	重症度、医療・看護必要度　看護記録記載基準について	22名	北5階病棟　副看護師長 柳澤千鶴子
	看護記録を書く目的と意義	22名	副看護部長　千木良直子
	看護過程とは	22名	北2階病棟　副看護師長 富山麻裕子
4月14日	清潔援助(清拭・陰部洗浄・寝衣交換・シーツ交換)	22名	北5階病棟　看護師 橋爪佑季　渡邊紗里奈

4月17日	安全・安楽な体位、体位変換、移乗	25名	南6階病棟　看護師 新井莉沙　剣持涼音 リハビリテーション室 理学療法士　高橋瑞刀
4月18日	嚥下障害と誤嚥予防について	24名	摂食嚥下障害看護認定看護師 富山麻裕子　横村季代子
4月19日	看護補助者との協働について	21名	南7階病棟　看護師長　江原忍
	メンタルヘルス	21名	教育担当師長　藤巻淳子
4月24日	ME機器	21名	南4階病棟　副看護師長 久保愛 臨床工学室　臨床工学技士 田島伸哉
4月26日	社会人基礎力について	20名	教育担当師長　藤巻淳子
	基礎看護技術　一カ月評価	20名	教育担当師長　藤巻淳子

キャリアラダーレベルⅡ研修

〈目標〉

看護基準に則り、自律した看護実践ができる。

月日	講義内容	受講者数	講　師
8月8日	ケーススタディ①	20名	南3階病棟 認知症看護認定看護師 清水仁美
9月7日	ケーススタディ①	17名	南3階病棟 認知症看護認定看護師 清水仁美
10月10日	ケーススタディ②	18名	南3階病棟 認知症看護認定看護師 清水仁美 人工透析室 透析看護認定看護師 櫻井あかり
10月26日	ケーススタディ②	15名	南3階病棟 認知症看護認定看護師 清水仁美 人工透析室 透析看護認定看護師 櫻井あかり

11月7日	メンバーシップ コミュニケーション理論と実践	10名	北６階病棟 副看護師長 高橋久美子 ラダーⅢ研修担当者 櫻井あかり
11月14日	看護と倫理	11名	看護部　患者支援センター 菊池弘美
11月30日	看護と倫理	16名	看護部　患者支援センター 菊池弘美
12月11日	看護と倫理	13名	看護部　患者支援センター 菊池弘美
12月12日	メンバーシップ コミュニケーション理論と実践	16名	北６階病棟 副看護師長 高橋久美子 ラダーⅡ研修担当者 神岡貴江　児島厚子
12月19日	メンバーシップ コミュニケーション理論と実践	15名	北６階病棟 副看護師長 高橋久美子 ラダーⅡ研修担当者 櫻井あかり　児島厚子
1月16日	医療従事者のアンガーマネジメント	16名	一般社団法人 日本アンガーマネジメント協会 公認講師　福成二三代 （ナーシングスキル活用）
1月26日	医療従事者のアンガーマネジメント	12名	一般社団法人 日本アンガーマネジメント協会 公認講師　福成二三代 （ナーシングスキル活用）
1月31日	医療従事者のアンガーマネジメント	12名	一般社団法人 日本アンガーマネジメント協会 公認講師　福成二三代 （ナーシングスキル活用）
2月2日	社会保障制度の動向 地域包括ケアシステムの牽引は看護師の役割り	15名	四国医療産業研究所 所長 櫃本真津
2月6日	ケーススタディ発表会	38名	
2月9日	ケーススタディ発表会	41名	
2月13日	社会保障制度の動向 地域包括ケアシステムの牽引は看護師の役割り	13名	四国医療産業研究所 所長 櫃本真津

2月15日	ケーススタディ発表会	29名	
2月27日	社会保障制度の動向 地域包括ケアシステムの牽引は看護師の役割り	10名	四国医療産業研究所 所長 櫃本真津

キャリアラダーレベルⅡ研修

〈目標〉

看護基準に則り、自律した看護実践ができる。

月日	講義内容	受講者数	講　師
2月1日	看護研究とは 医療従事者の アンガーマネジメント	11名	金井PaK雅子 関東学院大学看護学部 渡辺真弓 （ナーシングスキル） 一般社団法人 日本アンガーマネジメント協会 公認講師　福成二三代 （ナーシングスキル） 緩和ケアセンター 副看護師長 平田恵美　森﨑裕美 訪問看護ステーション 副看護師長　武政志津香
2月22日	看護研究とは 医療従事者の アンガーマネジメント	19名	金井PaK雅子 関東学院大学看護学部 渡辺真弓 （ナーシングスキル） 一般社団法人 日本アンガーマネジメント協会 公認講師　福成二三代 （ナーシングスキル） 訪問看護ステーション 副看護師長　武政志津香 緩和ケアセンター 副看護師長 平田恵美　森﨑裕美
2月26日	看護研究とは 医療従事者の アンガーマネジメント	14名	金井PaK雅子 関東学院大学看護学部 渡辺真弓 （ナーシングスキル） 一般社団法人 日本アンガーマネジメント協会 公認講師　福成二三代 （ナーシングスキル）

キャリアラダーレベルⅢ研修

〈目標〉

倫理性を持ち、対象者に合った看護実践ができる。

月日	講義内容	受講者数	講　師
3月1日	看護研究とは 医療従事者の アンガーマネジメント	10名	金井PaK雅子 関東学院大学看護学部 渡辺真弓 （ナーシングスキル） 一般社団法人 日本アンガーマネジメント協会 公認講師　福成二三代 （ナーシングスキル）
3月4日	看護研究とは 医療従事者の アンガーマネジメント	9名	金井PaK雅子 関東学院大学看護学部 渡辺真弓 （ナーシングスキル） 一般社団法人 日本アンガーマネジメント協会 公認講師　福成二三代 （ナーシングスキル）
3月8日	看護過程について	14名	緩和ケアセンター 副看護師長　平田恵美 緩和ケアセンター 副看護師長　森﨑裕美 南4階病棟 副看護師長　成田雅子 救急センター 副看護師長　本多里恵子 訪問看護ステーション はるかぜ 副看護師長　武政志津香
3月12日	看護過程について	15名	緩和ケアセンター 副看護師長　平田恵美 緩和ケアセンター 副看護師長　森﨑裕美 南4階病棟 副看護師長　成田雅子 救急センター 副看護師長　本多里恵子 訪問看護ステーション はるかぜ 副看護師長　武政志津香
3月13日	看護過程について	10名	緩和ケアセンター 副看護師長　平田恵美 緩和ケアセンター 副看護師長　森﨑裕美 救急センター 副看護師長　本多里恵子 訪問看護ステーション はるかぜ 副看護師長　武政志津香 南6階病棟 看護師長　齋田亜弓

キャリアラダーレベルⅣ研修

〈目標〉

高い倫理性を身に着けリーダーシップを発揮し、看護実践モデルとなることができる。

月日	講義内容	受講者数	講　師
11月7日	オンデマンド研修 「メンタルヘルス対策」～働きやすい職場を目指して～	10名	特定社会保険労務士 産業カウンセラー 中込めぐみ
11月17日	オンデマンド研修 「メンタルヘルス対策」～働きやすい職場を目指して～	12名	特定社会保険労務士 産業カウンセラー 中込めぐみ
11月20日	オンデマンド研修 「メンタルヘルス対策」～働きやすい職場を目指して～	13名	特定社会保険労務士 産業カウンセラー 中込めぐみ
12月8日	オンデマンド研修 「メンタルヘルス対策」～働きやすい職場を目指して～	15名	特定社会保険労務士 産業カウンセラー 中込めぐみ
12月13日	オンデマンド研修 「メンタルヘルス対策」～働きやすい職場を目指して～	15名	特定社会保険労務士 産業カウンセラー 中込めぐみ
12月22日	オンデマンド研修 「メンタルヘルス対策」～働きやすい職場を目指して～	11名	特定社会保険労務士 産業カウンセラー 中込めぐみ

プリセプター支援研修

〈目的〉

プリセプターシップを円滑に継続するための、フォローアップの機会とする。

月日	講義内容	受講者数	講　師
5月17日	プリセプター1ケ月 フォローアップ研修 社会人基礎力とは	19名	教育担当看護師長 藤巻淳子
7月3日	プリセプター3ヶ月 フォローアップ研修	18名	北4階病棟 副看護師長 中村道子 北6階病棟　副看護師長 高橋久美子 南7階　副看護師長 町田かつ江 教育担当看護師長 藤巻淳子

9月5日	アソシエーター6ケ月 フォローアップ研修	12名	北4階病棟 副看護師長 中村道子 しらさぎの里 副看護師長 石原里美 南7階病棟　副看護師長 町田かつ江 北2階病棟 副看護師長 富山麻裕子 教育担当看護師長 藤巻淳子
9月11日	プリセプター6ケ月フォローアップ研修 新人看護師への看護過程課題の指導方法を学ぶ	16名	北4階病棟 副看護師長 中村道子 北6階病棟　副看護師長 髙橋久美子 しらさぎの里 副看護師長 石原里美 南7階病棟　副看護師長 町田かつ江 教育担当看護師長 藤巻淳子
3月5日	アソシエーター12ヶ月 フォローアップ研修	13名	北4階病棟 副看護師長　中村道子 南7階病棟 副看護師長　町田かつ江 しらさぎの里 副看護師長　石原里美 教育担当看護師長 藤巻淳子
3月11日	プリセプターー12ヶ月 フォローアップ研修	16名	北4階病棟 副看護師長　中村道子 しらさぎの里 副看護師長　石原里美 教育担当看護師長 藤巻淳子

認知症看護全体研修

〈目標〉

認知症看護についての見識を深めることができる。

月日	講義内容	受講者数	講　師
12月5日	認知症看護認定看護師への道のりと活動	24名	認知症看護認定看護師 富岡幸之 清水仁美 黒澤千恵子
1月16日 2月19日 3月6日 3月15日 3月22日	認知症への理解 病態と症状への対応 DVD視聴	317名	認知症看護認定看護師 富岡幸之 清水仁美 黒澤千恵子

管理者研修

〈目標〉

看護管理者として必要な管理に関する知識、技術、態度を習得し、自己のの資質及びマネージメント能力を向上させ、責務を遂行する。

月日	講義内容	受講者数	講　師
6月15日	オンデマンド研修 「今のやり方で合ってる？看護補助者との更なる協働のために　～適切な看護職への教育とは」	11名	有限会社ビジネスブレーン 永井則子
7月21日	管理者研修(オンデマンド) この国の医療のかたち 「看護知っておくべき医療政策の動向と課題」	13名	九州大学名誉教授　尾形裕也
8月3日	管理者研修 この国の医療のかたち 「看護知っておくべき医療政策の動向と課題」	3名	オンデマンド研修 九州大学名誉教授　尾形裕也
8月9日	管理者研修(オンデマンド) この国の医療のかたち 「看護知っておくべき医療政策の動向と課題」	8名	九州大学名誉教授　尾形裕也
8月18日	管理者研修(オンデマンド) この国の医療のかたち 「看護知っておくべき医療政策の動向と課題」	8名	九州大学名誉教授　尾形裕也

8月25日	管理者研修(オンデマンド) この国の医療のかたち 「看護知っておくべき医療政策の動向と課題」	14名	九州大学名誉教授　尾形裕也
9月25日	管理者研修(オンデマンド) 臨床看護現場での教え方・伝え方 「教え上手になるポイント」	21名	北海道大学オープンエデュケーションセンター 杉浦真由美
3月25日	診療報酬改定説明会　ライブ配信 令和6年度改定診療報酬の概要 ～看護関連改訂項目を中心に～	31名	厚生労働省保健局医療課 飯村祥子 厚生労働省老健局老人保健課 川中淑恵 厚生労働省社会・援護局 関根小乃枝 日本看護協会 木澤晃代
11月7日	オンデマンド研修 「メンタルヘルス対策」 ～働きやすい職場を目指して～	10名	特定社会保険労務士 産業カウンセラー 中込めぐみ
11月17日	オンデマンド研修 「メンタルヘルス対策」 ～働きやすい職場を目指して～	12名	特定社会保険労務士 産業カウンセラー 中込めぐみ
11月20日	オンデマンド研修 「メンタルヘルス対策」 ～働きやすい職場を目指して～	13名	特定社会保険労務士 産業カウンセラー 中込めぐみ
12月8日	オンデマンド研修 「メンタルヘルス対策」 ～働きやすい職場を目指して～	15名	特定社会保険労務士 産業カウンセラー 中込めぐみ
12月13日	オンデマンド研修 「メンタルヘルス対策」 ～働きやすい職場を目指して～	15名	特定社会保険労務士 産業カウンセラー 中込めぐみ
12月22日	オンデマンド研修 「メンタルヘルス対策」 ～働きやすい職場を目指して～	11名	特定社会保険労務士 産業カウンセラー 中込めぐみ
3月25日	診療報酬改定説明会 ライブ配信 令和6年度改定診療報酬の概要 ～看護関連改訂項目を中心に～	31名	厚生労働省保健局医療課 飯村祥子 厚生労働省老健局老人保健課 川中淑恵 厚生労働省社会・援護局 関根小乃枝 日本看護協会 木澤晃代

新任副看護師長　管理者研修

〈目標〉

1）看護職員として必要な管理に関する基本的な知識、技術、態度を目指す。

2）看護を提供するための組織化並びに運営の責任の一旦を担うための必要な知識、技術、態度を習得する。

3）組織的な看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析する能力の拡大を目指す。

月日	講義内容	受講者数	講　師
5月9日	新任副看護師長研修 業務管理1　医療保険制度、診療報酬について　他	2名	副看護部長　千木良直子
5月30日	新任看護師長研修 病床管理　病床管理基準、助勤体制基準について　他	2名	副看護部長　千木良直子
6月8日	新任副看護師長研修 看護組織論1　看護管理者の役割と責務(副師長としての役割)　他	2名	看護部長　髙田幸子
8月7日	新任副看護師長研修 労務管理　勤務管理と勤務計画作成、勤務実績について　他	2名	副看護部長　足利章江
8月21日	新任副看護師長研修 様式９	2名	副看護部長　足利章江
9月4日	新任副看護師長研修 看護組織論2　組織の運営戦略、看護の質の管理について　他	2名	看護部長　髙田幸子
10月2日	新任副看護師長研修 人的資源活用論1 目標管理と人材育成 クリナカルラダー	2名	看護部長　髙田幸子
11月9日	新任副看護師長研修 業務管理3 職業感染管理 看護単位の行ける感染管理 届出感染症について　他	2名	感染管理者　金子美佐
11月27日	新任副看護師長研修 人材育成　教育理念と目的、目標について プリセプターシップと新人教育	2名	教育担当看護師長　藤巻淳子
12月11日	新任副看護師長研修 業務管理4 看護単位における安全管理、事故発生時のアセスメント、分析、対処　他	2名	副看護部長　斉藤康行 医療安全管理者　高橋富士美

12月14日	新任副看護師長研修 人的資源活用論２ 人材を育成するマネージメント 副看護師長としての課題	2名	看護部長　　高田幸子
3月11日	新任副看護師長研修 まとめ 目標についての評価 (プレゼンテーション)	2名	看護部長　　髙田幸子

新任看護師長　管理者研修

〈目標〉

1）看護専門職として必要な管理に関する基本的な知識、技術、態度を習得し、自己の資質及びマネジメント能力を向上させ、基本的な責務を遂行する。

2）病院、看護部の理念を基に担当部署の目標を設定し、その目標達成のための看護管理能力を高める。

月日	講義内容	受講者数	講　師
5月8日	新任看護師長研修 業務管理5　医療報酬、診療報酬について　他	3名	副看護部長　　千木良直子
6月5日	新任看護師長研修 看護組織論　看護管理者としての役割と責務　他	3名	看護部長　　髙田幸子
6月12日	新任看護師長研修 業務管理2　リスクマネージャーの役割と安全管理　他	2名	副看護部長　　斉藤康行 医療安全管理者　　高橋富士美
7月6日	新任看護師長研修 病床管理　病床管理基準について他	3名	副看護部長　　千木良直子
7月24日	新任看護師長研修 労務管理 勤務管理と勤務計画作成、勤務実績について 他	3名	副看護部長　　足利章江
9月7日	新任看護師長研修 看護組織論 質管理について、組織の運営戦略とマネージメントについて　他	3名	看護部長　　髙田幸子
10月16日	新任看護師長研修 人的資源活用論 人材を育てるマネージメントと人材を活かすマネージメント　他	3名	看護部長　　髙田幸子

11月13日	新任看護師長研修 看護組織論　目標管理と人材育成 クリニカルラダー	3名	看護部長　髙田幸子
12月4日	新任看護師長研修 業務管理3　物品管理について、 看護教務マニュアル 業務改善	3名	副看護部長　千木良直子
12月7日	新任看護師長研修 業務管理1 職業感染管理、看護単位の行ける 感染管理 届出感染症について　他	3名	感染管理者　金子美佐
1月15日	新任看護師長研修 人材育成 教育理念と目的、目標について プリセプターシップと新人教育 看護部教育制度について	3名	教育担当師長　藤巻淳子
3月22日	新任看護師長研修 まとめ 目標についての評価 (プレゼンテーション)	3名	看護部長　髙田幸子

看護助手研修

〈目標〉

看護助手としての役割を知り、協働の必要性を理解する。

月日	講義内容	受講者数	講　師
8月22日	〈1回目〉 1.輸血の搬送について 2.看護助手業務における医療安全と業務上の責任 (守秘義務・個人情報の保護・報告相談・看護助手に求められる倫理・事故発生時の対応等) 3.感染防止対策(手洗い・個人防護具)	11名	検査室室長　柴崎洋一 医療安全管理者　髙橋富士美 感染対策管理者　金子美佐
8月22日	〈2回目〉 1.輸血の搬送について 2.看護助手業務における医療安全と業務上の責任 (守秘義務・個人情報の保護・報告相談・看護助手に求められる倫理・事故発生時の対応等) 3.感染防止対策(手洗い・個人防護具)	12名	検査室室長　柴崎洋一 医療安全管理者　髙橋富士美 感染対策管理者　金子美佐

8月31日	〈3回目〉 1.輸血の搬送について 2.看護助手業務における医療安全と業務上の責任 (守秘義務・個人情報の保護・報告相談・看護助手に求められる倫理・事故発生時の対応等) 3.感染防止対策(手洗い・個人防護具)	5名	検査室室長　柴崎洋一 医療安全管理者　髙橋富士美感 染対策管理者　金子美佐
8月31日	〈4回目〉 1.輸血の搬送について 2.看護助手業務における医療安全と業務上の責任 (守秘義務・個人情報の保護・報告相談・看護助手に求められる倫理・事故発生時の対応等) 3.感染防止対策(手洗い・個人防護具)	5名	検査室室長　柴崎洋一 医療安全管理者　髙橋富士美 感染対策管理者　金子美佐
10月6日	〈1回目〉 1.日所生活にかかわる業務について(環境整備など) 2.医療チーム及び看護チームの一員としての理解	9名	北2階病棟　看護師長　久保愛 南6階病棟　看護師長　齊田亜弓
10月6日	〈2回目〉 1.日所生活にかかわる業務について(環境整備など) 2.医療チーム及び看護チームの一員としての理解	9名	北2階病棟　看護師長　久保愛 南6階病棟　看護師長　齊田亜弓
10月17日	〈3回目〉 1.日所生活にかかわる業務について(環境整備など) 2.医療チーム及び看護チームの一員としての理解	8名	北2階病棟　看護師長　久保愛 南6階病棟　看護師長　齊田亜弓
10月17日	〈4回目〉 1.日所生活にかかわる業務について(環境整備など) 2.医療チーム及び看護チームの一員としての理解	8名	北2階病棟　看護師長　久保愛 南6階病棟　看護師長　齊田亜弓
11月21日	〈1回目〉 看護補助業務を遂行するための基本的な知識・技術 (安全衛生・看護助手業務と基本的なマナー)	7名	南7階病棟　看護師長　江原忍 北6階病棟　看護師長　南雲和子

12月5日	〈2回目〉 看護補助業務を遂行するための基本的な知識・技術 (安全衛生・看護助手業務と基本的なマナー)	9名	南7階病棟　看護師長　江原忍 北6階病棟　看護師長　南雲和子
12月5日	〈3回目〉 看護補助業務を遂行するための基本的な知識・技術 (安全衛生・看護助手業務と基本的なマナー)	8名	南7階病棟　看護師長　江原忍 北6階病棟　看護師長　南雲和子
12月11日	〈4回目〉 看護補助業務を遂行するための基本的な知識・技術 (安全衛生・看護助手業務と基本的なマナー)	9名	南7階病棟　看護師長　江原忍 北6階病棟　看護師長　南雲和子

６．認定看護師の活動記録

がん化学療法看護認定看護師

【実践】

北 6 階病棟スタッフの一員として、患者およびその家族に対して、抗がん薬治療に伴う有害事象に対しての情報提供と、医師に有害事象に対する処方提案を行い、安全で質の高いケアが提供出来るよう活動した。また主に所属病棟看護師に対し、がん薬物療法看護に対する質問に回答するなど看護の質向上に努めた。

【指導】

月日	対象	テーマ	参加者
2023 年 6 月 8 日	第 13 回関越がんサポーティブケア研究会	「薬剤性肺障害に対して看護師が出来る事」	Web 配信
2023 年 11 月 21 日	第 26 回藤岡地域がん化学療法薬薬連携定例会	「看護の視点からみた肺がん薬物療法中の患者支援について	Web 配信+現地
2023 年 1 月 15 日	静脈注射認定制度県手等部会 CV ポートトレーナー研修	「CV ポートトレーナーを目指そう」	5 名

【相談】

北 6 階病棟入院患者を対象に、がんカウンセリングを通して治療法の選択や治療継続について意思決定の支援を行った。さらに副作用対策方法や日常生活上の悩みなど随時相談を受け付け、患者様や家族の生活の質を高める援助を行った。また、病棟看護師からがん化学療法に対する質問や相談に随時対応を行った。

【自己啓発活動】

参加日	参加学会及び研修会	開催場所
2023 年 10 月 19 日～21 日	日本がん治療学会	Web 開催+現地（横浜）
2024 年 2 月 24 日～25 日	日本がん看護学会	神戸国際展示場（兵庫）

（文責：公立藤岡総合病院　がん化学療法看護認定看護師　塩野　智則）

がん化学療法看護認定看護師

外来化学療法室の専従という立場で勤務し３年目を迎えた。今年度も『化学療法を受ける患者の連携を考える』を自らのテーマとし、積極的に診療の場で医師と患者が何を話しているのかを知り、患者の個別性を重視した看護の提供を心がけた。

【実践】

① がんサポーティブケア WEB セミナー2024
　テーマ　「当院における G－CSF 製剤の運用について」
　日時　　2024 年 2 月 15 日

② 群馬東毛制吐療法講演会
　テーマ　「化学療法室の看護の立場から　【嘔気対策を中心に】
　日時　　2023 年 9 月 28 日

③ 第 32 回藤岡緩和ケア研究会講演
　テーマ　「外来で安全に化学療法を行うために」
　日時　　2023 年 2 月 3 日

【指導】

① 本庄児玉看護専門学校講義
　担当科目　「成人看護学方法論Ⅳ　終末期」
　日時　　2023 年 12 月 7 日（木）

② 北５階勉強会
　テーマ　「大腸がん患者の看護」
　日時　　2023 年 3 月 13 日

【相談】

① 病棟で CV ポート穿刺の難渋患者の実際の穿刺を行いかつ指導を行った。
② 抗がん剤投与が少ない病棟において、抗がん剤治療で入院になる患者の投与管理方法、副作用の管理方法の説明を行った。
③ 抗がん剤投与に悩む患者の対応など。

【自己啓発活動】

① 第 18 回埼玉がん化学療法看護研究会
　テーマ　「がん化学療法看護認定看護師の今後の育成を考える」
　日時　　2022 年 8 月 28 日　　（Web 開催）

② 第 38 回日本がん看護学学術集会
　テーマ　コラボレーション　－深化・進化するがん看護－
　日時　　2023 年 2 月 24 日

今年度も、院内全体を通して、安全な化学療法を行うことを第一の目標とし、一人の患者のための支援がチームで協働して行えるようにしていきたいと考える。

（文責：公立藤岡総合病院　がん化学療法看護認定看護師　高山　仁美）

がん化学療法看護認定看護師

所属病棟において、カンファレンスを通じて、患者に生じたがん薬物療法による有害事象に対するセルフケア不足の問題や対策を話し合い、病棟スタッフと情報を共有することによって、病棟内で患者個人に合わせた看護を提供できるように努めた。月に2〜3度、外来化学療法室で活動し、看護師や他の医療スタッフと連携し、安全・安楽・確実な治療の遂行と、患者・家族が抱えている治療や生活に対する不安を理解し、対応可能な解決策を患者と共に見い出すなどの看護を提供した。

さらに、悪性リンパ腫に対する新薬（エプコリタマブ）の導入に際して、医師や薬剤師と情報交換や相談を行い、治療スケジュールと管理方法を計画した。また、南6階病棟や南3階病棟の看護師に対し、安全に治療が遂行できるように指導した。

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加者
2024年3月	南6階病棟看護師	がん薬物療法により便秘を生じた患者のセルフケア指導	12名
2024年3月	南6階病棟看護師 南3階病棟看護師	エプコリタマブの治療スケジュールと管理	26名

【相談】

病棟スタッフから、治療レジメンに沿った薬剤の投与方法や、患者に生じているがん薬物療法による有害事象への対策について相談に応じた。患者に対しては治療を受ける事や継続することへの不安に対し、気持ちの理解と患者の意思決定の支援を行った。また、治療中に生じる副作用とその対策について、患者のセルフケア能力と家族の協力体制、社会資源の利用状況などを把握し、患者に合わせたセルフケアが実践・継続できるように支援した。

【自己啓発活動】

参加日	参加学会および研修会	開催場所
2023年5月9日〜10日	第38回日本臨床栄養代謝学会学術集会	神戸コンベンションセンター
2023年10月19日〜21日	第61回日本癌治療学会学術集会	パシフィコ横浜
2024年2月22日〜24日	第21回日本臨床腫瘍学会学術集会	名古屋国際会議場
2024年2月24日〜25日	第38回日本がん看護学会学術集会	神戸国際展示場2号館・3号館　神戸国際会議場

（文責：公立藤岡総合病院　がん化学療法看護認定看護師　賀村　寿人）

がん看護専門看護師

【実践】

病棟では緩和ケアチームとして、外来ではがん看護専門外来として、告知から治療選択、治療継続や終末期に渡り、各場面で意思決定支援や緩和ケアを行っている。また、入院ー外来間でスムーズに看護を提供できるように、それぞれの部署と情報共有し、多職種や地域の医療従事者等と連携し、入退院後の患者・家族の抱える困難に対応した。1年間でがん看護専門外来は228件、がん看護指導管理料イは44件、がん患者指導管理料ロは6件、病状説明同席は153件であった。

【コンサルテーション】

病棟・外来看護師が解決困難と感じている問題(症状マネジメントや退院支援など)に対し、相談者が問題を解決できるよう関わった。

【調整】

病棟及び外来において、問題を抱える患者・家族に対し、それぞれの思いを明確にし、希望にできるだけ添えるよう、多職種間の調整を行った。患者・家族が希望する療養の場(在宅・入院・転院など)へスムーズに移行できるよう、社会資源を活用し、地域連携を行った。

緩和ケアセンターの一員として、緩和ケア病床及び、緩和ケアチームやがん看護専門外来の運営に携わった。また、『がん相談支援同意確認書』を作成し、運用を開始した。

【倫理調整】

病棟・外来において、治療や療養の場の選択の意思決定の場面等、倫理的問題が生じている事例に対し、問題解決ができるよう患者-家族-多職種間の調整を行った。

【教育】

病棟や外来において、日々のスタッフとの関わりを通し、教育的に知識の提供や助言を行った。院内研修として『臨死期のケアとエンゼルケア』『中範囲理論』の講師を行なった。

院外では群馬医療福祉大学で臨死期のケアと家族ケアについて、高崎医師会看護専門学校では看護倫理に関する講義を行った。また、高崎市立多胡小学校と高崎市立吉井西中学校でがん教育を行った。多職種を対象とした第34回藤岡緩和ケア研究会で講師として『緩和ケアにおける「こんな時どうする？」～倫理的問題をみんなで考えよう～』をテーマとし、グループワーク及び講義を行なった。

【研究】

・第28回　日本緩和医療学会学術集会『地域を越え想いを紡いだ在宅支援』共同研究

【自己啓発】

日程	内容	場所
2023年4月12日	ポライビーWEBセミナー	WEB
2023年6月21日	高齢者の臨床倫理を考える会	WEB

	エンドオブライフケアの臨床倫理	
日程	内容	場所
2023年8月26日	第 26 回日本癌治療学会アップデート教育コース	WEB
2023年9月21日	Hematology Seminar	WEB
2023年9月24日	認定看護師・専門看護師フォローアップセミナー	WEB
2023年10月4日	CV ポートセミナー	WEB
2023年10月26日	群馬県立がんセンターがん看護研修会『基礎から学ぶ遺伝性腫瘍』	WEB
2023年10月30日	藤岡がん診療講演会	WEB
2023年11月8日	わたしの街の緩和ケア	WEB
2023年12月1日	血液がん WEB セミナー～在宅輸血が繋ぐ血液がん地域医療～	WEB
2023年2月～11月	2023 年度がん相談支援センター相談員基礎研修(1) (2)	WEB
2023年12月2日	ACP のコミュニケーションについて、これまでの研究で何がわかっているのか	WEB
2023年12月9日	令和5年度群馬県・埼玉県合同がん専門相談員研修～情報から始まるがん相談支援研修～	WEB
2023年12月12日	ALL　Web　Seminar	WEB
2023年12月19日	がん患者自殺リスク講演会	WEB
2024年2月24、25日	第38回日本がん看護学術集会	WEB
1～2ヶ月に1回	群馬がん看護専門看護師連絡協議会	WEB
毎月1回	群馬県造血幹細胞移植検討会	WEB

（文責：公立藤岡総合病院　がん看護専門看護師　森﨑　裕美）

がん性疼痛看護認定看護師

【実践】

緩和ケアチーム介入の患者、所属病棟・緩和ケアチーム多職種カンファレンスにおいて、疼痛がある患者に対して、緩和できるように薬の提案をおこなった。また、個々の患者に対し薬の効果的な使い方（レスキュー薬の服用のタイミング）や副作用を説明し、在宅療養において、セルフコントロールができ、自宅で苦痛なく過ごせるように個々に合わせたパンフレットを作成し調整をおこなった。

在宅療養や転院など患者の意思決定を尊重し、緩和ケアチームや MSW と連携を図り患者支援をおこなった。

月１～3回、緩和ケアセンターで兼任として活動し、患者・家族に痛みや生活における不安の相談に対応した。

＊がん患者指導管理料　イ・ロの算定をおこなった。（イ：7名、ロ：14名）

【教育・指導】

所属病棟では、スピリチュアペイン、レスキュー、グリーフケア、退院時の服薬指導の勉強会をおこなった。また事例に沿った倫理問題の検討会をおこなった。

依頼により介護老人施設「しらさぎの里」において、疼痛についての勉強会をおこなった。

【相談】

所属病棟、他部署より疼痛コントロールや副作用（便秘）対策、オピオイドスイッチングの方法、持続皮下注の手技、麻薬の処理についての相談に随時対応した。また、がん患者への関わり方についての相談にも対応をおこなった。

【自己研鑽】

開催日	学会名・研修会名	開催場所
2023年6月30日～7月1日	第２８回　日本緩和医療学会学術大会	神戸ポートピアホテル・神戸国際展示場・神戸国際会議場
2023年7月8日	第27回　藤岡がん市民講座	公立藤岡総合病院　大会議室
2023年9月7日	第33回　藤岡緩和ケア研究会	公立藤岡総合病院　大会議室
2023年11月25日～11月26日	第44回　日本死の臨床研究会年次大会	愛媛県県民文化会館
2024年2月1日	第34回　藤岡緩和ケア研究会	公立藤岡総合病院　大会議室
2024年3月7日	藤岡がん診療講演会	公立藤岡総合病院　大会議室

（文責：公立藤岡総合病院　がん性疼痛看護認定看護師　恩田　千栄子）

乳がん看護認定看護師

【実践】

外来通院患者に病名や再発・転移告知時の診察に同席し、告知後の精神的なケアや治療選択の意思決定について看護支援を行った。病棟では、乳がん術後の下着や退院後の生活指導について病棟の乳腺チームへ勉強会を行った。腋窩リンパ節郭清をした患者へのリンパ浮腫予防指導を退院後の外来で行えるように、外科スタッフへリンパ浮腫について指導した。また、緩和ケアチームと連携しながら、継続した看護を目指し、乳がん、肺がん患者家族へ自壊創部のケアや在宅に向けた支援を行った。

・がん患者指導管理料イ算定件数　43 件
・がん患者指導管理料ロ算定件数　29 件
・リンパ浮腫予防指導加算件数　　3 件

【教育・指導】

実施日	対象・内容	参加者
2022 年 2 月	院内北 5 階病棟　乳腺チームスタッフ	5 人

【相談】

病棟スタッフから乳癌手術後の下着やリンパ浮腫予防指導の説明方法等の相談、乳がん患者に対する採血方法や手術に向けた下着の準備などの相談に応じた。リハビリスタッフからのリンパ浮腫についての相談に応じ、協働して支援を行った。

【自己啓発活動】

開催日	学会・研修会	会場
2023 年 7 月	日本乳癌学会	Web セミナー
2023 年 10 月 26 日	群馬県立がんセンター 乳腺科勉強会	ZOOM
2023 年 10 月 30 日	藤岡がん診療講演会	院内
2023 年 11 月 10.11 日	乳がん看護研究会	AP 東京八重洲
2024 年 3 月 7 日	藤岡がん診療講演会	院内

（文責 : 公立藤岡総合病院　乳がん看護認定看護師　平田　恵美）

緩和ケア認定看護師

【実践】

緩和ケアチームラウンドをおこない毎週木曜日緩和ケアチームカンファレンスを開催。症例や倫理的問題についての検討を行った。また、緩和ケア病床における入退院支援に関わり北 5 階病棟と連携を図り調整を行った。そして、院外医療・福祉従事者との連携を密におこない、緩和ケア病床を活用した在宅療養支援を継続した。グリーフケアにおいては往復はがきの送付を継続。がん患者「なごみの会」を 11 回/年実施し延べ 67 名が参加した。

【教育・指導】

実施日	対象	内容	対象者
2023 年 10 月	本庄児玉看護専門学校 2 年	「終末期患者の看護」6 回	25 名
2023 年 10 月 23 日	群馬医療福祉大学 2 年	緩和ケアの実際	90 名
2024 年 2 月 11 日 12 日	ELNEC-J コアカリキュラム 前橋	エンドオブライフケア	41 名
2023 年 12 月 5 日	キャリアラダーレベル I	看護観	19 名

【相談】

通院中・入院中の患者やその家族の相談（電話・面談）に応じ、倫理的側面に配慮しながら納得した意思決定ができるよう支援を行った。さらに在宅療養へ向けた相談や、在宅療養中の困難についてなど相談を受け、多職種間での連携をおこなった。また、緩和ケアリンクナースや各病棟看護師、医師、院内外の医療・福祉従事者からの緩和ケアに関する相談に対応した。

相談対応件数：108 件/年

【自己啓発活動】

開催日	学会・研修会	場所
2023 年 6 月 29 日～30 日	第 28 回日本緩和医療学会	神戸国際会議場
2023 年 8 月 26 日	第 26 回日本癌治療学会アップデート教育	WEB 参加
2023 年 9 月 7 日	第 33 回藤岡緩和ケア研究会	大会議室
2023 年 10 月 30 日	藤岡がん診療講演会	大会議室
2024 年 2 月 1 日	第 34 回藤岡緩和ケア研究会	大会議室
2024 年 3 月 7 日	藤岡がん診療講演会	大会議室
2024 年 3 月 9 日	認定看護師教育課程フォローアップ研修	埼玉県立大学

【その他】

2023 年 10 月 30 日　日本看護協会認定看護師認定資格更新

（文責：公立藤岡総合病院　緩和ケア認定看護師　古池　きよみ）

緩和ケア認定看護師

【実践】

外科病棟にて医師との協働により緩和ケア対象患者の病状説明に同席し、がん患者指導管理料イの算定を行い、治療に関する意思決定支援を実践している。そして月 2〜3 回の認定看護師活動日において緩和ケアセンタースタッフとして院内横断型のコンサルテーションを行い、主に呼吸器・消化器内科・外科を担当し病棟のみならず外来においても緩和ケアを必要とする患者とその家族のケアについて多職種協働においてケアを実践している。主な内容としては、積極的治療中における支持療法や、病勢進行に伴う苦痛増強緩和のための薬物の適正使用に努めると同時に、ACP の推進として積極的治療期から終末期と段階に応じた意思決定支援、患者と家族の思いを積極的に傾聴し、精神並びにスピリチュアルなつらさの低減を含めた全人的支援を行った。

【教育・指導】

2023 年 4 月〜3 月　院内看護スタッフに向けた緩和ケアにおける基本的知識
2024 年 1 月〜3 月　多野藤岡地域の医療・福祉職者向けの ACP 推進のための講義

【相談】

入院患者とその家族や、外来通院患者とその家族からの治療に関する意思決定や、就労や医療費に関する不安など生活における相談などを受け、適宜専門職種との協働により意思決定支援を行った。

外科病棟看護スタッフ、緩和ケアセンター、主治医、医療相談員など関係多職種が参加可能なケースカンファレンスを不定期で開催し、臨床における倫理的課題の検証や対応に難渋した患者及びその家族への対応についてディスカッションを行った。本カンファレンスによりコンサルティそれぞれが思いを表出できる場を設けることで、スタッフ間でのグリーフケアが促進されるとともに、緩和ケアに対するやりがいも実感できるよう支援した。

【自己啓発活動】

2023 年 5 月　群馬がん看護フォーラム　オンライン参加
2023 年 10 月　第 5 回　日本緩和医療学会関東甲信越支部学術大会　現地参加
2023 年 11 月　第 44 回　死の臨床研究会年次大会　現地参加

（文責：公立藤岡総合病院　緩和ケア認定看護師　菅原恵里子）

救急看護認定看護師

【実践】

１．令和６年能登半島地震に対する災害医療支援活動

令和６年１月１日に発生した令和６年能登半島地震災害に対し、日本 DMAT として同月４日から７日の３日間、石川県輪島市で災害支援活動を行った。主な任務は市立輪島病院に設置された DMAT 本部を活動拠点とし、近隣地域避難所の医療ニーズ調査と病院避難のための患者搬送を行った。

２．所属施設外現任者および一般市民への指導・社会活動

『特別支援学校教員救命技術指導』

対象：藤岡市、富岡市所属の養護教職員８名

内容：病院内におけるスタットコールシステム（E コール）の活用方法。

心停止の判断と胸骨圧迫の方法と AED の取り扱いについて実習形式による指導

【教育・指導】

１．ICLS 委員会企画

①ICLS（二次救命処置）コースの企画と実施　令和５年　５月　６月　７月

②　日本救急医学会認定 ICLS 指導者ワークショップ　令和５年 11 月

２．事務職員に対する災害医療講演　令和５年 10 月 27 日

３．新人研修「高度救命処置技術」　令和６年１月 29 日

【相談】

相談者：救急センター看護師

内容：研究活動支援

相談者より、本年度内に研究活動に取りくむためにテーマ選定の相談をうけた。そこで、2022 年より救急センターが救急外来とカテーテル業務一体となり１年が経過したことを契機に、急性冠症候群治療に対する評価として DTBT、急性期脳梗塞治療に対する評価として D2R をあげて、救急センター看護師が治療成績向上に貢献するための課題を明らかにするための研究テーマを提供した。研究の進め方ならびに考察から結論に至る過程は共同で実施した。

【自己啓発活動】

・院内災害医療訓練　県内 DMAT 共同開催
・桐生厚生病院災害医療訓練　見学参加
・日本内科学会認定内科救急・ICLS 講習会（JMECC）　見学参加
・群馬県救急医療懇談会（9 月前橋市）　共同演者として参加
・日本救急医学会（11 月東京）　一般参加

（文責：公立藤岡総合病院　救急看護認定看護師　金井　優）

集中ケア認定看護師

【実践】

2022 年度に呼吸ケアサポートチームを発足し活動を開始した。2023 年度の全回診患者数は 20 名で、全回診回数は 30 回であった。20 名のうち人工呼吸器離脱に至った件数は、10 名であった（2022 年度は、19 名介入し離脱は 10 名）。抜管後の再挿管率は 0 件であった。現在人工呼吸療法の管理は、その診療科や主担当医にゆだねられている状態であり、看護師による呼吸ケアの知識や技術もばらつきがある。また、人工呼吸器装着 48 時間後からの介入が可能となるが、タイムリーに介入が行えてない。今後、人工呼吸療法に携わる医療従事者が多職種で標準的な介入が行えるよう、人工呼吸器離脱プロトコルの作成と導入を検討する。呼吸療法にたずさわる医療スタッフへの指導を行い、呼吸ケアの質の向上や安全で安心な呼吸ケアの提供が行えるよう活動していく。

安全管理室より、一次救命処置（BLS）の院内必須研修の依頼を受けた。院内心停止に対する適切な初動と対応を目的に、院内 ICLS 委員会と協働し研修の企画を行った。9 月から 1 回／月の定期開催となった。2023 年度（9 月～3 月）の受講者数は 67 名で、インストラクターは、14 名となった。院内心停止時に適切な対応を行い、救命向上に繋がるように定期開催を継続していく。また、非心停止症例に対する院内初動体制の整備や看護スタッフへの教育・普及活動も計画・実施していく。

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加者
5 月	キャリアラダーレベル I 研修 （新人看護職員対象）	フィジカルアセスメント：全 7 回	19 名
9 月	院内全職員	院内 BLS 必須研修	67 名
10 月	パース大学 摂食・嚥下認定看護師教育課程	リスクマネジメント論 呼吸理学療法	30 名
11 月	キャリアラダーレベル I 研修 （新人看護職員対象）	予兆を見逃さない看護	19 名

【相談】

フィジカルアセスメントや人工呼吸器装着中の患者の看護、ポジショニングと体位ドレナージ、事例の振り返り、救急・重症患者の家族看護について、看護スタッフからの相談を受けた。実践や学習会を通じて、スタッフが自律できるよう関わりを持った。

【自己啓発活動】

2023 年 11 月 11 日　第 14 回群馬クリティカルケア研究会　群馬県立心臓血管センター

（文責：公立藤岡総合病院　集中ケア認定看護師　高橋　圭）

摂食・嚥下障害看護認定看護師

【実践】

病棟看護師やNST専従看護師と協働して、NST検討会や回診の実施、嚥下カンファレンスに参加し、回復期病棟入院患者の嚥下評価や栄養評価・栄養プランの検討を行った。また嚥下障害の患者に対し、胃ろう造設や誤嚥のリスクを承知の上で本人が希望する食形態摂取をすべきか否かの倫理的事案に対し、臨床倫理の4分割を用いて、病棟看護師・多職種とカンファレンスを行い、「患者にとっての最善とは何か」を考え、チーム医療を実施した。NSTリンクナース部会・医療安全部会と協働し、嚥下スクリーニングシート・口腔環境スクリーニング表の作成や運用方法の検討・評価・修正を行った。

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加者数
2023年4月18日	看護部新入職者	摂食嚥下の講義	21名
2023年7月19日	群馬医療福祉大学 3年生	高齢者看護援助論　～高齢者における摂食嚥下障害の援助について～	90名
2023年7月21日	群馬県看護協会会員	動画で学ぶ摂食嚥下障害の看護	50名
2023年8月30日 9月13日	施設職員（インドネシア・ブラジル・フィリピン国籍の方含む）	介護職に知って欲しい食事介助 「食事介助の5つのGOOD POINT」	10名
2023年10月20日	群馬パース大学 摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程受講生	摂食嚥下障害援助論 認知症看護について	22名
2023年11月14日 ～12月13日	群馬パース大学 摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程受講生	摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程臨地実習	2名
2023年11月2日 2023年12月26日	医療安全部会員 北2階病棟看護師	嚥下の面から事例を振り返る	25名

【相談】

嚥下障害のある患者の食形態選択や栄養管理・口腔ケアについて相談があった。病棟看護師が、食事姿勢や嚥下状態を観察し、食事介助や口腔ケアを実施しながら、自らが援助を考え、実践出来る様に支援した。

【自己啓発活動】

日時	学会名
2023年9月26日～ 10月31日	第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 WEBオンデマンドで受講

（文責：公立藤岡総合病院　摂食・嚥下障害看護認定看護師　富山麻裕子）

摂食・嚥下障害看護認定看護師

【実践】

栄養サポートチーム専従看護師として、栄養アセスメントから、低栄養の早期発見とリスクの高い患者を抽出し、輸液や食事、経腸栄養剤の中から適切な栄養を選択し栄養状態の改善に努めている。毎週水曜日の栄養サポートチーム検討会では、対象患者や疾患の治療に応じた栄養管理と低栄養患者への適切な栄養管理について多職種で話し合い、質の高いチーム医療の提供に努めている。また、各病棟のリンクナースが栄養管理出来るように教育を行っている。患者が在宅退院する場合は、栄養管理方法や、経鼻胃管や胃瘻からの注入指導に介入し、在宅で〝安全な栄養摂取〟が出来ような関わりを心がけ実践している。

栄養サポートチーム加算件数 490 件／年、摂食機能療法 500 件／年

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加人数
2023 年 4 月 18 日	看護部新入職者	口腔ケアと食事介助･ポジショニング	23 名
2023 年 4 月～2024 年 3 月　随時	看護助手	入職時：看護助手者研修 安全な食事の提供	
2023 年 5 月 1 日～2024 年 3 月 31 日	NST 臨床実地修練受講者	NST 専門療法士認定教育施設として栄養教育 40 時間を実施	2 名
2023 年 9 月 13 日	施設職員	介護職に知って欲しい食事姿勢	10 名
2023 年 11 月 14 日～12 月 13 日	認定看護師教育課程受講者	摂食嚥下障害看護　臨地実習	2 名

【相談】

摂食・嚥下障害看護認定看護師として、嚥下障害がある患者の食事形態や栄養管理、口腔ケアについて他職種からの相談を受け、摂食機能療法介入することで、嚥下機能を改善し経口摂取に移行出来ように病棟看護師に指導をしている。

【自己啓発活動】

開催日	学会名	会場
2023 年 5 月 9 日～5 月 10 日	第 38 回日本臨床栄養代謝学会学術集会	神戸コンベンションセンター
2023 年 5 月 20 日	第 31 回群馬 NST 研究会	前橋ベイシア文化ホール
2023 年 6 月 20 日	第 12 回群馬県央摂食嚥下研究会	アーカイブ配信
2024 年 3 月 7 日	地域連携 NST 学術講演会	Zoom ウェビナー

（文責：公立藤岡総合病院　摂食・嚥下障害看護認定看護師　横村　季代子）

透析看護認定看護師

【実践】

血液透析・腹膜透析を中心に、透析導入前から維持透析期・終末期までの腎不全患者とその家族に関わっている。透析患者の QOL の維持・向上のために安全安楽な治療の提供とセルフケア支援に重点を置いている。透析中に行う運動指導は、スタッフと協力して毎日実施し、ほぼ全ての外来透析患者に所定の診療報酬を算定した。感染予防については継続した患者指導を行い、発熱時・症状発生時の初期対応や個室透析によりクラスター発生はなく経過している。2023 年度は医師との腹膜透析患者カンファレンスを開始し、定期的な情報共有を行った。

慢性腎臓病 4〜5 期の患者に対して行う腎代替療法選択指導は昨年度より件数を増やし、指導を実施できる看護師 1 名の育成にも関わった。

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加者
2023 年 6 月〜 2024 年 3 月	人工透析室 看護師	血液透析と看護、透析施設の感染対策 ガイドライン、RCA 分析など、全 9 回	各回 4〜6 名
2024 年 2 月 13 日	訪問看護師	訪問看護はるかぜフットケア勉強会	5 名
2024 年 2 月 25 日	患者会の会員	群馬県腎臓病患者連絡協議会　講師	12 名
2024 年 2 月 26 日	医師・ｺﾒﾃﾞｨｶﾙ	藤岡多野医師会　学術講演会	35 名

【相談】

日々の業務の中では人工透析室のスタッフより透析条件や患者・家族対応についての相談を受けている。入院病棟からは維持透析患者の退院支援 1 件、腎代替療法選択 3 件に対応した。透析患者が利用する介護施設より 1 件、生活支援について相談を受けた。皮膚科医より依頼のあった入院患者 8 名の病棟フットケアに対応した。

【自己啓発活動】

開催日	学会・研修会	会場
2023 年 9 月 30 日	第 29 回　日本腹膜透析医学会学術集会	TOC 有明
2023 年 11 月 18 日	第 26 回　日本腎不全看護学会学術集会	ガーデンシティ仙台
2024 年 2 月 3 日 〜2024 年 2 月 4 日	日本災害時透析医療協働支援チーム 隊員養成研修会・隊員登録	東邦大学医療センター大森病院
2024 年 3 月 16 日	第 12 回　日本腎臓リハビリ学会学術集会	朱鷺メッセ

（文責：公立藤岡総合病院　透析看護認定看護師　　櫻井　あかり）

認知症看護認定看護師

【実践】

高齢化に伴い認知症患者様が増加している。脳外科整形外科病棟と消化器外科、緩和ケア病床で実践を通して、認知症看護の質向上に努めた。認知症による症状は多種多様で、周辺症状には隠れた思いやニーズがあり、適切な対応で症状の緩和が期待できることもある。入院という急な環境の変化で混乱を招きやすいため、安心して療養生活が送れるように、病棟看護師と共に早期からせん妄や行動・心理症状の予防に努めた。患者様の生活の質が低下しないよう、その人らしさを尊重した看護実践に努めた。

【指導】

実施日	対象者	内容	参加者
2023年 9月 12日	キャリアラダー研修Ⅰ	認知症ケア	19名
2023年 12月 5日	経験５年目以降の看護師	認定看護師への道のりと活動	24名
2023年 1月 16日 2月 19日 3月 6日 3月 15日 3月 22日	全看護師	認知症への理解 病態と症状への対応 ＊ＤＶＤ視聴	191名 126名 計 317名

【相談】

所属病棟および他部署の認知症者の困難事例、急性混乱せん妄の相談に 48 件/年対応した。

認知症看護認定看護師 3 名で 131 件/年介入した。

【自己啓発活動】

開催日	学会・研修名	会場
2023年 6月 17日 6月 18日	老年看護学会	パシフィコ横浜
2024年 3月 17日	認知症ケアを有する人のための緩和ケアと意思決定支援　エンドオブライフ・ケアのあり方	zoom研修 日本老年医学会
2024年 2月 15日	群馬県認知症疾患医療センター研修会 『認知症が教えてくれる脳の働き』	zoom研修 （群馬大学医学部付属病院）
2024年 3月 25日	糖尿病と認知症を考える会 『認知症合併糖尿病患者治療の課題とその対策』	zoom研修 興和株式会社

（文責：認知症看護認定看護師　黒澤　千恵子）

認知症看護認定看護師

【実践】

所属部署でせん妄予防ケアチームを結成し、ICDSC せん妄評価スケール導入に向けスタッフ内で準備を進めている。患者個人の生活習慣を考慮した療養環境の工夫が重要となる。病棟スタッフと共に、家族面会時に現状の説明など行いつつ、情報不足などを補いつつ治療経過に家族も含めたケアを心がけている。日々変化する病態を踏まえ、食事や排泄の方法をリハビリスタッフと相談しながら工夫している。また、せん妄発症因子を意識し、看護として介入できる部分をアセスメントし予防的ケアを先回りして行えるように教育していくことで高齢者患者への対応力向上にも繋げていく。

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加者
2023 年 9 月 12 日	キャリアラダーⅠ	認知症について	19 名
2024 年 1 月 16 日 2 月 19 日 3 月 6 日、15 日、 22 日	院内看護師	認知症への理解 ＊DVD 視聴＊	191 名 ＊DVD 視聴 126 名 計 317 名

研修会に都合がつかず、参加できなかったスタッフ向けに音声ありの DVD を作成し受講を促した。結果、総数 317 名まで受講数を伸ばすことが出来た。

【相談】

月 2 回の活動日を設け活動している。認知症看護認定看護師 3 人で意見交換を行い、情報共有を行って居る。認知症看護認定看護師 3 人で年間 131 件の相談を各病棟から受けた。病棟スタッフからの相談件数も増え、院内での活動が周知されてきた。相談内容は、せん妄が多かった。しかし、詳細は生活リズムの崩れや、臥床安静のままのケースも多かった。患者の入院前の生活に対する情報不足の場合が多く、意図的な情報収集を指導している。今後も、せん妄予防に対するスタッフのアセスメント力の向上を目指していきたいと考える。

【自己啓発活動】

開催日	学会名・研修会名	開催場所
2023 年 4 月 8 日	クレインの会	高崎健康福祉大学
2023 年 6 月 16 日～18 日	日本老年看護学会第 28 回学術集会	Web 開催
2023 年 6 月 29 日	群馬県認知症疾患医療センター研修会	Web 開催
2024 年 3 月 7 日	藤岡がん診療講演会 （高齢がん患者の認知症ケア）	公立藤岡総合病院

（文責：公立藤岡総合病院　認知症看護認定看護師　清水　仁美）

認知症看護認定看護師

【実践】

今年度、南7階身体抑制実施者は9名であり、前病棟からの抑制実施者6名・当該部署での開始は3名であった。完全解除は5名であり、その内4名は転棟時に中止し、残る1名も転棟翌日に抑制を中止した。一時解除は4名であったが、多職種を交え代替手法を導入し、意図的な解除を試みた。また、家族からの抑制希望・せん妄困難事例もあったが、「その人にとって最善とは何か」をスタッフと話合い、環境調整や見守りにより抑制回避に繋げた。

院内活動においても、せん妄/BPSDの背景因子・行動理由を考え、身体症状緩和のためのアプローチや専門的治療への介入、家族への情報提供及び協力依頼（馴染みの物を持参等）を行ない、心穏やかに過ごせるよう働きかけた。やむを得ず薬物療法を行なう場合は、年齢・体型・半減期・基礎疾患を考慮し、慎重な薬剤選択と効果判定により、身体への負担を最小限とした。また、新たに急性混乱/高齢者虚弱シンドローム等の看護計画作成・マニュアル改定を行い、部会員への教育、所属部署への指導も実施した。

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加数
2023年8月22日	病棟看護師	せん妄の基礎知識	
2023年9月12日	キャリアラダー研修Ⅰ	認知症ケア	19名
2024年1月16日 2月19日 3月 6日 3月15日 3月22日	全看護師	認知症への理解 病態と症状への対応-	対面： 191名 DVD視聴： 126名 計：317名
2023年10月4日 2024年1月17日	病棟看護師	認知症ｹｱﾁｰﾑ主催 勉強会 （ﾕﾏﾆﾁｭｰﾄﾞ・せん妄）	計：16名

【相談】

今年度、認知症看護認定看護師への介入依頼は131件であった。その内の51件は自身が初回介入し、認定看護師間で情報共有を行い継続的に介入した。主にせん妄やBPSDへの介入依頼が多かったが、その他、帰宅願望のある患者への接し方、概日リズム調整（照度測定含む）、身体抑制3要件の考え方等、医師や看護師からの依頼に応じ対応した。

【自己啓発活動】

開催日	学会名・研修会名	開催場所
2023年4月22日	認知症にならないための生き方 ーいま私たちにできることー	高崎健康福祉大学
2023年6月～12月	第24回日本認知症ケア学会	Web研修
2023年9月24日	認定看護師・専門看護師フォローアップセミナー	Web研修

2023年11月21日	認知症高齢者の転倒予防に身体拘束を選択しない一般病院の取り組み　研究協力	高崎健康福祉大学
2023年12月2日	西毛地区クレインの会 ー認知症高齢者の転倒予防・チーム活動ー	高崎健康福祉大学
2023年12月6日	認知症患者のケアと転倒予防のあり方 ー身体拘束を減らすためにー	ZOOM研修

（文責：公立藤岡総合病院　認知症看護認定看護師　富岡　幸之）

皮膚・排泄ケア認定看護師

【実践】

所属病棟においては、ストーマ造設患者に対し、術前からストーマサイトマーキングの実施やセルフケアや日常生活指導、合併症などの管理困難症例や瘻孔管理等への対応等を行った。

組織横断的活動として、毎週金曜午前は、ストーマ外来で在宅・施設入所のオストメイトに対し継続看護を行っている。毎週金曜日の午後からは褥瘡対策チームとして褥瘡回診に参加し、局所ケアやポジショニングを多職種と協働し実践・指導を行なうと共に病棟スタッフと情報共有し、創傷治癒に向けた継続ケアが行えるように努めた。

※ストーマ外来延べ人数：222 件／年、褥瘡回診延べ件数：235 件／年

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加者
2023 年 7 月 18 日	R5 年度新入職者(看護師)	基礎 I 研修「スキンケア」	25 名
2023 年 9 月 15 月	褥瘡リンクナース	「褥瘡予防とドレッシング材」	25 名
2023 年 11 月 11 日	しらさぎの里スタッフ	「褥瘡予防ケアについて」	約 15 名
2024 年 2・3 月	新人～卒後 3 年目、中途採用の看護師	褥瘡専任看護師研修	約 45 名

【相談】

日々、業務の中で、ストーマ造設患者についての局所ケアや社会資源についての内容や、創傷のある患者の局所ケア等について、医師・看護師を始めとする院内スタッフや訪問看護や老人保健施設のスタッフからも相談を受け、適宜、実際にケアの実施や情報の提供・共有等を行っている。また、令和 5 年度はしらさぎの里の褥瘡保有者に対しては写真とスタッフからの情報を基に、紙面上で褥瘡の治療的ケア指導を行った。

※しらさぎの里褥瘡ケア述べ人数：8 件

【自己啓発活動】

開催日	学会・研修会	会場
2023 年 10 月 29 日	第 16 回群馬ストーマ・リハビリテーション講習会(講師補助)	前橋赤十字病院
2024 年 2 月 9 日 10 日	第 41 回日本ストーマ･排泄リハビリテーション学会総会参加	パシフィコ横浜
2024 年 3 月 9 日	群馬ストーマ・リハビリテーション研究会(座長)	群馬県看護協会

（文責：公立藤岡総合病院　皮膚・排泄ケア認定看護師　松本　佳代）

慢性呼吸器疾患看護認定看護師

【実践】

早期人工呼吸器の離脱の為、人工呼吸器管理、呼吸機能回復に向けての治療、ケアの支援や安全対策に取り組み、呼吸に係る専任チームにより毎週火曜日に回診を行う。

また、退院時に在宅酸素療法を導入した患者さんが、不安なく生活できるように外来受診時に退院後の生活での困っていることや知りたいこと等について相談を拝聴してその都度指導している。退院後、自分らしく納得のいく QOL の維持ができるよう取り組む。

在宅酸素療法を導入している病棟に、在宅酸素療法導入時の看護や酸素ボンベの取り扱いなどについて勉強会を行い、病棟スタッフが統一した指導ができるよう指導している。

【相談】

病棟看護師や理学療法士より在宅酸素療法を導入する患者についての指導内容や機器の選択等について相談があり、患者の QOL に合わせた選択ができるよう関わっている。また酸素療法中の看護についての相談があり、苦痛なく過ごせるようケアしている。

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加者
2023 年 4 月 25 日	北6階病棟看護師	在宅酸素療法導入について	13 人
2023 年 5 月 9 日	北6階病棟看護師	在宅酸素療法の種類について	7 人
2023 年 6 月 28 日	本庄児玉看護専門学校講義	成人看護学方法論Ⅱ　呼吸器	23 人
2023 年 7 月 5 日	新人看護師	酸素療法・吸入療法・吸引について	23 人
2023 年 9 月 8 日 10 月 3 日	北 6 階病棟 新人看護師	ネーザルハイフロー	3 人
2023 年 10 月 13 日	北6階病棟看護師	在宅ネーザルハイフローについて（フクダライフテック）	9 名
2023 年 10 月 17 日	北6階病棟看護師	新リザーバーカニューレについて	9 人

【自己啓発活動】

開催日	学会・研修会	会場
2023 年 12 月 1 日 12 月 2 日	第 33 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	仙台国際センター

（文責：公立藤岡総合病院　慢性呼吸器疾患看護認定看護師　小野澤　恵子）

感染管理認定看護師

【実践】

1年間の学びを経て2023年3月に高崎健康福祉大学実践指導センター感染管理認定教育課程を卒業し、2023年4月から職務に復帰となった。職務に復帰後は、外科病棟兼任とし毎週水曜日、感染管理業務に従事することになった。2023年12月に感染管理認定看護師資格を取得した。

感染管理兼任業務では、ICT（院内感染対策）ラウンドの実施を専従ICN（感染管理看護師）と共に実施した。また、月1回ICT会議、ICC（院内感染対策委員会）に参加した。ASTカンファレンスでは抗菌薬適正使用について検討を行った。感染リンクナース部会にコアメンバーとして参加し、針刺し・切創皮膚粘膜暴露チームの一員として活動を行った。サーベイランスでは手術部位感染の集計を実施した。

2023年4月から群馬県感染対症対策連絡協議会ICN分科会のメンバーとなった。

【教育・指導】

感染リンクナース部会ではコアメンバーとし、院内感染対策についてコアメンバーと月1回程度会議を行い、感染リンクナースの指導にあたった。

【相談】

感染リークナース部会では針刺し・切創皮膚粘膜曝露チームに所属し、針刺し・切創皮膚粘膜曝露件数減少に向けて、対策チームメンバーから相談を受けた際は共に検討し対策を実施した。

開催日	内容	会場
2024年1月23日	院内感染対策全体研修	公立藤岡総合病院
2024年1月24日	院内感染対策全体研修	公立藤岡総合病院

【自己啓発活動】

開催日	内容	会場
2024年1月18日	第3回藤岡地域感染対策委員会	公立藤岡総合病院
2024年1月24日	群馬県ＩＣＮ分科会（Zoom）	公立藤岡総合病院
2024年3月13日	第4回藤岡地域感染対策委員会	公立藤岡総合病院

（文責：公立藤岡総合病院　感染管理認定看護師　大谷　佳子）

７．ＣＰＣ

【第182回】　開催日：2023年5月11日（木）大会議室

剖検Ｎｏ	症例	主治医	病理医	臨床診断・病理解剖診断
373	35歳 男性	循環器内科　井上　雅浩	宮下　南 新井　夏帆（研修医）/ 吉田孝友	臨床診断：突然死、睡眠時無呼吸症候群の疑い 病理診断：睡眠時無呼吸症候群

【第183回】　開催日：2023年7月13日（木）大会議室

剖検Ｎｏ	症例	主治医	病理医	臨床診断・病理解剖診断
374	80歳 男性	呼吸器内科　黒岩　裕也	田中　千智 宮下　晃汰（研修医）/ 吉田孝友	臨床診断：右上葉肺癌、肺内転移・肝転移 病理診断：大細胞神経内分泌癌（右肺上葉）、乳頭型腺癌（左肺上葉）

【第184回】　開催日：2023年10月12日（木）大会議室

剖検Ｎｏ	症例	主治医	病理医	臨床診断・病理解剖診断
375	75歳 女性	消化器内科　山口　泰子	田中　郁亘 串田　光生（研修医）/ 吉田孝友	臨床診断：慢性腎不全の急性憎悪、胃癌内視鏡的粘膜下層剥離術後 病理診断：早期胃癌

【第185回】　開催日：2023年12月14日（木）大会議室

剖検Ｎｏ	症例	主治医	病理医	臨床診断・病理解剖診断
376	85歳 男性	血液内科　外山　耕太郎	松本　栞穂（研修医)/ 吉田孝友	臨床診断：再生不良性貧血、慢性特発性血小板減少性紫斑病、肺炎 病理診断：上行結腸癌、前立腺癌、慢性特発性血小板減少性紫斑病・再生不良性貧血の合併

【第186回】　開催日：2024年2月8日（木）大会議室

剖検Ｎｏ	症例	主治医	病理医	臨床診断・病理解剖診断
378	73歳 女性	血液内科　吉田　源也	大川　真輝（研修医)/ 吉田孝友	臨床診断：成人T細胞白血病/リンパ腫 治療中 病理診断：成人T細胞白血病/リンパ腫、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫・非特定型

８．教育実習生・研修生受入実績

受入部署	学校名	人数	延人数	実習期間	実習内容	備考
診療部	群馬大学医学部附属病院	6	115	11/27 ～ 12/22	群馬大学医学実習(臨床実習)	20日間/1人
		16	297	1/9 ～ 3/29	群馬大学医学実習(臨床実習)	18日間/1人
	小計	22	412			
看護部	藤岡准看護学校	21	1,060	5/9 ～ 11/11	成年・老年看護実習	4～8日間/1人
		21	115	6/6 ～ 11/11	小児看護実習	2～8日間/1人
		21	126	5/23 ～ 10/28	母性看護実習	2～8日間/1人
	群馬医療福祉大学 看護学科	80	620	5/9 ～ 11/24	成人看護学実習Ⅰ	8日間/1人
		81	628	5/9 ～ 11/24	成人看護学実習Ⅱ	8日間/1人
		60	180	9/12 ～ 9/16	基礎看護学実習Ⅰ	3日間/1人
		70	490	12/22 ～ 12/28	基礎看護学実習Ⅱ	7日間/1人
		46	310	5/9 ～ 11/24	高齢者看護学実習Ⅱ	7日間/2人
		51	241	5/9 ～ 11/24	小児看護学実習	5日間/1人
		63	429	5/9 ～ 11/24	母性看護学実習	7日間/1人
		66	265	7/25 ～ 8/4	施設・病棟統合実習	4日間/1人
	群馬パース大学看護学部	3	120	7/19 ～ 10/7	助産実習	20～50 日間/1人
		20	160	8/15 ～ 9/8	基礎看護実習Ⅱ	8日間/1人
	高崎健康福祉大学	21	145.5	5/30 ～ 7/22	老年看護学実習	5.5～8日間/1人
		10	30	11/21 ～ 12/16	母性看護学実習	3日間/1人
	高崎福祉医療カレッジ	24	216	1/16 ～ 2/3	成人看護学実習	9日間/1人
	摂食嚥下障害看護認定看護師	2	40	11/9 ～ 12/9	教育課程臨地実習	20日間/1人
	感染管理認定看護師	2	34	11/1 ～ 12/1	教育課程臨地実習	17日間/1人
	高崎市中学生	3	6	5/31 ～ 6/1	やるベンチャー	2日間/1人
	藤岡市中学生	3	9	9/5 ～ 9/7	チャレンジウィーク	3日間/1人
	藤岡消防署	5	15	6/8 ～ 2/8	救急救命士再教育病院研修	3日間/1人
	藤岡消防署(就業前実習)	2	40	10/24 ～ 12/25	救急救命士就業前研修	20日間/1人
	上野消防出張所	4	12	7/5 ～ 2/17	救急救命士再教育病院研修	3日間/1人
	吉井消防署	1	3	11/28 ～ 12/24	救急救命士再教育病院研修	3日間/1人
	奥多野消防分署	3	9	10/31 ～ 2/3	救急救命士再教育病院研修	3日間/1人
	小計	683	5,304			
検査室	群馬パース大学	2	80	5/15 ～ 7/7	臨床検査技師養成コース	40日間/1人
	北里大学保健衛生専門学院	1	73	5/15 ～ 8/25	臨床検査技師養成コース	73日間/1人
	小計	4	153			
放射線室	群馬パース大学	2	50	5/8 ～ 6/9	核医学検査技術学・放射線治療技術学臨床実習	25日間/1人
	小計	2	50			
栄養室	高崎健康福祉大学	2	20	6/7 ～ 6/20	臨床栄養学実習	10日間/1人
	小計	2	20			

リハビリテーションン室	群馬大学	2	64	8/15 ～ 10/8	理学療法総合実習	32日間/1人
	群馬医療福祉大学	2	66	4/25 ～ 6/23	理学療法総合実習	30日間/1人、36日間/1人
		2	30	11/29 ～ 12/10	理学療法評価実習	15日間/1人
		1	20	9/12 ～ 10/12	作業療法評価実習	20日間/1人
	高崎健康福祉大学	2	66	8/22 ～ 10/8	理学療法総合実習	33日間/1人
		2	66	10/17 ～ 12/3	理学療法総合実習	33日間/1人
		2	10	2/6 ～ 2/11	理学療法見学実習	5日間/1人
		2	38	2/13 ～ 3/11	理学療法評価実習	19日間/1人
	前橋医療福祉専門学校	1	35	6/6 ～ 7/24	作業療法臨床実習	35日間/1人
		1	21	9/30 ～ 10/28	言語聴覚療法実習	21日間/1人
	太田医療技術専門学校	1	43	6/20 ～ 8/20	理学療法総合実習	43日間/1人
		1	15	1/10 ～ 1/28	理学療法評価実習	15日間/1人
	群馬パース大学	2	6	9/13 ～ 9/15	言語聴覚療法見学実習	3日間/1人
		1	3	2/14 ～ 2/16	作業療法見学実習	3日間/1人
		1	14	2/14 ～ 2/28	言語聴覚療法実習	14日間/1人
	帝京平成大学	1	39	5/9 ～ 7/3	言語聴覚療法実習	39日間/1人
	社会医学技術学院	1	38	4/4 ～ 5/28	理学療法総合実習	38日間/1人
		1	34	8/22 ～ 10/8	理学療法総合実習	34日間/1人
	小計	26	608			
患者支援センター	高崎健康福祉大学	1	23	8/8 ～ 9/9	社会福祉援助実習	23日間/1人
	小計	1	23			
医事情報課	前橋医療福祉専門学校	1	5	7/19 ～ 7/25	医療事務・医療秘書実習	5日間/1人
	高崎健康福祉大学	1	10	8/15 ～ 8/26	診療情報管理実習	10日間/1人
		1	9	2/19 ～ 3/1		9日間/1人
	群馬医療福祉大学短期大学部	2	24	8/17 ～ 9/1	診療情報管理実習	12日間/1人
	中央情報経理専門学校	1	2	9/11 ～ 9/12	医療事務・医療秘書実習	2日間/1人
	群馬医療福祉大学	1	13	2/13 ～ 3/1	医療事務・医療秘書実習	13日間/1人
	小計	7	63			
合計		747	6,633			

９．医師臨床研修制度

平成16年4月から厚生労働省は、国民の医療に対する信頼の確保をはじめ、それまで専門分野に偏りがちだった臨床研修を大幅に見直し、専門医となる前の2年間を初期臨床研修と位置づけ必修化した。臨床医として日常の診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できる基本的で幅広い診療能力（包括的医療）と、患者さんを身体面のみでなく、精神面からも総合的に理解しながらケアできる診療能力（全人的医療）を修得し、さらに、あたたかい人間性と広い社会性を身につけ、地域医療にも貢献できる医師を育てることが目的とされた。

当院においては、平成16年3月31日に厚生労働省より、臨床研修病院として認定（厚生労働省発医政第0331050号）を受けた。また、平成27年4月１日付けで卒後臨床研修評価機構の認定病院となった。

(1) 臨床研修の概況

研修期間割（標準）

<table>
<tr><td>月</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr>
<tr><td>１年次</td><td colspan="6">内科</td><td colspan="3">救急部門</td><td>産婦人科</td><td>小児科</td><td>精神科</td></tr>
<tr><td>２年次</td><td>外科</td><td>地域医療</td><td colspan="10"></td></tr>
</table>

※　内科Ⅰ：循環器・糖尿病　　内科Ⅱ：呼吸器、血液　　内科Ⅲ：腎臓・リウマチ・消化器

※　救急は主として外科・整形外科、脳神経外科、麻酔科で研修。また年間を通じて日直、宿直時の研修も救急研修と位置づける。

※　必修科目は内科、産婦人科、小児科、外科、精神科を各１か月。内科、小児科、外科では外来診療を経験する。

※　２年次での地域医療は、緩和ケア診療所いっぽまたは藤岡市国民健康保険鬼石病院で行う。

※　選択で協力型病院での研修を行う場合は、最長３ヶ月とする。

協力型病院：群馬大学医学部附属病院、群馬県立小児医療センター、サンピエール病院、公立富岡総合病院、老年病研究所附属病院

協力施設　：くすの木病院、藤岡市国民健康保険鬼石病院、緩和ケア診療所・いっぽ、藤岡保健所、介護老人保健施設しらさぎの里

(2) 研修協力

当院は、基幹型臨床研修病院として医師の初期研修に携わるほか、群馬大学医学部附属病院、公立富岡総合病院、館林厚生総合病院の協力型臨床研修病院として、同院に在籍する研修医の初期研修も行っている。

(3)プログラム責任者

役職：臨床研修統括部長兼研修管理センター長　氏名：遠藤　究

(4) 臨床研修医受入れ状況

氏　　名	年次	期　　間	在　籍	修了者	備　考
木村　雅文	2	H16.10.1～H17.9.30(10ヶ月)	群　大		除く2ヶ月地保・精神
矢内　有紀	2	H17.4.1～H18.3.31 (10ヶ月)	群　大		除く2ヶ月地保・精神
梅津　桃	2	H17.4.1～H18.3.31 (10ヶ月)	群　大		除く2ヶ月地保・精神
喜多川　孝欽	1	H17.4.1～H18.3.31 (1年)	群　大		
逸見　大造		H17.4.1～H19.3.31 (2年)	当　院	◎	
長坂　江理	1	H17.4.1～H18.3.31 (1年)	群　大		
伴野　潤一	2	H18.4.1～H19.3.31 (10ヶ月)	群　大		除く2ヶ月地保・精神
江原　佳史	1	H18.4.1～H19.3.31 (1年)	群　大		
中島　久仁子		H18.4.1～H20.3.31 (2年)	当　院	◎	
矢島　優		H18.4.1～H20.3.31 (2年)	当　院	◎	
越　浩美		H19.4.1～H21.3.31 (2年)	当　院	◎	
梅山　敦		H19.4.1～H21.3.31 (2年)	当　院	◎	
高橋　研吾		H19.4.1～H21.3.31 (2年)	当　院	◎	
重城　良国		H19.4.1～H21.3.31 (2年)	当　院	◎	
坂本　亮一郎	1	H19.4.1～H20.3.31 (1年)	群　大		
金澤　紗恵子	1	H19.4.1～H20.3.31 (1年)	群　大		
佐藤　成		H20.4.1～H22.3.31 (2年)	当　院	◎	
堀　瑞子		H20.4.1～H22.3.31 (2年)	当　院	◎	
廣江　孝	1	H20.4.1～H21.3.31 (1年)	群　大		
梅元　あずさ	2	H20.5.5～H21.3.31 (11ヶ月)	群　大		除く1ヶ月地域保健
髙橋　駿介		H21.4.1～H23.3.31 (2年)	当　院	◎	
塚越　律子		H21.4.1～H23.3.31 (2年)	当　院	◎	
富田　庸介		H21.4.1～H23.3.31 (2年)	当　院	◎	
竹村　仁男		H21.4.1～H23.3.31 (2年)	当　院	◎	
鈴山　耕平	1	H21.4.1～H22.3.31 (1年)	群　大		
諏訪　絢也	1	H21.4.1～H22.3.31 (1年)	群　大		
日下田　大輔	2	H21.6.1～H22.3.31 (10ヶ月)	群　大		除く2ヶ月地保・精神
宮地　那実		H22.4.1～H24.3.31 (2年)	当　院	◎	
高見　尚平	2	H22.4.1～H23.3.31 (10ヶ月)	群　大		除く2ヶ月地保・精神
中田　聡	2	H22.4.1～H23.3.31 (10ヶ月)	群　大		除く2ヶ月地保・精神
藍原　和史	1	H23.4.1～H24.3.31 (1年)	群　大		
友松　佑介		H23.4.1～H25.3.31 (2 年)	当　院	◎	
江原　玄		H23.4.1～H25.3.31 (2 年)	当　院	◎	
木村　隼人		H23.4.1～H25.3.31 (2 年)	当　院	◎	
萩原　慶		H23.4.1～H25.3.31 (2 年)	当　院	◎	
岡庭　隼		H23.4.1～H25.3.31 (2 年)	当　院	◎	
安藤　雅泰	2	H24.4.1～H25.3.31 (11ヶ月)	群　大		除く1ヶ月地域医療
齊藤　千真		H24.4.1～H26.3.31 (2年)	当　院	◎	
古川　正一郎		H24.4.1～H26.3.31 (2年)	当　院	◎	
小暮　正信		H24.4.1～H26.3.31 (2年)	当　院	◎	

氏　　名	年次	期　　間	在　籍	修了者	備　考
青木　雅典		H24.4.1～H26.3.31（2年）	当　院	◎	
大嶋　愛沙香	1	H24.4.1～H25.3.31（1年）	群　大		
山田　宏明	2	H25.4.1～H25.3.31（10ヶ月）	群　大		除く2ヶ月地医・核医
荒木　祐樹	2	H25.6.1～H25.3.31（9ヶ月）	群　大		除く1ヶ月地域医療
寺内　祐理		H25.4.1～H27.3.31（2年）	当　院	◎	
根井　翼		H25.4.1～H27.3.31（2年）	当　院	◎	
佐々木　隆文		H25.4.1～H27.3.31（2年）	当　院	◎	
髙野　順子		H25.4.1～H27.3.31（2年）	当　院	◎	
土田　圭祐	1	H25.4.1～H26.3.31（1年）	群　大		
福田　周一	2	H26.6.1～H27.3.31（10ヶ月）	群　大		除く1ヶ月藤岡保健所
宮川　真梨江	2	H26.6.1～H26.8.31（3ヶ月）	群　大		
齋藤　水絵		H26.4.1～H28.3.31（2年）	当　院	◎	
村主　遼		H26.4.1～H28.3.31（2年）	当　院	◎	
得居　俊介		H26.4.1～H28.3.31（2年）	当　院	◎	
本吉谷真理子	1	H26.4.1～H28.3.31（1年）	群　大		
高木　瑛子		H27.4.1～H29.3.31（2年）	当　院	◎	
金子　裕美		H27.4.1～H29.3.31（2年）	当　院	◎	
金井　杏奈		H27.4.1～H29.3.31（2年）	当　院	◎	
山本　ひとみ		H27.4.1～H29.3.31（2年）	当　院	◎	
舩引　亮輔		H27.4.1～H29.3.31（2年）	当　院	◎	
渡邉　嘉一		H27.4.1～H29.3.31（2年）	当　院	◎	
高橋　怜真		H27.4.1～H29.3.31（2年）	当　院	◎	
平形　絢子	2	H27.5.1～H28.3.31（11ヶ月）	群　大		
木下　優実	2	H27.6.1～H28.8.31（3ヶ月）	群　大		
長又　亮	2	H27.8.1～H27.10.31（3ヶ月）	群　大		
平山　結佳子	2	H27.10.1～H28.12.31（3ヶ月）	群　大		
平山　恭平	2	H27.12.1～H28.2.29（3ヶ月）	群　大		
周藤　周	1	H27.4.1～H28.3.31（1年）	群　大		
戸村　琴音		H28.4.1～H30.3.31（2年）	当　院	◎	
板井　美紀		H28.4.1～H30.3.31（2年）	当　院	◎	
道﨑　護		H28.4.1～H30.3.31（2年）	当　院	◎	
三森　亮太		H28.4.1～H30.3.31（2年）	当　院	◎	
小川　真一郎		H28.4.1～H30.3.31（2年）	当　院	◎	
丸山　篤造	1	H28.4.1～H29.3.31（1年）	群　大		
塚田　明彦	1	H28.4.1～H29.3.31（1年）	群　大		
明石　直樹	2	H28.5.1～H29.3.31（11ヶ月）	群　大		
佐藤　広宣		H29.4.1～H31.3.31（2年）	当　院	◎	
福田　怜雄		H29.4.1～H31.3.31（2年）	当　院	◎	
萩原　舟平		H29.4.1～H31.3.31（2年）	当　院	◎	
大枝　涼平		H29.4.1～H31.3.31（2年）	当　院	◎	
南雲　航		H29.4.1～H31.3.31（2年）	当　院	◎	

氏　　名	年次	期　　間	在　籍	修了者	備　考
木村　健人		H29.4.1～H31.3.31（2年）	当　院	◎	
内田　美帆		H29.4.1～H31.3.31（2年）	当　院	◎	
高橋　亜実	1	H29.4.1～H30.3.31（1年）	群　大		
松本　彬	2	H29.5.1～H30.3.31（11ヶ月）	群　大		
清水　一輝	1	H30.4.1～H31.3.31（1年）	群　大		
荒巻　裕人	2	H30.5.1～H31.3.31（11ヶ月）	群　大		
杉﨑　真人	2	H30.11.1～H31.3.31（3ヶ月）	群　大		
河野　慧		H30.4.1～R2.3.31	当　院	◎	
木口　友紀		H30.4.1～R2.3.31	当　院	◎	
坂本　康大		H30.4.1～R2.3.31	当　院	◎	
反町　隼人		H30.4.1～R2.3.31	当　院	◎	
半田　敬祐		H30.4.1～R2.3.31	当　院	◎	
柴　佳那		H30.4.1～R1.7.31（1年3ヶ月）	当　院		中断後群馬大学で修了
土橋　里美		H31.4.1～R3.3.31	当　院	◎	
儘田　千尋		H31.4.1～R3.3.31	当　院	◎	
石﨑　正徳		H31.4.1～R3.3.31	当　院	◎	
黒岩　裕也		H31.4.1～R3.3.31	当　院	◎	
牛久保　陸生		H31.4.1～R3.3.31	当　院	◎	
友金　佐光		H31.4.1～R3.3.31	当　院	◎	
伊藤　望		H31.4.1～R3.3.31	当　院	◎	
塩原　理沙	2	R1.5.1～R2.3.31（11ヶ月）	群　大		
小川　由希子	1	R2.10.1～R2.11.30（2ヶ月）	館林厚生		
石川　幸之助	1	R2.3.1～R2.4.30（2ヶ月）	館林厚生		
今井　勝也		R2.4.1～R4.3.31	当　院	◎	
吉田　源也		R2.4.1～R4.3.31	当　院	◎	
鈴木　美咲		R2.4.1～R4.3.31	当　院	◎	
髙橋　慶一郎		R2.4.1～R4.3.31	当　院	◎	
古市　望		R2.4.1～R4.3.31	当　院	◎	
小野　りさ子		R2.4.1～R4.3.31	当　院	◎	
峰村　成		R2.4.1～R4.3.3. 31	当　院	◎	
森村　友紀	2	R4.1.1～R4.1.31（1ヶ月）	富岡総合		
岡部　環	1	R3.4.1～R4.3.31（1年）	群　大		
角張　友隆		R3.4.1～R5.3.31	当　院	◎	
大屋　裕		R3.4.1～R5.3.31	当　院	◎	
松井　遼		R3.4.1～R5.3.31	当　院	◎	
髙橋　里奈		R3.4.1～R5.3.31	当　院	◎	
前田　七海		R3.4.1～R5.3.31	当　院	◎	
林　紘太		R3.4.1～R5.3.31	当　院	◎	
前原　孝史		R3.4.1～R5.3.31	当　院	◎	
前原　利勝	2	R4.4.1～R5.3.31（11ヶ月）	群　大		
廣神　佑香	2	R4.8.1～R4.8.31（1ヶ月）	富岡総合		

中島　悠吾		R4.4.1～R6.3.31	当　院	◎	
宮下　南		R4.4.1～R6.3.31	当　院	◎	
清水　湧作		R4.4.1～R6.3.31	当　院	◎	
横山　響		R4.4.1～R6.3.31	当　院	◎	
井上　俊		R4.4.1～R6.3.31	当　院	◎	
新井　萌々花		R4.4.1～R6.3.31	当　院	◎	
黒川　真登		R4.4.1～R6.3.31	当　院	◎	
小谷野　拓也	2	R5.4.1～R6.3.31（11ヶ月）	群　大		

令和５年度　医師臨床研修関係実績

月	日	内　　容
4	3・4・5	辞令交付式･オリエンテーション・新入職者接遇マナー研修・火災避難訓練
	6・7	グラム染色・血液型・エコー研修
	13	群馬県臨床研修病院合同オリエンテーション
5	20	院内 ICLS
6	24	院内 ICLS
7		
8	9・23	研修医採用試験
	21	第１回研修管理委員会
9	14	救急車同乗実習
	29	マッチング中間発表
10	5〜27	救急車同乗実習
	26	マッチング結果発表
11	11	緩和ケア研修会
	20	第２回研修管理委員会
12		
1	23	研修医症例発表会
	28	JMECC
	30	基本的臨床能力評価試験
2	3・4	第 118 回医師国家試験
	7	次年度採用研修医説明会
3	2	レジナビウェブ
	11	第３回研修管理委員会
	15	第 117 回医師国家試験発表
	27	修了証書授与式

令和５年度　研修医研修

	開催日	名称	テーマ・内容	講師
4月	4月24日	研修医懇談会レクチャー	慢性腎臓病の基礎知識	腎臓内科
5月	5月11日	キャンサーボード	原発不明癌	外科
	5月11日	M&Mカンファレンス	癌化学療法骨髄抑制状態に発症した 重症COVID-19肺炎	呼吸器内科
	5月22日	研修医懇談会レクチャー	心電図の話	循環器内科
	5月22日	院内学術集談会	小児の輸液	小児科
6月	6月8日	キャンサーボード	右精巣腫瘍	泌尿器科
	6月8日	M&Mカンファレンス	血栓性血小板減少性紫斑病	腎臓内科
	6月16日	トレーニングプログラム	糸結び／皮膚縫合	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社担当者
	6月26日	研修医懇談会レクチャー	肺結核の画像診断	呼吸器内科
	6月26日	院内学術集談会	感染必須研修・AST研修	安全・感染研修会
	6月30日	トレーニングプログラム	トロッカー固定と小切開閉創	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社担当者
7月	7月13日	キャンサーボード	大腸癌	消化器内科
	7月13日	M&Mカンファレンス	食道胃接合部癌	外科
	7月24日	研修医懇談会レクチャー	急性胆管炎・急性胆のう炎	外科
	7月24日	院内学術集談会	薬剤性肺障害	呼吸器内科
8月	8月18日	トレーニングプログラム	真皮縫合	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社担当者
	8月25日	トレーニングプログラム	消化管吻合/真皮縫合	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社担当者
	8月28日	研修医懇談会レクチャー	産婦人科でよくみる症状や疾患	産婦人科
	8月28日	院内学術集談会	非定型大腿骨骨折	整形外科
9月	9月14日	キャンサーボード	多発性骨髄腫	血液内科
	9月14日	M&Mカンファレンス	脳梗塞	脳外科
	9月25日	研修医懇談会レクチャー	貧血の鑑別判断	血液内科
	9月25日	院内学術集談会	小児外科領域で遭遇する救急疾患	外科
10月	10月12日	キャンサーボード	胃癌	外科　豊増嘉高
	10月12日	M&Mカンファレンス	洞不全症候群？	循環器内科　井上雅浩
	10月23日	研修医懇談会レクチャー	潰瘍性大腸炎について	消化器内科　山口泰子
	10月23日	院内学術集談会	放射線研修会	放射線診断科　神宮晶子
11月	11月9日	キャンサーボード	前立腺癌、多発リンパ節転移	呼吸器内科　梅津和恵
	11月9日	M&Mカンファレンス	卵巣癌	産婦人科　阿美寛人
	11月27日	研修医懇談会レクチャー	外傷、創傷に使う薬剤や被覆剤	整形外科　齊田竜太
	11月27日	院内学術集談会	放射線業務従事者のための教育訓練 2023	放射線治療科　塩谷真里子
12月	12月14日	キャンサーボード	胃癌	外科　髙橋遼
	12月14日	M&Mカンファレンス	成人T細胞白血病・リンパ種	血液内科　吉田源也
	12月25日	研修医懇談会レクチャー	膀胱癌の診断と治療	泌尿器科　高鍬征大
	12月25日	院内学術集談会	帯状疱疹ワクチンについて	皮膚科　嶋岡正利
1月	1月22日	研修医懇談会レクチャー	アナフィラキシーショック	小児科　小山晴美
	1月22日	院内学術集談会	感染必須研修・AST研修	安全・感染研修会
	1月29日	JMECC研修会	内科版ICLS	群大澤田医師、高総植原医師　ほか

2月	2月3日	ETHICON SAFETY USE TRAINING(福島)	縫合訓練	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社担当者
	2月8日	キャンサーボード	卵巣癌	産婦人科　阿美寛人
	2月8日	M&Mカンファレンス	浸潤性膀胱癌	泌尿器科　高鍬征大
	2月26日	研修医懇談会レクチャー	脳神経外科実例について	脳神経外科　若林和樹
	2月26日	院内学術集談会	HPVワクチンについて	産婦人科　阿美寛人
3月	3月14日	キャンサーボード	乳癌、肺癌、膵癌、大腸癌	外科　牛久保陸生
	3月14日	M&Mカンファレンス	右大腿骨ステム周囲骨折	整形外科　齋藤真幹
	3月25日	研修医懇談会レクチャー	高血糖緊急症の診断と治療	糖尿病内科　中原理恵子
	3月25日	院内学術集談会	薬剤関連顎骨壊死について	歯科口腔外科　金井　梢

第 18 回公立藤岡総合病院研修医症例発表回抄録

令和 6 年 1 月 23 日（月）17：30～

公立藤岡総合病院　大会議室

1.当院におけるヘパリン起因性血小板減少症 11 症例の検討

新井　夏帆

【症例】91 歳女性。X 年 5 月(第 1 病日)左大腿骨転子部骨折のため整形外科へ入院。第 5 病日、観血的整復固定術を実施した。第 12 病日血小板数 0.9 万/μL、D-dimer 47.5 μg/mL のため、当科を受診した。造影 CT で肺血栓塞栓症を認め、血栓症を伴う血小板減少を鑑別したところ抗 HIT 抗体陽性でありヘパリン起因性血小板減少症（HIT）の診断となった。また、HIT 関連播種性血管内凝固を合併していた。直ちにヘパリンの使用を中止しアルガトロバン 20 mg/日を開始した。治療により血小板数、D-dimer は改善した。第 43 病日、エドキサバン 30 mg/日に変更し、以後再燃はしていない。

【結語】当院において 2012 年 1 月 1 日から 2023 年 10 月 31 日までで 11 例の HIT 発症例があり、本症例を除いた 10 例は血液透析導入患者だった。HIT は脳血管疾患、冠動脈疾患、透析導入期などで発症頻度が高いとされており、当院において軽症 HIT が診断に至っていない可能性が示唆された。ヘパリン使用患者において血小板減少や血栓症を合併した場合は HIT を積極的に疑う必要がある。

2.ステージングに難渋した子宮体癌ⅣB 期の一例

田中　千智

【緒言】子宮体癌は、手術療法が第一選択であり、病理学的進行期分類に基づいて再発リスク評価を行い、追加治療を決定する。一般的に、筋層浸潤が浅い子宮体癌は早期であることが多い。今回、局所病変の病理や転移の局在から、進行期決定に難渋した一例を経験したため報告する。

【症例】58 歳女性。0 妊 0 産。閉経 52 歳。当院で子宮内膜異型増殖症と診断され、以降子宮体部細胞診(EM)と経腟超音波検査で定期的にフォローをしていた。X 年 Y 月 EM にて classⅢの診断となり内膜組織診を行ったところ、類内膜癌(Grade2)であった。その後画像精査を行ったところ、子宮および肝臓表面に腫瘤を認め、子宮体癌ⅣB 期疑いとなった。Y+1 月、腹式単純子宮全摘、両側付属器摘出、大網部分切除を施行し、術後病理診断では pStage Ⅰ A(pT1a pNXc M0)となった。局所病変より早期子宮体癌の可能性も示唆されたため、追加で肝臓表面の病変に対し、腹腔鏡下腫瘍生検を施行した。手術所見および病理より、肝表面の腫瘍は子宮体癌腹膜転移と診断した。現在子宮体癌ⅣB 期に対し、DC 療法を行っている。

【考察】子宮体癌ⅣB 期で孤発性腹膜転移の症例を経験した。局所病変が Ⅰ 期相当の場合、遠隔転移を有する頻度は少ないが、腹腔鏡下腫瘍生検により転移病変を適切に評価し、術後治療に結び付けることができた。

3.血尿のスクリーニング検査を端に C9 欠損症の確定診断に至った男児例

宮下　晃汰

[緒言] C9 欠損症は日本では 1/1000-3000 人の頻度で存在する疾患である。多くは無症候性に経過するが、特定の感染症に易感染で、時に重症化することがある。今回、血尿のスクリーニング検査を契機に C9 欠損症の確定診断をし得た男児例を報告する。[症例]8 歳男児。学校検尿で尿潜血陽性のため近医から紹介となった。既往歴、家族歴に特記事項はない。受診時、C3 100 mg/dL, C4 21 mg/dL, CH50 11.2 U/mL と C3, C4 は正常だが CH50 の低値を認めた。また、尿潜血(2+), 赤血球沈渣 10-19 /HPF であった。補体低下パターンから C9 欠損症を疑い、精査の結果 C9 欠損症の確定診断に至った。[考察]C9 欠損症ではナイセリア属菌の溶菌速度が低下し、髄膜炎菌に感染しやすい。侵襲性髄膜炎菌感染症は致死率 50%と予後不良であり、国内でも集団感染・死亡例が報告されている。C9 欠損症の根本的な治療はなく、合併症に対する予防・治療・疾病教育が重要である。本症例では髄膜炎菌ワクチンと疾病教育を行い、重症感染症等なく経過している。日本では頻度が低くない疾患であり、補体低値を発見した際には看過せず C9 欠損症の可能性を考慮する必要がある。

4.上行結腸癌を併存した S 状結腸軸捻転症の 1 例

田中　郁亘

【症例】84 歳女性。腹部膨満を主訴に当院救急外来を紹介受診した。血液検査上明らかな異常を認めないものの、身体診察にて著明な腹部膨満を認め、腸閉塞が疑われた。腹部 Xp では coffee bean sign を認め、腹部 CT にて whirl sign, bird’s beak sign を認め、S 状結腸軸捻転の診断となった。緊急で内視鏡的整復術を施行したところ、捻転解除に成功した。その後腸管安静目的で入院とした。入院時の CT にて上行結腸に腫瘤を認め、再度大腸内視鏡検査行い生検したところ、大腸癌(cT2N0M0 cStage I)の診断となった。全身状態安定後、捻転の原因となった S 状結腸過長および上行結腸癌に対して同時に手術を行った。術後経過に問題なく、術後 17 日に退院となった。
【考察】S 状結腸軸捻転は緊急処置が必要となる救急疾患であり、治療戦略の決定には臨床的・放射線学的な評価をする必要がある。本症例は S 状結腸軸捻転を内視鏡的に整復し、その後全身状態改善を待って S 状結腸過長および上行結腸癌に対して同時に手術を行い、安全に施行した一例であり、文献的考察を加えて報告する。

5.限局性帯状疱疹に合併した SIADH の一例

松本栞穂

【症例】74 歳男性。後頭部痛、嘔吐、食思不振を主訴に当院初診外来を受診した。血清 Na 121mEq/L と低値であり、水分制限と塩分摂取を指示し経過観察する方針となった。しかし、同日夜間から左顔面に発疹が出現し、頻回嘔吐、経口摂取不良を呈した。5 日後転倒し、当院に搬送された。左大腿骨骨折の診断となったが、血清 Na 104mEq/L と著明な低 Na 血症が判明し当科入院となった。入院後は帯状疱疹の診断でアシクロビルを投与し、低 Na 血症に対して高張食塩水輸液を行った。SIADH の診断となりトルバプタン治療を開始したところ、徐々に血清 Na 値は上昇し、安定に至った。
【考察】SIADH の一般的な原因として中枢神経疾患、肺疾患、異所性 ADH 産生腫瘍、薬剤が挙げられる。本症例では上記疾患は否定的であり、原因として限局性帯状疱疹が疑われた。限局性帯状疱疹を契機とした SIADH は報告が少なく、稀な病態ではあるが、近年帯状疱疹患者が増加していることから、今後症例数が増えてくることが予想される。帯状疱疹患者で嘔吐や倦怠感などを伴う場合には電解質の確認を行うべきである。

6.短期間の VA-ECMO 使用により救命できた、若年重症肺血栓塞栓症の一例

串田　光生

臨床経過 : 38 歳男性。自宅にて倒れ、救急搬送された。来院時意識レベルはＪＣＳⅡ桁、収縮期血圧 60mmHg 台、SpO2 60%(02 10L/min.)とショック状態であり、気管内挿管、人工呼吸器管理を開始した。心エコーで左室は圧排され D-shape となっていることから肺血栓塞栓症による心原性ショックとして治療を開始した。血栓溶解療法や、カテコラミン投与を行ったが循環動態は安定せず、VA-ECMO を挿入した。VA-ECMO 挿入後、循環動態は安定し、10 時間後に離脱することが出来た。第 3 病日の造影 C T では、肺動脈主幹部に血栓を認め、肺血栓塞栓症の確定診断に至った。VA-ECMO、人工呼吸器離脱後も状態は安定しており、第 19 病日に退院となった。神経学的後遺症は残らず回復した。
考察：当院にて VA-ECMO を使用した 23 症例の検討を行った。VA-ECMO は留置に伴う合併症が多く、48-72 時間で離脱することが望ましいとされている。当院においても 72 時間以降に離脱した症例では後遺症の発生や生存率の低下を認めた。本症例では VA-ECMO を短期で離脱しており、合併症も生じず、良好な転帰を辿ることが出来た。

7.急性Ⅱ型呼吸不全で発症し人工呼吸器管理下に診断された筋萎縮性側索硬化症(ALS)の一例

大川　真輝

【症例】79 歳女性。独居で ADL は自立していた。9 月 16 日に自宅で転倒し救急搬送された。搬送時 JCS300 で下顎呼吸を認め、動脈血ガス分析では pH 6.97、$PaCO_2$ 196Torr と高度の呼吸性アシドーシスを呈していた。救急外来で心静止となり、気管挿管・心肺蘇生により心拍再開し人工呼吸器管理となった。第 2 病日には意識清明となったが、VT100ml 未満の低換気状態が遷延した。画像検査で脳脊髄に異常なく、気道・肺・胸郭も異常を認めなかった。神経筋疾患の可能性を考え神経内科にコンサルトし、頸髄・腰仙髄の 2 領域で上位・下位運動ニューロンの障害が確認され ALS と診断した。第 17 病日に気管切開を施行し、以降、日中は人工呼吸器から離脱可能となった。包括的呼吸リハビリテーションの早期介入により、身体活動性が向上し、80m 歩行が可能な状態まで回復した。夜間のみ人工呼吸器管理(PS4、PEEP3)を継続する方針とし、第 60 病日に療養転院となった。

【結語】本症例は軽微な四肢筋力低下により転倒し、転倒による疼痛を契機に急性Ⅱ型呼吸不全を発症し人工呼吸器管理下に診断された ALS である。急性Ⅱ型呼吸不全の鑑別診断として、稀ではあるが神経筋疾患を考慮する必要がある。

Ⅵ　購入図書

国内雑誌（公立藤岡総合病院）

雑誌名	
1.Coronary Intervention	24.プロフェッショナル　がんナーシング
2.心臓	25.臨床透析
3.腎と透析	26.小児看護
4.呼吸器内科	27.看護人材育成
5.消化器内視鏡	28.ナースマネージャー
6.手術	29.エキスパートナース
7.外科	30.緩和ケア
8.胸部外科	31.メディカルテクノロジー
9.消化器外科	32.心エコー
10. 病理と臨床	33.月刊新医療
11. 臨床婦人科産科	34.インナービジョン
12. 周産期医学	35.クリニカルエンジニアリング
13. Lisa	36.ヘルスケアレストラン
14. ペインクリニック	37.栄養と料理
15. 麻酔	38.NHK 今日の健康
16. 糖尿病プラクティス	39.Journal of clinical rehabilitation
17. 糖尿病ライフ　さかえ	40.日経 DI
18.小児内科	41.地域医療連携入退院支援
19.小児科	42.地方公務員月報
20.画像診断	43.人事院月報
21.臨床画像	44.月刊保険診療
22.レジデントノート	45.医事業務
23.日本医事新報	46.切り抜き速報　医療と安全総集編

国外雑誌（公立藤岡総合病院）

雑誌名
1.　American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine
2.　Blood
3.　British Journal of Hematology　:bjh
4.　Circulation
5.　The Journal of Pediatrics
6.　The New England Journal of Medicine
7.　Journal of American College of Cardiology : JACC
8.　Journal of American Society of Nephrology　:JASN
9.　Leukemia
10. Pediatrics
11. Chest
12. Journal of Orthopaedic Science
13. Annals of Rheumatic Diseases

Ⅶ　経営状況

１．損益計算書

（単位：千円、％）

区分	令和3年度	令和4年度		令和5年度	
	金額	金額	前年比	金額	前年比
病院事業収益	12,046,269	13,708,525	113.8	12,410,719	90.5
医業収益	10,573,920	11,105,565	105.0	11,349,403	102.2
入院収益	6,586,685	6,836,930	103.8	6,993,953	102.3
外来収益	3,435,033	3,709,148	108.0	3,814,748	102.8
その他医業収益	552,202	559,487	101.3	540,702	96.6
医業外収益	1,324,560	2,489,052	187.9	942,356	37.9
受取利息及び配当金	200	200	100.0	200	100.0
補助金	800,821	1,292,791	161.4	324,890	25.1
他会計負担金	161,694	170,182	105.2	159,025	93.4
長期前受金戻入	315,323	991,692	314.5	420,999	42.5
その他医業外収益	46,522	34,187	73.5	37,242	108.9
特別利益	147,789	113,908	77.1	118,960	104.4
固定資産売却益	0	1,936	－	0	－
過年度損益修正益	0	0	－	31	－
その他特別利益	147,789	111,972	75.8	118,929	106.2
病院事業費用	12,652,212	16,149,919	127.6	12,725,633	78.8
医業費用	11,456,247	11,680,904	102.0	12,070,591	103.3
給与費	5,669,354	5,675,146	100.1	6,043,210	106.5
材料費	2,888,143	3,117,742	107.9	3,291,299	105.6
経費	1,692,071	1,794,919	106.1	1,779,030	99.1
減価償却費	1,147,871	1,042,794	90.8	916,793	87.9
資産減耗費	25,929	23,714	91.5	15,658	66.0
研究研修費	16,256	20,463	125.9	23,460	114.6
長期前払消費税償却	16,623	6,126	36.9	1,141	18.6
医業外費用	661,776	702,303	106.1	641,111	91.3
支払利息及び企業債取扱諸費	143,478	135,182	94.2	125,879	93.1
雑損失	0	3,628	－	0	－
雑支出	518,298	563,493	108.7	515,232	91.4
特別損失	534,189	3,766,712	705.1	13,931	0.4
固定資産売却損	0	365,795	－	0	－
過年度損益修正損	17,444	500	2.9	13,931	2,786.2
その他特別損失	516,745	3,400,417	－	0	0.0
収支差引	△ 589,320	△ 2,441,394	－	△ 314,914	－

２．貸借対照表

（単位：千円、％）

区分	令和3年度	令和4年度		令和5年度	
	金額	金額	前年比	金額	前年比
固定資産	17,008,245	12,645,581	74.3	12,083,914	95.6
有形固定資産	16,350,982	12,010,641	73.5	11,331,878	94.3
土地	1,738,571	958,852	55.2	958,852	100.0
建物	22,668,036	14,906,504	65.8	14,906,504	100.0
構築物	913,339	770,340	84.3	771,540	100.2
器械備品	5,425,474	5,417,590	99.9	5,431,899	100.3
車両	9,364	9,364	100.0	9,364	100.0
リース資産	185,128	175,478	94.8	169,633	96.7
減価償却累計額	△ 14,588,930	△ 10,227,487	70.1	△ 10,953,914	107.1
建設仮勘定	0	0	―	38,000	―
無形固定資産	35,369	19,172	54.2	17,409	90.8
投資	621,894	615,768	99.0	734,627	119.3
流動資産	6,044,049	6,575,060	108.8	6,069,449	92.3
現金預金	3,470,271	3,611,166	104.1	3,812,579	105.6
未収金	2,424,266	2,822,703	116.4	2,116,683	75.0
有価証券	1,000	1,000	100.0	1,000	100.0
貯蔵品	134,633	126,312	93.8	139,187	110.2
前払費用	13,879	13,879	100.0	0	0.0
資産合計	23,052,294	19,220,641	83.4	18,153,363	94.4
固定負債	16,530,760	16,071,655	97.2	15,184,186	94.5
企業債	14,329,809	13,961,511	97.4	13,059,811	93.5
リース債務	1,802	908	50.4	0	―
退職者給与引当金	2,199,149	2,109,236	95.9	2,124,375	100.7
流動負債	2,733,133	2,278,431	83.4	2,501,575	109.8
企業債	1,181,248	939,698	79.6	1,099,700	117.0
リース債務	879	894	101.7	908	101.6
未払金	1,132,281	948,835	83.8	986,017	103.9
前受金	0	0	―	90	―
引当金	374,328	344,899	92.1	366,891	106.4
その他流動負債	44,397	44,105	99.3	47,969	108.8
繰延収益	1,165,929	659,297	56.5	540,657	82.0
長期前受金	9,092,391	9,689,423	106.6	10,110,710	104.3
長期前受金収益化累計額	△ 7,926,462	△ 9,030,126	113.9	△ 9,570,053	106.0
資本金	959,515	959,515	100.0	959,515	100.0
自己資本金	959,515	959,515	100.0	959,515	100.0
剰余金	1,662,957	△ 748,257	△ 45.0	△ 1,032,570	138.0
資本剰余金	1,990,988	2,021,169	101.5	360,276	17.8
利益剰余金	△ 328,031	△ 2,769,426	844.3	△ 1,392,846	50.3
負債資本合計	23,052,294	19,220,641	83.4	18,153,363	94.4

３．経営分析

区分	備考	令和3年度	令和4年度	令和5年度
自己資本構成比率	$\frac{\text{自己資本金＋剰余金}}{\text{負債・資本合計}}\times 100$	11.4%	1.1%	-0.4%
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}\times 100$	221.1%	288.6%	242.6%
現金比率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}}\times 100$	127.0%	158.5%	152.4%
総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}}\times 100$	95.2%	84.9%	97.5%
医業収支比率	$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}}\times 100$	92.3%	95.1%	94.0%
病床利用率	一般	78.8%	72.3%	80.9%
１日平均患者数	入院	280.3人	282.1人	303.3人
	入院診療日数	365日	365日	366日
	外来	667.1人	672.3人	670.3人
	外来診療日数	242日	243日	243日
患者１人１日当り診療収入	入院	64,368円	66,406円	62,998円
	外来	21,276円	22,704円	23,420円
医業収益に対する割合	職員給与費	53.6%	51.1%	53.2%
	薬品費	19.1%	20.5%	21.5%
患者１人１日当り薬品費	投薬	1,109円	1,158円	1,392円
	注射	5,343円	6,036円	6,250円

Ⅷ　業務統計

１．入院・外来患者の状況

（１）入院延べ患者数

（単位：人）

月別／科別	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合　計	1日平均
内　科	4,430	4,895	4,177	4,525	5,119	4,807	4,885	4,798	4,535	4,873	4,601	5,459	57,104	156.4
小　児　科	143	157	298	267	232	248	288	270	272	180	220	219	2,794	7.7
外　科	1,114	953	946	1,140	1,135	1,016	1,121	997	931	953	932	978	12,216	33.5
整形外科	949	1,132	1,114	1,082	1,092	1,135	1,340	1,338	1,144	1,271	1,352	1,329	14,278	39.1
産婦人科	160	155	217	301	193	192	238	279	279	241	292	209	2,756	7.6
耳　鼻　科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
脳　外　科	1,288	1,493	1,570	1,386	1,514	1,237	1,240	1,347	1,739	1,877	1,492	1,380	17,563	48.1
眼　科	10	10	18	15	10	19	9	8	13	15	22	20	169	0.5
麻　酔　科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
泌尿器科	315	349	287	368	304	326	304	323	277	352	341	269	3,815	10.5
心療内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
皮　膚　科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	27	0.1
放診断科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
救　急　科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
リハビリ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
放治療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
歯科口腔外科	25	21	40	24	34	21	23	16	16	25	28	24	297	0.8
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合　計	8,434	9,165	8,667	9,108	9,633	9,001	9,448	9,376	9,206	9,787	9,280	9,914	111,019	303.3
１日平均	281.1	295.6	288.9	293.8	310.7	300.0	304.8	312.5	297.0	315.7	320.0	319.8	303.3	
新　生　児	33	53	33	59	62	66	41	96	67	66	25	41	642	1.8

（２）入院実患者数

（単位：人）

月別／科別	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合　計	1日平均
内　科	311	322	303	351	340	343	344	314	339	325	316	331	3,939	10.8
小　児　科	30	30	51	42	39	32	31	40	43	26	35	34	433	1.2
外　科	102	116	112	105	127	105	125	127	103	106	111	105	1,344	3.7
整形外科	72	59	48	66	64	61	70	65	65	74	59	62	765	2.1
産婦人科	21	26	29	36	29	28	31	33	33	29	29	23	347	1.0
耳　鼻　科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
脳　外　科	62	64	49	51	64	53	52	62	71	57	59	55	699	1.9
眼　科	10	10	18	15	10	19	9	8	13	15	10	20	157	0.4
麻　酔　科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
泌尿器科	47	49	36	33	36	33	37	35	31	42	42	32	453	1.2
心療内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
皮　膚　科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.0
放診断科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
救　急　科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
リハビリ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
放治療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
歯科口腔外科	10	10	11	12	17	6	11	8	9	14	10	13	131	0.4
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合　計	665	686	657	711	726	680	710	692	707	688	671	676	8,269	22.6
１日平均	22.2	22.1	21.9	22.9	23.4	22.7	22.9	23.1	22.8	22.2	23.1	21.8	22.6	

（３）診療科別延べ入院患者数

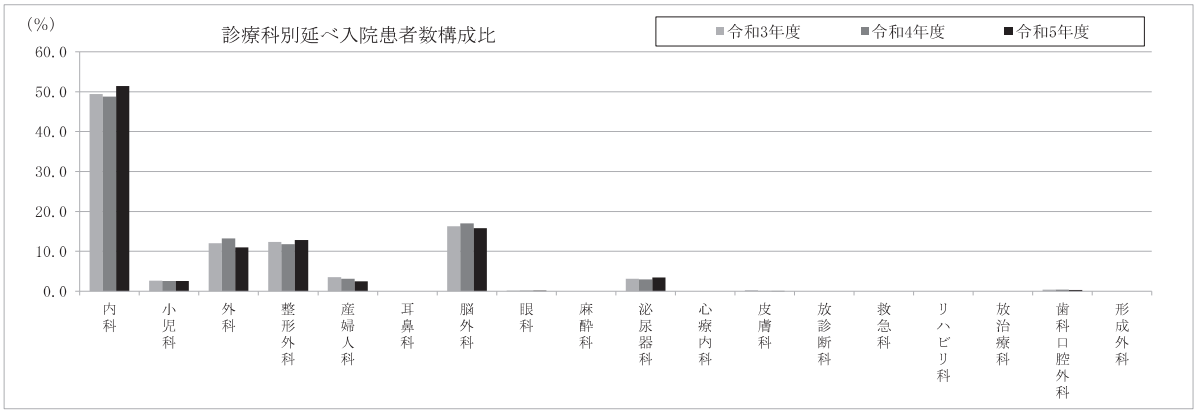
（単位：人）

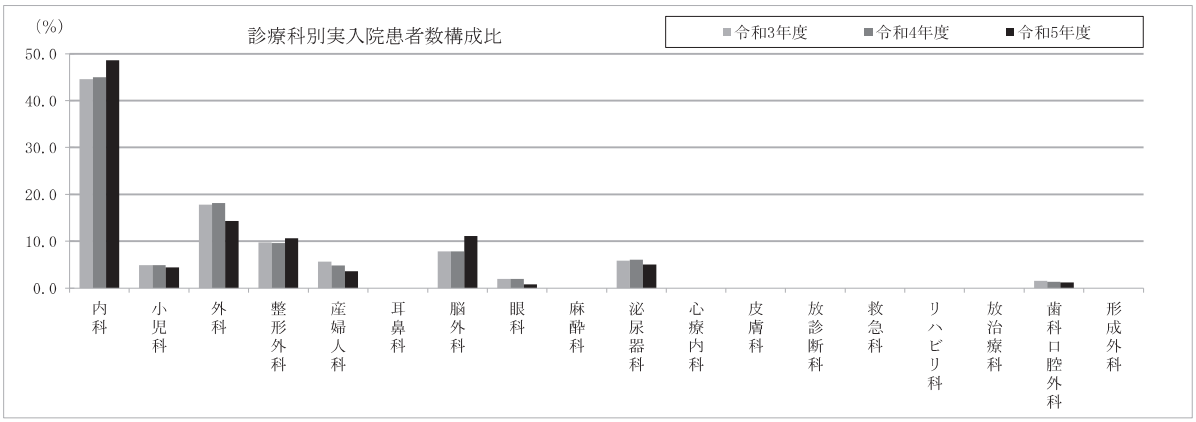
		内　科	小児科	外　科	整形外科	産婦人科	耳鼻科	脳外科	眼　科	麻酔科	泌尿器科	心療内科	皮膚科	放診断科	救急科	リハビリ科	放治療科	歯科口腔外科	形成外科	合　計
令和3年度	患者数	50,557	2,726	12,281	12,615	3,591	0	16,622	160	0	3,160	0	243	0	0	0	0	372	0	102,327
	1日平均	138.5	7.5	33.6	34.6	9.8	0.0	45.5	0.4	0.0	8.7	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	280.3
	構成比(%)	49.4	2.7	12.0	12.3	3.6	0.0	16.2	0.2	0.0	3.1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	100.0
令和4年度	患者数	50,233	2,624	13,646	12,126	3,176	0	17,465	162	0	3,077	0	34	0	0	0	0	413	0	102,956
	1日平均	137.6	7.2	37.4	33.2	8.7	0.0	47.8	0.4	0.0	8.4	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	282.1
	構成比(%)	48.8	2.5	13.3	11.8	3.1	0.0	17.0	0.2	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	100.0
令和5年度	患者数	57,104	2,794	12,216	14,278	2,756	0	17,563	169	0	3,815	0	27	0	0	0	0	297	0	111,019
	1日平均	156.0	7.6	33.4	39.0	7.5	0.0	48.0	0.5	0.0	10.4	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	303.3
	構成比(%)	51.4	2.5	11.0	12.9	2.5	0.0	15.8	0.2	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	100.0

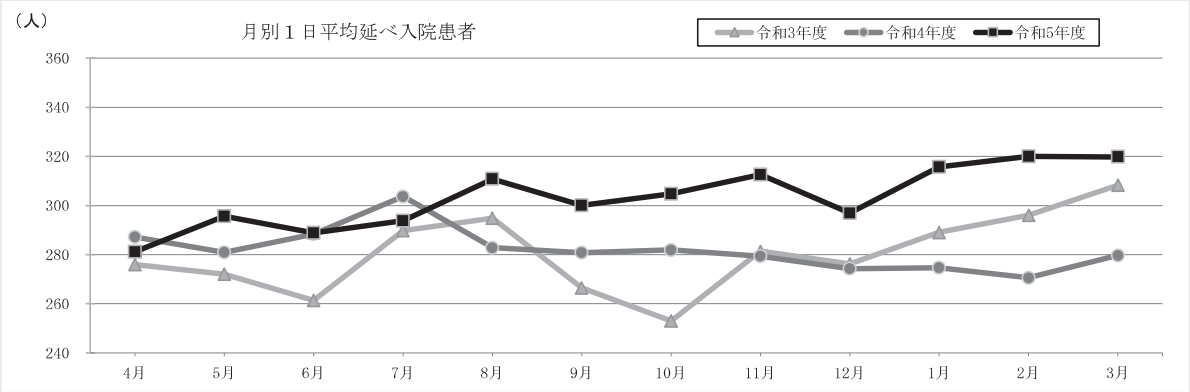
（４）診療科別実入院患者数

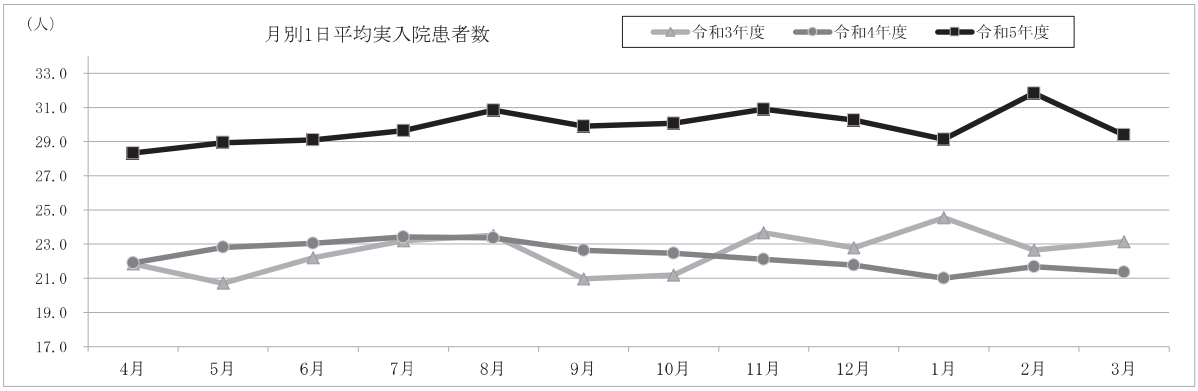
（単位：人）

		内　科	小児科	外　科	整形外科	産婦人科	耳鼻科	脳外科	眼　科	麻酔科	泌尿器科	心療内科	皮膚科	放診断科	救急科	リハビリ科	放治療科	歯科口腔外科	形成外科	合　計
令和3年度	患者数	3,671	404	1,469	801	461	0	643	160	0	484	0	8	0	0	0	0	124	0	8,225
	1日平均	10.1	1.1	4.0	2.2	1.3	0.0	1.8	0.4	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	22.5
	構成比(%)	44.6	4.9	17.9	9.7	5.6	0.0	7.8	1.9	0.0	5.9	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	100.0
令和4年度	患者数	3,670	401	1,475	788	398	0	635	162	0	494	0	3	0	0	0	0	112	0	8,138
	1日平均	10.1	1.1	4.0	2.2	1.1	0.0	1.7	0.4	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	22.3
	構成比(%)	45.0	4.9	18.1	9.6	4.8	0.0	7.8	1.9	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	100.0
令和5年度	患者数	3,939	433	1,344	765	347	0	699	157	0	453	0	1	0	0	0	0	131	0	8,269
	1日平均	10.8	1.2	3.7	2.1	0.9	0.0	1.9	0.4	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	22.6
	構成比(%)	47.6	5.2	16.2	9.2	4.1	0.0	8.4	1.8	0.0	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	100.0






（人）
月別１日平均延べ入院患者
令和3年度
令和4年度
令和5年度
360
340
320
300
280
260
240
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月


（人）
月別1日平均実入院患者数
令和3年度
令和4年度
令和5年度
33.0
31.0
29.0
27.0
25.0
23.0
21.0
19.0
17.0
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月

（５）外来患者数

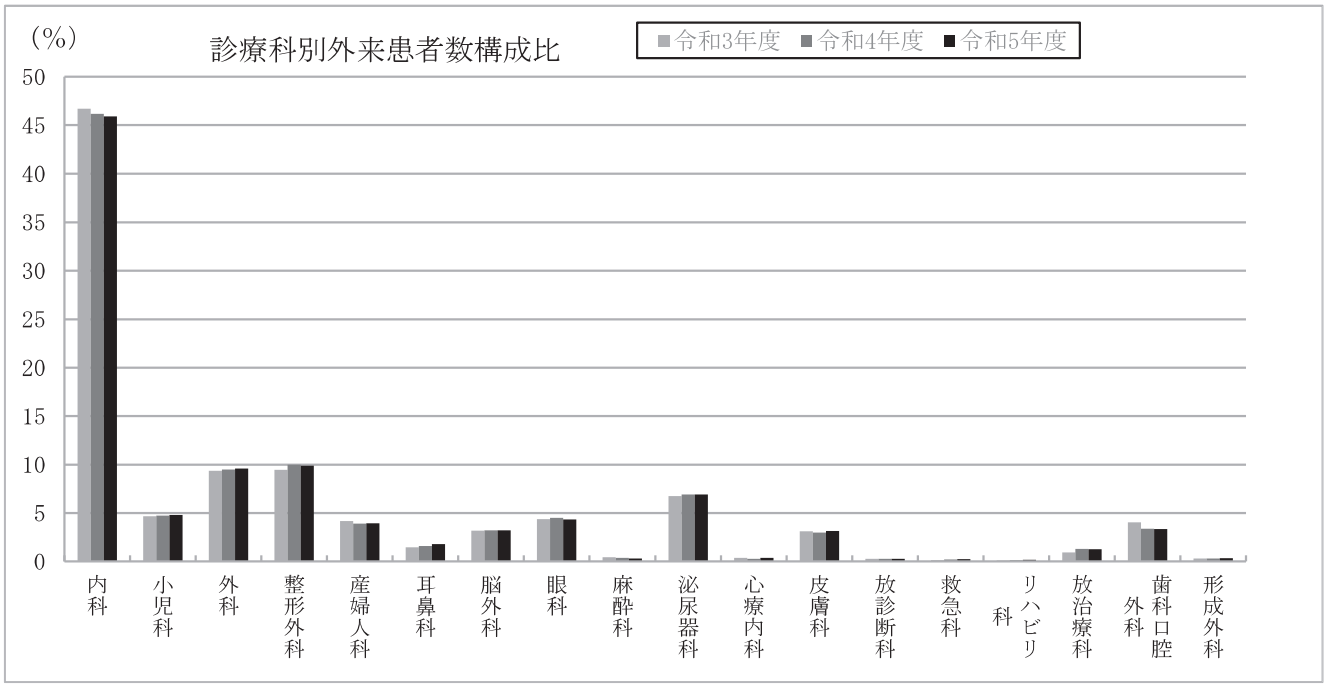
（単位：人）

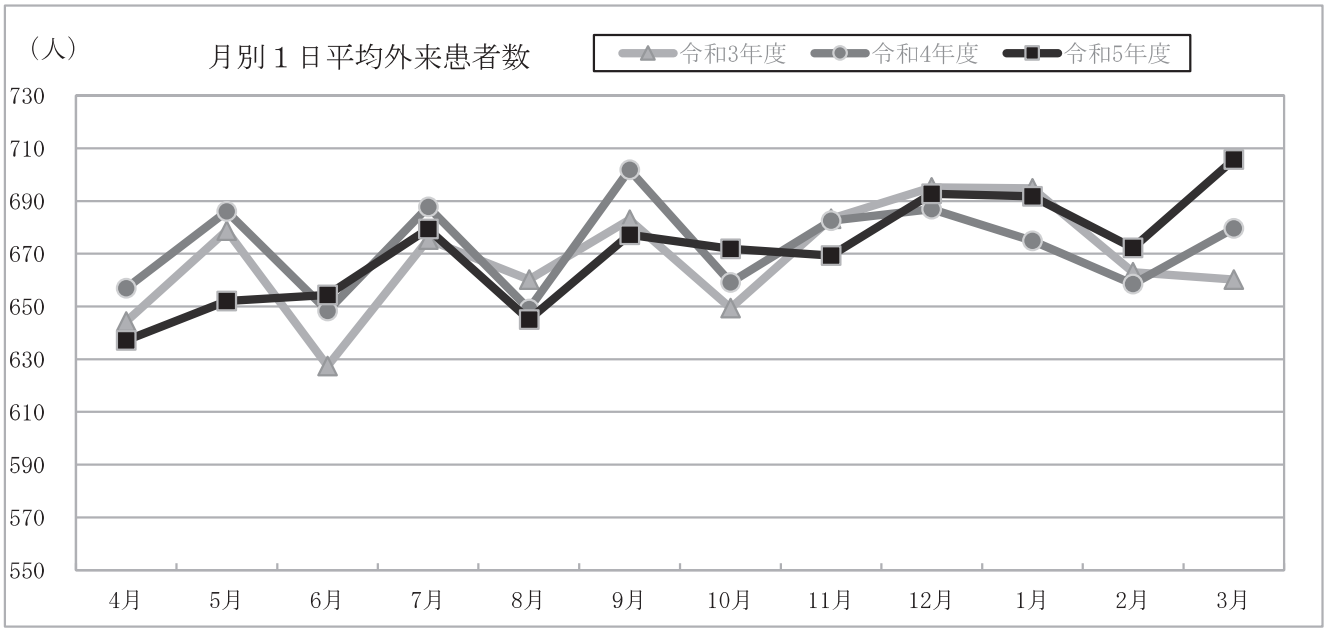
月別／科別	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合　計	1日平均
内　科	5,871	5,971	6,406	6,240	6,505	6,245	6,372	6,111	6,403	6,203	5,948	6,466	74,741	307.6
小児科	652	590	743	722	751	647	661	592	660	606	574	646	7,844	32.3
外　科	1,227	1,276	1,424	1,216	1,324	1,317	1,393	1,322	1,315	1,248	1,195	1,386	15,643	64.4
整形外科	1,211	1,318	1,430	1,411	1,440	1,329	1,332	1,388	1,385	1,324	1,227	1,342	16,137	66.4
産婦人科	461	479	557	508	563	569	628	527	564	489	533	540	6,418	26.4
耳鼻科	246	215	291	259	290	220	241	235	232	222	239	256	2,946	12.1
脳外科	477	440	440	420	443	429	475	436	446	408	396	447	5,257	21.6
眼　科	539	557	691	577	591	625	582	512	636	525	566	651	7,052	29.0
麻酔科	51	51	52	51	45	43	51	47	30	36	38	38	533	2.2
泌尿器科	846	938	1,019	952	950	971	1,021	845	1,019	882	856	974	11,273	46.4
心療内科	39	45	34	49	67	45	67	50	58	67	64	61	646	2.7
皮膚科	414	427	430	451	444	429	433	438	396	423	386	490	5,161	21.2
放診断科	47	30	48	45	37	32	41	41	40	40	34	35	470	1.9
救急科	27	36	29	50	38	29	40	27	31	28	29	30	394	1.6
リハビリ科	23	18	23	23	26	28	23	32	22	27	17	30	292	1.2
放治療科	140	133	207	122	134	132	240	268	155	156	194	187	2,068	8.5
歯科口腔外科	431	469	532	448	483	420	460	466	410	415	430	502	5,466	22.5
形成外科	41	48	41	45	59	35	48	50	52	45	46	34	544	2.2
合　計	12,743	13,041	14,397	13,589	14,190	13,545	14,108	13,387	13,854	13,144	12,772	14,115	162,885	670.3
1日平均	637.2	652.1	654.4	679.5	645.0	677.3	671.8	669.4	692.7	691.8	672.2	705.8	670.3	

（６）診療科別外来患者数

（単位：人）

		内　科	小児科	外　科	整形外科	産婦人科	耳鼻科	脳外科	眼　科	麻酔科	泌尿器科	心療内科	皮膚科	放診断科	救急科	リハビリ科	放治療科	歯科口腔外科	形成外科	合計
令和3年度	患者数	75,385	7,565	15,133	15,285	6,723	2,374	5,159	7,094	745	10,915	598	5,027	448	218	192	1,539	6,533	514	161,447
	1日平均	310.2	31.1	62.3	62.9	27.7	9.8	21.2	29.2	3.1	44.9	2.5	20.7	1.8	0.9	0.8	6.3	26.9	2.1	667.1
	構成比(%)	46.7	4.7	9.4	9.5	4.2	1.5	3.2	4.4	0.5	6.8	0.4	3.1	0.3	0.1	0.1	1.0	4.0	0.3	100.0
令和4年度	患者数	75,425	7,768	15,510	16,328	6,417	2,620	5,276	7,376	648	11,332	480	4,877	480	367	250	2,156	5,530	531	163,371
	1日平均	311.7	32.1	64.1	67.5	26.5	10.8	21.8	30.5	2.7	46.8	2.0	20.2	2.0	1.5	1.0	8.9	22.9	2.2	672.3
	構成比(%)	46.2	4.8	9.5	10.0	3.9	1.6	3.2	4.5	0.4	6.9	0.3	3.0	0.3	0.2	0.2	1.3	3.4	0.3	100.0
令和5年度	患者数	74,741	7,844	15,643	16,137	6,418	2,946	5,257	7,052	533	11,273	646	5,161	470	394	292	2,068	5,466	544	162,885
	1日平均	307.6	32.3	64.4	66.4	26.4	12.1	21.6	29.0	2.2	46.4	2.7	21.2	1.9	1.6	1.2	8.5	22.5	2.2	670.3
	構成比(%)	45.9	4.8	9.6	9.9	3.9	1.8	3.2	4.3	0.3	6.9	0.4	3.2	0.3	0.2	0.2	1.3	3.4	0.3	100.0


（%）
診療科別外来患者数構成比
令和3年度
令和4年度
令和5年度
50
45
40
35
30
25
20
15
10
5
0
内科
小児科
外科
整形外科
産婦人科
耳鼻科
脳外科
眼科
麻酔科
泌尿器科
心療内科
皮膚科
放診断科
救急科
リハビリ科
放治療科
歯科口腔外科
形成外科


（人）
月別１日平均外来患者数
令和3年度
令和4年度
令和5年度
730
710
690
670
650
630
610
590
570
550
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月

（７）地域別患者延べ数（入院患者）

（単位：人）

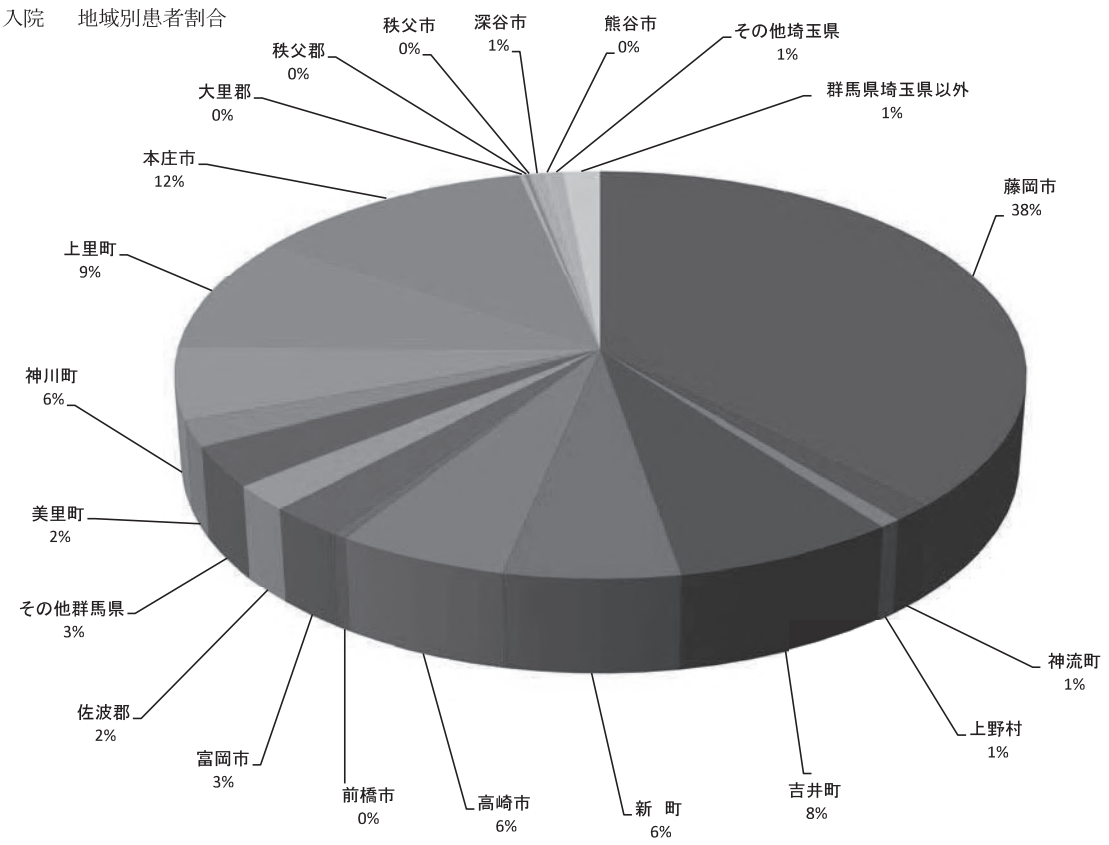
	内科	心療内科	神経内科	循環器科	小児科	外科	整形外科	脳外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻科	放射線	ペイン	救急科	リハ	放治療	緩和ケア	歯科	形成外科	合計
群馬県　藤岡市	21,095	0	0	0	902	4,693	6,160	6,291	0	1,468	924	92	0	0	0	0	0	0	0	98	0	41,723
神流町	759	0	0	0	0	159	185	372	0	25	13	2	0	0	0	0	0	0	0	15	0	1,530
上野村	369	0	0	0	11	55	130	156	0	70	12	2	0	0	0	0	0	0	0	5	0	810
計	22,223	0	0	0	913	4,907	6,475	6,819	0	1,563	949	96	0	0	0	0	0	0	0	118	0	44,063
高崎市　吉井町	3,777	0	0	0	26	775	831	2,730	0	207	93	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	8,448
高崎市　新　町	3,490	0	0	0	126	853	979	897	27	135	110	6	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6,629
その他　高崎市	3,442	0	0	0	222	352	1,170	893	0	208	139	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	6,440
前橋市	314	0	0	0	31	41	79	19	0	10	51	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	553
富岡市	1,248	0	0	0	26	100	270	1,133	0	0	37	2	0	0	0	0	0	0	0	8	0	2,824
佐波郡	1,176	0	0	0	50	317	354	280	0	80	51	3	0	0	0	0	0	0	0	16	0	2,327
その他　群馬県	2,155	0	0	0	68	127	275	781	0	4	134	2	0	0	0	0	0	0	0	35	0	3,581
計	15,602	0	0	0	549	2,565	3,958	6,733	27	644	615	13	0	0	0	0	0	0	0	96	0	30,802
小計	37,825	0	0	0	1,462	7,472	10,433	13,552	27	2,207	1,564	109	0	0	0	0	0	0	0	214	0	74,865
埼玉県　美里町	1,456	0	0	0	56	252	292	32	0	178	25	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	2,296
神川町	2,973	0	0	0	272	868	763	822	0	342	237	9	0	0	0	0	0	0	0	9	0	6,295
上里町	5,780	0	0	0	276	1,455	991	1,178	0	383	354	15	0	0	0	0	0	0	0	39	0	10,471
本庄市	7,235	0	0	0	554	1,613	1,472	1,477	0	484	381	34	0	0	0	0	0	0	0	22	0	13,272
大里郡	81	0	0	0	0	71	28	0	0	73	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	253
秩父郡	70	0	0	0	0	33	36	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	169
秩父市	61	0	0	0	2	20	0	30	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	121
深谷市	393	0	0	0	23	212	6	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	640
熊谷市	106	0	0	0	24	44	0	101	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	293
その他　埼玉県	288	0	0	0	66	53	64	65	0	0	52	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	589
群馬県　埼玉県以外	836	0	0	0	59	123	193	272	0	146	117	2	0	0	0	0	0	0	0	7	0	1,755
計	19,279	0	0	0	1,332	4,744	3,845	4,011	0	1,608	1,192	60	0	0	0	0	0	0	0	83	0	36,154
合　計	57,104	0	0	0	2,794	12,216	14,278	17,563	27	3,815	2,756	169	0	0	0	0	0	0	0	297	0	111,019

（８）地域別患者延べ数（外来患者）

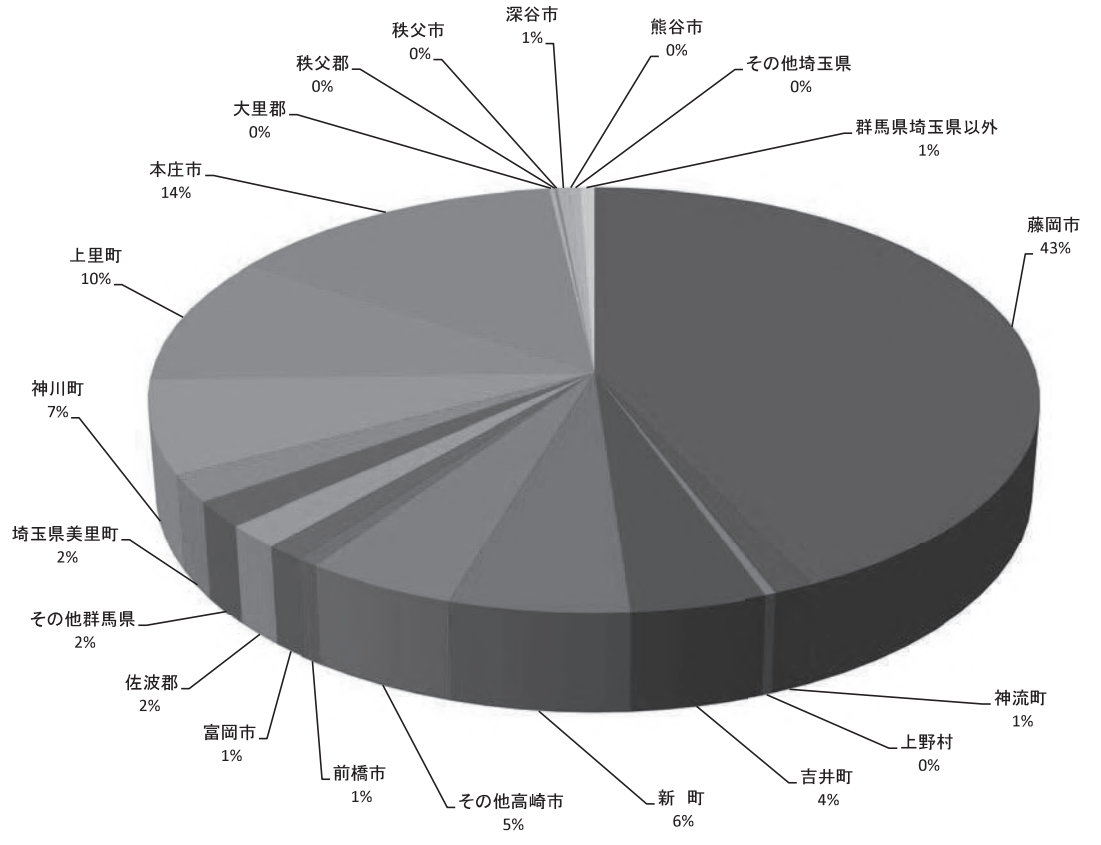
（単位：人）

	内科	心療内科	神経内科	循環器科	小児科	外科	整形外科	脳外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻科	放射線	ペイン	救急科	リハ	放治療	緩和ケア	歯科	形成外科	合計
群馬県　藤岡市	31,038	300	1,000	0	3,409	6,167	7,209	2,351	2,269	5,000	2,287	3,393	1,325	196	154	142	182	886	0	2,171	265	69,744
神流町	853	8	34	0	35	184	253	71	91	188	62	132	42	1	34	4	1	16	0	89	4	2,102
上野村	145	2	11	0	11	74	54	36	30	75	9	58	5	0	0	4	0	0	0	45	2	561
計	32,036	310	1,045	0	3,455	6,425	7,516	2,458	2,390	5,263	2,358	3,583	1,372	197	188	150	183	902	0	2,305	271	72,407
高崎市　吉井町	3,149	60	107	0	143	672	964	394	311	496	169	176	143	10	12	31	7	67	0	244	22	7,177
高崎市　新　町	4,162	60	120	0	360	982	1,212	310	229	582	348	341	178	9	79	36	44	88	0	264	59	9,463
その他　高崎市	3,668	24	62	0	469	650	1,008	317	284	392	288	203	132	22	30	33	21	47	0	238	11	7,899
前橋市	602	0	2	0	57	87	91	19	44	44	71	35	25	3	10	4	1	0	0	49	0	1,144
富岡市	909	1	22	0	153	87	246	216	41	23	36	67	32	1	5	5	4	33	0	119	6	2,006
佐波郡	1,414	8	45	0	89	292	392	74	64	139	126	85	51	4	0	8	0	16	0	134	12	2,953
その他　群馬県	1,273	15	19	0	327	224	441	204	84	50	101	142	33	8	18	11	2	93	0	183	16	3,244
計	15,177	168	377	0	1,598	2,994	4,354	1,534	1,057	1,726	1,139	1,049	594	57	154	128	79	344	0	1,231	126	33,886
小　計	47,213	478	1,422	0	5,053	9,419	11,870	3,992	3,447	6,989	3,497	4,632	1,966	254	342	278	262	1,246	0	3,536	397	106,293
埼玉県　美里町	1,634	3	43	0	92	392	246	73	93	303	166	107	28	7	8	5	0	95	0	118	5	3,418
神川町	5,292	35	135	0	478	1,114	989	255	365	1,085	569	613	219	50	41	17	11	87	0	243	51	11,649
上里町	7,110	41	191	0	816	1,861	1,000	360	564	1,241	787	546	303	77	41	35	11	344	0	637	42	16,007
本庄市	10,267	80	284	0	1,187	2,516	1,707	456	603	1,450	1,207	1,033	402	69	97	42	8	288	0	795	44	22,535
大里郡	98	0	5	0	12	59	43	13	3	33	23	11	1	3	0	1	0	6	0	13	0	324
秩父郡	88	1	4	0	17	12	16	11	1	10	4	11	2	1	0	0	0	0	0	9	0	187
秩父市	11	0	0	0	5	7	6	1	4	1	7	0	0	1	0	1	0	0	0	4	0	48
深谷市	346	0	11	0	51	118	52	14	37	86	37	42	12	5	3	0	0	2	0	28	2	846
熊谷市	49	0	0	0	11	11	1	12	0	11	16	8	0	0	0	1	0	0	0	0	0	120
その他　埼玉県	182	0	12	0	54	66	79	20	8	16	31	30	2	1	0	3	0	0	0	17	3	524
群馬県　埼玉県以外	332	8	12	0	68	68	128	50	36	48	74	19	11	2	1	11	0	0	0	66	0	934
計	25,409	168	697	0	2,791	6,224	4,267	1,265	1,714	4,284	2,921	2,420	980	216	191	116	30	822	0	1,930	147	56,592
合　計	72,622	646	2,119	0	7,844	15,643	16,137	5,257	5,161	11,273	6,418	7,052	2,946	470	533	394	292	2,068	0	5,466	544	162,885

入院　地域別患者割合



外来　地域別患者割合



（９）年齢別・性別・診療科別　延べ入院患者数

（単位：人）

年代別	性別	内科	心療内科	神経内科	循環器科	小児科	外科	整形外科	脳外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻科	放射線科	ペイン	救急科	リハ	放治療科	緩和ケア	歯科	形成外科	合計
0日～28日未満	男	0	0	0	0	260	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	260
	女	0	0	0	0	199	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	199
	小計	0	0	0	0	459	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	459
28日～2歳未満	男	0	0	0	0	473	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	473
	女	0	0	0	0	261	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	261
	小計	0	0	0	0	734	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	734
2歳～4歳未満	男	0	0	0	0	212	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	214
	女	0	0	0	0	301	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	301
	小計	0	0	0	0	513	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	515
4歳～6歳未満	男	0	0	0	0	93	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	96
	女	0	0	0	0	192	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	192
	小計	0	0	0	0	285	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	288
6歳～10歳未満	男	0	0	0	0	186	0	11	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	213
	女	0	0	0	0	152	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	161
	小計	0	0	0	0	338	3	13	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	374
10歳～20歳未満	男	136	0	0	0	253	96	111	169	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	776
	女	63	0	0	0	212	16	17	25	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	350
	小計	199	0	0	0	465	112	128	194	0	3	8	0	0	0	0	0	0	0	0	17	0	1,126
20歳～30歳未満	男	251	0	0	0	0	61	119	6	0	30	0	1	0	0	0	0	0	0	0	22	0	490
	女	225	0	0	0	0	46	30	0	0	9	612	0	0	0	0	0	0	0	0	27	0	949
	小計	476	0	0	0	0	107	149	6	0	39	612	1	0	0	0	0	0	0	0	49	0	1,439
30歳～40歳未満	男	599	0	0	0	0	103	143	58	0	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	0	970
	女	211	0	0	0	0	62	6	20	0	11	912	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	1,238
	小計	810	0	0	0	0	165	149	78	0	56	912	0	0	0	0	0	0	0	0	38	0	2,208
40歳～50歳未満	男	1,102	0	0	0	0	279	296	570	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	2,278
	女	755	0	0	0	0	279	238	404	0	76	346	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	2,114
	小計	1,857	0	0	0	0	558	534	974	0	91	346	0	0	0	0	0	0	0	0	32	0	4,392
50歳～60歳未満	男	2,271	0	0	0	0	536	494	813	0	74	0	1	0	0	0	0	0	0	0	22	0	4,211
	女	874	0	0	0	0	333	418	601	0	51	298	3	0	0	0	0	0	0	0	16	0	2,594
	小計	3,145	0	0	0	0	869	912	1,414	0	125	298	4	0	0	0	0	0	0	0	38	0	6,805
60歳～65歳未満	男	1,592	0	0	0	0	462	1,012	425	0	193	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,686
	女	877	0	0	0	0	308	596	417	0	19	84	5	0	0	0	0	0	0	0	23	0	2,329
	小計	2,469	0	0	0	0	770	1,608	842	0	212	84	7	0	0	0	0	0	0	0	23	0	6,015
65歳～70歳未満	男	2,968	0	0	0	0	908	627	1,571	0	226	0	9	0	0	0	0	0	0	0	26	0	6,335
	女	1,550	0	0	0	0	482	462	356	0	25	194	13	0	0	0	0	0	0	0	6	0	3,088
	小計	4,518	0	0	0	0	1,390	1,089	1,927	0	251	194	22	0	0	0	0	0	0	0	32	0	9,423
70歳～75歳未満	男	4,610	0	0	0	0	1,293	557	1,581	27	883	0	23	0	0	0	0	0	0	0	16	0	8,990
	女	3,183	0	0	0	0	668	1,264	1,039	0	70	100	30	0	0	0	0	0	0	0	7	0	6,361
	小計	7,793	0	0	0	0	1,961	1,821	2,620	27	953	100	53	0	0	0	0	0	0	0	23	0	15,351
75歳～80歳未満	男	6,129	0	0	0	0	1,638	768	988	0	665	0	19	0	0	0	0	0	0	0	5	0	10,212
	女	3,838	0	0	0	0	921	1,104	1,398	0	73	74	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,433
	小計	9,967	0	0	0	0	2,559	1,872	2,386	0	738	74	44	0	0	0	0	0	0	0	5	0	17,645
80歳～85歳未満	男	5,512	0	0	0	0	1,224	952	1,805	0	552	0	11	0	0	0	0	0	0	0	5	0	10,061
	女	3,638	0	0	0	0	735	1,526	1,663	0	209	106	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,890
	小計	9,150	0	0	0	0	1,959	2,478	3,468	0	761	106	24	0	0	0	0	0	0	0	5	0	17,951
85歳～90歳未満	男	3,863	0	0	0	0	698	474	926	0	322	0	6	0	0	0	0	0	0	0	5	0	6,294
	女	4,716	0	0	0	0	603	1,509	1,229	0	13	22	7	0	0	0	0	0	0	0	14	0	8,113
	小計	8,579	0	0	0	0	1,301	1,983	2,155	0	335	22	13	0	0	0	0	0	0	0	19	0	14,407
90歳～95歳未満	男	2,408	0	0	0	0	198	205	394	0	159	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,365
	女	3,250	0	0	0	0	180	1,013	852	0	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,332
	小計	5,658	0	0	0	0	378	1,218	1,246	0	196	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,697
95歳～100歳未満	男	647	0	0	0	0	58	62	52	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	831
	女	1,567	0	0	0	0	26	204	165	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,972
	小計	2,214	0	0	0	0	84	266	217	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,803
100歳以上	男	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44
	女	225	0	0	0	0	0	58	35	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	343
	小計	269	0	0	0	0	0	58	35	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	387
男　計		32,132	0	0	0	1,477	7,554	5,831	9,359	27	3,187	0	73	0	0	0	0	0	0	0	159	0	59,799
女　計		24,972	0	0	0	1,317	4,662	8,447	8,204	0	628	2,756	96	0	0	0	0	0	0	0	138	0	51,220
合　計		57,104	0	0	0	2,794	12,216	14,278	17,563	27	3,815	2,756	169	0	0	0	0	0	0	0	297	0	111,019

※退院数を含む。

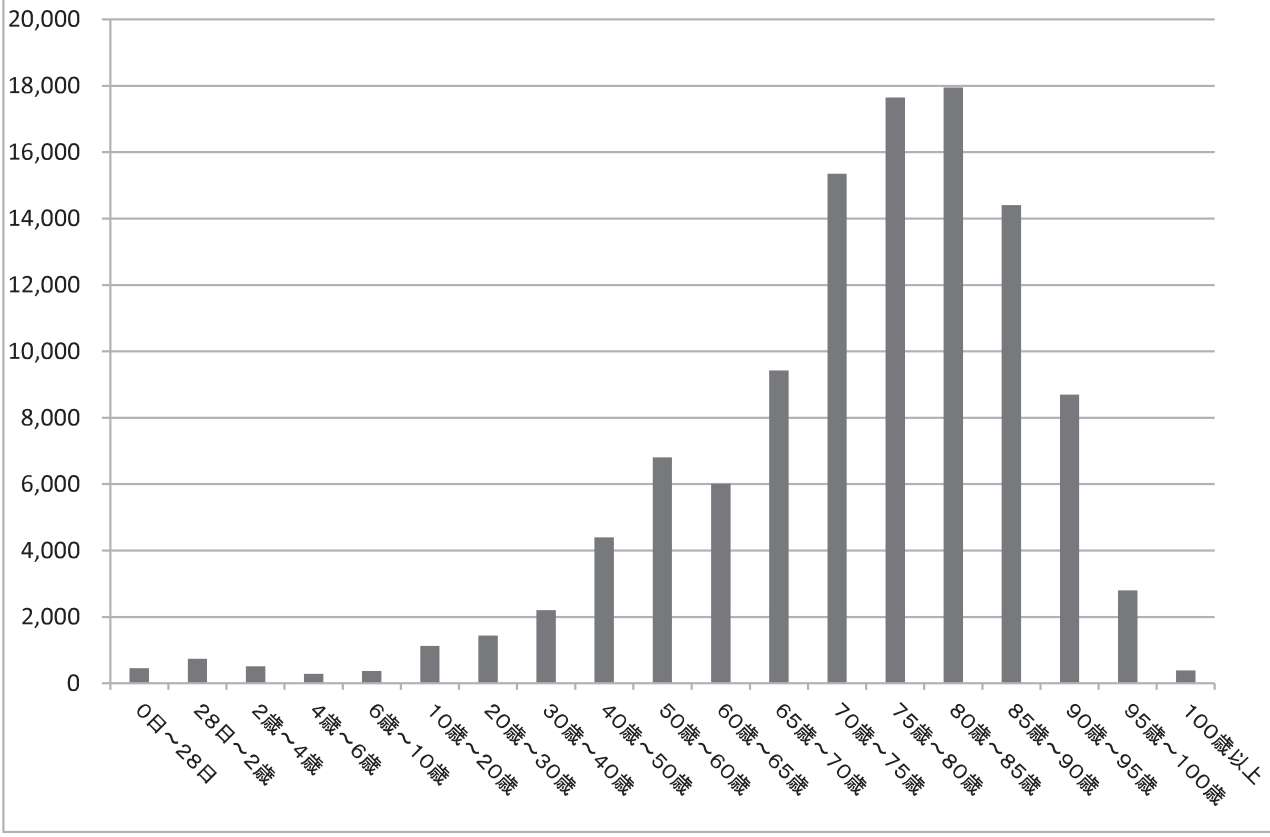
（１０）年齢別・性別・診療科別　延べ外来患者数

（単位：人）

年代別	性別	内科	心療内科	神経内科	循環器科	小児科	外科	整形外科	脳外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻科	放射線科	ペイン	救急科	リハ	放治療科	緩和ケア	歯科	形成外科	合計
0日～28日未満	男	0	0	0	0	180	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	184
	女	0	0	0	0	149	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	151
	小計	0	0	0	0	329	0	0	1	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	335
28日～2歳未満	男	0	0	0	0	943	10	28	13	15	15	0	20	88	0	0	0	0	0	0	3	1	1,136
	女	0	0	0	0	509	1	10	12	21	0	0	5	80	0	0	1	0	0	0	3	0	642
	小計	0	0	0	0	1,452	11	38	25	36	15	0	25	168	0	0	1	0	0	0	6	1	1,778
2歳～4歳未満	男	0	0	0	0	579	1	40	24	14	18	0	12	32	0	0	1	0	0	0	6	0	727
	女	0	0	0	0	421	1	20	16	9	0	0	20	43	0	0	0	0	0	0	2	0	532
	小計	0	0	0	0	1,000	2	60	40	23	18	0	32	75	0	0	1	0	0	0	8	0	1,259
4歳～6歳未満	男	0	0	0	0	336	0	15	16	4	16	0	28	18	0	0	1	0	0	0	7	1	442
	女	0	0	0	0	415	0	11	4	11	0	2	8	18	0	0	0	0	0	0	3	0	472
	小計	0	0	0	0	751	0	26	20	15	16	2	36	36	0	0	1	0	0	0	10	1	914
6歳～10歳未満	男	0	0	0	0	909	7	76	18	17	12	0	27	24	3	0	1	0	0	0	24	1	1,119
	女	0	0	0	0	777	4	28	8	11	0	1	24	10	0	0	1	0	0	0	8	1	873
	小計	0	0	0	0	1,686	11	104	26	28	12	1	51	34	3	0	2	0	0	0	32	2	1,992
10歳～20歳未満	男	223	1	36	0	1,349	67	418	105	52	16	10	58	26	4	0	7	0	4	0	61	23	2,460
	女	256	0	21	0	1,196	39	158	42	36	12	86	67	19	0	0	10	0	0	0	96	6	2,044
	小計	479	1	57	0	2,545	106	576	147	88	28	96	125	45	4	0	17	0	4	0	157	29	4,504
20歳～30歳未満	男	529	1	51	0	49	76	350	52	45	50	0	37	14	1	0	11	1	6	0	113	17	1,403
	女	746	23	30	0	15	68	160	75	80	22	554	43	35	4	0	18	1	0	0	182	15	2,071
	小計	1,275	24	81	0	64	144	510	127	125	72	554	80	49	5	0	29	2	6	0	295	32	3,474
30歳～40歳未満	男	920	21	43	0	3	80	507	69	112	61	0	56	59	0	0	15	1	0	0	153	17	2,117
	女	1,114	0	21	0	0	162	165	64	68	20	1,012	45	30	2	0	14	2	28	0	171	49	2,967
	小計	2,034	21	64	0	3	242	672	133	180	81	1,012	101	89	2	0	29	3	28	0	324	66	5,084
40歳～50歳未満	男	2,507	14	58	0	0	322	770	255	190	164	0	174	84	9	18	9	6	9	0	140	29	4,758
	女	2,298	48	67	0	0	736	551	256	134	89	1,380	159	99	19	10	12	0	113	0	288	25	6,284
	小計	4,805	62	125	0	0	1,058	1,321	511	324	253	1,380	333	183	28	28	21	6	122	0	428	54	11,042
50歳～60歳未満	男	4,306	9	98	0	7	617	1,266	432	302	422	0	372	117	20	25	29	28	45	0	362	37	8,494
	女	4,296	82	161	0	1	1,205	1,080	264	275	225	1,413	367	232	43	6	17	12	103	0	269	44	10,095
	小計	8,602	91	259	0	8	1,822	2,346	696	577	647	1,413	739	349	63	31	46	40	148	0	631	81	18,589
60歳～65歳未満	男	2,665	22	89	0	0	526	639	203	212	544	7	220	118	17	9	8	13	58	0	169	19	5,538
	女	2,616	29	49	0	5	833	872	147	138	146	389	256	84	21	7	6	10	243	0	201	18	6,070
	小計	5,281	51	138	0	5	1,359	1,511	350	350	690	396	476	202	38	16	14	23	301	0	370	37	11,608
65歳～70歳未満	男	5,988	60	134	0	0	977	634	286	330	1,031	0	429	180	35	19	13	23	50	0	371	21	10,581
	女	3,049	19	91	0	0	1,072	652	226	155	179	357	413	172	31	35	10	12	130	0	246	34	6,883
	小計	9,037	79	225	0	0	2,049	1,286	512	485	1,210	357	842	352	66	54	23	35	180	0	617	55	17,464
70歳～75歳未満	男	8,318	60	129	0	1	1,446	857	398	530	2,021	4	590	240	42	60	20	7	109	0	343	24	15,199
	女	5,569	41	148	0	0	1,445	1,400	319	279	274	416	714	187	39	7	16	45	323	0	342	14	11,578
	小計	13,887	101	277	0	1	2,891	2,257	717	809	2,295	420	1,304	427	81	67	36	52	432	0	685	38	26,777
75歳～80歳未満	男	7,768	37	245	0	0	1,583	779	465	495	2,138	0	698	218	43	75	33	18	240	0	367	45	15,247
	女	4,205	51	150	0	0	1,315	1,253	332	280	352	434	646	188	41	60	12	16	129	0	357	13	9,834
	小計	11,973	88	395	0	0	2,898	2,032	797	775	2,490	434	1,344	406	84	135	45	34	369	0	724	58	25,081
80歳～85歳未満	男	4,716	54	177	0	0	1,092	718	321	420	1,697	0	494	159	14	9	23	22	105	0	348	37	10,406
	女	3,934	10	160	0	0	786	1,156	229	288	213	174	426	150	29	62	27	36	118	0	291	20	8,109
	小計	8,650	64	337	0	0	1,878	1,874	550	708	1,910	174	920	309	43	71	50	58	223	0	639	57	18,515
85歳～90歳未満	男	2,281	23	47	0	0	401	334	170	209	779	0	163	55	17	78	20	9	90	0	96	6	4,778
	女	2,172	31	75	0	0	476	636	205	178	135	143	274	96	24	17	26	15	121	0	251	16	4,891
	小計	4,453	54	122	0	0	877	970	375	387	914	143	437	151	41	95	46	24	211	0	347	22	9,669
90歳～95歳未満	男	758	0	22	0	0	112	148	66	83	471	0	68	24	4	4	8	4	36	0	46	7	1,861
	女	954	7	4	0	0	138	280	113	81	71	32	113	21	8	26	12	1	8	0	107	3	1,979
	小計	1,712	7	26	0	0	250	428	179	164	542	32	181	45	12	30	20	5	44	0	153	10	3,840
95歳～100歳未満	男	134	0	6	0	0	11	27	17	25	46	0	1	9	0	0	2	10	0	0	22	0	310
	女	261	3	6	0	0	32	83	25	59	27	4	25	13	0	2	8	0	0	0	17	1	566
	小計	395	3	12	0	0	43	110	42	84	73	4	26	22	0	2	10	10	0	0	39	1	876
100歳以上	男	8	0	1	0	0	2	0	0	0	6	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	18
	女	31	0	0	0	0	0	16	9	2	1	0	0	0	0	4	2	0	0	0	1	0	66
	小計	39	0	1	0	0	2	16	9	2	7	0	0	0	0	4	3	0	0	0	1	0	84
男　計		41,121	302	1,136	0	4,356	7,330	7,606	2,910	3,056	9,507	21	3,447	1,468	209	297	202	142	752	0	2,631	285	86,778
女　計		31,501	344	983	0	3,488	8,313	8,531	2,347	2,105	1,766	6,397	3,605	1,478	261	236	192	150	1,316	0	2,835	259	76,107
合　計		72,622	646	2,119	0	7,844	15,643	16,137	5,257	5,161	11,273	6,418	7,052	2,946	470	533	394	292	2,068	0	5,466	544	162,885

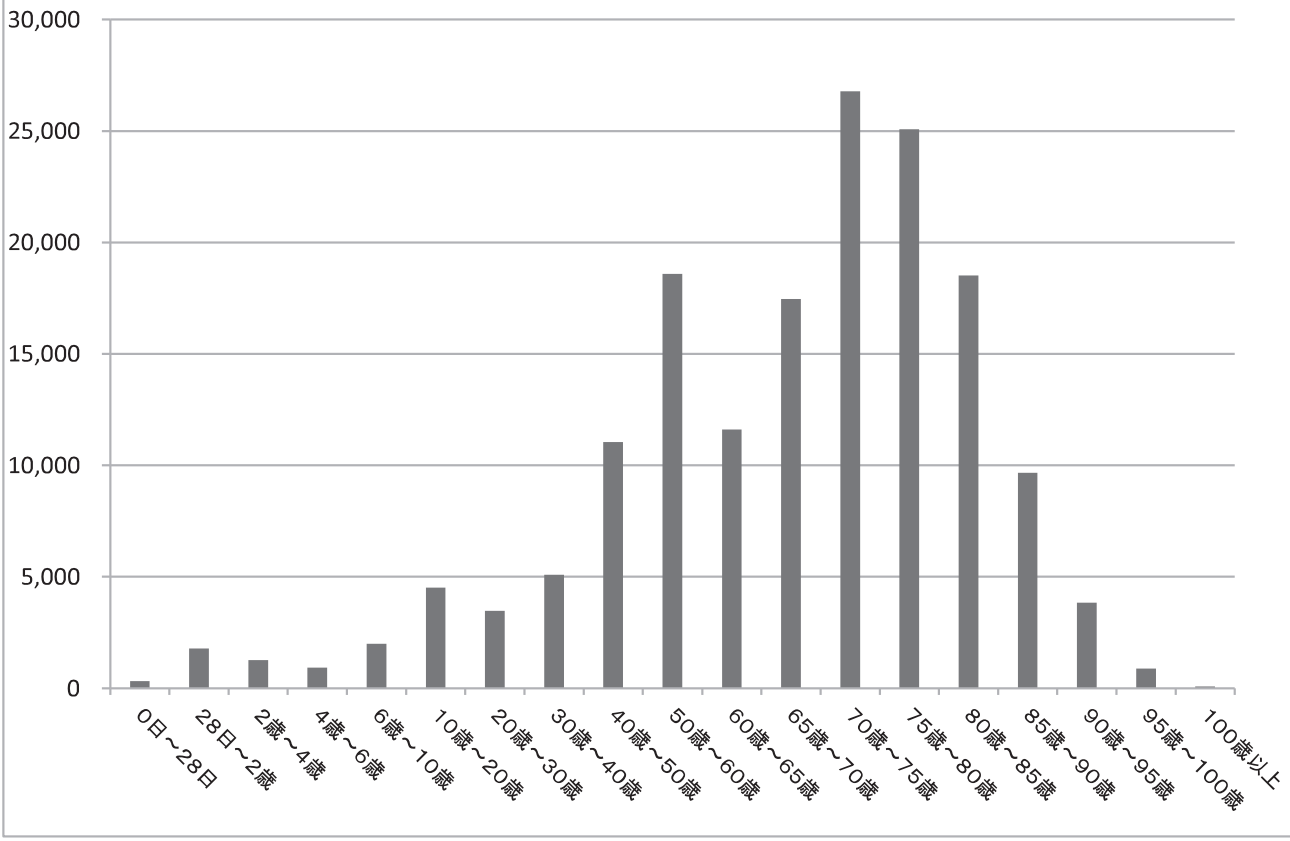
入院　年齢別構成

（単位：人）



外来　年齢別構成

（単位：人）



（１１）病棟別病床利用率

（単位：％）

病棟別	病床数	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合　計
北２階	48	63.7	75.2	69.8	71.5	69.6	70.0	76.2	76.8	74.0	81.0	81.7	72.1	73.4
北４階	38	49.6	52.2	53.2	48.8	71.4	66.3	64.0	69.3	69.9	74.6	59.4	52.8	61.0
北５階	46	49.4	56.1	57.0	59.9	58.8	64.4	63.4	65.9	62.4	63.8	73.0	67.9	61.8
北６階	47	80.2	77.6	77.1	79.2	87.4	74.1	81.8	82.6	82.2	86.3	91.4	89.5	82.4
南３階 ＨＣＵ	24	90.7	90.8	87.9	91.4	94.9	92.1	90.9	93.6	88.4	94.9	93.5	93.3	91.9
南４階	47	89.4	93.3	91.1	91.1	92.5	91.4	96.4	82.0	90.9	95.5	96.5	95.7	92.2
南５階	47	85.0	90.5	87.4	82.1	94.9	91.2	91.7	97.0	85.2	93.7	101.2	97.5	91.4
南６階	46	79.0	79.5	80.9	80.8	78.1	73.0	67.6	74.0	64.2	72.9	82.2	82.7	76.2
南７階	47	46.9	52.0	49.2	57.5	62.0	62.3	61.4	72.0	62.3	59.4	71.3	69.7	60.4
感染症	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合　計	394	71.4	75.0	73.3	74.6	78.9	76.2	77.4	79.3	75.4	80.1	84.1	81.2	77.2

＊人間ドック５床を除く

（１２）平均在院日数

＊ＤＰＣ

（単位：日）

月別／科別	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合　計
内　　科	13.3	13.3	12.1	12.5	13.8	12.2	12.6	12.8	11.3	14.2	12.9	14.4	12.9
小　児　科	4.7	5.6	6.1	6.6	5.9	8.1	9.8	7.4	6.7	6.9	6.9	6.6	6.8
外　　科	9.8	8.0	8.2	10.5	9.0	9.3	8.8	8.1	8.0	9.0	8.2	8.7	8.8
整形外科	10.3	12.0	16.3	10.9	11.4	12.2	12.4	14.0	12.3	14.1	16.2	14.2	12.9
産婦人科	8.7	7.1	7.5	10.3	6.9	7.8	9.3	9.2	10.0	10.5	10.7	10.0	9.1
脳神経外科	9.9	11.9	15.3	10.7	11.4	10.0	10.0	10.6	13.0	14.5	12.4	12.2	11.8
眼　　科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	2.0	0.0	1.5
泌尿器科	6.1	7.3	7.6	10.0	9.1	9.6	7.7	7.5	7.4	8.9	6.5	7.4	7.8
皮　膚　科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0
歯科口腔外科	2.6	2.1	3.5	2.2	1.9	3.5	2.0	2.1	1.7	2.0	2.5	1.8	2.3
全科合計	11.2	11.4	11.3	11.6	11.6	11.4	11.5	11.4	10.8	12.9	11.6	12.5	11.6

＊包括ケア

（単位：日）

月別／科別	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合　計
内　　科	10.6	11.4	10.6	10.2	12.2	13.8	12.3	15.5	13.6	16.2	11.8	12.2	12.5
小　児　科	3.0	0.0	3.0	3.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	3.0	5.0	0.0	3.3
外　　科	7.5	38.0	6.4	8.7	0.0	7.1	6.4	4.4	10.3	20.4	5.0	5.2	8.6
整形外科	13.5	15.8	25.7	16.9	18.8	18.5	17.2	17.8	11.6	12.0	20.2	13.8	16.4
産婦人科	0.0	0.0	0.0	13.0	0.0	0.0	0.0	3.0	2.0	6.0	0.0	0.0	6.7
脳神経外科	16.0	17.0	38.0	9.7	5.0	0.0	0.0	22.0	8.0	16.4	18.0	6.0	14.6
泌尿器科	15.0	26.0	4.5	7.1	0.0	0.0	7.4	18.0	8.0	17.3	44.0	0.0	13.4
皮　膚　科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	14.0
全　　科	10.7	12.5	11.7	10.7	13.1	13.6	12.3	15.2	12.7	15.9	12.9	11.9	12.7

＊回復期リハ

（単位：日）

月別／科別	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合　計
内　　科	17.0	31.0	19.0	0.0	48.0	54.7	85.0	29.0	0.0	0.0	46.0	39.0	50.7
外　　科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	31.0	0.0	0.0	0.0
整形外科	42.4	52.9	43.0	65.3	34.0	37.3	51.1	43.2	49.6	41.2	48.8	30.0	43.4
脳神経外科	64.5	86.8	70.8	84.5	60.8	46.9	55.6	58.4	65.0	92.1	41.5	64.6	63.4
泌尿器科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	44.0	40.0	0.0	0.0	0.0	42.0
全　　科	55.6	79.8	60.3	78.8	52.2	44.4	55.6	51.2	60.3	72.4	43.5	48.9	56.5

＊平均在院日数の計算式　（24時入院患者数）÷（（新入院患者数＋新退院患者数）÷２）

＊平均在院日数の計算には、事故・労災・分娩は含まれません。

＊基準別患者数

（単位：人）

月別／基準	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合　計
ＤＰＣ	6,856	7,289	6,968	7,206	7,695	7,114	7,419	7,255	7,197	7,717	7,244	7,825	87,785
包括ケア	661	757	694	838	903	879	895	1,015	908	865	938	1,016	10,369
回復期リハ	917	1,119	1,005	1,064	1,035	1,008	1,134	1,106	1,101	1,205	1,098	1,073	12,865
合　　計	8,434	9,165	8,667	9,108	9,633	9,001	9,448	9,376	9,206	9,787	9,280	9,914	111,019

2. 診療請求の現況

(1)診療科別請求額

（単位:千円、%）

区分	診療科	令和3年度	令和4年度		令和5年度	
		診療稼働額	診療稼働額	前年比	診療稼働額	前年比
入院	内科	3,124,959	3,199,720	102.4	3,496,215	109.3
	小児科	148,468	147,977	99.7	172,933	116.9
	外科	1,016,073	1,115,902	109.8	1,024,692	91.8
	整形外科	820,737	772,764	94.2	826,813	107.0
	脳神経外科	971,447	1,027,510	105.8	1,068,361	104.0
	皮膚科	8,434	1,536	18.2	979	63.7
	泌尿器科	205,435	210,096	102.3	227,763	108.4
	産婦人科	250,235	241,137	96.4	205,866	85.4
	眼科	32,291	34,014	105.3	32,531	95.6
	救急科	208	0	0.0	0	－
	リハビリ科	0	0	－	0	－
	歯科口腔外科	36,200	38,575	106.6	35,755	92.7
	全科	6,614,489	6,789,231	102.6	7,091,908	104.5
外来	内科	2,227,472	2,372,197	106.5	2,463,247	103.8
	心療内科	1,161	1,583	136.3	1,724	108.9
	小児科	82,434	96,067	116.5	89,260	92.9
	外科	485,639	546,490	112.5	608,495	111.3
	整形外科	136,774	144,959	106.0	140,571	97.0
	脳神経外科	67,543	81,898	121.3	82,454	100.7
	皮膚科	15,937	14,746	92.5	12,491	84.7
	泌尿器科	178,261	185,794	104.2	152,961	82.3
	産婦人科	62,473	53,024	84.9	59,771	112.7
	眼科	79,701	81,948	102.8	86,248	105.2
	耳鼻咽喉科	17,719	19,604	110.6	19,370	98.8
	放射線診断科	16778.0	21,208	126.4	21,768	102.6
	ペイン	2,630	2,322	88.3	1,964	84.6
	救急科	5,287.0	11,609	219.6	12,528	107.9
	リハビリ科	267.0	122	45.7	1,326	1086.9
	放射線治療科	39,124	48,772	124.7	48,109	98.6
	歯科口腔外科	33683.0	40,375	119.9	35,058	86.8
	形成外科	4465.0	4,884	109.4	4,407	90.2
	全科	3,457,348	3,727,602	107.8	3,841,752	103.1
合計	内科	5,352,432	5,571,918	104.1	5,959,462	107.0
	心療内科	1,161	1,583	136.3	1,724	108.9
	小児科	230,902	244,044	105.7	262,193	107.4
	外科	1,501,712	1,662,393	110.7	1,633,187	98.2
	整形外科	957,511	917,723	95.8	967,384	105.4
	脳神経外科	1,038,991	1,109,408	106.8	1,150,815	103.7
	皮膚科	24,371	16,283	66.8	13,470	82.7
	泌尿器科	383,696	395,890	103.2	380,724	96.2
	産婦人科	312,709	294,162	94.1	265,638	90.3
	眼科	111,992	115,963	103.5	118,779	102.4
	耳鼻咽喉科	17,719	19,604	110.6	19,370	98.8
	放射線診断科	16778.0	21,208	126.4	21,768	102.6
	ペイン	2,630	2,322	88.3	1,964	84.6
	救急科	5,495.0	11,609	211.3	12,528	107.9
	リハビリ科	267.0	122	45.7	1,326	1086.9
	放射線治療科	39,124	48,772	124.7	48,109	98.6
	歯科口腔外科	69883.0	78,951	113.0	70,813	89.7
	形成外科	4465.0	4,884	109.4	4,407	90.2
	全科	10,071,838	10,516,839	104.4	10,933,661	104.0

(2)診療報酬請求状況

（単位:件、点、%）

	診療科	入院					外来				
		令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和3年度	令和4年度		令和5年度	
				前年比		前年比			前年比		前年比
請求件数	内科	4,983	4,966	99.7	5,479	110.3	53,168	52,987	99.7	52,441	99.0
	精神科	0	0	－	0	－	330	323	97.9	422	130.7
	小児科	490	490	100.0	516	105.3	6,262	6,361	101.6	6,388	100.4
	外科	1,662	1,772	106.6	1,613	91.0	10,281	10,505	102.2	10,639	101.3
	整形外科	1,184	1,159	97.9	1,178	101.6	9,377	10,441	111.3	10,530	100.9
	脳神経外科	1,137	1,189	104.6	1,239	104.2	4,358	4,423	101.5	4,369	98.8
	皮膚科	15	4	－	1	25.0	4,056	4,001	98.6	4,232	105.8
	泌尿器科	561	567	101.1	564	99.5	9,152	9,508	103.9	9,617	101.1
	産婦人科	542	492	90.8	405	82.3	4,996	4,825	96.6	4,776	99.0
	眼科	99	104	105.1	102	98.1	6,315	6,657	105.4	6,425	96.5
	耳鼻咽喉科	0	0	－	0	－	2,128	2,361	110.9	2,552	108.1
	放射線診断科	0	0	－	0	－	440	478	108.6	468	97.9
	ペイン	0	0	－	0	－	394	359	91.1	346	96.4
	救急科	0	0	－	0	－	212	365	172.2	392	－
	リハビリ科	0	0	－	0	－	173	240	138.7	272	113.3
	放射線治療科	0	0	－	0	－	293	366	124.9	374	102.2
	歯科口腔外科	141	124	87.9	142	114.5	3,898	3,527	90.5	3,524	99.9
	形成外科	0	0	－	0	－	396	436	110.1	447	102.5
	全科	10,814	10,867	100.5	11,239	103.4	116,229	118,163	101.7	118,214	100.0
1人1日当たり診療点数	内科	5,765	5,943	103.1	5,736	96.5	2,955	3,145	106.4	3,296	104.8
	精神科	0	0	－	0	－	194	330	170.1	267	80.9
	小児科	4,750	4,887	102.9	5,367	109.8	1,090	1,237	113.5	1,138	92.0
	外科	7,457	7,438	99.7	7,619	102.4	3,209	3,524	109.8	3,890	110.4
	整形外科	6,135	5,995	97.7	5,516	92.0	895	888	99.2	871	98.1
	脳神経外科	5,638	5,677	100.7	5,863	103.3	1,309	1,552	118.6	1,569	101.1
	皮膚科	3,360	4,153	123.6	3,627	87.3	317	302	95.4	242	80.0
	泌尿器科	5,671	5,907	104.2	5,353	90.6	1,633	1,640	100.4	1,357	82.8
	産婦人科	6,209	6,719	108.2	6,652	99.0	929	826	88.9	931	112.7
	眼科	10,090	10,563	104.7	9,918	93.9	1,124	1,111	98.8	1,223	110.1
	耳鼻咽喉科	0	0	－	0	－	746	748	100.3	658	87.9
	放射線診断科	0	0	－	0	－	3,745	4,418	118.0	4,632	104.8
	ペイン	0	0	－	0	－	353	358	101.5	369	103.0
	救急科	0	0	－	0	－	2,425	3,163	130.4	3,180	100.5
	リハビリ科	0	0	－	0	－	139	49	35.3	454	926.5
	放射線治療科	0	0	－	0	－	2,542	2,262	89.0	2,326	102.8
	歯科口腔外科	7,284	7,334	100.7	8,354	113.9	516	730	141.5	641	87.8
	形成外科	0	0	－	0	－	869	920	105.8	810	88.1
	全科	5,998	6,123	102.1	5,961	97.4	2,142	2,282	106.5	2,359	103.4

(3)診療行為別請求額

（単位:千円、%）

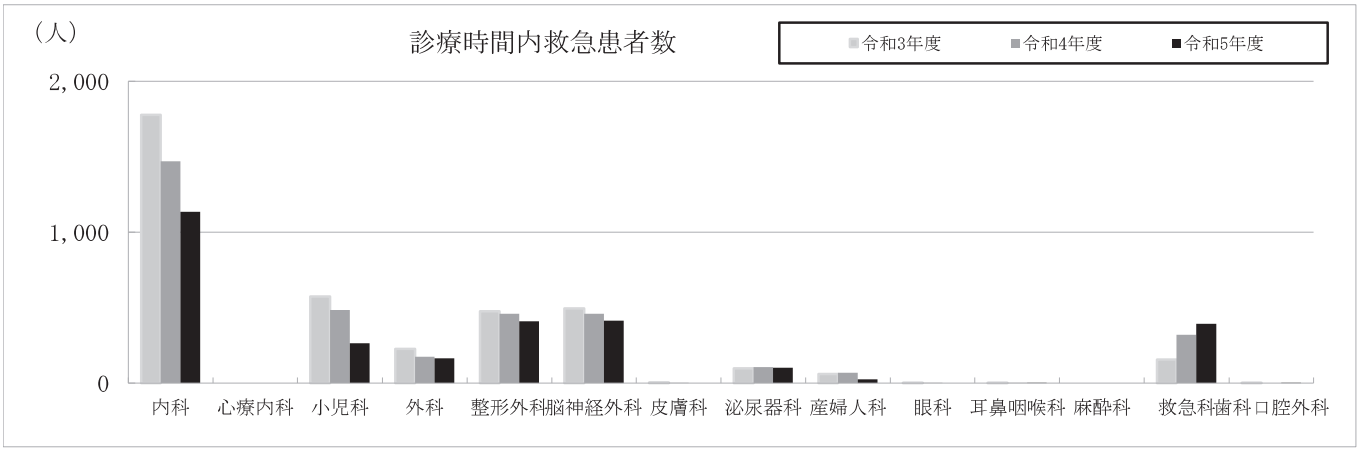
診療行為別	入院					外来				
	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和3年度	令和4年度		令和5年度	
			前年比		前年比			前年比		前年比
初診料	11,727	11,621	99.1	12,679	109.1	36,162	35,333	97.7	31,414	88.9
再診料	0	0	－	0	―	101,937	97,260	95.4	97,476	100.2
入院料	498,560	540,381	108.4	605,668	112.1	0	0	―	0	－
指導料	74,430	77,663	104.3	74,622	96.1	138,360	161,981	117.1	159,668	98.6
在宅療養料	14,648	14,253	97.3	12,315	86.4	306,763	333,317	108.7	347,634	104.3
投薬料	50,142	37,920	75.6	50,423	133.0	180,615	192,741	106.7	271,006	140.6
注射料	92,300	76,960	83.4	110,343	143.4	1,073,894	1,226,933	114.3	1,271,673	103.6
処置料	38,712	36,965	95.5	34,272	92.7	333,306	320,518	96.2	322,627	100.7
手術輸血料	1,133,019	1,108,441	97.8	1,118,059	100.9	111,736	121,469	108.7	104,154	85.7
麻酔料	143,721	146,734	102.1	146,388	99.8	2,238	2,187	97.7	4,091	187.1
検査料	77,726	108,543	139.6	79,476	73.2	679,332	709,008	104.4	707,921	99.8
画像診断料	8,601	9,033	105.0	9,917	109.8	384,665	409,409	106.4	406,030	99.2
理学療法料	256,529	246,245	96.0	240,804	97.8	19,643	19,418	98.9	20,453	105.3
処方箋料	0	0	－	0	―	51,533	52,235	101.4	52,342	100.2
その他	40	22	55.0	34	154.5	37,163	45,796	123.2	45,263	98.8
食事料	131,843	133,355	101.1	139,379	104.5	0	0	－	0	―
分娩介補料	37,726	38,102	101.0	29,222	76.7	0	0	－	0	―
DPC包括額	3,169,541	3,331,096	105.1	3,517,597	105.6	0	0	－	0	―
包括ケア病棟	366,313	380,423	103.9	408,278	107.3	0	0	－	0	―
回復期リハ病棟	508,911	491,471	96.6	502,433	102.2	0	0	－	0	―
合計	6,614,489	6,789,235	102.6	7,091,909	104.5	3,457,348	3,727,611	107.8	3,841,752	103.1

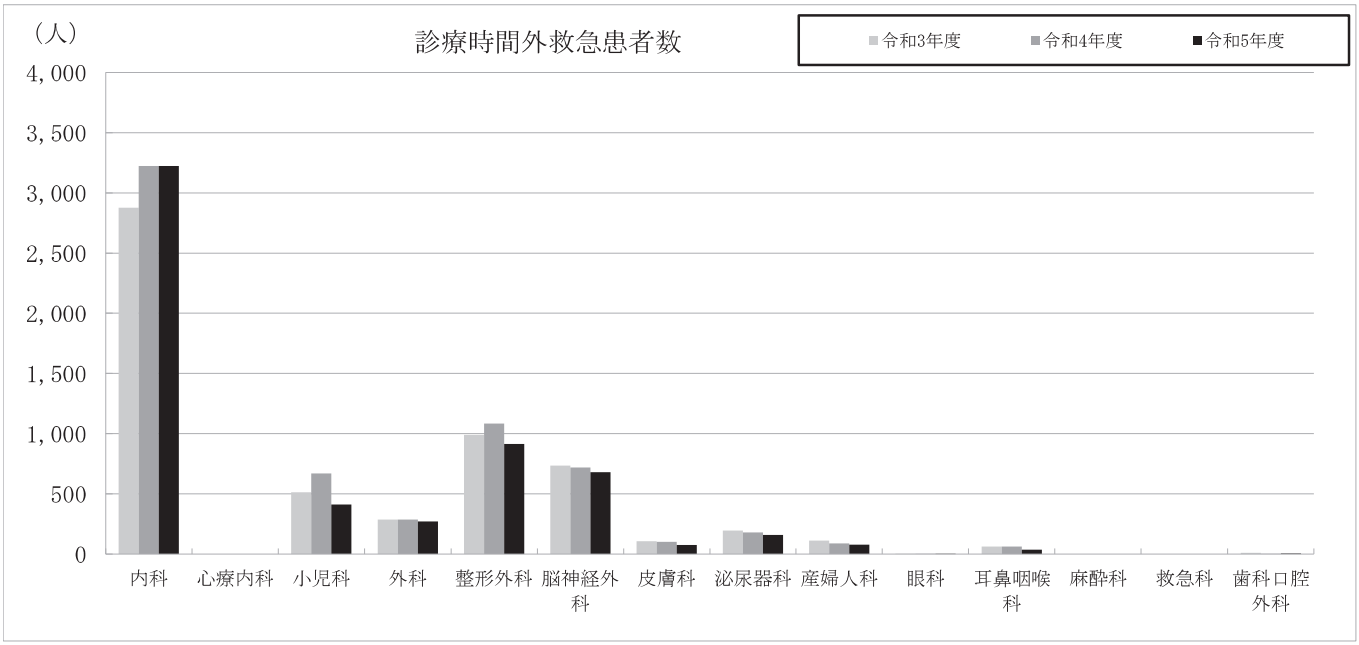
3. 救急患者の状況

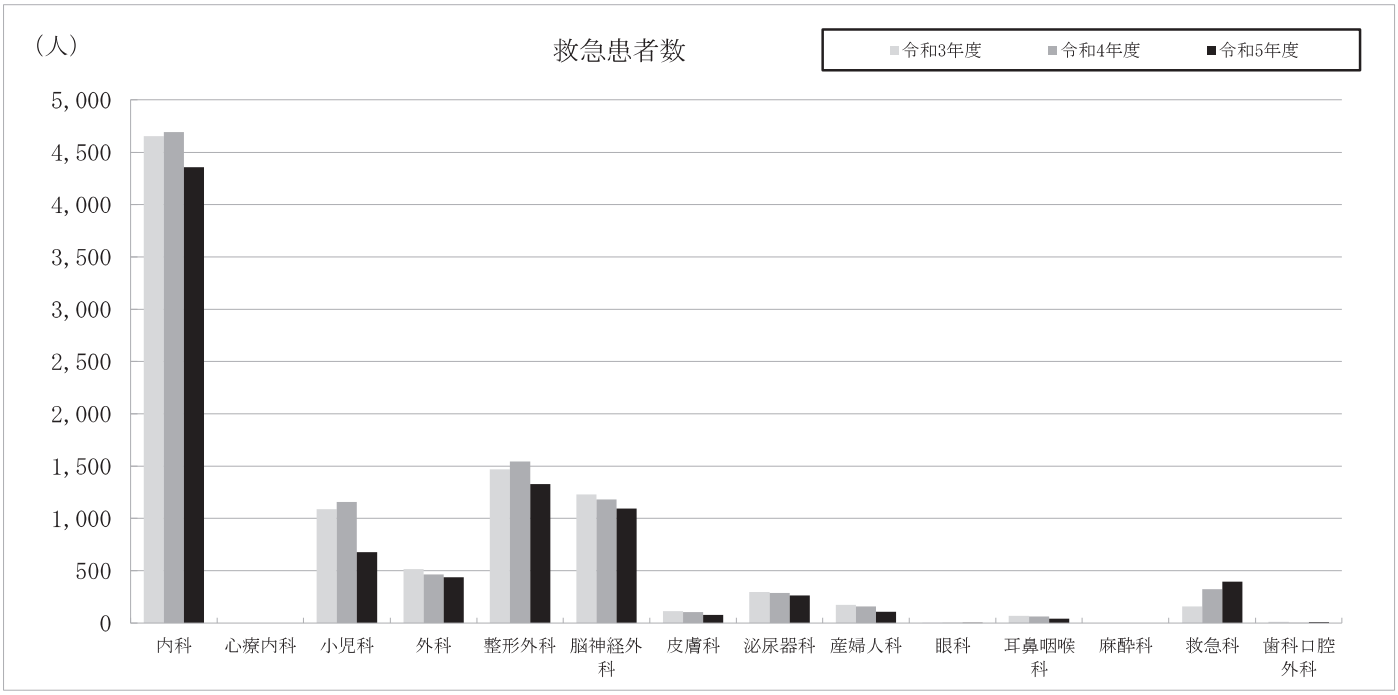
(1)救急患者数

(単位:人)

	内 科	心 療 内 科	小児科	外 科	整 形 外 科	脳神経 外 科	皮膚科	泌 尿 器 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽喉科	麻酔科	救急科	歯科口 腔外科	合 計
令和3年度	4,655	0	1,087	514	1,468	1,228	112	294	173	3	66	0	157	11	9,768
時間内	1,778	0	575	228	478	494	6	100	62	1	3	0	157	1	3,883
時間外	2,877	0	512	286	990	734	106	194	111	2	63	0	0	10	5,885
令和4年度	4,694	0	1,156	462	1,545	1,179	102	285	156	3	62	0	321	3	9,968
時間内	1,469	0	486	177	462	461	2	107	69	1	1	0	321	0	3,556
時間外	3,225	0	670	285	1,083	718	100	178	87	2	61	0	0	3	6,412
令和5年度	4,358	0	677	435	1,326	1,094	76	263	105	2	40	0	394	7	8,777
時間内	1,134	0	266	165	412	415	0	104	27	0	3	0	394	3	2,923
時間外	3,224	0	411	270	914	679	76	159	78	2	37	0	0	4	5,854



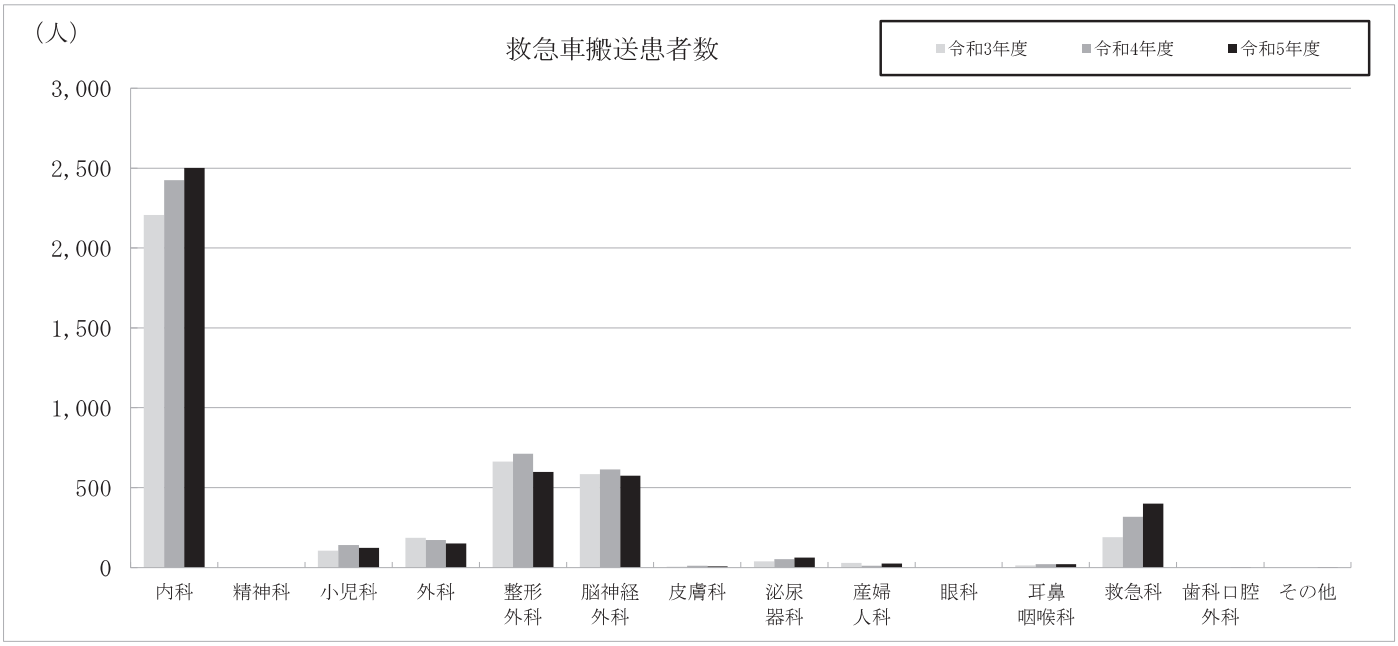




(2)救急車搬送患者数

（単位:人）

	内 科	精神科	小児科	外 科	整 形 外 科	脳神経 外 科	皮膚科	泌 尿 器 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽喉科	救急科	歯科口 腔外科	その他	合 計
令和3年度	2,207	0	106	185	663	585	4	38	29	0	12	189	2	0	4,020
令和4年度	2,424	0	140	172	712	614	10	52	11	0	21	318	1	0	4,475
令和5年度	2,501	0	123	151	599	575	6	62	24	0	20	399	1	1	4,462



4. 分娩件数

（単位：件）

区　分		令和3年度	令和4年度	令和5年度
分娩件数	単胎	198	208	162
	双胎	0	0	0
	三胎	0	0	0
	計	198	208	162
児体数	生産	198	206	161
	死産23W以前	0	1	0
	死産23W以後	0	1	1
	計	198	208	162

5. 剖検数

（単位：件）

区　分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
死亡件数	544	578	565
剖検数	3	7	1
剖検率（%）	0.55	1.21	0.18

6. 内視鏡件数

（単位：件）

区　分		令和3年度	令和4年度	令和5年度
検査	上部消化管検査	5,719	5,748	5,665
	下部消化管検査	1,466	1,492	1,549
	膵・胆管ファイバー	67	56	50
	胆道ファイバー	0	0	0
	気管支ファイバー	98	135	126
	膀胱鏡	531	679	599
	計	7,881	8,110	7,989
処置	静脈瘤結紮術	2	1	5
	ポリペクトミー上部・EMR	1	0	0
	ポリペクトミー下部・EMR	410	445	530
	超音波内視鏡	19	28	28
	止血術	139	109	107
	内視鏡的拡張術	15	7	13
	点墨・色素散布	129	177	157
	EST（内視鏡的乳頭括約筋切開術）	43	41	31
	麻酔法	0	0	0
	マーキングクリップ	50	71	75
	PEG（内視鏡的胃瘻造設術）	13	8	16
	内視鏡的胆道胆汁ドレナージ	13	14	14
	イレウス管挿入	41	18	25
	異物摘出術	6	8	13
	経肛門的減圧術	1	3	1
	留置スネア	7	21	14
	SBチューブ挿入	0	0	1
	内視鏡的粘膜下層剥離術	29	32	33
	ポリープ焼灼	0	0	0
	計	918	983	1,063

7. 循環器科

（単位：件）

区　分				令和3年度	令和4年度	令和5年度
非観血的検査	冠動脈CT			208	255	280
	心筋シンチ			102	76	89
		塩化タリウム		49	37	36
		MIBG		19	14	22
		MIBI		5	3	4
		BMIPP		29	22	27
観血的検査・治療	冠動脈造影			369	407	413
		うち アセチルコリン負荷試験		21	29	14
	右心カテーテル			10	16	8
		スワンガンツカテーテル		10	16	8
	電気生理学的検査			0	0	0
	心筋生検			5	5	5
	冠動脈カテーテル治療			220	212	236
		うち待機		119	118	117
		うち緊急		101	94	119
		内訳	バルーンのみ	36	48	35
			ステント併用	184	164	201
			冠動脈内血栓溶解術併用	0	0	0
			血栓吸引術併用	60	57	77
			大動脈内バルーンパンピング併用	17	8	22
	末梢血管形成術			106	105	90
		下肢動脈		24	21	21
		シャント血管		82	84	69
	下大静脈フィルター			1	0	0
	一時的ペーシング			34	41	24
	ペースメーカー			60	50	62
		新規植込み		47	33	42
		電池消耗による交換		13	17	20

8. 手術件数

(1) 麻酔種別手術件数

（単位：件）

区　分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
全身麻酔	1,213	1,250	1,253
腰椎麻酔	400	390	324
伝達麻酔	104	49	58
静脈内麻酔	6	9	2
局所麻酔	517	557	540
無麻酔	100	87	89
硬膜外麻酔	100	93	95
その他	1	3	1
合計	2,441	2,438	2,362

（２）手術別件数

手　　術　　名	3年度	4年度	5年度
皮膚・皮下組織			
創傷処理（長径５ｃｍ未満・筋肉、臓器に達するもの）	74	74	75
創傷処理（長径５ｃｍ未満・筋肉、臓器に達するもの・真皮縫合）	1	1	1
創傷処理（長径５ｃｍ～１０ｃｍ未満・筋肉、臓器に達するもの）	21	17	28
創傷処理（長径５ｃｍ以上１０ｃｍ未満・筋肉、臓器に達するもの・真皮縫合）	0	1	0
創傷処理（長径２０ｃｍ以上・筋肉、臓器に達するもの）	0	2	0
創傷処理（長径１０ｃｍ以上・筋肉、臓器に達するもの）	8	8	20
創傷処理（長径５ｃｍ未満・筋肉、臓器に達しないもの）	352	368	342
創傷処理（長径５ｃｍ未満・筋肉、臓器に達しないもの・真皮縫合）	2	4	3
創傷処理（長径５ｃｍ～１０ｃｍ未満・筋肉・臓器に達しないもの）	32	46	29
創傷処理（長径５ｃｍ以上１０ｃｍ未満・筋肉、臓器に達しないもの・真皮縫合）	1	1	0
創傷処理（長径１０ｃｍ以上・筋肉・臓器に達しないもの）	7	8	6
小児創傷処理（長径２．５ｃｍ未満・筋肉、臓器に達するもの）	5	9	3
小児創傷処理（長径２．５ｃｍ以上、５ｃｍ未満・筋肉、臓器に達するもの）	1	4	2
小児創傷処理（直径２．５ｃｍ未満・筋肉、臓器に達しないもの）	19	11	12
小児創傷処理（直径２．５ｃｍ以上５ｃｍ未満・筋肉、臓器に達しないもの）	3	5	0
小児創傷処理（直径５ｃｍ以上１０ｃｍ未満・筋肉、臓器に達しないもの）	1	0	0
皮膚切開（長径１０ｃｍ未満）	36	35	22
皮膚切開（長径１０ｃｍ以上２０ｃｍ未満）	3	2	1
皮膚切開（長径２０ｃｍ以上）	1	1	0
デブリードマン（１００ｃ㎡未満）	0	2	0
デブリードマン（３０００ｃ㎡未満）	0	1	4
皮下、粘膜下血管腫瘍摘出術（露出部）（長径３ｃｍ未満）	1	0	0
皮膚血管腫摘出術（露出部）（直径３ｃｍ未満）	1	3	4
皮膚血管腫摘出術（露出部以外・長径３㎝以上６㎝未満）	0	0	1
皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径２ｃｍ未満）	6	8	7
皮膚腫瘍摘出術（露出部）（長径２ｃｍ未満）	31	33	26
皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径２ｃｍ以上４ｃｍ未満）	2	3	6
皮膚腫瘍摘出術（露出部）（長径２ｃｍ以上４ｃｍ未満）	18	17	16
皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径４ｃｍ以上）	1	1	1
皮膚腫瘍摘出術（露出部）（長径４ｃｍ以上）	2	1	0
皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径３ｃｍ未満）	7	4	6
皮膚腫瘍摘出術（露出部以外）（長径３ｃｍ未満）	12	10	17
皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径３ｃｍ以上６ｃｍ未満）	0	0	1
皮膚腫瘍摘出術（露出部以外）（長径３ｃｍ以上６ｃｍ未満）	8	11	6
皮膚腫瘍摘出術（露出部以外）（長径６ｃｍ以上１２ｃｍ未満）	0	2	0
皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径６ｃｍ以上１２ｃｍ未満）	0	1	0
皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（１２ｃｍ以上）	1	0	0
皮膚悪性腫瘍切除術（単純切除）	10	15	7
形　　成			
瘢痕拘縮形成手術（顔面）	0	1	1
分層植皮術（２５ｃ㎡未満）	0	0	1
分層植皮術（２５ｃ㎡以上１００ｃ㎡未満）	0	1	1
全層植皮術（２５ｃ㎡未満）	0	1	0
全層植皮術（２５ｃ㎡以上１００ｃ㎡未満）	1	3	3
全層植皮術（２００ｃ㎡以上）	1	0	1
皮弁作成・移動・切断（２５ｃ㎡未満）	3	2	3

手　術　名	3年度	4年度	5年度
筋膜・筋・腱・腱鞘			
腱鞘切開術（指）	0	16	1
腱鞘切開術（関節鏡下によるものを含む）	47	65	54
筋肉内異物摘出術	1	1	1
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（肩）	0	0	2
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（上腕）	0	1	1
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（前腕）	0	0	1
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（手）	1	3	1
四肢・躯幹軟部悪性腫瘍摘出術（大腿）	0	1	0
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（下腿）	0	0	1
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（足）	1	0	1
筋膜移植術（その他）	0	1	2
腱剥離術	0	1	1
腱縫合術（指１本）	0	0	1
腱縫合術（指）	5	11	2
腱縫合術（切創等の創傷により）	2	2	0
腱縫合術	24	9	6
アキレス腱断裂手術	4	7	9
腱移植術（指（手，足））	2	2	0
腱移植術（その他）	1	0	0
腱移行術（指（手，足））	1	1	2
腱移行術（その他）	2	0	0
指伸筋腱脱臼観血的整復術	0	0	1
四　肢　骨			
骨掻爬術（前腕）	1	0	1
骨掻爬術（下腿）	1	0	0
骨掻爬術（手）	1	0	1
骨掻爬術（足，その他）	0	0	1
骨折非観血的整復術（大腿）	0	2	1
骨折非観血的整復術（上腕）	9	3	10
骨折非観血的整復術（前腕）	48	57	30
骨折非観血的整復術（下腿）	5	5	6
骨折非観血的整復術（鎖骨）	1	2	0
骨折非観血的整復術（手）	9	14	8
骨折非観血的整復術（指１本）	1	0	0
骨折非観血的整復術（指３本）	1	0	0
骨折非観血整復術（足，その他）	5	5	9
骨折経皮的鋼線刺入固定術（大腿）	0	1	0
骨折経皮的鋼線刺入固定術（下腿）	4	3	2
骨折経皮的鋼線刺入固定術（上腕）	0	0	1
骨折経皮的鋼線刺入固定術（前腕）	9	0	1
骨折経皮的鋼線刺入固定術（手）	1	1	0
骨折経皮的鋼線刺入固定術（指（手・足））	20	7	7
骨折観血的手術（大腿）	93	111	105
骨折観血的手術（上腕）	25	22	28
骨折観血的手術（肩甲骨）	0	0	1
骨折観血的手術（下腿）	36	37	36
骨折観血的手術（前腕）	61	65	61
骨折観血的手術（手舟状骨）	2	4	1

手　　術　　名	3年度	4年度	5年度
骨折観血的手術（足）	5	2	2
骨折観血的手術（指（手，足）	22	16	11
骨折観血的手術（鎖骨）	13	13	11
骨折観血的手術（膝蓋骨）	6	5	3
観血的整復固定術（インプラント周囲骨折に対するもの）（大腿）	5	3	2
観血的整復固定術（インプラント周囲骨折に対するもの）（前腕）	1	0	0
一時的創外固定骨折治療術	10	8	8
難治性骨折超音波治療法（一連につき）	13	9	8
超音波骨折治療法（一連につき）	22	10	16
骨内異物（挿入物）除去術（上腕）	5	7	5
骨内異物（挿入物）除去術（大腿）	0	4	3
骨内異物（挿入物）除去術（前腕）	42	26	26
骨内異物（挿入物）除去術（下腿）	22	17	10
骨内異物（挿入物）除去術（鎖骨）	5	8	5
骨内異物（挿入物）除去術（膝蓋骨）	0	2	2
骨内異物（挿入物）除去術（手）	10	5	2
骨内異物（挿入物）除去術（足）	1	1	0
骨内異物（挿入物）除去術（指（手・足））	14	9	7
骨部分切除術（手）	1	0	0
骨部分切除術（大腿）	0	0	1
骨腫瘍切除術（下腿）	1	0	0
骨腫瘍切除術（大腿）	0	1	0
骨悪性腫瘍手術（大腿）	0	0	1
骨切り術（指（手，足））	28	9	6
偽関節手術（下腿）	1	0	2
偽関節手術（手舟状骨）	3	0	0
偽関節手術（指（手，足））	0	0	1
骨移植術（軟骨移植術を含む）（自家骨移植）	9	1	3
骨移植術（軟骨移植を含む）（自家骨・非生体同種骨及び人工骨移植の併施）	0	1	0
四肢関節・靱帯			
化膿性又は結核性関節炎掻爬術（膝）	0	1	4
化膿性又は結核性関節炎掻爬術（股）	0	0	1
化膿性又は結核性関節炎掻爬術（指・手）	0	0	2
関節脱臼非観血的整復術（肩）	13	18	19
関節脱臼非観血的整復術（股）	5	2	0
関節脱臼非観血的整復術（膝）	1	0	3
関節脱臼非観血的整復術（肘）	3	1	3
関節脱臼非観血的整復術（手）	1	1	1
関節脱臼非観血的整復術（足）	1	4	3
関節脱臼非観血的整復術（小児肘内障）	26	20	16
関節脱臼非観血整復術（指（手，足））	6	8	8
関節脱臼非観血的整復術（肩鎖）	0	2	0
関節脱臼観血的整復術（肩）	0	1	0
関節脱臼観血的整復術（肘）	0	0	1
関節脱臼観血的整復術（足）	1	0	0
関節滑膜切除術（手）	0	0	2
関節滑膜切除術（指・手）	1	0	3
関節滑膜切除術（股）	0	0	1
関節滑膜切除術（膝）	0	1	5

手　　術　　名	3年度	4年度	5年度
関節滑膜切除術（肘）	0	1	0
関節滑膜切除術（指・足）	0	0	1
滑液膜摘出術（手）	0	0	1
関節鼠摘出手術（膝）	1	0	0
ガングリオン摘出術（手）	1	0	0
ガングリオン摘出術（指・手）	1	0	0
ガングリオン摘出術（足）	0	1	0
ガングリオン摘出術（指・足）	0	1	0
関節内骨折観血的手術（膝）	12	1	5
関節内骨折観血的手術（肘）	11	7	7
関節内骨折観血的手術（手）	0	2	1
関節内骨折観血的手術（足）	12	6	4
関節内骨折観血的手術（指・手）	0	3	1
靱帯断裂縫合術（指（手，足）	2	1	5
靱帯断裂縫合術（その他の靱帯）	11	5	2
観血的関節授動術（手）	0	0	2
観血的関節授動術（膝）	0	1	0
観血的関節固定術（指・手）	4	4	0
観血的関節固定術（指・足）	1	0	2
靱帯断裂形成手術（その他の靱帯）	0	1	1
靱帯断裂形成手術（指（手，足））	0	1	0
関節形成手術（肘）	1	2	0
関節形成手術（手）	3	2	4
人工骨頭挿入術（股）	66	55	50
人工骨頭挿入術（肩）	1	0	0
人工骨頭挿入術（肘）	3	0	0
人工関節置換術（股）	3	9	3
人工関節置換術（膝）	0	0	5
人工関節置換術（肘）	2	1	1
人工関節置換術（指・手）	1	2	1
人工関節再置換術（肘）	1	0	1
人工関節抜去術（肘）	0	0	1
鋼線等による直達牽引	1	3	1
四肢切断・離断・再接合			
四肢切断術（手）	9	1	0
四肢切断術（足）	0	2	1
四肢切断術（下腿）	9	2	5
四肢切断術（大腿）	2	7	2
断端形成術（軟部形成のみ）（手・指）	1	1	0
断端形成術（骨形成を要す）（手・指）	2	4	6
断端形成術（骨形成を要す）（足・指）	1	1	1
手　・　足			
爪甲除去術	13	14	7
陥入爪手術（簡単なもの）	1	0	0
手根管開放手術	23	32	31
手掌異物摘出術	2	0	0
デュプイトレン拘縮手術（１指）	2	4	1
デュプイトレン拘縮手術（２指から３指）	3	0	0
母指対立再建術	2	2	1

手　術　名	3年度	4年度	5年度
第一足指外反症矯正手術	7	3	3
脊　柱　・　骨　盤			
腸骨翼骨折観血的手術	1	0	0
寛骨臼骨折観血的手術	1	0	0
脊椎内異物（挿入物）除去術	1	0	0
脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（後方又は後側方固定）	5	0	0
経皮的椎体形成術	1	0	0
頭　蓋　・　脳			
穿頭脳室ドレナージ術	6	5	2
穿頭術（トレパナチオン）	0	1	1
脳膿瘍排膿術	0	0	1
試験開頭術	0	1	0
定位脳腫瘍生検術	0	1	1
頭蓋内血腫除去術（開頭・硬膜外）	1	0	2
頭蓋内血腫除去術（開頭・硬膜下）	6	1	4
頭蓋内血腫除去術（開頭・脳内）	12	6	5
慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	50	63	64
内視鏡下脳内血腫除去術	3	4	9
頭蓋内腫瘍摘出術（その他）	4	6	6
内視鏡下経鼻的腫瘍摘出術（下垂体腫瘍）	0	3	0
水頭症手術（シャント手術）	8	5	5
髄液シャント抜去術	2	0	1
脳動脈瘤被包術（１箇所）	0	0	1
脳動脈瘤頸部クリッピング（１箇所）	4	7	10
脳動脈瘤頸部クリッピング（２箇所以上）	1	0	1
脳血管内手術（１箇所）	14	0	19
脳血管内手術（２箇所以上）	0	0	1
脳血管内手術（脳血管内ステントを用いるもの）	2	1	1
経皮的脳血管形成術	4	4	2
経皮的選択的脳血栓・塞栓溶解術（頭蓋内脳血管の場合）	0	1	1
経皮的脳血栓回収術	40	41	47
後頭蓋窩減圧術	1	0	0
頭蓋骨悪性腫瘍手術	1	0	0
頭蓋骨形成手術（頭蓋骨のみ）	2	2	2
脊　髄　・末梢神経・交感神経			
神経縫合術（指（手，足））	6	2	6
神経縫合術（その他）	6	0	1
神経再生誘導術（指（手，足））	0	0	1
神経剥離術（その他のもの）	11	6	5
神経腫切除術（指（手，足））（２個）	0	1	0
眼　瞼			
眼瞼膿瘍切開術	1	0	0
涙点プラグ挿入術、涙点閉鎖術	2	1	0
結　膜			
結膜結石除去術（少数のもの）（１眼瞼ごと）	3	5	5
結膜下異物除去術	1	0	0
翼状片手術（弁の移植を要するもの）	0	1	0
角膜・強膜異物除去術	0	3	0
眼　房　・　網　膜			

手　術　名	3年度	4年度	5年度
虹彩光凝固術	2	11	0
虹彩整復・瞳孔形成術	0	0	1
網膜光凝固術（通常のもの・一連につき）	19	27	32
網膜光凝固術（その他特殊なもの・一連につき）	39	10	24
水晶体・硝子体			
水晶体再建術（眼内レンズを挿入する場合・その他のもの）	158	163	157
水晶体再建術（眼内レンズを挿入しない場合）	2	0	0
後発白内障手術	34	31	45
外　耳			
外耳道異物除去術（単純なもの）	0	1	3
耳介腫瘍摘出術	0	0	1
鼻			
鼻腔粘膜焼灼術	6	6	5
鼻茸摘出術	0	0	2
鼻骨骨折徒手整復術	0	1	0
上顎洞根治手術	0	3	1
咽　頭　・　扁　桃			
咽頭異物摘出術（簡単）	1	1	0
喉　頭　・　気　管			
気管切開術	9	4	5
気管口狭窄拡大術	0	0	1
口　・　舌			
頬粘膜腫瘍摘出術	2	4	2
頬粘膜悪性腫瘍手術	1	1	8
舌腫瘍摘出術（その他のもの）	6	4	1
舌悪性腫瘍手術（切除）	2	1	2
口唇腫瘍摘出術（その他）	2	2	0
頬腫瘍摘出術（粘液嚢胞摘出術）	1	0	0
頬腫瘍摘出術（その他）	0	0	4
口腔悪性腫瘍切除術	0	0	1
顔面骨・顎関節			
下顎関節突起骨折観血的手術（片側）	0	1	0
顎関節脱臼非観血的整復術	0	4	4
顎骨腫瘍摘出術（長径３㎝未満）	0	1	4
下顎骨折観血的手術（片側）	1	0	1
下顎骨悪性腫瘍手術（切除）	0	1	1
上顎骨形成術（単純）	2	1	0
下顎骨形成術（短縮）	2	4	0
下顎骨形成術（伸長）	1	0	0
顎関節授動術（徒手的授道術）（パンピングを併用）	1	0	1
唾液腺			
顎下腺摘出術	1	0	0
顎下腺腫瘍摘出術	0	0	1
顎下腺悪性腫瘍手術	0	0	1
甲状腺・副甲状腺（上皮小体）			
甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術（片葉）	3	7	7
甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術（両葉）	0	1	0
甲状腺悪性腫瘍手術（切除）	1	4	0
甲状腺悪性腫瘍手術（全摘）	0	1	0

手　術　名	3年度	4年度	5年度
甲状腺悪性腫瘍手術（切除）（頸部外側区域郭清を伴うもの）	0	0	2
副甲状腺（上皮小体）腺腫過形成手術（摘出術）	2	0	1
頸部郭清術（片側）	1	1	0
乳　腺			
乳腺腫瘍摘出術（長径５ｃｍ未満）	10	14	7
乳腺腫瘍摘出術（長径５ｃｍ以上）	1	4	6
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術	26	17	20
乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴わないもの）	12	19	14
乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・腋窩部郭清を伴わないもの）	25	35	33
乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除併施しない）	0	6	3
乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除を併施する）	5	3	2
胸　腔　・　胸　膜			
胸腔鏡下試験開胸術	1	0	1
胸腔鏡下試験切除術	4	0	0
胸腔内（胸膜内）血腫除去術	1	0	0
胸腔鏡下胸腔内（胸膜内）血腫除去術	0	0	2
胸腔鏡下膿胸腔掻爬術	4	2	2
胸郭形成手術（膿胸手術）（胸膜肼胝切除を併施）	0	0	1
縦　隔			
縦隔腫瘍摘出術	1	0	0
縦隔悪性腫瘍手術（単純摘出）	0	0	1
縦隔悪性腫瘍手術（広汎摘出）	1	0	0
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術	0	1	1
気管支　・　肺			
気管支異物除去術（直達鏡による）	0	1	0
気管支瘻孔閉鎖術	5	2	0
肺切除術（楔状部分切除）	0	0	1
肺切除術（複合切除・１肺葉を超えるもの）	0	1	0
胸腔鏡下肺切除術（肺嚢胞手術（楔状部分切除によるもの）	13	12	17
胸腔鏡下肺切除術（部分切除）	2	2	2
胸腔鏡下肺切除術（肺葉切除又は１肺葉を超えるもの）	0	1	1
胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術	2	1	0
胸腔鏡下縫縮術	2	6	0
肺悪性腫瘍手術（部分切除）	0	2	0
肺悪性腫瘍手術（区域切除）	0	0	1
肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は１肺葉を超えるもの）	1	3	7
肺悪性腫瘍手術（隣接臓器合併切除を伴う肺切除）	0	1	1
肺悪性腫瘍手術（気管支形成を伴う肺切除）	1	1	1
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（部分切除）	12	14	7
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除）	6	0	0
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は１肺葉を超えるもの）	35	14	25
食　道			
食道狭窄拡張術（拡張用バルーンによるもの）	7	2	11
食道ステント留置術	1	0	1
食道腫瘍摘出術（内視鏡によるもの）	0	0	1
内視鏡的食道粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術）	0	0	6
内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術	1	0	2
内視鏡的食道異物摘出術	1	0	0
心・心膜・肺動静脈・冠血管等			

手　　術　　名	3年度	4年度	5年度
経皮的冠動脈形成術（急性心筋梗塞に対するもの）	14	5	2
経皮的冠動脈形成術（不安定狭心症に対するもの）	3	9	7
経皮的冠動脈形成術（その他のもの）	33	33	31
経皮的冠動脈形成術（高速回転式経皮経管アテレクトミーカテーテルによるもの）	2	2	3
経皮的冠動脈ステント留置術（急性心筋梗塞に対するもの）	22	32	37
経皮的冠動脈ステント留置術（不安定狭心症に対するもの）	35	31	58
経皮的冠動脈ステント留置術（その他のもの）	113	99	99
経皮的冠動脈血栓吸引術	0	1	0
体外ペースメーキング術	2	3	0
ペースメーカー移植術（経静脈電極）	47	31	42
ペースメーカー交換術	13	19	20
植込型心電図記録計移植術	2	1	0
大動脈バルーンパンピング（初日）	16	7	20
大動脈バルーン法（２日目以降）	53	20	48
経皮的心肺補助法（初日）	1	2	3
経皮的心肺補助法（２日目以降）	0	0	1
動　　脈			
血管結紮術（その他）	1	2	1
動脈血栓内膜摘出術（内頸動脈）	1	1	0
経皮的頸動脈ステント留置術	20	10	13
動脈形成術（胸腔内動脈）	0	0	2
動脈吻合術（指（手，足）の動脈）	1	1	5
動脈形成術、吻合術（その他の動脈）	1	0	2
抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用埋込型カテーテル設置（頭頸部その他）	61	76	53
末梢動静脈瘻造設術（内シャント造設術）（単純なもの）	57	34	53
血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（止血術）	1	1	3
血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（その他）	2	0	5
四肢の血管拡張術・血栓除去術	23	24	18
四肢の血管吻合術	1	0	0
経皮的シャント拡張術・血栓除去術（初回）	81	80	65
経皮的シャント拡張術・血栓除去術（初回の実施後３月以内に実施）	0	0	4
経皮的血管内異物除去術	2	2	0
吸着式潰瘍治療法	0	63	5
静　　脈			
中心静脈注射用植込型カテーテル設置（頭頸部その他）	3	9	11
下大静脈フィルター留置術	1	0	0
リンパ管・リンパ節			
リンパ節摘出術（長径３㎝未満）	7	9	4
リンパ節摘出術（長径３㎝以上）	5	4	5
リンパ節群郭清術（腋窩）	1	1	2
リンパ節群郭清術（鼠径部）	0	1	0
腹　壁　・　ヘルニア			
腹壁腫瘍摘出術（形成手術を必要としないもの）	0	1	1
腹壁腫瘍摘出術（形成手術を必要とする）	0	1	0
ヘルニア手術（腹壁瘢痕ヘルニア）	1	4	1
ヘルニア手術（白線ヘルニア）	0	0	1
ヘルニア手術（臍ヘルニア）	0	0	3
ヘルニア手術（鼠径ヘルニア）	35	78	81
ヘルニア手術（大腿ヘルニア）	1	4	2

手　　術　　名	3年度	4年度	5年度
ヘルニア手術（骨盤部ヘルニア・閉鎖孔ヘルニア）	0	2	0
ヘルニア手術（内ヘルニア）	0	1	0
腹腔鏡下ヘルニア手術（大腿ヘルニア）	1	1	1
腹腔鏡下ヘルニア手術（臍ヘルニア）	3	0	0
腹腔鏡下ヘルニア手術（閉鎖孔ヘルニア）	4	2	0
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）	69	50	26
腹膜・後腹膜・腸間膜・網膜			
胸水・腹水濾過濃縮再静注法	13	4	8
連続携行式腹膜灌流用カテーテル腹腔内留置術	4	3	0
試験開腹術	0	0	1
腹腔鏡下試験開腹術	1	0	0
腹腔鏡下試験切除術	2	0	3
経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	4	9	6
限局性腹腔膿瘍手術（その他）	1	0	0
急性汎発性腹膜炎手術	3	3	9
腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術	0	0	3
腸間膜損傷手術（腸管切除を伴わないもの）	1	0	0
腸間膜腫瘍摘出術（腸切除を伴わないもの）	1	0	0
大網切除術	1	2	0
胃　・　十二指腸			
胃縫合術（大網充填術又被覆術を含む）	1	2	0
腹腔鏡下胃・十二指腸潰瘍穿孔縫合術	0	1	0
内視鏡的胃、十二指腸ステント留置術	0	1	0
内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（早期悪性腫瘍胃粘膜下層剥離術）	21	31	26
内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（その他のポリープ・粘膜切除術）	5	3	1
内視鏡的胃ポリープ・粘膜切除術（その他のポリープ・粘膜切除術）	0	5	3
内視鏡的食道及び胃内異物摘出術	5	7	11
内視鏡的胃、十二指腸狭窄拡張術	1	1	2
胃局所切除術	1	0	0
内視鏡的消化管止血術	46	48	37
胃切除術（単純）	2	0	1
胃切除術（悪性腫瘍）	9	14	20
腹腔鏡下胃切除術（単純）	0	0	2
腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍）	5	12	10
腹腔鏡下噴門側胃切除術（悪性腫瘍）	0	2	1
胃全摘術（悪性腫瘍）	11	8	2
腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍）	0	3	3
胃腸吻合術（ブラウン吻合を含む）	3	1	1
経皮的内視鏡下胃瘻造設術	11	7	13
胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	4	1	6
胃瘻抜去術	1	0	1
胆嚢　・　胆道			
胆嚢摘出術	43	41	37
腹腔鏡下胆嚢摘出術	79	87	92
胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢に限局する）	2	0	0
胆管外瘻造設術（経皮経肝）	8	0	2
経皮的胆管ドレナージ術	0	0	1
内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術（ＥＮＢＤ）	1	0	0
内視鏡的胆道結石除去術（胆道砕石術を伴うもの）	2	1	1

手　　術　　名	3年度	4年度	5年度
内視鏡的胆道結石除去術（その他のもの）	0	0	1
内視鏡的胆道拡張術	1	0	0
内視鏡的乳頭切開術（乳頭括約筋切開のみのもの）	16	16	7
内視鏡的乳頭切開術（胆道砕石を伴う）	13	12	11
内視鏡的胆道ステント留置術	28	26	23
肝			
経皮的肝膿瘍ドレナージ術	1	2	1
腹腔鏡下肝嚢胞切開術	0	1	0
肝切除術（部分切除）	5	4	1
肝切除術（外側区域切除）	2	1	1
肝内胆管外瘻造設術（経皮経肝による）	0	2	1
膵			
膵体尾部腫瘍切除術（膵尾部切除術）（脾同時切除）	1	0	0
膵体尾部腫瘍切除術（リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術）	0	0	3
膵頭部腫瘍切除術（リンパ節・神経叢郭清等を伴う）	0	1	1
内視鏡的膵管ステント留置術	0	0	1
脾			
脾摘出術	0	0	1
腹腔鏡下脾摘出術	1	1	0
空腸・回腸・盲腸・虫垂・結腸			
破裂腸管縫合術	1	0	0
腸管癒着症手術	7	12	18
腹腔鏡下腸管癒着剥離術	1	3	1
腸重積症整復（非観血的なもの）	0	3	2
小腸切除術（悪性腫瘍手術以外の切除術）	15	17	10
小腸切除術（悪性腫瘍手術）	1	0	0
腹腔鏡下小腸切除術（悪性腫瘍手術以外の切除術）	2	0	6
虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴わないもの）	0	1	0
腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴わないもの）	34	30	30
腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴うもの）	22	10	23
結腸切除術（小範囲切除）	16	18	14
結腸切除術（結腸半側切除）	2	1	1
結腸切除術（全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術）	45	37	33
腹腔鏡下結腸切除術（小範囲切除、結腸半側切除）	3	1	3
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	23	38	35
内視鏡的大腸粘膜切除術（長径２ｃｍ未満）	23	53	38
内視鏡的大腸粘膜切除術（長径２ｃｍ以上）	5	5	12
内視鏡的大腸ポリープ切除術（長径２ｃｍ未満）	390	361	469
内視鏡的大腸ポリープ切除術（長径２ｃｍ以上）	19	29	30
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	0	0	11
小腸結腸内視鏡的止血術	7	14	11
腸吻合術	1	2	0
人工肛門造設術	7	6	11
腹腔鏡下人工肛門造設術	2	0	2
人工肛門閉鎖術（腸管切除を伴わないもの）	0	1	0
人工肛門閉鎖術（腸管切除を伴うもの）	5	2	1
人工肛門閉鎖術（腸管切除を伴う）（直腸切除術後のもの）	0	1	1
小腸・結腸狭窄部拡張術（内視鏡）	2	0	0
下部消化管ステント留置術	6	2	0

手　術　名	3年度	4年度	5年度
直　腸			
直腸腫瘍摘出術（経肛門）	9	1	3
低浸襲経肛門的局所切除術（MITAS）	1	0	0
直腸切除・切断術（切除術）	6	13	8
直腸切除・切断術（低位前方切除術）	3	6	3
腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術）	6	7	9
腹腔鏡下直腸切除・切断術（低位前方切除術）	9	10	9
腹腔鏡下直腸切除・切断術（切断術）	3	1	2
肛　門　・　その周辺			
痔核手術（結紮術）	0	0	1
肛門周囲膿瘍切開術	5	3	1
肛門ポリープ切除術	1	1	0
腎　・　腎　盂			
腹腔鏡下副腎摘出術	1	0	1
腹腔鏡下副腎悪性腫瘍手術	1	0	0
副腎腫瘍摘出術（髄質腫瘍（褐色細胞腫））	1	0	0
体外衝撃波腎・尿管結石破砕術（一連につき）	13	17	7
腹腔鏡下腎嚢胞切除術	1	0	0
経皮的腎嚢胞穿刺術	0	0	1
腹腔鏡下腎摘出術	0	2	0
腎（尿管）悪性腫瘍手術	0	3	0
腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術	0	7	5
経皮的腎（腎盂）瘻造設術	0	2	10
経皮的腎（腎盂）瘻拡張術（一連につき）	0	0	1
尿　管			
経尿道的尿路結石除去術（レーザーによるもの）	0	21	21
経尿道的尿路結石除去術（その他のもの）	0	1	2
経尿道的尿管狭窄拡張術	0	1	0
尿管切石術（上部）	0	0	1
経尿道的尿管ステント留置術	0	124	115
経尿道的尿管ステント抜去術	0	17	12
尿管膀胱吻合術	0	2	0
膀　胱			
膀胱結石、異物摘出術（経尿道的手術）	0	9	5
膀胱結石、異物摘出（膀胱高位切開術）	0	0	1
経尿道的電気凝固術	0	2	2
膀胱悪性腫瘍手術（切除）	0	1	1
膀胱悪性腫瘍手術（全摘・腸管等利用し尿路変更を行わない）	0	0	1
膀胱悪性腫瘍手術（全摘・回腸又は結腸導管を利用して尿路変更を行う）	0	2	3
膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術・電解質溶液利用のもの）	0	72	67
膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（その他）	0	0	2
膀胱瘻造設術	0	1	4
膀胱膣瘻閉鎖術	0	0	1
尿　道			
尿道結石、異物摘出術（前部尿道）	0	1	0
尿道結石摘出術（後部尿道）	0	0	2
外尿道腫瘍切除術	0	0	1
陰　茎			
包茎手術（環状切除術）	0	5	5

手　術　名	3年度	4年度	5年度
陰嚢・精巣・精巣上体・精管・精索			
精巣摘出術	0	3	2
精巣上体摘出術	0	0	1
精巣悪性腫瘍手術	0	3	2
陰嚢水腫手術（その他）	0	8	2
停留精巣固定術	0	1	1
精索捻転手術（対側精巣固定術を伴う）	0	3	1
精　嚢　・　前立腺			
経尿道的前立腺手術（電解質溶液利用のもの）	0	13	7
経尿道的前立腺手術（その他のもの）	0	0	1
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	0	18	14
外　陰　・　会　陰			
女子外性器腫瘍摘出術	0	1	0
外陰・腟血腫除去術	0	1	0
膣			
癒合陰唇形成手術（筋層に及ばない）	0	1	1
腟壁尖圭コンジローム切除術	0	1	0
腟閉鎖術（中央腟閉鎖術（子宮全脱））	0	0	1
腟壁形成手術	0	1	1
子　宮			
子宮脱手術（腟壁形成手術・子宮全摘術）	0	6	4
子宮頸管ポリープ切除術	0	16	28
子宮頸部（腟部）切除術	0	21	11
子宮筋腫摘出（核出）術（腹式）	0	2	0
子宮全摘術	0	18	27
腹腔鏡下腟式子宮全摘術	0	2	2
子宮悪性腫瘍手術	0	5	11
子宮附属器			
卵巣部分切除術（開腹）	0	0	1
卵巣部分切除術（腹腔鏡）	0	0	5
卵管結紮術（両側，開腹）	3	2	4
子宮附属器腫瘍摘出術（両側・開腹）	44	22	34
子宮附属器腫瘍摘出術（両側・腹腔鏡）	11	3	6
子宮附属器悪性腫瘍手（両側）	0	2	2
産科手術			
吸引娩出術	10	12	6
鉗子娩出術（低位（出口）鉗子）	1	1	0
鉗子娩出術（中位鉗子）	1	0	0
会陰（腟壁）裂創縫合術（分娩時・肛門に及ぶ）	2	2	2
会陰（腟壁）裂創縫合（分娩時・膣円蓋に及ぶ）	1	0	0
会陰（腟壁）裂創縫合（分娩時・直腸裂創を伴うもの）	1	0	0
頸管裂創縫合術（分娩時）	3	0	1
帝王切開術（緊急切開）	18	23	14
帝王切開術（選択切開）	38	45	30
胎盤用手剥離術	2	0	2
流産手術（妊娠１１週まで）	23	2	0
流産手術（妊娠１１週まで）（手動真空吸引法によるもの）	0	15	9
子宮内容除去術（不全流産）	0	1	0
異所性妊娠手術（開腹）	2	0	1

手　　術　　名	3年度	4年度	5年度
異所性妊娠手術（腹腔鏡）	1	0	1
歯科口腔外科手術			
後出血処置	4	2	5
抜歯手術・乳歯	6	2	6
抜歯手術・前歯	150	151	190
抜歯手術・臼歯	455	445	503
ヘミセクション（分割抜歯）	1	6	0
抜歯手術・埋伏歯	157	175	198
抜歯窩再掻爬手術	7	7	4
歯槽骨整形手術	3	0	0
骨瘤除去手術	14	5	0
口腔内消炎手術（歯肉膿瘍等）	0	0	2
口腔内消炎手術（骨膜下膿瘍・口蓋膿瘍等）	0	8	11
口腔内消炎手術（顎炎・顎骨骨髄炎等）　　１／３顎未満	3	6	2
外歯瘻手術	0	0	1
口腔外消炎手術　骨膜下膿瘍、皮下腫瘍、蜂窩織炎等（５ｃｍ未満）	1	0	2
顎骨腫瘍摘出術（３ｃｍ未満）	11	13	15
顎骨腫瘍摘出術（３ｃｍ以上）	1	3	7
歯肉・歯槽部腫瘍手術（軟組織）	6	6	1
歯肉・歯槽部腫瘍手術（硬組織）	2	2	2
歯根嚢胞摘出手術（歯冠大）	10	12	20
歯根嚢胞摘出手術（拇指頭大）	5	6	6
歯根端切除手術（２以外の場合）	1	0	0
歯根端切除手術（１歯につき）（歯科用３次元エックス線断層撮影装置及び手術用顕微鏡）	14	21	33
口腔内縫合術（小浅）	1	1	1
口腔内縫合術（小深）	1	3	5
口腔内縫合術（中深）	0	0	1
唾石摘出術（表在性）	0	1	0
がま腫切開術	0	1	1
口蓋腫瘍摘出術（口蓋粘膜）	3	4	1
口唇腫瘍摘出術（粘液嚢胞摘出術）	1	0	3
歯槽骨骨折非観血的整復術（３歯以上）	2	0	0
下顎骨折非観血的整復術	2	0	0
顎関節脱臼非観血的整復術	2	8	0
腐骨除去手術（歯槽部）	3	3	3
腐骨除去手術顎骨（片側１／３未満）	2	3	1
腐骨除去手術顎骨（片側１／３以上）	5	1	0
頬・口唇・舌小帯形成術	0	2	0
顎骨嚢胞開窓術	1	3	3
頬・口唇・舌小帯切離移動術	0	0	1
口蓋隆起形成術	2	0	0
歯の破折片除去	2	1	1
上顎洞口腔瘻閉鎖術（困難）	1	0	0
埋伏歯開窓術	2	0	0
口腔外縫合術（小深）	1	0	1
口腔外縫合術（大深）	0	0	1
下顎隆起形成術（片側）	1	0	0
下顎隆起形成術（両側）	3	0	0
浮動歯肉切除術（２分の１顎程度）	0	1	0

手　　術　　名	3年度	4年度	5年度
口蓋悪性腫瘍手術単純	0	1	0
顎骨インプラント摘出術（２分の１顎未満）	0	1	0
歯科インプラント摘出術（骨膜下）（骨開さく）	0	1	0
歯科インプラント摘出術（人工歯根）（骨開さく）	1	0	0
顎骨内異物除去術（困難・顎骨２／３顎未満）	7	11	0
顎骨内異物除去術（困難・全顎にわたる）	1	2	0
歯の移植手術（自家骨移植）	1	2	0
歯根嚢胞摘出術（鶏卵大）	1	1	0
歯根分割掻爬術	0	2	0
加　　算（医　科）			
手指の創傷に係る機能回復指導加算	0	0	10
術中透視装置使用加算	13	1	0
乳児加算（手術）	2	5	1
幼児加算（手術）	38	41	16
３才未満幼児加算（手術）	26	22	22
麻酔加算（ＭＲＳＡ，Ｂ型・Ｃ型肝炎，結核患者）	46	52	56
時間外特例医療機関加算２（処置・手術）	88	124	150
周術期口腔機能管理後手術加算	182	232	214
頸部郭清術加算（片側）	1	0	1
真皮縫合加算	6	1	1
デブリードマン加算（汚染された挫創）	81	62	68
深部デブリードマン加算	0	1	4
下顎骨形成術（両側・同時）加算	2	3	0
乳がんセンチネルリンパ加算１	32	49	45
バルーン内視鏡加算	0	1	0
人工肛門造設加算（結腸切除術）	5	10	0
人工肛門造設加算（直腸切除・切断術）	0	3	1
人工肛門造設加算（腹腔鏡下直腸切除・切断術）	2	0	3
複雑加算（帝王切開術）	34	35	25
超音波凝固切開装置等加算	344	377	378
緊急整復固定加算（骨折観血的手術）	0	39	30
創外固定器加算	1	0	1
緊急挿入加算（人工骨頭挿入術）	0	17	17
自動縫合器加算	817	925	836
自動吻合器加算	43	62	47
画像等手術支援加算（ナビゲーションによるもの）	0	59	63
画像等手術支援加算（実物大臓器立体モデルによるもの）	1	1	0
術中血管等描出撮影加算	7	10	14
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	25	24	28
超音波切削機器加算	5	5	0
加　　算（歯　科）			
骨吸収抑制薬関連顎骨壊死又は放射線性顎骨壊死加算	2	0	0
下顎完全埋伏智歯（骨性）加算	2	2	1
下顎水平埋伏智歯加算	134	158	157
難抜歯加算	88	106	98

※１．この件数は、医事算定データから抽出したものです。

9. 薬剤部

（1）処方箋　　（単位：枚）

区　分		令和3年度	令和4年度	令和5年度
入院		38,921	37,962	42,575
外来		92,604	94,264	93,753
	院内	9,544	10,367	9,743
	院外	83,060	83,897	84,010
	院外処方箋発行率%	89.7	89.0	90
計		131,525	132,226	136,328

（2）調剤　　（単位：件）

区　分		令和3年度	令和4年度	令和5年度
入院		77,922	78,958	87,552
外来		19,666	22,116	21,649
計		97,588	101,074	109,201
調剤の内訳	内服	71,904	74,633	77,538
	外用	16,542	16,507	16,669
	頓服	9,142	9,934	9,093

（3）薬剤管理指導　　（単位：件）

区　分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入院	13,005	12,342	11,879

（4）混注（ミキシング）状況　　（単位：件）

区　分		令和3年度	令和4年度	令和5年度
ミキシング		4,847	4,625	4,294
	lVH	1,076	1,000	1,221
	抗悪性腫瘍	3,771	3,543	3,073
	その他	27	82	78
セット		206,851	205,960	226,423

（5）病棟薬剤業務実施加算　　（単位：件）

区　分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ＤＰＣ対象患者	15,739	15,679	16,978
出来高算定患者	1,336	1,447	1,392
計	17,075	17,126	18,370

（6）採用医薬品　　（単位：品）

区　分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
採用薬品数	1,821	1,906	1,979
新規院内採用数	78	85	73
新規院外のみ採用数	35	72	42

（７）製剤状況

剤形	製剤名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
内用液剤	ATRA乳剤	100ml	0	0	0
	DMSOシロップ（内服）	47ml	0	0	0
	ルゴール液（内服用）	100ml	0	0	0
アンプル	無水エタノールアンプル	1A	0	0	0
	1%ピオクタニンアンプル	1A	0	5	0
	墨汁アンプル	1A	58	89	51
	1%メチレンブルーアンプル	1A	0	0	0
点眼剤	生食点眼液	5ml	0	0	0
	0.5%アトロピン点眼液	5ml	9	12	6
	ジフルカン点眼液0.2%	5ml	0	0	0
	バンコマイシン点眼液	5ｍｌ	0	12	37
	マイトマイシン点眼液	5ml	0	0	0
点耳	鼓膜麻酔液	10ml	0	0	0
	ファンギゾン点耳液	5mL	0	0	0
	フロリード点耳液	5mL	0	0	0
	インブレトール	1A	0	0	0
吸入剤	耳鼻科用吸入液	50ml	0	0	0
	ファンギゾン吸入液	100ml	0	0	0
	カナマイシン吸入液	100ml	0	0	0
外用液剤	ロピオン含嗽水	100ml	0	0	0
	アロプリノール含嗽水	500ml	0	0	0
	ファンギゾン含嗽水	500ml	0	0	0
	ポラプレジンク含嗽水	100ml	31	23	18
	スペシャル含嗽水	500ml	14	50	92
	DMSO膀胱注入液	80ml	0	0	0
	LPA注腸液	100ml	0	0	0
		50ml	0	0	0
	安息香酸ベンジルローション	100ml	0	0	0
	20%塩化アルミニウム液	100ml	0	1	1
	10%塩化アルミニウム液	100ml	0	0	0
	1%ピオクタニン（外用）	100ml	14	16	18
	0.05%ピオクタニン（外用）	200mL	13	22	11
	5000倍ボスミン液	100ml	312	317	312
	50000倍ボスミン液	100ml	0	0	0
坐剤	チラージンS坐剤	1個	0	0	0
	リンコデ坐剤	1個	0	0	0
軟膏	γ-BHC	100g	0	0	0
	0.1%ポリミキシンB軟膏	500g	0	0	0
	モーズペースト	100ｇ	0	0	2
	オバホルモン軟膏	20g	0	0	0
その他	4%カリ石ケン	18L	0	0	0
	滅菌ハイアミン入りグリセリン	100ml	0	0	0
	ボール水	500ml	0	0	0
	10%ホルマリン液	500ml	0	0	0
	10%ホルマリン液	18L	0	0	0
	20%ホルマリン液	18L	0	0	0
	滅菌グリセリン	100ml	0	0	0
	2%チオ硫酸ナトリウム	500ml	0	0	0
	グリセリン・ヘキザックアルコール	500ml	0	0	0
	ナーベル散	1g	0	0	0
	10%硝酸銀液	30ml	8	9	7
	20%硝酸銀液	100ml	0	0	0
	ルゴール液（染色用）	50ml	9	7	7
	ロイコボリン含嗽水	500ｍｌ	2	4	0
	メトロニゾール軟膏	500g	1	4	2
	3%酢酸液	500ｍｌ	4	4	5
	0.5%ヒビテン液	500ｍｌ	2	2	0

（８）麻薬

製剤名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
塩酸モルヒネ注10mg	A	707	394	392
塩酸モルヒネ注50mg	A	187	76	71
塩酸モルヒネ注200mg	A	66	1	0
塩酸モルヒネ錠10mg	錠	－	－	0　（R5年10月採用）
フェンタニル注	A	3,027	2841	2450
ペチジン注	A	135	233	251
ＭＳコンチン10mg	錠	288	334	116
ＭＳコンチン30mg	錠	32	8	0
ＭＳコンチン60mg	錠	0	62	0
オキシコドン徐放錠5ｍｇ	錠	3537（以降ｵｷｼｺﾄﾞﾝ徐放錠NXへ変更）	－	－
オキシコドン徐放錠20ｍｇ	錠	442	54（以降ｵｷｼｺﾄﾞﾝ徐放錠NXへ変更）	－
オキシコドン徐放錠40ｍｇ	錠	590（以降ｵｷｼｺﾄﾞﾝ徐放錠NXへ変更）	－	－
オキシコドン徐放錠NX5ｍｇ	錠	759	3375	5959
オキシコドン徐放錠NX20ｍｇ	錠	－	181	474
オキシコドン徐放錠NX40ｍｇ	錠	589	0	120
オプソ内服液5mg	包	400	436	648
オプソ内服液10mg	包	0	258	80
アンペック坐剤10mg	個	346	116	183
アンペック坐剤20mg	個	0	0	80
オキノーム散2.5mg	包	1,339	802	1153
オキノーム散5mg	包	583	822	1584
オキノーム散10mg	包	260	243	340
オキノーム散20mg	包	1,452	110	100
レミフェンタニル注2ｍｇ	V	1,251	1322	1262
フェントステープ0.5mg	枚	300	359	243
フェントステープ1mg	枚	692	664	890
フェントステープ2mg	枚	87	196	134
フェントステープ4mg	枚	49	64	86
フェントステープ6mg	枚	42	30	76
フェントステープ8mg	枚	21	42	52
オキファスト注10ｍｇ	A	117	47（以降オキシコドン注へ変更）	－
オキファスト注50ｍｇ	A	55（以降オキシコドン注へ変更）	－	－
オキシコドン注10ｍｇ	A	－	106	205
オキシコドン注50ｍｇ	A	6	132	92
アブストラル舌下錠100μｇ	錠	115	140	276
アブストラル舌下錠200μｇ	錠	25	150	260
ナルベイン注2ｍｇ	A	428	845	592
ナルベイン注20ｍｇ	A	25	68	379
ナルサス錠2ｍｇ	錠	3191	3894	3796
ナルサス錠6ｍｇ	錠	1116	1105	1553
ナルサス錠12ｍｇ	錠	114	122	1004
ナルサス錠24ｍｇ	錠	0	28	85
ナルラピド錠1ｍｇ	錠	2113	2810	2930
ナルラピド錠2ｍｇ	錠	849	488	949
ナルラピド錠4ｍｇ	錠	10	185	337
ケタラール静注用200ｍｇ	V	0	2	1
メテバニール錠2ｍｇ	錠	0	10	0

10. 放射線室

(1)種別部位別

＊入院棟

種別	部位	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		人数	件数	人数	件数	人数	件数
一般撮影	頭部	13	21	27	47	16	26
	胸部	8,745	9,261	8,216	8,470	9,153	9,374
	腹部	2,209	3,725	2,271	4,059	2,527	4,409
	四肢	1,595	3,309	1,546	3,213	1,443	2,960
	脊椎・骨全般	1,573	3,339	1,469	2,969	1,467	3,022
	計	14,135	19,655	13,529	18,758	14,606	19,791
TV系	消化器系	248	259	184	184	213	213
	外科系	81	82	69	69	57	57
	尿路系	21	21	34	34	31	31
	呼吸器・血管・産婦人科系	187	188	234	235	198	198
	整形外科系	57	62	71	72	57	60
	その他	5	5	6	6	4	4
	計	599	617	598	600	560	563
手術室	胸部ポータブル	665	698	694	694	638	638
	腹部ポータブル	569	569	535	535	529	529
	四肢ポータブル	356	704	310	610	286	560
	脊椎・骨全般ポータブル	175	338	207	401	193	373
	骨透視	384	384	359	359	354	354
	胸部透視	69	69	91	91	64	64
	腹部透視	174	174	154	154	144	144
	その他透視	2	3	0	0	0	0
	計	2,394	2,939	2,350	2,844	2,208	2,662
その他	ポータブル	9,136	9,214	7,553	7,630	8,449	8,520
	コピー	2,469	2,506	2,704	2,712	2,975	2,985
	計	11,605	11,720	10,257	10,342	11,424	11,505
合計		28,733	34,931	26,734	32,544	28,798	34,521

＊外来棟

種別	部位	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		人数	件数	人数	件数	人数	件数
一般撮影	頭頸部	31	49	42	69	31	55
	胸部	12,165	13,699	11,984	12,943	13,188	14,226
	腹部	1,835	2,777	1,936	3,047	2,124	3,410
	四肢	3,434	7,336	3,496	7,353	3,271	6,842
	脊椎・骨全般	2,324	5,925	3,271	7,550	3,013	6,874
	乳房	637	640	622	623	642	642
	バイオプシー	15	15	13	13	18	18
	計	20,441	30,441	21,364	31,598	22,287	32,067
TV系	消化器系	115	115	106	106	117	117
	尿路系	67	68	63	63	69	70
	整形外科系	51	51	50	52	50	50
	その他	4	4	3	3	2	2
	計	237	238	222	224	238	239
顎口腔	デンタル	317	470	290	461	361	530
	コンビームCT	92	113	102	142	123	157
	パノラマ	678	696	677	694	657	678
	計	1,087	1,279	1,069	1,297	1,141	1,365
骨密度		859	861	1,017	1,019	1,079	1,079
コピー		3,545	3,555	3,732	3,744	3,846	3,851
合計		26,169	36,374	27,404	37,882	28,591	38,601

(2)CT検査

種別	部位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		人数	件数		人数	件数		人数	件数	
			単純	造影		単純	造影		単純	造影
入院棟	頭部	3,310	3,710	375	3,478	3,927	375	3,619	4,241	448
	頚部	507	1,005	194	600	1,164	213	648	1,279	234
	胸部	3,534	5,905	1,736	3,420	5,908	1,743	4,085	7,223	1,847
	腹部	1,406	1,436	1,526	1,529	1,712	1,522	1,474	1,513	1,661
	骨盤部	254	588	106	222	439	136	309	662	172
	脊椎・脊髄	129	384	10	104	319	0	89	273	0
	範囲指定	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	治療計画	157	395	0	191	458	0	194	432	0
	四肢	291	951	98	257	861	62	289	917	129
	(データ)	0	0	0	0	4	0	0	4	0
	計	9,588	14,374	4,045	9,801	14,788	4,051	10,707	16,540	4,491
				18,419			18,839			21,031
外来棟	頭部	968	1,326	162	1,057	1,391	190	982	1,296	249
	頚部	250	290	226	316	341	323	336	436	290
	胸部	3,367	4,891	2,242	3,566	5,094	2,347	3,620	4,985	2,587
	腹部	2,564	1,776	3,586	2,620	1,756	3,751	2,471	1,595	3,608
	骨盤部	743	645	1,169	718	614	1,132	629	586	1,046
	脊椎・脊髄	55	177	0	44	135	0	38	114	0
	範囲指定	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	四肢	257	762	144	227	775	70	252	813	114
	(データ)	0	227	0	0	217	0	0	224	0
	計	8,204	9,867	7,529	8,548	10,106	7,813	8,328	9,825	7,894
				17,396			17,919			17,719
合計	頭部	4,278	5,036	537	4,535	5,318	565	4,601	5,537	697
	頚部	757	1,295	420	916	1,505	536	984	1,715	524
	胸部	6,901	10,796	3,978	6,986	11,002	4,090	7,705	12,208	4,434
	腹部	3,970	3,212	5,112	4,149	3,468	5,273	3,945	3,108	5,269
	骨盤部	997	1,233	1,275	940	1,053	1,268	938	1,248	1,218
	脊椎・脊髄	184	561	10	148	454	0	127	387	0
	治療計画	157	395	0	191	458	0	194	432	0
	範囲指定	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	四肢	548	1,713	242	484	1,636	132	541	1,730	243
	(データ)	0	227	0	0	221	0	0	228	0
	合計	17,792	24,241	11,574	18,349	24,894	11,864	19,035	26,365	12,385
				35,815			36,758			38,750

(3)MRI検査

種別	部位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		人数	件数		人数	件数		人数	件数	
			単純	造影		単純	造影		単純	造影
入院棟	脳	1,578	9,386	764	1,545	8,647	1,079	1,730	9,466	1,338
	脊椎・脊髄	468	606	10	483	514	14	554	627	7
	頭頚	66	247	4	45	119	14	54	100	31
	胸部	20	17	39	40	5	68	23	13	34
	腹部	180	165	25	173	134	39	214	171	47
	骨盤	118	90	34	127	97	44	172	122	65
	四肢	130	134	16	204	197	29	179	190	19
	(データ)	0	93	0	0	96	0	0	88	0
	計	2,560	10,645	892	2,617	9,713	1,287	2,926	10,689	1,541
				11,537			11,000			12,230

外来棟	脳	1,233	6,405	2,134	1,320	6,958	2,431	1,219	6,898	2,046
	脊椎・脊髄	291	489	15	228	348	6	192	292	12
	頭頚	80	186	59	82	155	120	52	50	54
	胸部	125	32	99	137	24	139	127	36	102
	腹部	335	246	89	362	270	94	357	279	79
	骨盤	356	83	279	310	70	269	293	58	237
	四肢	181	212	41	144	147	33	131	130	35
	(データ)	0	14	0	0	11	0	0	16	0
	計	2,601	7,653	2,716	2,583	7,972	3,092	2,371	7,743	2,565
	人間ドック(脳)	232	232	0	234	234	0	234	234	0
	計	2,833	7,885	2,716	2,817	8,206	3,092	2,605	7,977	2,565
				10,601			11,298			10,542
合計	脳	2,811	15,791	2,898	2,865	15,605	3,510	2,949	16,364	3,384
	脊椎・脊髄	759	1,095	25	711	862	20	746	919	19
	頭頚	146	433	63	127	274	134	106	150	85
	胸部	145	49	138	177	29	207	150	49	136
	腹部	515	411	114	535	404	133	571	450	126
	骨盤	474	173	313	437	167	313	465	180	302
	四肢	311	346	57	348	344	62	310	320	54
	(データ)	0	107	0	―	107	0	―	104	0
	計	5,161	18,298	3,608	5,200	17,685	4,379	5,297	18,432	4,106
	人間ドック(脳)	232	232	0	234	234	0	234	234	0
	合計	5,393	18,530	3,608	5,434	17,919	4,379	5,531	18,666	4,106
				22,138			22,298			22,772

(4)循環器

種別	部位	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		人数	件数	人数	件数	人数	件数
循環器	心カテ(診断)	472	564	500	618	517	587
	心カテ(治療)		662		608		725
	血管治療	94	107	81	97	84	90
	頭頚部	100	393	94	385	113	459
	胸部	4	4	1	1	9	11
	腹部	18	28	5	8	31	43
	四肢	106	109	104	110	96	104
	静脈・その他	0	0	1	1	0	0
	合計	794	1,867	786	1,828	850	2,019

(5)RI・PET

種別	部位	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		人数	件数	人数	件数	人数	件数
RI	脳	96	96	79	79	64	64
	甲状腺	19	19	16	16	17	17
	肺	4	4	5	5	4	4
	心臓	73	73	54	54	63	63
	腎	18	18	31	31	25	25
	肝・胆道	0	0	0	0	0	0
	腫瘍	4	4	5	5	7	7
	骨	298	298	311	311	309	309
	その他	45	45	63	63	60	60
	(データ)	0	37	0	56	0	35
	合計	557	557	564	564	549	549
PET	全身	470	470	637	637	667	667
	(データ)	56	58	0	90	0	95
	合計	470	470	637	637	667	667

(6)治療(ライナック)

区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		X線	電子線	合計	X線	電子線	合計	X線	電子線	合計
患者数	入院	960	0	960	1,084	0	1,084	870	0	870
	外来	984	81	1,065	1,418	54	1,472	1,401	45	1,446
	合計	1,944	81	2,025	2,502	54	2,556	2,271	45	2,316
照射門数	入院	2,963	0	2,963	3,227	0	3,227	2,321	0	2,321
	外来	3,630	81	3,711	4,739	72	4,811	5,433	45	5,478
	合計	6,593	81	6,674	7,966	72	8,038	7,754	45	7,799

区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
疾患別件数	脳・脊髄腫瘍	35	0	35	85	0	85	38	0	38
	頭頸部腫瘍	0	136	136	24	54	78	0	73	73
	食道癌	71	16	87	228	63	291	80	0	80
	肺がん(原発)	610	43	653	592	207	799	499	253	752
	乳がん(原発)	0	376	376	22	609	631	34	835	869
	胃がん(原発)	12	53	65	10	5	15	0	15	15
	肝がん(原発)	0	13	13	0	9	9	20	0	20
	大腸がん(原発)	21	178	199	27	176	203	53	125	178
	婦人科腫瘍	22	0	22	10	66	76	10	45	55
	泌尿器系腫瘍	158	201	359	81	77	158	126	117	243
	造血器リンパ系腫瘍	175	48	223	111	161	272	103	154	257
	皮膚・骨・軟部腫瘍	0	77	77	0	152	152	0	46	46
	その他がん	0	5	5	19	38	57	18	12	30
	合計	1,104	1,146	2,250	1,209	1,617	2,826	981	1,675	2,656

(7)その他

(単位:件)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
結石破砕	26	35	20

１１．検査室

（１）検査件数

	2021年度	2022年度	2023年度
臨床化学	1,381,267	1,404,830	1,482,294
血清	198,325	184,932	197,305
血液	255,317	261,794	275,195
尿糞便	107,722	112,046	113,440
細菌	18,274	18,155	21,182
生理	48,421	48,566	51,252
病理	14,673	15,226	15,194
外注	48,847	49,400	48,824
採血（採血管本数）	302,104	298,565	305,898
合計	2,374,950	2,393,514	2,510,584

（２）検査項目別件数

		2021年度	2022年度	2023年度
臨床化学	TP	58,232	59,048	63,219
	ALB	59,418	61,280	64,786
	T－Bil	65,051	65,419	68,813
	D－Bil（C-Bilを含む）	13,057	13,299	14,819
	AST（GOT）	77,519	79,571	84,051
	ALT（GPT）	83,515	84,572	88,124
	LDH	73,865	75,430	79,915
	CK	51,370	52,581	56,174
	CK-MB定量（MB活性を含む）	2,456	1,378	1,565
	ALP	64,335	64,419	68,873
	γ-GTP	67,081	68,754	72,860
	Che	8,291	8,492	9,174
	T-CHO	16,933	17,594	18,442
	HDL－C	30,063	29,973	31,719
	LDL－C	32,091	32,702	33,863
	TG	34,413	34,784	36,502
	フェリチン	5,980	6,142	6,505
	プレアルブミン	238	210	341
	C3	1,221	1,319	1,257
	C4	1,195	1,282	1,228
	NH3	1,042	888	1,036
	トロポニンＩ（トロポニンＴを含む）	1,501	1,369	1,581
	PCT	3,669	3,231	3,689
	Na	77,619	78,990	82,720
	K	77,622	78,960	82,708
	Cl	66,266	68,433	72,772
	Ca	33,676	34,043	38,180
	P	7,264	7,284	8,282
	Mg	3,823	4,138	5,757
	Zn	901	937	1,132
	Fe	4,380	4,502	4,873
	UIBC	3,876	3,944	4,367
	BUN	79,646	81,469	85,151
	S-Cr	84,610	86,130	89,755
	U-Cr	10,723	10,817	11,435
	UA	45,576	48,072	50,253
	S-AMY	30,938	29,848	32,759
	U-AMY	37	16	15
	S-β2マイクログロブリン	—	—	491
	U-β2マイクログロブリン	—	—	1,406
	血糖	56,753	41,156	63,126
	HbA1C	26,522	26,433	27,090
	ペプシノーゲン	1,709	1,708	1,786
	KL6	4,173	4,741	5,036
	グリコアルブミン	1,628	1,451	1,539
	血清補体価	1,562	1,651	1,607
	血清浸透圧	1,538	1,348	1,327
	尿浸透圧	395	423	409
	尿蛋白定量	10,663	10,739	11,314
	合計	1,384,436	1,390,970	1,493,826

		2021年度	2022年度	2023年度
免疫血清	ASO	254	207	199
	CRP	60,514	61,612	66,364
	RF	2,038	2,056	2,105
	IgG	3,010	3,220	3,340
	IgA	2,003	2,161	2,172
	IgM	1,874	2,048	2,071
	HBs抗原	14,437	14,638	15,064
	HBs抗体	1,436	1,435	1,356
	HBc抗体	616	553	491
	RPR	13,646	13,873	14,262
	TP抗体	13,639	13,857	14,245
	HCV抗体	14,285	14,440	14,858
	HIV抗体	12,272	12,641	12,795
	HBs抗原（免抑化療）	―	―	50
	HBs抗体（免抑化療）	―	―	318
	HBc抗体（免抑化療）	―	―	319
	輸血後ＨＩＶ抗体	2	6	9
	寒冷凝集反応	28	50	80
	TSH	5,620	6,147	6,735
	FT3	5,237	5,933	6,564
	FT4	5,689	6,236	6,802
	PSA	4,424	4,523	4,430
	CEA	8,687	9,024	9,319
	CA19－9	6,241	6,277	6,369
	AFP	1,147	1,111	1,119
	NSE	520	570	528
	ProGRP	714	730	704
	BNP	15,533	14,336	15,025
	NT-ProBNP	0	1,202	1,486
	SCC	―	―	1,533
	バルプロ酸血中濃度	112	96	99
	カルバマゼピン	125	120	127
	バンコマイシン	77	108	133
	メソトレキセート	―	―	37
	β-Dグルカン	―	―	2,271
	新型コロナウイルス抗原定量	1,947	8,643	3,622
	合計	196,127	207,853	217,001

血液検査	血算	87,489	88,674	92,359
	網赤血球	3,620	3,354	3,539
	血液像	56,044	57,928	61,204
	血液像目視	311	469	351
	PT	22,353	22,869	24,586
	APTT	20,118	20,921	22,809
	Fib	13,141	13,670	14,829
	FDP	14,594	15,791	15,928
	Dダイマー	20,126	20,585	21,575
	ATⅢ	428	352	387
	ABO血液型	4,403	4,274	4,301
	Rh血液型	4,400	4,272	4,299
	血沈	7,620	8,001	8,369
	骨髄検査	215	197	213
	合計	254,862	261,357	274,749

		2021年度	2022年度	2023年度
一般	沈渣	24,896	24,019	25,884
	尿定性検査	44,079	42,575	43,649
	尿糖定量	50	42	53
	HCG定量（尿中HCG）	8	5	1
	妊娠反応	104	50	72
	ヒトヘモグロビン	12,418	12,599	13,466
	ロタウィルス	27	34	23
	レジオネラ	232	205	395
	肺炎球菌	238	211	400
	新型コロナウイルス抗原定性	3,324	4,011	3,377
	インフルエンザウィルス	313	515	3,366
	RSウィルス	174	160	206

検	hMPV	—	—	205
	アデノウィルス	213	185	334
	ストレプト	113	86	205
	マイコプラズマPCR（定性を含む）	8	5	31
	クラミジア	152	113	115
査	CDトキシン	153	142	133
	ノロ抗原定性	28	25	16
	髄液検査	54	65	54
	穿刺液検査	120	95	85
	合計	86,704	85,142	92,070

	心電図	21,430	20,972	22,572
	負荷心電図	223	219	261
	脳波	223	178	206
	肺機能	854	877	827
	聴力	6,975	7,251	7,255
生	重心動揺	101	132	88
	パワーベクトル	101	132	88
	ABI	679	735	652
	トレッドミル	9	9	5
	ホルター心電図	240	226	231
	リアルタイム心電図	0	0	0
理	新生児ABR	198	206	157
	心臓カテーテル	559	517	560
	超音波	11,629	11,839	12,139
	心エコー	(3,595) ※1	(3,669) ※1	(3,862) ※1
	腹部エコー	(5,240) ※1	(5,236) ※1	(5,446) ※1
	甲状腺エコー	(409) ※1	(425) ※1	(455) ※1
検	頚動脈エコー	(471) ※1	(485) ※1	(458) ※1
	乳腺エコー	(849) ※1	(905) ※1	(897) ※1
	下肢血管エコー	(610) ※1	(656) ※1	(635) ※1
	腎エコー	(145) ※1	(174) ※1	(125) ※1
	経食道エコー	(6) ※1	(2) ※1	(7) ※1
	その他エコー	(304) ※1	(287) ※1	(254) ※1
査	肺拡散能検査	144	187	190
	呼吸中NO（一酸化窒素）濃度	181	213	266
	血液ガス	4,711	4,726	5,555
	神経伝導速度	97	109	151
	簡易型睡眠時無呼吸検査	67	38	49
	合計	48,421	48,566	51,252

＊1　内訳

		2021年度	2022年度	2023年度
病	組織診	4,110	4,415	4,492
	迅速組織診断	112	147	118
	細胞診	7,175	7,206	7,133
理	免疫染色	2,711	3,451	2,833
	剖検数	3	7	1
	合計	14,111	15,226	14,577
細	一般塗抹	5,331	5,239	5,982
	一般培養	5,851	5,662	6,622
	嫌気培養	402	602	453
	感受性テスト	5,490	5,335	6,347
菌	TB塗抹	654	658	677
	真菌培養	654	404	566
	結核菌DNA	7	13	4
	合計	18,389	17,913	20,651

病理・細菌検査は入院棟で検査（ノロウイルス抗原・CDトキシンは一般の統計へ）

内訳

		2021年度	2022年度	2023年度
病理	組織診	(1,918) ※2	(2,098) ※2	(2,250) ※2
	迅速組織診断	(0) ※2	(0) ※2	(0) ※2
	細胞診	(6,614) ※2	(6,688) ※2	(6,639) ※2
	免疫染色	(0) ※2	(0) ※2	(0) ※2
	剖検数	(0) ※2	(0) ※2	(0) ※2
細菌	一般塗抹	(2,561) ※2	(2,671) ※2	(3,047) ※2
	一般培養	(2,871) ※2	(2,940) ※2	(3,512) ※2
	嫌気培養	(120) ※2	(237) ※2	(132) ※2
	感受性テスト	(2,550) ※2	(2,641) ※2	(3,266) ※2
	TB塗抹	(322) ※2	(326) ※2	(308) ※2
	結核菌DNA	(1) ※2	(7) ※2	(1) ※2

※2（ ）は外来棟の依頼件数

（3）血液製剤

区分	2021年度	2022年度	2023年度
照射赤血球RBC	3,438	3,797	3,731
照射洗浄赤血球	0	0	0
照射白血球除去赤血球	0	0	0
照射濃厚血小板	5,885	9,860	7,200
照射濃厚血小板HLA	530	555	600
新鮮凍結血漿	688	1,556	628
合計	10,541	15,768	12,159

（4）循環器科（非観血的検査）

区分	2021年度	2022年度	2023年度
負荷心電図	223	219	261
ホルター心電図	240	226	231
リアルタイム心電図	0	0	0
24時間血圧測定	0	0	0
血圧脈波検査	679	735	652
心エコー図	3,595	3,669	3,862
経食道エコー	6	2	7
合計	4,743	4,851	5,013

１２．リハビリテーション室

【入院】

（１）延患者数　　（単位：人）

区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
理学療法	24,684	37,973	45,662	45,315	53,407	51,184	52,577	57,761	54,818	55,525
作業療法	22,528	28,866	32,380	31,514	27,475	23,549	22,518	27,915	27,952	30,633
言語聴覚療法	9,208	11,343	11,535	9,544	12,185	14,718	14,509	17,994	18,027	17,035
合計	56,420	78,182	89,577	86,373	93,067	89,451	89,604	103,670	100,797	103,193

（２）療法単位数　　（単位：件数）

区分	令和3年度				令和4年度				令和5年度			
		理学	作業	言語		理学	作業	言語		理学	作業	言語
脳血管（１単位）	12,701	5,044	3,435	4,222	12,355	4,912	3,518	3,925	10,429	4,201	2,582	3,646
脳血管（２単位）	17,529	7,204	5,564	4,761	17,872	7,107	5,920	4,845	18,259	7,192	6,407	4,660
脳血管（３単位）	11,314	4,870	4,870	1,574	11,223	4,657	5,372	1,194	10,194	3,678	5,461	1,055
脳血管（４単位）	235	170	60	5	151	92	58	1	124	81	41	2
廃用　（１単位）	20,317	12,271	4,219	3,827	22,266	13,525	4,707	4,034	20,680	12,810	4,509	3,361
廃用　（２単位）	10,015	6,514	2,663	838	10,331	5,807	3,102	1,422	11,003	6,519	3,436	1,048
廃用　（３単位）	565	353	201	11	621	343	213	65	725	374	331	20
廃用　（４単位）	1	1	0	0	1	1	0	0	7	4	3	0
運動器（１単位）	4,152	2,784	1,368	－	4,289	2,605	1,684	－	4,554	2,659	1,895	－
運動器（２単位）	7,052	5,860	1,192	－	5,743	4,441	1,302	－	7,418	5,190	2,228	－
運動器（３単位）	3,955	3,379	576	－	3,122	2,367	755	－	2,344	1,721	623	－
運動器（４単位）	21	21	0	－	31	31	0	－	9	8	1	－
呼吸器（１単位）	7,475	5,224	2,251	－	4,729	3,900	829	－	6,806	5,859	947	－
呼吸器（２単位）	2,976	2,399	577	－	2,577	2,108	469	－	3,487	2,812	675	－
呼吸器（３単位）	98	72	26	－	51	43	8	－	48	31	17	－
がんリハ（１単位）	1,663	1,047	556	60	3,479	2,030	1,289	160	2,817	1,827	891	99
がんリハ（２単位）	894	511	349	34	1,625	718	806	101	1,056	481	559	16
がんリハ（３単位）	48	40	8	0	117	98	16	3	74	63	11	0
心大血管（１単位）	1	1	0	－	14	8	6	－	19	10	9	－
心大血管（２単位）	0	0	0	－	20	11	9	－	10	5	5	－
心大血管（３単位）	0	0	0	－	1	1	0	－	2	0	2	－
摂食機能療法	20	－	－	20	0	－	－	0	36	－	－	36
総合計画評価	4,600	2,874	1,380	346	5,090	3,299	1,494	297	5,511	3,780	1,468	263
早期リハビリ加算	70,151	40,766	17,532	11,853	66,426	37,175	17,662	11,589	67,682	38,434	18,082	11,166
退院前訪問指導	70	45	25	－	78	62	16	－	84	56	28	－
合計	175,853	101,450	46,852	27,551	172,212	95,341	49,235	27,636	173,378	97,795	50,211	25,372

（３）診療科別新患者数　　（単位：人）

区分	令和3年度				令和4年度				令和5年度			
		理学	作業	言語		理学	作業	言語		理学	作業	言語
内科	3677	1557	1532	588	4287	1799	1776	712	4802	1979	1977	846
小児科	13	6	6	1	13	5	5	3	12	6	6	0
外科	1061	483	490	88	1140	527	550	63	1102	498	522	82
整形外科	1372	637	627	108	1320	606	611	103	1448	666	662	120
脳神経外科	1927	645	644	638	1930	648	648	634	2108	703	707	698
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	105	45	45	15	88	35	35	18	150	65	65	20
産婦人科	44	19	19	6	24	12	12	0	33	15	15	3
耳鼻咽喉科	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
透析科	0	0	0	0	3	1	1	1	8	3	3	2
計	8,202	3,393	3,364	1,445	8,805	3,633	3,638	1,534	9,663	3,935	3,957	1,771

（４）疾患別新患者数　　（単位：人）

区分	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
脳血管疾患	509	559	582	583	552	569	579	588
廃用症候群	1,047	1,159	1,210	1,085	1,155	1,347	1,534	1,619
運動器	564	580	531	603	391	398	430	448
呼吸器	159	106	95	119	407	476	444	601
がんリハ	418	472	556	579	322	252	341	304
心大血管疾患	71	64	148	133	42	2	8	16
その他	0	0	1	0	0	0	0	0
合計	2,768	2,940	3,123	3,102	2,869	3,044	3,336	3,576

※その他は摂食機能療法

【外来】

（１）延患者数　　（単位：人）

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
理学療法	6,704	7,063	7,173	7,166	4,761	2,489	3,789	1,858	1,719	1,815
作業療法	5,010	5,308	5,317	5,362	4,057	3,617	2,689	2,866	2,764	2,880
言語聴覚療法	1,063	1,324	1,531	1,008	443	431	83	151	115	173
訪問（はるかぜ）	2,522	2,693	3,352	4,866	4,042	2,556	2,271	2,418	2,205	2,065
訪問（外来）	525	576	696	0	1,899	3,788	3,377	2,749	2,661	2,597

（２）療法単位数　　（単位：件数）

区分	令和3年度				令和4年度				令和5年度			
		理学	作業	言語		理学	作業	言語		理学	作業	言語
脳血管（１単位）	144	49	87	8	84	25	53	6	124	16	105	3
脳血管（２単位）	536	85	312	139	368	123	159	86	590	146	293	151
脳血管（３単位）	37	0	33	4	192	0	173	19	120	2	99	19
廃用　（１単位）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃用　（２単位）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃用　（３単位）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運動器（１単位）	2154	678	1,476	0	1376	413	963	0	1601	413	1,188	0
運動器（２単位）	1656	769	887	―	2293	962	1,331	―	2246	1,083	1,163	―
運動器（３単位）	85	14	71	―	86	1	85	―	33	1	32	―
呼吸器（１単位）	179	179	0	―	115	115	0	―	93	93	0	―
呼吸器（２単位）	84	84	0	―	76	76	0	―	60	60	0	―
呼吸器（３単位）	0	0	0	―	0	0	0	―	1	1	0	―
摂食機能療法	0	―	―	0	4	―	―	4	7	―	―	7
総合計画評価	1151	438	666	47	1089	404	648	37	1135	451	662	22
合計	6026	2,296	3,532	198	5683	2,119	3,412	152	6010	2,266	3,542	202

（３）診療科別新患者数　　（単位：人）

区分	令和3年度				令和4年度				令和5年度			
		理学	作業	言語		理学	作業	言語		理学	作業	言語
内科	156	127	28	1	149	119	28	2	144	111	28	5
小児科	10	7	0	3	35	14	7	14	10	2	6	2
外科	130	105	20	5	173	134	39	0	134	91	43	0
整形外科	933	386	547	0	904	371	532	1	1045	519	526	0
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0
脳神経外科	226	46	142	38	228	65	136	27	231	69	122	40
泌尿器科	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0
心療内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
リハビリテーション科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
透析科	2	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
計	1457	672	738	47	1496	708	742	46	1564	792	725	47

（４）疾患別新患者数　　（単位：人）

区分	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
脳血管疾患	85	49	72	73	53	84	71	56
廃用症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
運動器	473	337	351	171	258	245	229	256
呼吸器	60	27	57	72	55	84	86	54
摂食嚥下療法	23	11	11	16	0	0	4	0
合計	641	424	491	332	366	413	390	366

13. 栄養室

(1)患者食延数　　(単位:人)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
常食	62,744	60,263	61,650
軟食	65,879	73,280	82,230
流動食	16,576	19,880	16,839
特別食	104,358	96,818	112,328
調乳	920	793	549
合計	250,477	251,034	273,596

(2)栄養指導　　(単位:件)

区分	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
栄養指導	1,067	714	1,781	1,097	868	1,965	1,160	761	1,921
集団栄養指導(糖尿病)	55	―	55	57	―	57	60	―	60
栄養管理計画書	2,604	―	2,604	2,458	―	2,458	2,559	―	2,559
病棟訪問	9,218	―	9,218	9,874	―	9,874	8,725	―	8,725
糖尿病透析　予防指導	―	136	136	―	200	200	―	211	211
人間ドック	―	101	101	―	97	97	―	67	67
両親学級	―	―	0	―	―	0	―	―	0
在宅酸素外来栄養相談	―	―	0	―	―	0	―	―	0
特定検診	―	―	0	―	―	0	―	―	0
緩和ケア個別栄養食事加算	―	―	0	―	―	0	―	―	0
栄養情報提供書	72		72	98		98	76		76
合計	13,016	951	13,967	13,584	1,165	14,749	12,580	1,039	13,619

(3)栄養指導件数内訳　　(単位:件)

区分	令和3度			令和4度			令和5度		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
糖尿病	322	448	770	303	508	811	325	498	823
腎臓病	148	143	291	107	125	232	123	123	246
消化器	97	4	101	101	41	142	86	47	133
心臓病	105	8	113	115	21	136	138	10	148
脂質異常症	88	22	110	94	30	124	110	23	133
癌	179	40	219	215	93	308	193	14	207
その他	128	49	177	162	50	212	185	46	231
合計	1,067	714	1,781	1,097	868	1,965	1,160	761	1,921

14. 人工透析室

(1)患者延数　　(単位:人)

区分	令和3度	令和4度	令和5度
年間透析回数	14,014	14,142	14,315
入院	1,442	1,368	1,414
外来	12,469	12,646	12,817
出張透析	103	128	84

１５．患者支援センター

1. 紹介患者状況　（人）

年度	2021年度	2022年度	2023年度
被紹介	9,327	9,572	9,803
戻し紹介	1,719	1,607	1,527
逆紹介	6,705	6,649	6,961

2. 診療科別紹介患者状況　（人）

区分	2021年度			2022年度			2023年度		
	紹介	戻紹介	逆紹介	紹介	戻紹介	逆紹介	紹介	戻紹介	逆紹介
内科	3,525	578	2,611	3,538	599	2,677	3,686	529	2,741
心療内科	0	0	11	1	0	10	2	0	6
神経内科	0	2	117	133	1	108	114	5	81
小児科	793	217	236	802	193	238	938	240	211
外科	965	147	845	857	128	852	919	126	1,037
整形外科	787	28	1,034	872	27	1,045	911	20	1,025
脳神経外科	474	164	733	511	116	712	442	87	752
皮膚科	177	4	32	148	2	23	193	0	16
泌尿器科	581	81	306	609	27	250	553	35	244
産婦人科	489	4	142	447	3	148	473	1	121
眼科	149	0	100	173	0	130	161	3	280
耳鼻咽喉科	126	2	49	102	0	53	113	2	67
放射線診断科	449	449	0	485	485	0	475	475	0
放射線治療科	15	4	17	17	3	21	22	1	23
麻酔科	11	0	2	10	0	1	6	1	8
救急科	17	3	36	42	4	73	31	0	122
リハビリ科	0	0	12	0	0	13	0	1	12
歯科口腔外科	688	36	404	748	19	275	683	0	197
形成外科	81	0	18	77	0	20	81	1	18
合計	9,327	1,719	6,705	9,572	1,607	6,649	9,803	1,527	6,961

3. 地域別被紹介人数

区分	2021年度	2022年度	2023年度
藤岡市	3,325	3,443	3,501
多野郡	150	144	146
高崎市	1,672	1,708	1,726
富岡市	118	167	188
前橋市	709	666	633
伊勢崎・佐波	357	312	353
その他県内	179	193	164
本庄市	1,374	1,382	1,458
児玉郡	1,032	1,089	1,141
その他埼玉県	247	293	300
その他県外	164	175	193
合計	9,327	9,572	9,803

4. 医療福祉相談件数　（延べ件数）

医療相談実績	2021年度	2022年度	2023年度
合計	26,154	27,531	26,940

5. 入退院支援室　入院予約患者対応人数

診療科	2021年度	2022年度	2023年度
内科	982	979	938
小児科	54	32	22
外科	514	576	454
整形外科	288	290	268
脳神経外科	21	45	40
皮膚科	2	0	0
泌尿器科	376	342	273
産婦人科	306	263	227
眼科	95	99	93
歯科口腔外科	128	109	126
合計	2,766	2,735	2,441

１６．健康管理センター

（１）人間ドック

（単位：件）

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
１泊２日ドック	103	95	74
日帰りドック	3,819	3,929	4,115
脳ドック	73	92	98
PET-CT	19	60	67
計	4,014	4,176	4,354

（２）健康診断

（単位：件）

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
生活習慣病	1,947	1,953	1,978
企業健診	2,982	2,962	2,882
就業・入学	331	391	312
乳・甲状腺	577	607	616
婦人科検診	355	400	382
特定健診	164	163	163
特定保健指導	36	62	69
計	6,392	6,538	6,402

１７．母親学級（マザーズクラス）

※令和５年度は開催なし。

Ⅸ　群馬県立赤城特別支援学校公立藤岡総合病院内教室

（1）開設までの経緯

昭和 53 年 6 月、小児科病棟が開設。

昭和 54 年 4 月 1 日から、小児科慢性疾患等による長期入院患者を受け入れる。それに伴い、群馬県立東毛養護学校前橋日赤分校による当院への訪問教育が始まる。

地域住民から就学に対する不安の解消、入院設備の充実などを理由として、養護学校設立と小児科病棟増床の請願書が出される。

昭和 59 年からの病院増床に伴い、昭和 60 年 4 月 1 日、群馬県立西毛養護学校多野総合病院分教室として開設される。

（2）沿革

年　月　日	記　　事
昭和 54 年 4 月 1 日	群馬県立東毛養護学校前橋日赤分校に訪問教育部が開設され、多野総合病院への訪問教育開始。 教職員数　非常勤講師　1 名
昭和 56 年 4 月 1 日	教職員数　教諭　1 名、非常勤講師　1 名
昭和 57 年 4 月 1 日	教職員数　教諭　2 名
昭和 60 年 4 月 1 日	多野総合病院内西 2 階病棟 3 部屋 56.00 ㎡（共用部分を含む）を多野総合病院内分教室として建物使用許可。 群馬県立西毛養護学校多野総合病院内分教室開設 許可学級数　3（小学部 2、中学部 1） 教職員数　教諭　3 名、応援教諭　1 名（本校より） 教室等　　普通教室　2、職員室　1
昭和 60 年 4 月 10 日	群馬県立西毛養護学校多野総合病院内分教室開校式
昭和 61 年 1 月 21 日	校舎移動（西 2 階病棟の 4 部屋 75.66 ㎡へ） 教室等　　普通教室　2、職員室　0
昭和 61 年 4 月 1 日	教職員数　教諭　3 名、非常勤講師　1 名
昭和 61 年 6 月 13 日	校舎移動（西 2 階病棟の 4 部屋 75.66 ㎡へ） 教室等　　普通教室　3、職員室　1
昭和 62 年 4 月 1 日	教職員数　教諭　4 名
平成 2 年 4 月 1 日	教職員数　教諭　5 名
平成 4 年 4 月 1 日	教職員数　教諭　6 名
平成 6 年 4 月 1 日	許可学級数　4（小学部 2、中学部 2）
平成 9 年 4 月 1 日	群馬県立西毛養護学校と群馬県立東毛養護学校が統合され、群馬県立赤城養護学校が開校。 群馬県立赤城養護学校公立藤岡総合病院分教室に改称。

平成 13 年 4 月 1 日	許可学級数　5（小学部３、中学部２）
	教職員数　教諭　７名
平成 14 年 8 月 12 日	校舎移動（事務棟 140.18 ㎡へ）
	教室等　　普通教室　５、職員室　１、多目的室　1
平成 16 年 4 月 1 日	教職員数　教諭　６名
平成 21 年 12 月 1 日	テレビ会議システムの導入
平成 25 年 4 月 1 日	許可学級数　６（小学部３＋重複学級１、中学部２）
	教職員数　教諭　５名
平成 27 年 4 月 1 日	群馬県立赤城特別支援学校公立藤岡総合病院内教室に改称。
	許可学級数　５（小学部３、中学部２）
平成 29 年 11 月 8 日	病院移転に伴い、新病棟で授業開始。
平成 30 年 2 月 9 日	校舎移転（外来棟　３２㎡）　普通教室　１、職員室　１

（３）児童生徒数（年度内在籍児童生徒数）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
児童生徒数	4	4	8	1	4	4	5

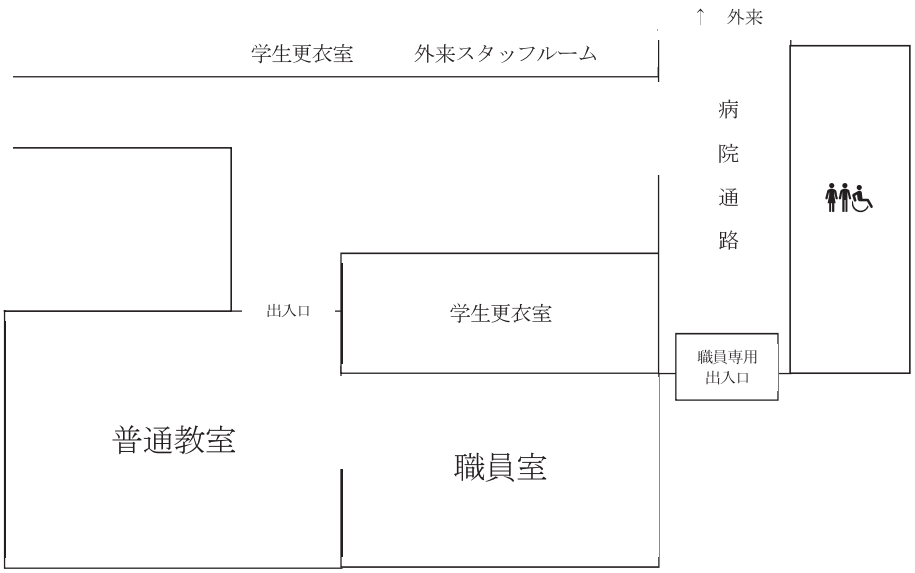
（４）教育目標

児童生徒一人一人が、自己を大切にするとともに、自立と社会参加を目指して自ら学び、好ましい人間関係の中で明るく元気に明日へ向かって生きる豊かな人間性を身に付ける。

（５）学校病棟連絡会議

学校病棟連絡会議は学校教職員と病院小児科担当医師、小児科看護師長等が参加し、学校・病院運営の相互の理解、学校行事、学習指導、生活指導、児童生徒の病状等の事項を連絡協議して連携を図るものである。

（６）校舎平面図



介護老人保健施設事業

介護老人保健施設
【しらさぎの里】

訪問看護ステーション
【はるかぜ】

理　念

利用者本位のサービス

基本方針

１．利用者の人権を尊重し、上質なサービスを提供します。

２．安全に配慮したチームケアを行い、早期の在宅復帰に努めます。

３．医療・他機関、地域と連携し、総合的に在宅支援を行います。

Ⅰ　施設の現況

１．施設の概要（令和6年3月31日現在）

名　　称	介護老人保健施設しらさぎの里
所 在 地	群馬県藤岡市中栗須519番地2
電話番号等	TEL.0274-24-6633　FAX.0274-24-6634
	E-mail：sirasagi@fujioka-hosp.or.jp
	URL：https://www.fujioka-hosp.or.jp/shirasagi/
開 設 者	多野藤岡医療事務市町村組合　管理者　新 井　雅 博
設立年月日	平成 9年 7月 1日
構成市町村	藤岡市、神流町、上野村、高崎市
施 設 長	河 合　弘 進
定　　員	入所 80人　（内、短期入所 20人）
	一般療養棟　40人
	認知症専門棟 40人
	通所 50人

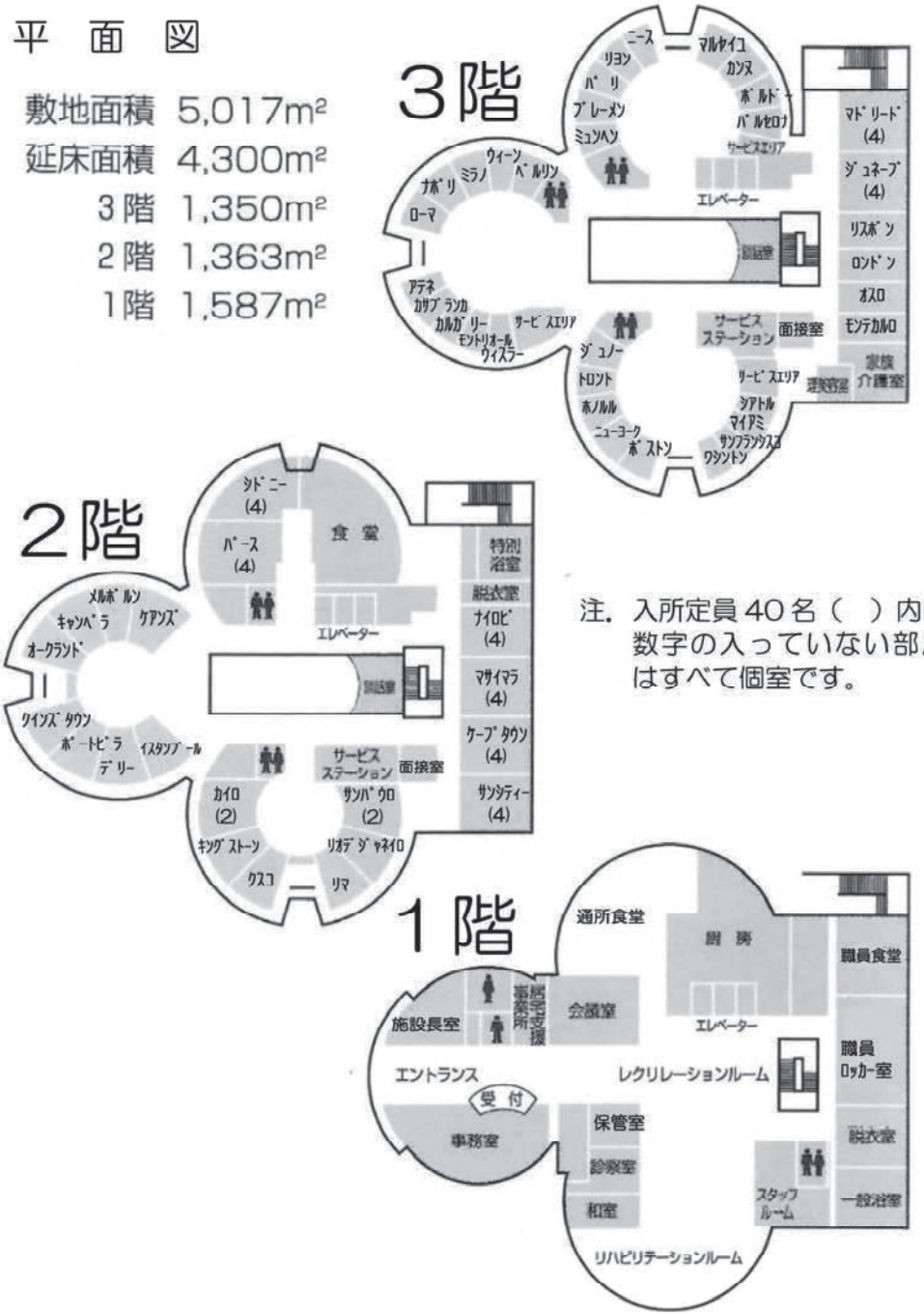
サービス種類	介護老人保健施設	平成 9年 7月 1日許可
	通所リハビリテーション	平成 9年 7月 1日許可
	短期入所療養介護	平成 9年 7月 1日許可
	介護予防通所リハビリテーション	平成 9年 7月 1日許可
	介護予防短期入所療養介護	平成 9年 7月 1日許可
	居宅介護支援事業	平成11年 9月30日指定

面積及び構造	敷地面積	5,017㎡	
	延床面積	4,300㎡	
	1階	1,587㎡	通所リハビリテーション部門、管理部門
	2階	1,363㎡	一般療養棟部門
	3階	1,350㎡	認知症専門棟部門
	構　造	鉄筋コンクリート造 3階建	

訪問看護	訪問看護ステーションはるかぜ（公立藤岡総合病院内）

平　面　図

敷地面積　5,017m²
延床面積　4,300m²
3階　1,350m²
2階　1,363m²
1階　1,587m²



注．入所定員40名（　）内に数字の入っていない部屋はすべて個室です。

２．歴史と沿革

平成 8年 8月16日	土地収用法による事業（新築工事）認定（用第252号）
8月23日	老人保健施設建築工事着工
平成 9年 5月30日	老人保健施設建築工事竣工
7月 1日	老人保健施設開設許可（群馬県指令高第67号）
	老人保健施設分40人、痴呆加算対象分40人、通所分40人
	初代老人保健施設長　大野 治俊（群馬県指令高第68号）
	痴呆専門棟入所者基本施設療養費加算届出受理（高第171号）
8月 1日	生活保護法による医療機関指定（藤第86号）
	老人訪問看護ステーション指定（高第249号）
平成10年 2月27日	老人保健施設入所者基本施設療養費(Ⅱ)届出受理（高第571号）
5月28日	老人保健施設痴呆性老人通所加算届出受理（高第169号）
	通所定員40人中10人
10月20日	老人保健施設痴呆性老人通所加算変更届出受理（高第392号）
	通所定員40人中10人⇒20人
12月 1日	老人保健施設開設許可事項の変更　短期入所5床⇒20床
平成11年 4月 1日	第2代老人保健施設長　栗原 寛（群馬県指令高第3号）
	老人保健施設開設許可事項の変更　通所定員40人⇒50人
9月30日	指定居宅介護支援事業者指定（群馬県指令高第124-199号）
平成12年 4月 1日	介護保険法施行に伴う名称変更　介護老人保健施設、訪問看護ステーション
	生活保護法による介護機関指定
	介護老人保健施設　（介み藤第86号）
	通所リハビリテーション　（藤介第13号）
	短期入所療養介護　（藤介第13号）
	居宅介護支援事業　（藤介第13号）
	原子爆弾被爆者一般疾病医療費の支払を受ける医療機関指定
	老人保健施設（保予第164号）
平成13年 5月 1日	訪問リハビリテーション開始
平成17年10月 1日	栄養管理体制及び栄養ケア・マネジメントに関する届出
平成19年 4月 1日	第3代介護老人保健施設長　田中 壯佶（群馬県指令介高第608-31号）
10月 1日	祭日通所リハビリテーション実施
平成20年 3月21日	指定居宅介護支援事業者指定変更（群馬県指令介高第30133-55号）
	平成20年4月1日～平成26年3月31日
3月31日	介護老人保健施設開設許可更新（群馬県指令介高第608-22号）
	平成20年4月1日～平成26年3月31日
5月30日	生活保護法による介護機関指定（藤介第13号）
	介護予防通所リハビリテーション、介護予防短期入所療養介護
6月12日	口腔機能向上体制加算の届出
平成21年 3月 3日	平成21年4月介護報酬改定に伴う届出
	通所リハビリテーション大規模型(Ⅰ) 月平均利用者数751～900人
3月31日	サービス提供体制強化加算(Ⅰ)に関する届出
	介護老人保健施設、(介護予防)短期入所療養介護
	(介護予防)通所リハビリテーション
	夜勤職員配置加算に係る届出
	介護老人保健施設、(介護予防)短期入所療養介護
	特定事業所加算に係る届出
	居宅介護支援事業
7月21日	原子爆弾被爆者一般疾病医療費の支払を受ける医療機関指定（群馬県指令保予第722-36号）
10月 1日	事業所評価加算の届出
	介護予防通所リハビリテーション
平成23年 4月 1日	在宅復帰・在宅療養支援機能加算の届出
平成24年11月 1日	喀痰吸引等(特定行為)事業者登録（介高第30243-9号）
平成26年 4月 1日	在宅強化型介護老人保健施設の届出
	介護老人保健施設開設許可更新（群馬県指令介高第608-15号）
	平成26年4月1日～平成32年3月31日
	指定居宅介護支援事業所指定更新（群馬県指令介高第30221-1号）
	平成26年4月1日～平成32年3月31日
平成27年 4月 2日	サービス提供体制強化加算(Ⅰ)ｲに関する届出
	介護老人保健施設、(介護予防)短期入所療養介護
	(介護予防)通所リハビリテーション
10月21日	禁煙認定施設屋内禁煙(建物全体)の認定
平成28年 8月 1日	在宅復帰･在宅療養支援機能加算介護老人保健施設の届出
平成29年 4月 1日	第4代介護老人保健施設長　河合 弘進（群馬県指令介高第608-18号）
令和元年 8月 1日	在宅復帰･在宅療養支援機能加算(I)の届出
令和5年 8月 1日	在宅強化型介護老人保健施設の届出

Ⅱ　職員の現況

1．職員数

職員の年度別推移（各年度末）

介護老人保健施設しらさぎの里　〔単位：人〕

部門・職種別		令和 3年度			令和 4年度			令和 5年度		
			職員	会計年度任用職員		職員	会計年度任用職員		職員	会計年度任用職員
診療部	医師	1		1	1		1	1		1
	計	1	0	1	1	0	1	1	0	1
診療支援部	理学療法士	2	2		2	2		2	2	
	作業療法士	2	2		2	2		2	2	
	栄養士	0	0		0	0		0	0	
	計	4	4	0	4	4	0	4	4	0
看護部	看護師	5	5		9	9		9	9	
	再任用	0	0		0	0		0	0	
	准看護師	5	5		5	5		4	4	
	再任用	1	1		1	1		1	1	
	介護福祉士	21	20	1	21	20	1	21	20	1
	介護職員	2	1	1	2	1	1	1	1	0
	計	34	32	2	38	36	2	36	35	1
経営管理部	事務員	1	1		1	1		1	1	
	再任用	1	1		0	0		0	0	
	介護支援専門員	5	5		5	5		5	5	
	計	7	7	0	6	6	0	6	6	0
合計		46	43	3	49	46	3	47	45	2

訪問看護ステーションはるかぜ　〔単位：人〕

部門・職種別	令和 3年度			令和 4年度			令和 5年度		
		職員	会計年度任用職員		職員	会計年度任用職員		職員	会計年度任用職員
看護師	12	9	3	11	8	3	10	7	3
再任用	1	1							
事務員									
合計	13	10	3	11	8	3	10	7	3

2. 主要役職員名簿

介護老人保健施設しらさぎの里

職名	氏名	職名	氏名
診療部 施設長	河合　弘進	経営管理部 しらさぎ管理課長	横坂　政彦
看護部 看護師長	原　敦子	しらさぎ管理課課長補佐	中野　俊幸
介護グループGL	金田　夏樹	支援相談員	柳井　紀道
診療支援部 リハビリテーション室GL	品田　さゆり	施設介護支援専門員	長坂　美樹

訪問看護ステーションはるかぜ

職名	氏名	職名	氏名
看護部 看護師長	山口　明子	看護部 副看護師長	武政　志津香

Ⅲ　学会及び研修会

名称	開催場所	開催月	参加者数
第120回日本内科学会講演会	Web配信	4月	1人
第66回日本腎臓学会学術総会	ｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ配信	4月	1人
2023年度安全対策体制加算対応研修会	ｵﾝﾗｲﾝ配信	4月	1人
2023年度前期医療安全必須研修	e-ﾗｰﾆﾝｸﾞ	6月	48人
安全運転管理者講習	藤岡市	7月	1人
令和5年度訪問看護師養成研修[ｽﾃｯﾌﾟ1]公開講座	前橋市	7月	2人
令和5年度訪問看護師養成研修[ｽﾃｯﾌﾟ1]公開講座	前橋市	7月	1人
認知症介護基礎研修	e-ﾗｰﾆﾝｸﾞ	7月	2人
令和5年度訪問看護師養成研修[ｽﾃｯﾌﾟ1]公開講座	前橋市	8月	1人
令和5年度看護・介護職員研修運営委員会	前橋市	8月	1人
令和5年度訪問看護師養成研修[ｽﾃｯﾌﾟ1]公開講座	前橋市	9月	1人
令和5年度訪問看護師[ｽﾃｯﾌﾟ1]公開講座	前橋市	9月	2人
令和5年度訪問看護師養成研修[ｽﾃｯﾌﾟ1]公開講座	前橋市	9月	1人
第8回事例検討会	藤岡市	9月	1人
令和5年度訪問看護師養成研修[ｽﾃｯﾌﾟ1]公開講座	前橋市	9月	1人
令和5年度訪問看護師養成研修[ｽﾃｯﾌﾟ1]公開講座	前橋市	10月	1人
令和5年度安全衛生委員会研修会「禁煙のすゝめ」	藤岡市	10月	2人
総合評価研修会	藤岡市	10月	1人
令和5年度訪問看護師養成研修[ｽﾃｯﾌﾟ1]公開講座	前橋市	10月	1人
令和5年度訪問看護師養成研修[ｽﾃｯﾌﾟ1]公開講座	前橋市	10月	1人
令和5年度訪問看護師養成研修[ｽﾃｯﾌﾟ1]公開講座	前橋市	10月	1人
令和5年度群馬県介護支援専門員協会ｽｷﾙｱｯﾌﾟ研修	Zoomｵﾝﾗｲﾝ研修	10月	1人
令和5年度訪問看護研修	前橋市	11月	1人
2023年度後期医療安全必須研修「裁判例に学ぶ（診療記録、看護記録等）の重要性」「医療機関における個人情報保護対策」	e-ﾗｰﾆﾝｸﾞ	11月	49人
高齢者身体拘束廃止・虐待防止対策講座	横浜市	11月	2人
第4回多野藤岡地域介護施設職員との情報交換会	藤岡市	12月	1人
第11回院内学会	藤岡市	12月	13人
老健・居宅介護支援事業所情報交換会	藤岡市	12月	1人
看護・介護職員研修会	ｵﾝﾗｲﾝ配信	12月	1人
令和5年度第1回支援相談員・施設介護支援専門員研修会	前橋市	12月	1人
公立病院経営強化ﾌﾟﾗﾝ策定支援講演会「当院のとるべき病床戦略について」	藤岡市	12月	1人
令和5年度群馬県介護支援専門員更新研修会	ｵﾝﾗｲﾝ形式	2月	1人
令和5年度藤岡市入退院実務担当者会議	藤岡市	2月	1人
人事評価者集合研修	藤岡市	2月	4人
令和5年度地域食育連携促進研修会	ｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ配信	2月	1人
部署別医療安全取り組み発表	藤岡市	2月	1人
令和5年度公立藤岡総合病院地域医療連携講演会	Web配信	2月	1人
令和5年度第2回支援相談員・施設介護支援専門員研修会	Zoomｵﾝﾗｲﾝ研修	3月	2人
令和5年度群馬県介護支援専門員協会ｽｷﾙｱｯﾌﾟ研修	Zoomｵﾝﾗｲﾝ研修	3月	1人
接遇研修	藤岡市	3月	1人

施設内研修会

開催月	開催日	内容	講師	受講人数
5月	5月2日～8日	高齢者施設における感染症対策研修	群馬県介護高齢課推奨研修動画	50
	5月24日	【感染症・食中毒予防関係研修1】 高齢者施設における感染対策の基礎	公立藤岡総合病院安全管理センター感染管理専従看護師　金子美佐	23
6月	6月28日	【事故防止・リスクマネジメント研修1】 「医療安全研修1」「医療安全研修2」	公立藤岡総合病院安全管理センター専従ﾘｽｸﾏﾈｰｼﾞｬｰ看護師長兼ﾘｽｸﾏﾈｰｼﾞｬｰ　髙橋富士	21
7月	7月12日～21日	【在宅強化型移行前必須研修会】 「在宅強化型への移行と維持」	①支援相談員　柳井紀道　②ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ室GL　品田さゆり ③参事兼しらさぎ管理課長	54
	7月26日	【事故防止・ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研修2】 「介護記録の目的と意義」	看護師長　原敦子	17
	7月26日	【安全運転管理研修】 「あおり運転と自転車事故について」	管理課（安全運転管理者）　中野俊幸	16
	7月25日～8月3日	【在宅強化型移行前必須研修（看護部）】 「在宅強化型移行に向けて～介護士、看護職が実践しなければならないこと～」	看護師長　原敦子	37
8月	8月23日	【口腔衛生管理研修】 「介護老人保健施設における口腔ｹｱの重要性」	公立藤岡総合病院　摂食・嚥下障害看護認定看護師　横村季代子	17
10月	10月25日	【高齢者虐待防止・権利擁護関係研修1】 「高齢者虐待・高齢者（認知症）ｹｱについて」	公立藤岡総合病院　認知症看護認定看護師　清水仁美	18
11月	11月22日	【褥瘡防止研修】 「褥瘡予防とｹｱ」	公立藤岡総合病院　皮膚、排泄ｹｱ認定看護師　松本桂代	18
12月	12月1日～20日	【安全衛生管理研修】 「ｱﾝｶﾞｰﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ」	一般療養棟主任看護師　田島裕子	36
1月	1月22日	【身体的拘束等の適正化のための研修1】 「身体拘束解除に向けた病院での取り組み」	一般療養棟主任看護師　酒井優貴子	8
	1月24日	【高齢者虐待防止・権利擁護関係研修2】 「高齢者の権利擁護・虐待防止」	施設長　河合弘進	15
2月	2月28日	【高齢者虐待防止・権利擁護関係研修3】 「虐待防止対策について」	副看護師長　石原里美	7
	2月28日	【感染症・食中毒予防関係研修2】 「食中毒について」	管理栄養士　成瀬智美	14
3月	3月6日	【ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ関係研修】 「装具の装着方法」	理学療法士　内山亜純	13
	3月27日	【医療安全管理研修】 「痛みとは」	公立藤岡総合病院　がん性疼痛認定看護師　恩田千栄子	15
	3月28日	【身体的拘束等の適正化のための研修2】 「身体拘束に関する研修会」	認知症専門棟ぐんま認定介護福祉士　秋山博之	6

Ⅳ.　教育実習生・研修生受入れ実績

※介護老人保健施設しらさぎの里

学校・団体・研修名	人数	延人数	実習期間	実習内容	備考
群馬医療福祉大学	72	215	5/9　～　10/19	高齢者看護学実習	3日間/1人
群馬県立藤岡北高等学校	2	6	6/7　～　6/9	短期インターシップ	3日間/1人
前橋医療福祉専門学校	1	10	8/28　～　9/8	理学療法学科臨床実習	10日間/1人
群馬県社会福祉協議会	2	10	11/6　～　12/1	教員免許介護体験	5日間/1人
合計	77	241			

※訪問看護ステーションはるかぜ

学校・団体・研修名	人数	延人数	実習期間	実習内容	備考
群馬医療福祉大学	16	88	5/9　～　11/8	在宅看護実習	3日間/１人
上尾中央看護専門学校	2	4	7/28　～　7/26	在宅看護実習	2日間/１人
医療介護連携センター　ふじおか	1	4	2/19　～　2/22	医療介護連携体験	4日間/１人
合計	19	96			

Ⅴ　経営状況

１．損益計算書

＊介護老人保健施設しらさぎの里　　（単位：千円、％）

区分	令和3年度	令和4年度		令和5年度	
	金額	金額	前年比	金額	前年比
施設運営事業収益	393,693	439,069	111.5	398,927	90.9
事業収益	389,633	423,742	108.8	393,399	92.8
施設介護収益	235,137	248,699	105.8	223,928	90.0
居宅介護収益	53,350	61,755	115.8	62,690	101.5
居宅介護支援収益	14,061	14,893	105.9	14,846	99.7
施設介護利用料収益	72,032	81,172	112.7	74,294	91.5
居宅介護利用料収益	11,811	13,674	115.8	13,874	101.5
その他事業収益	3,242	3,549	109.5	3,767	106.1
事業外収益	4,060	15,123	372.5	5,526	36.5
受取利息及び配当金	0	0	―	0	―
長期前受金戻入	1,975	1,975	100.0	1,692	85.7
その他事業外収益	2,000	2,383	119.2	1,975	82.9
補助金	85	10,765	―	1,859	17.3
特別利益	0	204	―	2	―
過年度損益修正益	0	204	―	2	―
施設運営事業費用	483,560	511,047	105.7	505,156	98.8
事業費用	474,538	503,416	106.1	498,998	99.1
給与費	338,771	353,989	104.5	358,995	101.4
材料費	32,786	37,156	113.3	34,393	92.6
経費	39,421	49,206	124.8	43,188	87.8
委託費	41,655	41,532	99.7	42,202	101.6
減価償却費	21,707	21,416	98.7	20,012	93.4
資産減耗費	0	0	―	0	―
研究研修費	198	117	59.1	208	177.8
長期前払消費税償却	0	0	―	0	―
事業外費用	9,022	7,631	84.6	6,158	80.7
支払利息及び企業債取扱諸費	9,022	7,631	84.6	6,158	80.7
雑損失	0	0	―	0	―
特別損失	0	0	―	0	―
固定資産売却損	0	0	―	0	―
過年度損益修正損	0	0	―	0	―
その他特別損失	0	0	―	0	―
収支差引	△ 89,867	△ 71,978	△ 80.1	△ 106,229	△ 147.6

＊訪問看護ステーションはるかぜ　　（単位：千円、％）

区分	令和3年度	令和4年度		令和5年度	
	金額	金額	前年比	金額	前年比
訪問看護事業収益	108,979	103,651	95.1	98,891	95.4
事業収益	108,098	103,337	95.6	98,048	94.9
訪問看護療養収益	56,650	51,948	91.7	45,673	87.9
介護保険訪問看護療養収益	40,461	40,810	100.9	43,426	106.4
居宅介護支援収益	0	0	―	0	―
訪問看護利用料収益	6,147	5,210	84.8	4,022	77.2
介護保険利用料収益	4,840	5,369	110.9	4,927	91.8
事業外収益	281	314	111.7	843	268.5
受取利息及び配当金	0	0	―	0	―
その他事業外収益	281	314	111.7	843	268.5
特別利益	600	0	―	0	―
その他特別利益	600	0	―	0	―
過年度損益修正益	0	0	―	0	―
訪問看護事業費用	90,198	85,753	95.1	82,194	95.8
事業費用	89,381	85,433	95.6	81,908	95.9
給与費	79,984	74,618	93.3	71,753	96.2
材料費	318	507	159.4	396	78.1
経費	7,583	8,418	111.0	8,437	100.2
減価償却費	1,440	1,788	124.2	1,276	71.4
資産減耗費	0	0	―	0	―
研究研修費	56	102	182.1	46	45.1
事業外費用	217	320	147.5	286	89.4
支払利息及び企業債取扱諸費	217	320	147.5	286	89.4
雑損失	0	0	―	0	―
特別損失	600	0	0.0	0	―
固定資産売却損	0	0	―	0	―
過年度損益修正損	0	0	―	0	―
その他特別損失	600	0	0.0	0	―
収支差引	18,781	17,898	95.3	16,697	93.3

２．貸借対照表

＊介護老人保健施設事業　　（単位：千円、％）

区分	令和3年度	令和4年度		令和5年度	
	金額	金額	前年比	金額	前年比
固定資産	946,986	1,046,142	110.5	1,070,652	102.3
有形固定資産	706,622	685,778	97.1	710,288	103.6
土地	82,546	82,546	100.0	82,546	100.0
建物	1,338,367	1,338,367	100.0	1,381,927	103.3
構築物	68,028	68,028	100.0	68,028	100.0
器械備品	44,786	44,786	100.0	44,786	100.0
車両	6,358	6,358	100.0	6,358	100.0
リース資産	38,128	40,488	106.2	42,726	105.5
減価償却累計額	△ 871,591	△ 894,795	102.7	△ 916,083	102.4
無形固定資産	364	364	100.0	364	100.0
投資	240,000	360,000	150.0	360,000	100.0
流動資産	349,042	261,183	74.8	252,703	96.8
現金預金	269,113	177,603	66.0	188,179	106.0
未収金	79,929	83,580	104.6	64,524	77.2
資産合計	1,296,028	1,307,325	100.9	1,323,355	101.2
固定負債	441,185	387,492	87.8	374,324	96.6
企業債	238,219	183,997	77.2	170,928	92.9
リース債務	2,966	3,495	117.8	3,396	97.2
他会計借入金	200,000	200,000	100.0	200,000	100.0
流動負債	100,927	101,970	101.0	102,676	100.7
企業債	52,812	54,221	102.7	55,669	102.7
リース債務	4,474	1,576	35.2	2,051	130.1
未払金	11,454	12,556	109.6	10,232	81.5
引当金	29,916	31,354	104.8	32,314	103.1
その他流動負債	2,271	2,263	99.6	2,410	106.5
繰延収益	52,679	50,704	96.3	48,729	96.1
長期前受金	91,500	91,500	100.0	91,500	100.0
長期前受金収益化累計額	△ 38,821	△ 40,796	△ 105.1	△ 42,771	△ 104.8
資本金	653,500	773,500	118.4	893,500	115.5
自己資本金	653,500	773,500	118.4	893,500	115.5
剰余金	47,739	△ 6,341	△ 13.3	△ 95,873	1,512.0
資本剰余金	10,150	10,150	100.0	10,150	100.0
利益剰余金	37,589	△ 16,491	△ 43.9	△ 106,023	642.9
負債資本合計	1,296,030	1,307,325	100.9	1,323,356	101.2

３．経営分析

＊介護老人保健施設事業

区分	備　　考	令和3年度	令和4年度	令和5年度
自己資本構成比率	$\frac{\text{自己資本金＋剰余金}}{\text{負債・資本合計}}\times 100$	54.1%	59.2%	60.3%
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}\times 100$	345.8%	256.1%	246.1%
現金比率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}}\times 100$	266.6%	174.2%	183.3%

＊介護老人保健施設しらさぎの里

区分	備　　考	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}}\times 100$	81.4%	85.9%	79.0%
事業収支比率	$\frac{\text{事業収益}}{\text{事業費用}}\times 100$	82.1%	84.2%	78.8%
利用率	入所利用者数	82.0%	88.1%	76.8%
１日平均利用者数	入所	65.6人	70.5人	61.4人
	入所日数	365日	365日	366日
	通所	27.6人	31.4人	32.9人
	通所日数	257日	247日	235日
１人１日当り診療収入	入所	12,831円	12,817円	13,270円
	通所	9,197円	9,733円	9,903円
事業収益に対する割合	職員給与費	86.9%	83.5%	91.3%

＊訪問看護ステーションはるかぜ

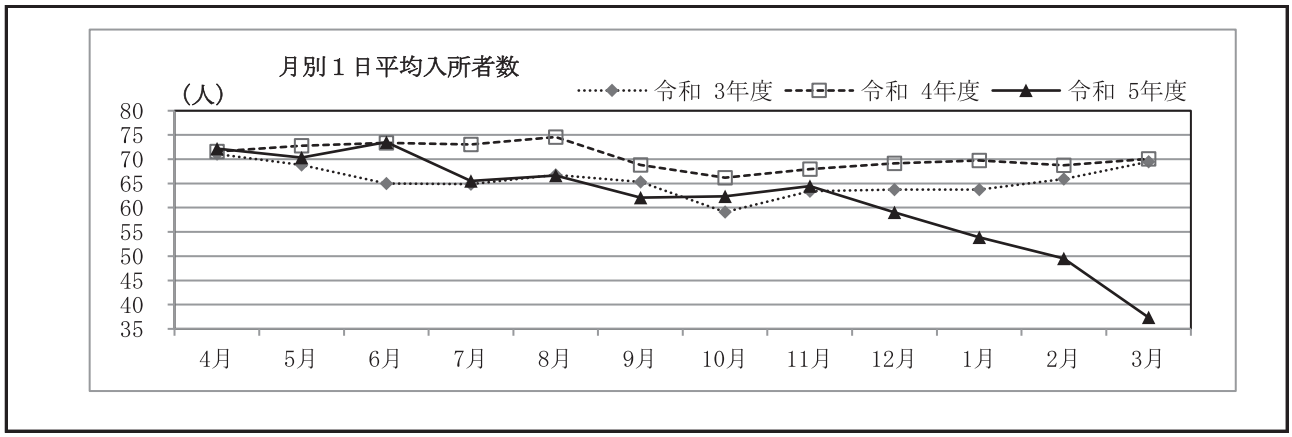
区分	備　　考	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}}\times 100$	121.0%	120.9%	120.3%
事業収支比率	$\frac{\text{事業収益}}{\text{事業費用}}\times 100$	120.9%	120.9%	119.7%
１日平均利用件数	看護	36.2人	35.4人	33.0人
	リハビリ	10.0人	9.1人	8.5人
	訪問実日数	242日	243日	243日
事業収益に対する割合	職員給与費	74.0%	72.2%	72.7%

Ⅵ　業務統計

1．介護老人保健施設「しらさぎの里」

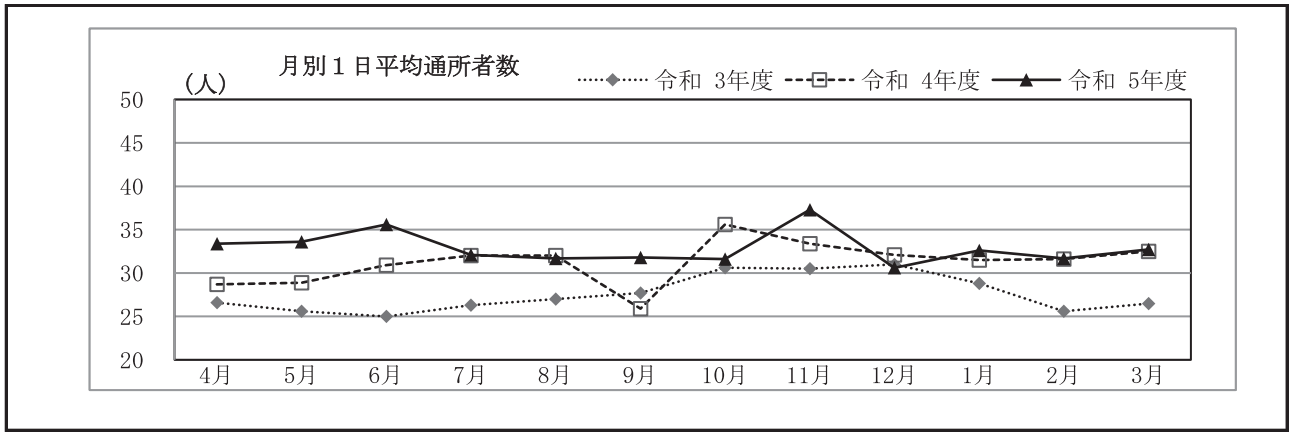
（1）施設サービス（入所利用者数）　〔単位：人〕

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和 3年度		2,132	2,134	1,949	2,011	2,070	1,959	1,832	1,903	1,976	1,975	1,845	2,154	23,940
	内リハ数	1,120	1,016	1,157	1,126	1,236	1,123	974	1,070	1,143	902	1,025	1,290	13,182
	1日平均	71.1	68.8	65.0	64.9	66.8	65.3	59.1	63.4	63.7	63.7	65.9	69.5	65.6
令和 4年度		2,147	2,256	2,202	2,264	2,312	2,064	2,052	2,039	2,143	2,161	1,925	2,173	25,738
	内リハ数	1,225	1,207	1,287	1,159	1,090	793	1,102	1,156	1,143	1,094	1,065	1,228	13,549
	1日平均	71.6	72.8	73.4	73.0	74.6	68.8	66.2	68.0	69.1	69.7	68.8	70.1	70.5
令和 5年度		2,165	2,181	2,206	2,031	2,066	1,862	1,932	1,934	1,831	1,671	1,437	1,158	22,474
	内リハ数	1,177	1,269	1,256	1,141	908	773	821	888	562	766	615	504	10,680
	1日平均	72.2	70.4	73.5	65.5	66.6	62.1	62.3	64.5	59.1	53.9	49.6	37.4	61.4



（2）居宅サービス（通所リハビリテーション利用者数）　〔単位：人〕

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和 3年度		585	538	550	578	594	610	643	671	620	576	511	609	7,085
	1日平均	26.6	25.6	25.0	26.3	27.0	27.7	30.6	30.5	31.0	28.8	25.6	26.5	27.6
令和 4年度		602	636	680	672	640	388	747	735	642	629	631	748	7,750
	1日平均	28.7	28.9	30.9	32.0	32.0	25.9	35.6	33.4	32.1	31.5	31.6	32.5	31.4
令和 5年度		667	773	784	674	730	667	695	634	490	522	539	556	7,731
	1日平均	33.4	33.6	35.6	32.1	31.7	31.8	31.6	37.3	30.6	32.6	31.7	32.7	32.9



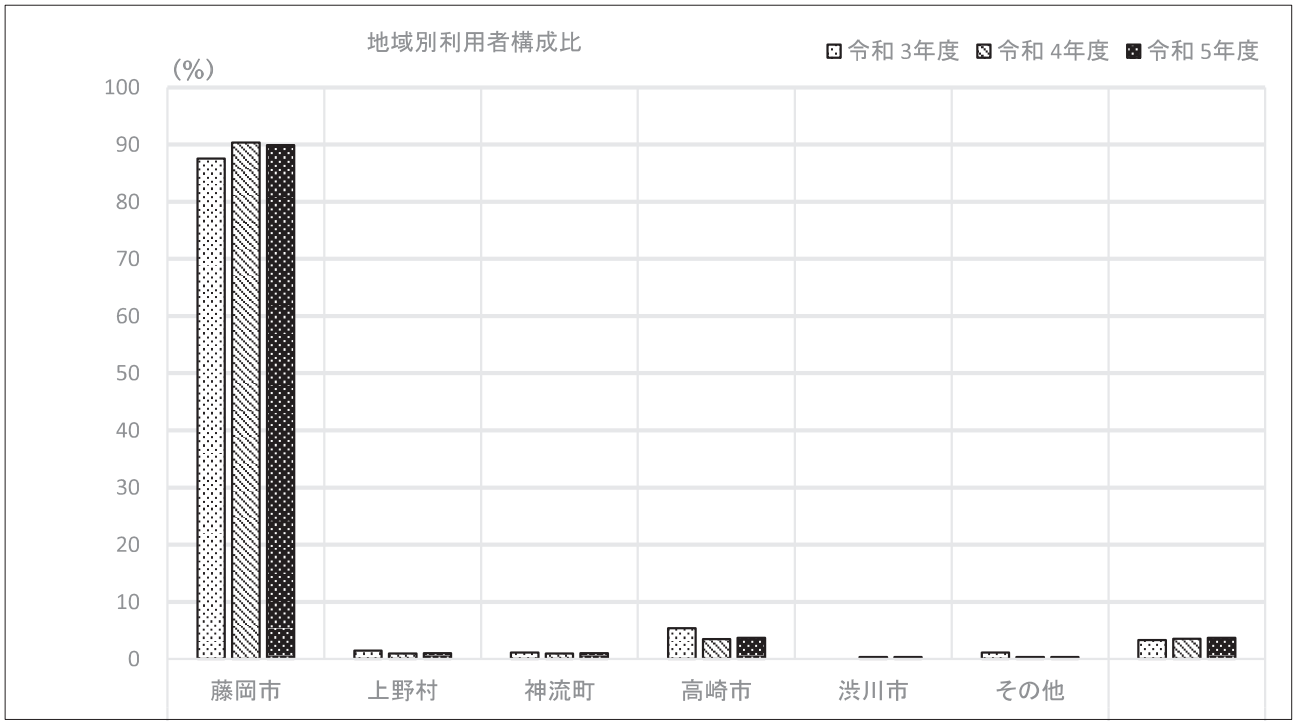
（3）居宅サービス（ショートステイ利用者数）　〔単位：人〕

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和 3年度	10	0	3	12	12	9	6	23	20	6	3	24	128
令和 4年度	7	19	29	11	25	2	10	9	6	8	4	4	134
令和 5年度	0	5	4	0	9	8	8	17	0	25	11	5	92

（４）地域別利用者数

〔単位：人〕

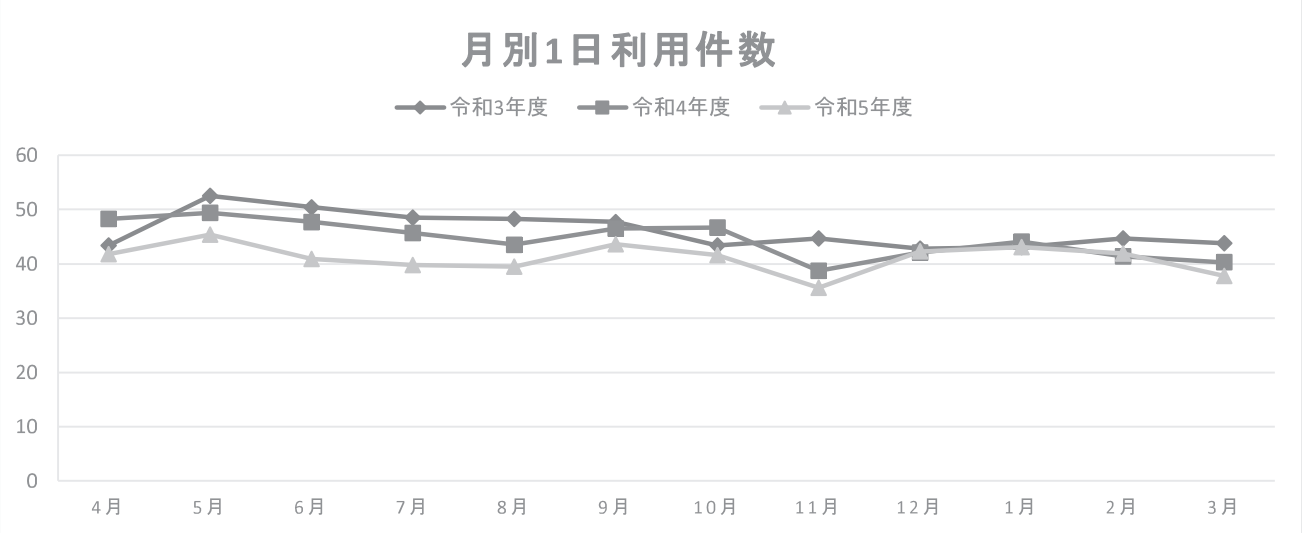
区分		県内	藤岡市	上野村	神流町	高崎市	小計	渋川市	その他	小計	県外	合計
3年度	利用者数	264	239	4	3	15	261	0	3	3	9	273
	入所	129	110	3	3	10	126	0	3	3	9	138
	短期入所	11	9	0	0	2	11	0	0	0	0	11
	通所ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	124	120	1	0	3	124	0	0	0	0	124
	構成比(%)	96.7	87.5	1.5	1.1	5.4	95.6	0.0	1.1	1.1	3.3	100.0
4年度	利用者数	300	281	3	3	11	298	1	1	2	11	311
	入所	122	106	3	3	8	120	1	1	2	10	132
	短期入所	13	12	0	0	1	13	0	0	0	1	14
	通所ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	165	163	0	0	2	165	0	0	0	0	165
	構成比(%)	96.5	90.4	1.0	1.0	3.5	95.8	0.3	0.3	0.6	3.5	100.0
5年度	利用者数	286	267	3	3	11	284	1	1	2	11	297
	入所	124	108	3	3	8	122	1	1	2	10	134
	短期入所	11	10	0	0	1	11	0	0	0	1	12
	通所ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	151	149	0	0	2	151	0	0	0	0	151
	構成比(%)	96.3	89.9	1.0	1.0	3.7	95.6	0.3	0.3	0.7	3.7	100.0



２．訪問看護ステーション「はるかぜ」

月別利用者数

区分＼月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数		837	909	900	797	871	873	874	712	846	819	797	756	10027
	看護	653	730	694	617	686	694	705	651	677	657	588	611	7963
	リハビリ	184	179	206	180	185	179	169	163	169	162	149	145	2070
１日平均利用件数		41.8	45.4	40.9	39.8	39.5	43.6	41.6	35.6	42.3	43.1	41.9	37.8	41.1
	看護	32.6	36.5	31.5	30.8	31.0	34.7	33.5	32.5	33.8	34.5	30.9	30.5	32.7
	リハビリ	9.2	8.9	9.3	9.0	8.4	8.9	8.0	8.1	8.4	8.5	7.8	7.2	8.4
利用者数		130	133	139	134	134	140	134	133	138	134	131	125	1605
	看護	128	132	139	134	134	140	134	133	138	133	130	125	1600
	看護・リハ併用	33	32	33	34	33	33	33	33	33	34	35	33	699
	リハビリ主体	16	15	15	15	12	14	13	12	12	11	10	11	156



地域別利用者数　（単位：人、％）

項目＼市町村別	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	利用者数	構成比	利用者数	構成比	利用者数	構成比
藤岡市	182	72	177	75	171	77.4
神流町	0	0	0	0	0	0
上野村	0	0	0	0	0	0
高崎市（吉井町）	9	3.6	12	5.1	5	2.3
高崎市	25	9.9	24	10.2	25	11.3
県内(その他)	1	0.4	0	0	1	0.5
県外	36	14	23	9.7	19	8.6
計	253	100	236	100	221	100

休日・祭日・緊急訪問集計(看護師)

（単位：人）

区分＼月別	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
休日・祭日訪問	65	73	35	37	41	50	50	44	28	82	43	43	591
緊急訪問	42	64	54	39	63	67	45	35	36	43	60	35	583

業　務　概　要

業務概要

１．診療部

（1）総合診療科

１．　スタッフ

常勤医師：神保貴宏、川上修史

２．診療業務の現況

月・火・木　午前の新患

月・火・水・木　午後の再来

金　午後の内科系救急対応　の診療を行っています。

新患については、「総合診療科」宛の紹介患者のほか、内科系紹介患者の初期対応を中心に診療し、必要に応じて各専門科に紹介するようにしています。

また、内科・循環器科のカンファレンスに参加して診療内容の検討を行っています。

３．今後の目標

全人的な診療を心がけ、地域の医療機関と当院の各専門科との橋渡しをスムーズに行うことで、地域医療に貢献していきたいと考えています。

（文責：神保　貴宏）

（2）消化器内科

１．スタッフ

常勤医は山口泰子１名。（福田わかのは育児休暇中）

外来は上記に加え、小板橋祐輔、秋谷寿一、内視鏡検査は非常勤医が担当します。

２．業務の現状

当科では主に消化管疾患の診断、治療を行っております。

入院では消化管出血、異物誤飲に対する緊急内視鏡処置、早期食道癌、早期胃癌、早期大腸癌およびポリープの内視鏡治療を行い、胆道感染症、急性膵炎、また進行消化器がんの化学療法、緩和治療をしております。

外来では主として消化器外来、外来患者および検診受診者の内視鏡検査を実施しております。外来対応疾病としては消化性潰瘍、逆流性食道炎、炎症性腸疾患が主体で、その他検診二次の需要が増えております。ピロリ菌感染胃炎の除菌治療や、大腸ポリープの内視鏡切除も行なっております。

2023 年度の主な内視鏡検査数は、上部消化管検査総数 5,665 件、下部消化管検査総数 1,549 件、内視鏡的膵胆管造影総数 50 件、ポリペクトミー（EMR も含む）530 件、ESD 55 件(上下部)、緊急内視鏡 223 件、内視鏡的止血術 107 件となっております。

３．今後の目標

消化管疾患は救急疾患、悪性疾患に対する検査、治療が多いため、消化器外科をはじめとする他科や専門スタッフと協力して迅速かつ質の高い診療を行えるよう努力していきます。また、2023 年度より胃腫瘍に加え、食道、大腸に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）に取り組んでいます。

（文責：山口　泰子）

（3）循環器内科

１．スタッフ

入院担当は 井上雅浩・間渕由紀夫・植田哲也・髙松寛人・小野洋平・西尾理沙の 6 名です。

外来担当は入院スタッフに加え、鈴木忠・倉林正彦・飯島徹・山岸美保・長谷川寛（不整脈外来）です。

２．業務の現況

当科では、虚血性心疾患（心筋梗塞・狭心症）・心不全・不整脈・心筋症（拡張型・肥大型・二次性）・心臓弁膜症・高血圧症などを中心に、大動脈疾患（胸部および腹部大動脈瘤・大動脈解離）・閉塞性動脈硬化症・肺血栓塞栓症・深部静脈血栓症・成人先天性心疾患などの診断や治療を行っています。

冠動脈や末梢血管に対する心血管インターベンション治療は、ステント留置術・バルーン血管形成術・血栓吸引術などを行なっています。冠動脈 CT や血管内超音波検査を使用し、適切で安全な治療を心がけています。

急性冠症候群（急性心筋梗塞・不安定狭心症）に対する緊急カテーテル治療は 24 時間体制で対応しています。毎年 100 例程の緊急カテーテル治療を行っています。

閉塞性動脈硬化症に対する血管インターベンション治療、徐脈性不整脈に対するペースメーカーの植え込み、肺血栓塞栓症に対する下大静脈フィルター留置なども行っています。

不整脈に対するカテーテルアブレーション治療や植え込み型除細動器、心不全に対する両室ペーシング、冠動脈バイパス術、弁置換術、大血管の手術が必要な症例は、群馬県立心臓血管センター、伊勢崎市民病院、群馬大学医学部附属病院などと連携し診療しています。

３．2022 年度のおもな検査・手術件数

カテーテル検査および治療 522。アセチルコリン負荷検査 15、右心カテーテル検査 8、心筋生検 5。冠動脈カテーテル治療（PCI）240（待期的 120、緊急 120）、（ロータブレーター2）。大動脈内バルーンパンピング（IABP）17、経皮的心肺補助法（PCPS）3。下大静脈フィルター0。緊急一時ペーシング 7。ペースメーカー植え込み 62（新規およびリード交換 43、電池消耗に伴う本体交換のみ 19）。植え込み型心電計 0。末梢血管形成術 18（動脈形成術のみ）。

４．今後の目標

1　丁寧な病状説明と診療記録を心がけ、患者・家族が納得できる医療を提供する。
2　医療圏の循環器疾患をすべて受け入れる。
3　カテーテル検査・カテーテル治療を積極的に行い、より多くの患者に最新医療を提供する。
4　地域医療連携を活用し、スムーズな退院指導を行うことで平均在院日数の短縮に努める。
5　インシデント・アクシデントレポートを積極的に提出し、医療事故を未然に防ぐ。
6　臨床研修医にトレーニングの場を提供し、循環器診療に必要な考え方や基本技術を身につけた医師を育てる。

（文責：井上　雅浩）

（4）呼吸器内科

１．スタッフ

茂木　充、高野峻一、梅津和恵、黒岩裕也

常勤医 4 人体制で診療にあたっている。

非常勤医師：池田香菜、須賀達夫、若松郁生：外来診療を行っている。

２．業務の現況

呼吸器内科では肺癌をはじめとする腫瘍性疾患（悪性中皮腫、縦隔腫瘍を含む）、慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、多種多様な呼吸器感染症（肺炎、気管支炎、細気管支炎、胸膜炎、肺結核など）、特発性肺線維症をはじめとする間質性肺疾患（特発性間質性肺炎、膠原病肺、薬剤性間質性肺炎など）、気胸、各種胸膜炎、肺血栓塞栓症などを主な対象疾患としている。

入院患者の主な疾患は、肺癌、肺炎、間質性肺疾患、慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、呼吸不全などである。

肺癌患者の治療は十分なインフォームド・コンセントを得た上で、手術療法、化学療法、放射線療法のうち、その患者に適切な治療法を選択し施行している。呼吸器内科としては化学療法単独、放射線療法単独、ならびに化学療法・放射線療法併用療法を行っている。近年では、分子標的治療薬や免疫チェックポイント阻害薬による治療例が増加し、進行肺肺癌の治療成績は飛躍的に向上してきている。

間質性肺疾患としては、特発性間質性肺炎をはじめ、膠原病に関連する間質性肺炎や薬剤性肺炎を数多く診療している。

2020 年度から COVID-19 のパンデミックに伴う入院患者が増加した。2020 年度から 2023 年度まで、COVID-19 患者が多数入院したが，呼吸器内科では、呼吸不全患者を中心に積極的に診療に当たっている．

気管支鏡検査は、2020 年度は 83 件、2021 年度は 101 件、2022 年度は 140 件、2023 年度は 142 件に行っている。日本呼吸器内視鏡学会認定施設であり、超音波気管支鏡が導入されており、超音波気管支鏡検査対象患者数が増加している。

<外来担当医表>

	月	火	水	木	金
午前	池田・若松	池田・茂木	池田	池田・高野	池田・茂木
午後	茂木	高野	須賀・梅津	(気管支鏡)	梅津

３．カンファレンス、研修教育

多職種合同呼吸器カンファレンス：毎週水曜日に北 5 階病棟で行っている。参加メンバーは、呼吸器内科医（専門医、指導医）、放射線治療医、研修医、病棟看護師長、緩和ケア専門看護師、摂食嚥下障害看護認定看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、ソーシャルワーカーらで構成されている。

研修医教育には一段と力を注ぎ、魅力のある病院にするべく努力している。学会発表を積極的に行い、研修医にも発表の機会を提供している。

４．臨床研究テーマ

1）EGFR T790M 変異陽性非小細胞肺癌におけるオシメルチニブの有効性と有害事象の検討
2）肺癌治療における免疫チェックポイント阻害薬の有効性と有害事象の検討
3）手術不能小細胞肺癌患者に対する化学放射線同時併用療法後のイミフィンジ療法の臨床的検討
4）薬剤性肺障害の臨床的検討
5）各種間質性肺炎の HRCT 所見の検討
6）慢性進行性間質性肺炎の臨床的検討：オフェブの有効性と有害事象の検討
7）レジオネラ肺炎の臨床的検討
8）ニューモシスチス肺炎の臨床的検討
9）COVID-19 肺炎の画像所見の検討
10）COVID-19-ARDS の臨床的検討：アクテムラ療法の検討
11）COVID-19 肺炎に続発する侵襲性肺アスペルギルス症の検討
12）重症間質性肺疾患に対する大量長期ステロイド療法後の筋力低下に対する早期リハビリテーション導入と継続の効果

５．今後の展望

群馬大学付属病院をはじめとする他の専門病院との連携を深め、県内の呼吸器科医の育成に努め、群馬県内（埼玉県北部医療圏を含む）の呼吸器疾患診療のさらなる充実を目指す。

（文責：茂木　充）

（５）血液内科

１．スタッフ

外山耕太郎、武井寿史、杉崎真人、吉田源也（内科専攻医）

２．業務の現況

今年度は血液指導医・専門医２名、血液専攻医１名、内科専攻医１名でスタートとなった。群馬県全域及び埼玉県北部の二次医療圏を超えた範囲からの血液疾患症例を受け入れている。基幹病院としての特性から積極的な治療を必要とする患者から Best supportive care の対象となる高齢者まで、幅広い年齢層の症例が集まっている。当院の特色として外科、循環器科、整形外科、透析科、放射線科などの他科との連携が容易であり、他の病院では対応できない数多くの合併症を持った患者に対応している。

昨年度に比べて新規患者数も 20 例以上増加しているが、最新の evidence、ガイドラインに則って治療方針を議論することを心掛け、更にレジメン入力の簡略化を推し進めている成果が表れ、以前よりもスムーズな診療が可能となっている。

各種学会発表も盛んに行い、貴重な症例をまとめた学会発表を論文として雑誌掲載することもできた。

様々な臨床試験に参加しているが、それらの結果が American society of Hematology で発表されたり、Internal Journal of Hematology に掲載されたりするなど、血液学の発展にも貢献している。また、臨床試験への登録症例数が多いことから、日本製人白血病研究グループ（JALSG）の監査を受ける機会も得、自分たちの臨床試験の手続きについて、見直す機会を得ることができた。

３．今後の目標

同種移植が必要な患者に関しては、群馬大学血液内科や済生会前橋病院と連携をとり治療にあたっていく。

各種新規薬剤、レジメンの導入を遅滞なく行い、複雑化する血液内科の最新治療に対応していく。

研修指定病院としての役割で当科の果たす役割は多くはないが、当院の特色ある研修の一つとして研修医の指導に当たっていく。

症例が多岐にわたり、豊富である特徴を活用し、臨床研究を行い今後の血液疾患の治療に貢献できることを目標とする。

４．業務実績

新規患者数

疾患		症例数
急性白血病	急性骨髄性白血病	9
	小計	12　例
骨髄異形成症候群		11
	小計	11　例
悪性リンパ腫	びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫	23

	高悪性度 B 細胞リンパ腫	1
	バーキットリンパ腫	1
	濾胞性リンパ腫	8
	節外性辺縁帯リンパ腫	3
	節制辺縁帯リンパ腫	1
	慢性リンパ性白血病	5
	リンパ形質細胞性リンパ腫	1
	マントル細胞リンパ腫	3
	ALK 陽性未分化大大坊リンパ腫	1
	成人 T 細胞性白血病/リンパ腫	1
	古典的ホジキンリンパ腫	1
	小計	49　例
形質細胞性腫瘍	多発性骨髄腫	12
	MGUS	5
	AL アミロイドーシス	1
	小計	18　例
骨髄増殖性疾患	慢性骨髄性白血病　慢性期	5
	慢性骨髄性白血病　移行期	2
	本態性血小板血症	1
	原発性骨髄線維症　前線維期	3
	慢性骨髄単球性白血病	2
	小計	13　例
その他	免疫性血小板減少症	5
	自己免疫性溶血性貧血	1
	悪性貧血	3
	血栓性血小板減少性紫斑病	2
	播種性血管内凝固	1
	自己免疫性好中球減少症	1
	ヘパリン起因性血小板減少症	1
	赤芽球癆	3
	遺伝性球状赤血球症	1
	再生不良性貧血	2
	壊死性リンパ節炎	1
	伝染性単核球症	3
	EDTA 依存性義性血小板減少症	2
	小計	26　例
合計		129　例

（文責：外山　耕太郎）

（6）腎臓・リウマチ内科

1．スタッフ

塚田義人、太田史絵、茂木伸介、土屋俊平、押川泰士、小野長太郎

2．業務内容

腎疾患診療については検尿異常、慢性腎臓病、ネフローゼ、急性腎障害などの患者さんの診療を行っている。今年度は21例の腎生検を行った。また慢性腎臓病の進行防止を目的に、腎臓病チーム主催で、5月と11月に腎臓病教室を開催した。また、慢性腎臓病3期以降の患者さん24名に対し、透析室スタッフの協力を得て腎代替療法選択指導を行った。

血液浄化治療に関しては、人工透析室に固定式29台、可動用2台の透析用コンソールを有し、維持外来血液透析患者だけでなく、新規導入や他院からの紹介、HCUや病棟での緊急透析に対応している。腹膜透析患者の外来診療も行っている。今年度の血液透析導入は 37 例であった。また、急性腎障害や慢性腎臓病急性増悪症例に対する一時的な血液透析は11例、血栓性血小板減少性紫斑病などに対する血漿交換は3例、癌性腹膜炎・腹水貯留に対する腹水濾過濃縮再静注法は5例であった。内シャントに対する血管内治療を延べ68件施行した。維持透析患者さんに向け、血液検査データの見方についての講演会も行った。

関節リウマチ疾患については、多岐にわたる疾患の外来・入院診療を行っている。定期通院されている外来患者さんは、関節リウマチ274例、全身性エリテマトーデス77例、リウマチ性多発筋痛症63例、全身性強皮症47例、ANCA関連血管炎50例、シェーグレン症候群44例などである。

関節リウマチについては、生理検査室での手・手関節の関節エコー検査のシステムが構築され、病勢の評価がより正確にできるようになった。疾患活動性の高いリウマチ患者さんに対しては、積極的に生物学的製剤（99例）やJAK阻害薬（14例）による治療を行い、寛解維持・予後の改善に努めている。関節変形による機能障害については整形外科にコンサルトし、手術を検討している。

リウマチ以外の膠原病（全身性エリテマトーデス・ANCA関連血管炎など）についても、この数年で新規薬剤や新規治療が適応となっており、科内で話し合いながら治療方針を検討している。

3．今後の目標

現行の診療体制を維持しつつ、地域の腎臓・リウマチ膠原病治療に貢献できるよう、診療の幅を広げていきたい。関連学会にも積極的に参加したい。

（文責：太田　史絵）

（7）糖尿病内科

1．スタッフ

常勤　中原　理恵子

非常勤医師３名　西野道夫　津久井智　朱啓子

2．業務内容

【診療内容】

外来　糖尿病外来　６単位、甲状腺外来　２単位、フットケア外来　１単位

入院　糖尿病教育入院（８日間・１５日間）、血糖コントロール入院、糖尿病ケトアシドーシス等高血糖昏睡、内分泌精査入院（ACTH単独欠損症、副腎皮質機能低下症、尿崩症、原発性アルドステロン症など）、粘液水腫性昏睡、副腎クリーゼなどの入院治療

コンサルテーション対応　周術期・感染症・ステロイド治療・糖代謝異常妊娠

周産期等における血糖管理など

【糖尿病チーム活動等】

・糖尿病療養チーム

糖尿病療養指導士　計１４名（看護師４名、管理栄養士４名、薬剤師２名、理学療法士２名、臨床検査技師２名）

群馬糖尿病療養指導士　計１３名（看護師５名、リハビリ８名）

入院・外来糖尿病教室の運営や企画、職員啓蒙、学会発表など

糖尿病治療支援委員会　　月１回

透析予防指導カンファレンス　月１回

・外来糖尿病教室　（年間計４回）

・かんなの会（公立藤岡総合病院糖友会）

外来診療は非常勤医師を含め糖尿病外来 6 単位、甲状腺外来 2 単位で診療を行っています。また、緊急性のある場合には随時紹介を受け付けています。

糖尿病については１型糖尿病、２型糖尿病、妊娠糖尿病などのほか、周術期や化学療法・ステロイド治療中の高血糖などの治療に対応しています。また、平成３１年４月よりインスリンポンプ療法の診療を開始し SAP 療法にも対応しております。令和３年度よりリアルタイム CGM（G6、ガーディアンコネクト）の運用を開始しました。糖尿病透析予防指導では指導体制を強化し、今年度より慢性腎機能障害加算の算定要件を満たしました。令和２年度より稼働しているフットケア外来では足壊疽ハイリスク患者様の足潰瘍の発症・再発抑制に力を入れています。

内分泌疾患については下垂体疾患、甲状腺疾患（バセドウ病、橋本病、亜急性甲状腺炎、プランマー病）、副腎疾患（ACTH 単独欠損症、アジソン病、原発性アルドステロン症など）の精査治療を行っています。近年では免疫チェックポイント阻害薬の普及に伴い irAE の内分泌障害が増加している印象です。

入院では糖尿病教育入院による教育・精査・治療内容の見直しのほか、糖尿病性ケトアシドーシス（DHA）・高血糖高浸透圧症候群(HHS)などの糖尿病救急疾患や、内分泌疾患の精査診断、粘液水腫性昏睡などの診療にあたっています。また、入院中の院内他科患者様の紹介（周術期血糖管理、外科系疾患や感染症、ステロイド療法に伴う高血糖に対する血糖管理）も業務の重要な部分であり今年度は年間１３２件の院内紹介がありました。

糖尿病教育入院は８日間と１５日間のパスにより運用しており、毎月第二水曜日を入院日として受け入れています。地域の治療に難渋されている患者様を治療・教育両面でサポートできるよう体制を整えています。退院後は原則ご紹介いただいた医療機関に逆紹介させていただいております。

診療外の活動としては、外来患者様や一般の方を対象にした糖尿病教室を年 4 回開催しております。コロナ禍のため感染拡大予防策として、現在は当院通院中の患者様に限らせていただいており、受付時の体温測定・手指の消毒・マスク着用の２０名を上限としてお集まりいただいています。

糖尿病友の会『かんなの会』はコロナ禍のため活動を自粛しました。

内分泌疾患については、橋本病やバセドウ病等の自己免疫性甲状腺疾患をはじめとして原発性アルドステロン症の精査診断、副腎不全の診断治療を行っています。今年度は粘液水腫 4 件、アジソン病２件、ACTH 単独欠損症 1 件の入院治療がありました。

糖尿病、内分泌疾患とも近隣医療機関より広くご紹介頂いており、地域における当科の役割を改めて認識するところです。したがって病状が安定した患者様は積極的に逆紹介させていただき、新規の紹介患者様を受け入れられるよう努めています。

３．今後の課題

糖尿病教育入院を年々充実させ、地域の患者様の糖尿病教育・療養指導に尽力し細小血管症の

進展抑制ならびに大血管障害の発症予防に努めたいと思います。その一環として、外来糖尿病教室をオンライン参加できるよう体制を整えていく予定です。また、新規患者様や重症合併症患者様の受け入れがスムーズに行えるよう態勢を整備するとともに院内ならびに開業医の先生との連携を強化することで多くの患者が安心して治療を行えるようサポートしたいと思っています。また、地域における重症低血糖件数の減少、糖尿病合併症の進展抑制のため糖尿病チーム一丸となり外来治療・指導を充実していきたいと思います。

（文責：中原　理恵子）

（8）小児科

1．スタッフ

常勤：渡部登志雄、小山晴美、相馬洋紀。嘱託：牧岡西紀の 4 人体制。
非常勤：岡田恭典（循環器、発達）、川嶋伸明（神経、発達）、須田峻平（内分泌・代謝）、鈴木信、大竹紗弥香（外科・消化器）の 5 人。
以上の常勤＋非常勤各先生の援助で小児疾患の広い分野をカバーしている。（敬称略）

2．業務内容

令和 5 年度は、ポストコロナのフェーズに入り、今までの期間、感染から守られていた多くの児たちが様々な流行感染症に罹患した。当院の外来、入院数はやや増加にとどまり、それぞれ 6388 人、516 人であった。絶対数としては新型コロナウィルス感染症前のレベルには及ばなかった。

特殊検査は腎生検 1 件、腎シンチ 20 件、膀胱造影 28 件、ネフローゼに対するリツキシマブ投与 0 件とほぼ前年同様、アレルギー疾患については、入院での食物負荷試験は 11 件施行した。内分泌負荷試験は 11 件行った。

新生児については院内出生の 34 週以降の早期産児。呼吸障害、感染症、初期嘔吐、新生児黄疸等の疾患につき 38 例の入院加療を行った。内 DPAP 装着症例は 4 例であった。

新生児蘇生講習会の開催は今年も一回にとどまり新規のプロバイダーは作れず、更新のための講習に 6 人参加した。

3．目標

小児の主疾患である感染症はほぼコロナ前に戻った様相であるが、新たなワクチンの定期化、小児人口減少の中で以前ほどの外来、入院数は確保できない状況が続いている。当院小児科が現状を保つために、次年度も当院の利点（専門外来の種類の多さ）を生かし、藤岡多野地域だけでなく埼玉北部に加え高崎南部、伊勢崎などからの紹介をさらに得られるように努力していきたい。また、スタッフの小児、新生児対応のレベルアップも引き続き図っていきたい。

（文責：渡部　登志雄）

（9）外科

1．スタッフ

石崎政利、設楽芳範、中里健二、豊増嘉高、松本明香、原圭吾、高橋遼、片山千佳、牛久保陸生、神田恒

2．施設認定

① 日本外科学会外科専門医制度修練施設
② 日本消化器外科学会専門医修練施設
③ 日本がん治療認定医機構認定研修施設

④　日本臨床腫瘍学会認定研修施設（特別連携施設）
⑤　日本呼吸器外科学会専門研修連携施設
⑥　日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設
⑦　日本消化器病学会専門医制度認定施設
⑧　日本消化器内視鏡学会専門医制度指導連携施設
⑨　日本気管食道科学会認定気管食道科専門医研修施設

３．診療内容
①消化器外科：消化器の良性・悪性疾患
②呼吸器外科：肺、縦隔、胸膜、胸壁の疾患
③乳腺・内分泌外科：乳腺、甲状腺の疾患
④小児外科：小児ヘルニア
⑤一般外科：虫垂炎、成人ヘルニア、リンパ節、皮下腫瘤

４．目標
安全を確保できるシステムで標準的な治療を提供する。
①医師の能力向上に努める
②学術的診療業務への取り組み
③外科医療の質改善に努める
④がん地域連携パスの推進

５．手術実績と今後の目標
令和5年度は、2名の医師が異動となり、1名の新しい医師が着任となりました。群馬大学医局人事により加藤寿英先生および遠藤瑞貴先生が異動となり、代わりに豊増嘉高先生および牛久保陸生先生が着任しました。また獨協医科大学埼玉医療センター小児外科学分野から成人外科の研修として神田恒先生が着任しました。群馬大学医学部付属病院 外科診療センターより循環器外科阿部知伸先生（第1,3週水曜日の午後外来）、小児外科鈴木信先生（第3月曜日の午前外来）、小児外科大竹紗弥香先生（第2,4週水曜日の午後外来）、形成外科牧口貴哉先生（第1,2,3,5水曜日の午前外来）、呼吸器外科矢澤友弘先生（毎週火曜日の手術）、各先生方にご協力をいただいております。
令和5年度の総手術件数は694件で、昨年度より減少しました（昨年763件）。悪性腫瘍の手術件数は274件であり、こちらも昨年より若干減少しました（昨年度287件）。内訳では食道がん0例、胃がん58例（ESD21例、鏡視下手術13例）、大腸がん116例（ESD17例、鏡視下手術56例）、肝胆膵がん5例、肺がん40例（鏡視下手術30例）、乳腺・甲状腺がん55例でした。他、虫垂切除は61例（鏡視下手術57例）、ヘルニア手術は106例（鏡視下手術27例）、胆石症手術は118例（鏡視下手術89例）でした。
令和5年度は、初期臨床研修医1年次7名、2年次5名が外科を選択し1〜3ヶ月の研修を行い、良性疾患、悪性疾患、緊急手術等、幅広く研修していました。これからも、患者さんに求められる質の高い医療サービスを提供して、地域から信頼される医療を行いたいと考えております。

（文責：中里　健二）

（１０）整形外科

１．スタッフ
常勤医師：中島大輔、久保井卓郎、坂根英夫、齋田竜太、横山尚明、齋藤真幹
非常勤医師（外来のみ）：勝見賢、高倉健太

２．業務の現況

常勤医 6 名と外来のみの非常勤医 2 名で診療を行っています。外来は月曜日から金曜日までの午前に一般外来、火曜日午後に脊椎外来を行っています。

診療内容は整形外科領域全般にわたっており、特に手外科領域に関しては 2 次医療圏を超えた広い範囲からの紹介があるのが特徴であります。

手術に関しましては、骨折や軟部組織損傷などの外傷手術が多いのが当院の特徴であります。新型コロナウイルス感染症流行に伴い手術件数の減少が認められました時期がありましたが、令和 5 年度は緊急手術を含め手術件数は回復傾向となっております。

毎週月曜日には術前術後のカンファレンスや、多職種カンファレンスを開いており、治療方針などの情報共有をはかっております。

当科では治療の標準化、入院期間の短縮などを目的としてクリニカルパスを積極的に使用しております。また大腿骨近位部骨折や脊椎圧迫骨折については地域連携パスがあり、急性期治療終了後に近隣病院へ円滑に転院できるような体制を整えております。

３．今後の目標

・地域中核病院として安全で質の高い医療を提供すること
・地域関係機関と連携し急性期病院としての機能をはたすこと
・年間手術件数の増加
・学術活動への積極的な参加
・整形外科専門医、手外科専門医の養成

４．業務実績

令和 5 年度手術総件数は 699 件（内緊急手術 60 件）でありました。主要手術件数は、大腿骨近位部骨折 152 件（頚部骨折骨接合術 26 件、頚部骨折人工骨頭置換術 49 件、転子部骨折 75 件、転子下骨折 2 件）、人工股関節置換術 4 件、人工膝関節置換術 5 件、膝関節周囲外傷 13 件、足関節周囲外傷 24 件（内足関節脱臼骨折 21 件）、下肢切断術 8 件、外反母趾矯正手術 2 件、肩甲帯～上腕骨幹部外傷 28 件、肘関節周囲外傷 27 件（内小児肘外傷 8 件）、前腕骨幹部～手指外傷 89 件（内橈骨遠位端骨折 41 件、顕微鏡下神経血管修復術 8 件）、内シャント造設術 53 件、狭窄性腱鞘炎手術 51 件、絞扼性神経障害手術 34 件（手根管症候群 30 件、肘部管症候群 4 件）、緊急創外固定設置 7 件、骨内異物除去術 55 件などとなっております。

（文責：中島　大輔）

（１１）脳神経外科

１．診療体制

2023 年 4-9 月は若林、和田、向田の常勤 3 名と大学院生の淺野が金曜午後-当直を担当した。9 月末に和田が退職となり 10 月から 2024 年 3 月末までは常勤が 2 名となった。淺野の当直を金曜日 2 回土曜日 2 回行ってもらうことで土日休日は確保した。またこの間は脳神経外科常勤医師の当直を免除していただくことで時間外勤務を軽減した。甲賀先生には火、水、金の再診外来をしていただいた。下半期は人員的に厳しく、COVID19 感染による病棟閉鎖も 2 ヶ月近くあったため、診療は今まで経験の無いくらいの大変さであったが、何とか救急受け入れ制限をすることなく推移した。

２．業務内容

急性期の脳卒中や頭部外傷、症候性のてんかんや脳腫瘍などの治療の緊急性の高い疾患が入院のほとんどを占めている。入院全体では急性期脳卒中およびその関連疾患が約 7 割で内科的

治療、外科的治療、カテーテル治療いずれも迅速に行えるようにしている。脳卒中入院については2次医療圏別でみると藤岡は4割弱であり富岡、埼玉、高崎が2割、玉村伊勢崎少数であった。神経内科　救急科の常勤がいない現状では脳卒中および脳卒中関連疾患（stroke mimics）については脳神経外科が主体的に対応していくという方向性は今後も続き、急性期のみならず回復期リハビリ病棟での診療の一部担当も継続の方針である。

３．治療実績

2023年の入院数、手術数はそれぞれ685名、199件であり、増加の一途をたどっている。特に脳血管内手術が全体の4割程度あり、治療ニーズが今後も高まるものと思われる。数のみならず治療の質にも徹底的にこだわっていきたいと考えています。超急性期脳梗塞の血栓回収療法は搬送されてから治療までの時間短縮も重要で日当直先生方や研修医、関係するメディカルスタッフの協力が不可欠であり引き続きご協力ご支援お願いします。

４．来年度に向けて

大きな目標設定はないが、当科に求められている地域医療ニーズに応えるべく、特に専門性を持たずに受け入れ要請があった神経救急はすべて受け入れ、適切な診断、標準的な治療を提供できるように個々の研鑽、多職種チーム医療を行っていきたいと思います。

過去5年間の入院　治療実績（1-12月）

	2018	2019	2020	2021	2022	2023
脳血管障害						
クリッピング術	11	7	11	11	4	13
脳出血開頭血腫除去術	8	3	6	15	4	5
脳出血内視鏡的血腫除去	0	2	1	2	4	7
頸動脈内膜剥離術	0	0	0	1	1	0
浅側頭動脈中大脳動脈吻合術	1	1	0	0	0	0
脳腫瘍						
開頭腫瘍摘出　生検術	6	9	4	4	10	4
経鼻下垂体腫瘍摘出術	1	3	0	0	3	0
頭部外傷						
慢性硬膜下血腫　血腫灌流除去術	46	45	42	42	55	59
急性硬膜下血腫　開頭血腫除去術	7	6	9	5	3	3
急性硬膜外血腫	0	1	0	0	1	2
水頭症						
シャント手術	3	3	7	11	3	7
脳室ドレナージ術	8	6	6	8	3	3
その他	9	13	7	10	5	11
脳血管内手術						

血栓回収療法	22	34	34	35	46	47
頸動脈ステント留置術	10	9	17	15	15	16
脳動脈瘤コイル塞栓術	6	14	18	15	13	13
硬膜動静脈瘻塞栓術	1	0	2	1	2	0
その他	4	2	2	8	4	8
手術数	143	166	165	183	175	199
rt-PA 静注療法	27	32	49	27	38	56
入院数	639	652	629	617	653	685

（文責：若林　和樹）

（１２）歯科口腔外科

１．スタッフ

常勤　　歯科医師　　金井 梢、丸山佳恋
　　歯科衛生士　斎藤由佳、新井早苗、中坪佳苗、林 花
非常勤　歯科医師　　横尾 聡、清水崇寛

２．業務内容

歯科口腔外科は本年で 6 年目を迎えました。主に難易度の高い抜歯や腫瘍・嚢胞や顎変形症等に対する手術や、粘膜疾患や顎関節疾患等様々な口腔外科疾患に対する診療を行っております。昨年と同様、群馬大学大学院医学系研究科口腔顎顔面外科学講座・形成外科学講座教授・横尾聡先生、また本年からは昨年常勤として勤務していた清水崇寛先生に非常勤として手術等の指導をしていただいております。昨年に引き続き、悪性腫瘍患者の放射線化学療法や免疫チェックポイント阻害薬の投与など行っております。悪性腫瘍等の手術や化学療法、放射線療法などの患者に対する周術期口腔機能管理、糖尿病教育入院患者や骨吸収抑制薬使用患者の口腔内管理等の患者教育も積極的に行っております。

３．業務実績

外来：初診患者数は 1088 人(昨年度 1085 人)でした。月平均 90-100 人程度となっております。周術期口腔機能管理初診患者総数は 269 人(昨年度 283 人)でした。外来局所麻酔手術は、普通抜歯が 266 例、埋伏歯抜歯は 101 例、生検・腫瘍摘出が 71 例、顕微鏡視下歯根端切除術が 3 例、歯科インプラント埋入が 11 例でした。今年度は以前と比較すると歯科インプラント埋入症例が増え、診療の幅が広がっております。

入院：全身麻酔下手術件数は 110 件（昨年度 96 件）でした。月平均としては 7-9 例程となっております。主な手術は難抜歯ですが、歯性上顎洞炎や口腔悪性腫瘍に対する手術、顎変形症に対する顎骨骨切り手術等も行っております。また、当院血液内科より悪性リンパ腫等を疑う頚部リンパ節腫大の患者に対してのリンパ節摘出生検術などの依頼もあり、他科とも連携の上、手術を施行しております。

研究面では 2023 年 11 月開催の日本口腔外科学会で 1 演題、2024 年 1 月開催の口腔腫瘍学会で 1 演題発表しました。

４．目標

今後も地域の２次医療機関として、また総合病院の歯科口腔外科として、地域医療及び病院内でも他施設や他診療科と連携を取りながら、良質な医療を提供していきたいと考えております。また教育や研究面でも積極的に活動し、今後も日本口腔外科学会の口腔外科専門研修准施設および協力型臨床研修施設として自身および若手口腔外科医の成長の一端を担える施設として邁進していきたいと思います。

（文責：金井 梢）

（１３）皮膚科

１．スタッフ

常勤医師：部長１名

２．診療業務の現況

外来診療は、月曜日から金曜日の午前と、木曜日の午後に行っている。また、火、水曜日の午後は外来にて日帰り手術を行っている。病棟患者の診察・往診業務は原則毎日行っている。金曜日の午後には、病棟患者の褥瘡回診を褥瘡対策チームメンバーとともに行っている。

３．今後の目標

入院患者を増加させることにより、収益の増加を目指す。褥瘡対策チームにおけるチーム医療活動を通じて、当院のみならず地域医療に貢献したい。

（文責：嶋岡　正利）

（１４）泌尿器科

１．業務概要

スタッフ　常勤医師３名
　　非常勤医師１名

業務内容　外来診療は水曜、木曜は午前のみだが、月曜、火曜、金曜は午前、午後ともに診療している。泌尿器科一般（尿路性器がん、尿路結石、尿路性器感染症等）の診療を行っている。

入院診療では水曜、木曜、金曜（午前）に手術を行っている。水曜には長時間の開放手術や経尿道的手術を行い、木曜に鏡視下手術を主に行っている。また月曜、火曜、金曜には通院で体外衝撃波結石破砕術（ESWL）を行っている。毎週月曜日に病棟カンファレンスを行っている。

目標　泌尿器科がんの標準的な治療（手術、放射線療法、化学療法）は当院で行えるようにしたい。また H24 年度より低侵襲手術（鏡視下副腎、腎摘出手術）を導入し、H26 年度より鏡視下前立腺全摘除術を開始した。(H27 年３月に腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術の施設認定が受理されました)病棟ではスタッフとともにカンファレンスを継続して行い、泌尿器科チームとして質の高い、満足してもらえる医療を提供していきたい。

２．業務実績

手術件数（令和５年１月～12 月）

2023 年

病名	術名	件数
副腎腫瘍	腹腔鏡下副腎摘除術	1
腎癌	腹腔鏡下根治的腎摘出術	3
腎盂尿管癌	腹腔鏡下腎尿管全摘除術	3
	腎尿管全摘除術（開放）	1

	腎摘出術（開放）	1
腎盂尿管癌疑い	逆行性腎盂造影/尿管鏡	5
膀胱癌	膀胱全摘除術＋回腸導管造設	3
	膀胱部分切除	1
	経尿道的膀胱腫瘍切除術	73
前立腺癌	腹腔鏡下前立腺全摘	16
	去勢術	1
前立腺癌疑い	前立腺生検	112
精巣癌	高位精巣摘除	3
精巣上体腫瘍	精巣上体摘出	1
腎嚢胞	経皮的腎嚢胞穿刺エタノール固定	1
前立腺肥大症	経尿道的前立腺切除	8
尿管狭窄	D-J ステント留置	94
	D-J ステント抜去	3
	腎瘻造設	6
	腎瘻拡張	1
精巣捻転	精巣固定	1
尿管結石	経尿道的尿管結石破砕術	15
	尿管切石術	1
膀胱結石	経尿道的膀胱結石摘出	4
	膀胱切石術	1
包茎	環状切除	5
膀胱出血	膀胱止血術（内視鏡的）	1
腎尿管結石	体外衝撃波結石破砕術（新規）	24(新規 8)
慢性腎不全	腹膜透析用カテーテル留置	1
その他	膀胱瘻造設	2
	精索水腫根治術	1
	陰嚢水腫根治術	3
	カルンクルス切除	1
	膀胱膣瘻修復術	1
	尿管膀胱新吻合	1
	腎生検（針生検）	1
	腎生検（開放）	1

（文責：武井　智幸）

（１５）産婦人科

１．スタッフ

産婦人科常勤医は診療科長、病棟医長にそれぞれ産婦人科部長１名ずつ、医員１名、専攻医１名の計 4 人体制となった。日々の日当直に群大から外勤医 3 名の応援を得て病棟診療を、北 4 階病棟では助産師 16 名、看護師 11 名、病棟薬剤師 1 名、助手 1 名で、多科に渡る入院患者、分娩、新生児看護に、毎日夜間・休日問わず当たっている。

外来では、外来専門医 2 名に、専門を活かした腫瘍外来、不妊外来に 2 名、常勤医の外来担当もあり、月曜～金曜まで、午前・午後とも予約、初診の対応に当たっている。

２．業務概要

外来業務は、月曜日～金曜日に、第一診察室で婦人科、第二診察室で産科と分担して行っている。婦人科は腫瘍関係の患者さんを中心に、中高年外来、不妊相談・治療（水曜 AM）、手術外来など、患者さんにわかりやすく、機動的に行っており、本庄児玉地域、多野藤岡地域からの紹介患者が多いのが特徴になっている。産科はスクリーニング外来を含め、今年度導入された 4D 可能な高性能超音波診断装置を駆使して、高リスクの妊婦を中心に地域周産期の要を担っている。

従って、妊娠後半からの紹介や、里帰り妊婦の割合が多くなっているのが特徴である。

病棟では、主に月曜日、火曜日に（帝王切開は随時）行っており、昨年は 126 件の手術室手術（他に、分娩室手術あり）を行い、163 件の分娩（帝王切開 45 件含む）を取り扱っている。全国的な分娩件数の減少は否めないものの、1 分娩に対する質の向上がより求められるようになり、当院では小児科や内分泌内科との緊密な連携（毎週カンファレンスを行い共有）の元、多くの高リスクな妊婦も受け入れているのが特徴である。

分娩数の、一時的低下はやむを得ないものの、分娩一件あたりの安全性、その他のハイ・クオリテイ化は留まらない。母体と児の安全を同時に預かる、超高度なストレス下で、スタッフは助け合い・励まし合いながら、妊婦・患者に親切・丁寧に、満面の笑顔で対応している。病棟を訪れた誰もが、この病棟の明るさ、清潔さ、そして親身な看護に感謝し、再来を口にしてくれるのはこの病棟の最大の特徴である。

（文責：遠藤　究）

（１６）リハビリテーション科

１．スタッフ

医師は常勤 2 名、非常勤 1 名の体制で、療法士は理学 31 名、作業 22 名、言語聴覚 9 名でリハビリテーションを実施しています。

２．業務の状況

リハビリテーション科は疾病に伴う患者の障害を評価し、社会的背景を考慮して、到達目標を設定し、患者の社会復帰や障害の克服を手助けする役割を担っています。

当院のリハビリテーションは急性期入院部門、外来部門、回復期病棟部門があり、「脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）」「運動器リハビリテーション料（Ⅰ）」「呼吸器疾患リハビリテーション料（Ⅰ）」「がん患者リハビリテーション料」、「心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）」の施設基準で、回復期病棟では回復期リハビリテーション病棟入院料 1 の施設基準で運用しています。さらに訪問看護ステーション「はるかぜ」と連動した訪問リハビリテーションも実施しています。

令和 4 年度リハビリテーション （以下リハビリ）の新規依頼件数は、入院患者では総数 3,576 件、内訳は脳血管疾患等リハビリ 588 件、運動器リハビリ 448 件、呼吸器疾患リハビリ 601 件、がん患者リハビリ 304 件、心大血管疾患リハビリ 16 件、廃用症候群リハビリ 1,619 件でした。外来患者では総数 366 件、内訳は脳血管疾患等リハビリ 56 件、運動器リハビリ 256 件、呼吸器疾患リハビリ 54 件、訪問リハビリ 51 件、診断書に関わる身体計測は 49 件、InBody による体成分分析が 67 件、6 分間歩行検査が 61 件でした。回復期病棟への新規入棟患者は 231 件でした。また、透析時運動指導等加算が 56 件でした。上下肢痙縮に対するボツリヌス療法を新たに開始し、延べ 14 件でした。

回復期リハビリ病棟では、脳血管疾患や骨折などを発症し急性期治療後に病状が安定した患者に、引き続き集中的なリハビリを行うことで、機能回復や日常生活での必要な動作の改善を図り、社会や家庭への復帰を促進します。そのために医師、看護師、療法士、社会福祉士、栄養士など多職種が密に連携して業務を行っています。

訪問リハビリは在宅でのリハビリを提供しています。主治医からの依頼で、通院困難な患者の訪問リハビリも行っています。

３．今後の目標

地域の医療機関や施設と連携し、リハビリを行っていきます。入院患者には病初期から介入し早期退院、回復期リハビリへの移行をすすめ、在院日数の短縮をはかります。また終末期がん患者のリハビリに積極的に関わっていきます。外来では通院可能な患者の職場復帰や社会活動への参加をめざし、機能向上、廃用防止につとめます。訪問では、在宅でのリハビリを希望する利用者を支えていく体制を整えていきたいと考えています。今後も、利用者にとって満足度の高い医療を提供することを心がけていきます。

（文責：黒崎　みのり）

（１７）放射線診断科

１．スタッフ

令和 5 年度は　神宮晶子、小松嵩和の常勤２名。週 3 日半日は非常勤医師の応援。

２．業務内容

CT、MRI、核医学検査の読影。CT ガイド下での生検やドレナージ、出血等の緊急血管造影・治療。

３．業務実績

令和 5 年度の実施件数は CT 19,066（前年度 18,393）件、MRI 5,531（5,434）件、RI 549（564）件、PET 745（741）件、CT ガイド下生検およびドレナージ・緊急血管造影併せて 26（20）件でした。前年度より全体に検査数は増加しました。

４．今後の目標

迅速で正確な読影をすることで、各科の診療・患者様の治療方針等の一助となれるようにしていきたいと思います。各診療科とも積極的に連絡を取り合いながら、診断していきたいと考えています。夜間や休日の急ぎの読影や血管造影は、大学からの応援も受けつつ、引き続き対応していきたいと思います。

（文責：神宮　晶子）

（１８）放射線治療科

１．スタッフ

常勤 1 名、非常勤 2 名（火曜日午後、金曜日午後）

２．業務内容

外来診療、放射線治療計画、放射線治療。

重粒子治療、定位放射線治療、強度変調放射線治療、密封小線源治療等が必要な場合には群馬大学医学部附属病院や群馬県・埼玉県内などの近隣の放射線治療施設へ御紹介させていただきます。

３．業務実績

令和 5 年度の治療患者数（新患）は 120 例でした。

４．今後の目標

他科との連携を取りつつ、患者様の状態やご意向に沿った適切な治療を提供するよう努めていきたいと思います。

（文責：塩谷　真里子）

（１９）麻酔科

１．スタッフ

麻酔科機構専門医の金井、碓井、田口、萩原、髙田の常勤５名が手術麻酔全般を担当しています。その日の待機者が手術室リーダー看護師と相談して、手術室の割り振りや手術開始時間を調整しています。

２．診療業務の現況

局所麻酔以外のすべての手術麻酔を管理しています。緊急手術は24時間いつでも対応できる体制をとっています。昨今は重症患者も多く、麻酔管理に難渋することもますます多くなりました。

そのほかに、ペインクリニック外来を月曜日と木曜日の午前中に開いており、主に帯状疱疹関連痛、慢性疼痛等を扱っています。また、筋肉由来の疼痛、たとえば重症の肩こりや腰痛に対する筋膜リリースは即効性があり、患者さんに感謝されています。

令和４年度の麻酔科管理は1,783例で、内訳は全身麻酔（硬膜外麻酔・伝達麻酔併用を含む）1,250例、腰椎麻酔391例、硬膜外麻酔93例、伝達麻酔その他49例でした。全手術数は2,438例でした。

３．今後の目標

手術部門システム・エコーの積極的利用などにより効率的な手術運営および医療の質、安全性の向上を図ることができるようになりました。しかし、麻酔器やモニター、エコーなどの機器の更新は否応なくやってきます。安全・安心な医療を目指す観点からもそれらを病院にお願いしたいと思っています。

（文責：金井　真樹）

（２０）病理診断科

１．スタッフ

医師１名：吉田孝友

２．診療業務の現況

月～金曜日の全日制で、病理診断、術中病理診断、病理解剖に対応している。病理解剖は担当医と協議により適宜施行しており、ほぼ100%の実施率である。

３．CPC

病理解剖を通して症例毎の病態・病因を究明し、研修医とともに病理解剖診断書を作成している。また、研修医による症例示説を行い、質疑応答を経て、より一層の理解を深めている。

４．今後の目標

大学病理学教室、病理部その他関連施設の病理医との意見交換やコンサルテーションにより、迅速で正確な病理診断を心掛ける。

（文責：吉田　孝友）

（２１）健康管理センター

１．スタッフ

人間ドック：飯島徹、田村勝、石崎政利、塚田義人、神保貴宏、山岸美保

脳ドック：田村勝、飯島徹

２．業務内容

一泊２日ドック、日帰りドック、脳ドック、肺ドック、PET-CT 健診、生活習慣病健診、特定健康診査／保健指導、就業・入学健診、企業健診、乳がん・甲状腺がん検診、予防接種等の業務を行っている。

３．業務実績

一泊２日ドック 74 件、日帰りドック 4,115 件、脳ドック 98 件、生活習慣病健診 1,978 件、企業健診 2,882 件、特定健診 163 件、特定保健指導 69 件、藤岡市等乳がん・甲状腺がん検診 616 件、PET がん健診 67 件など。

４．今後の目標

日帰りドックの件数が増え、収益も前年と比べ増加した。今後も人間ドックの質を高めるように努めるとともに増益を目指したい。

（文責：飯島　徹）

２．薬剤部

１．スタッフ

薬剤部長１名　副部長１名　室長１名　室長補佐１名　グループリーダー1 名

薬剤師 17 名　薬剤助手　２名

２．業務の現況

薬剤部では、「責任ある薬物治療の提供」を理念とし、以下を基本方針として多野藤岡地区の医療に貢献できるよう努力している。

1. 最適な薬物治療を提供する
2. 患者さんと共に薬物治療に向かい合い、ささえる
3. 薬剤師としての考えを持って、チーム医療に参画する

全病棟に専任薬剤師を配置し、きめ細かい薬剤調整と薬剤管理指導を行っている。入院時にはすべての患者に対して持参薬調査を行い管理し、また服薬計画も提案している。

令和５年度の実績は、薬剤管理指導件数 11,879 件/年 、病棟薬剤業務実施加算件数 18,370 件/年 、退院時薬剤情報管理指導件数 2,874 件/年という算定結果だった。院内感染対策チーム（ICT）、抗菌薬適正使用支援チーム（AST）、栄養サポートチーム（NST）、医療安全、緩和医療、褥瘡対策、糖尿病教室などのチーム医療に、薬剤師の意見を反映できるよう取り組んでいる。

高額な医薬品が増えつつあるが、医薬品の採用や購入、在庫管理において細心の注意を払い、使用期限切れや破損など、経済損失リスクの管理に取り組んでいる。

日々更新される医薬品情報の管理は、DI を通じて、よりタイムリーな安全性情報や薬剤情報等の発信に注力している。薬学部学生の育成に対する取り組みとして、実務実習の学生を受け入れていたが、今年度は受け入れできなかった。6 年度からは２名を受け入れ、未来の薬剤師の育成と実習受入れ施設としての役割を果たしていく。

全病棟および部門の救急カートの管理や毒薬・劇薬・向精神薬の管理、カリウム製剤の管理、また HCU・中央手術室・救急センターにおける麻薬管理など、医薬品のリスクマネジメントにおいても、重要な役割を担っている。

外来化学療法室においては、薬剤師による抗がん剤のレジメンチェックや登録、ミキシング、個々の患者への説明や服薬指導および副作用のモニタリングを行い、外来がん化学療法の中心的役割を担っている。医薬分業関連では、薬薬連携カンファレンスによる化学療法レジメンの勉強会や解説を行いながら、地域薬剤師会と意見交換を通し、連携強化をはかっている。また、後発医薬品の普及促進のため、一般名処方も可能にしている。

３．今後の目標

①病棟業務,外来化学療法関連の診療報酬算定継続
②後発薬品使用率の向上
③医薬品情報室の機能強化
④チーム医療への参画
⑤専門・認定薬剤師の育成
⑥地域薬局と病院薬剤部との連携の強化

（文責：堀口　裕之）

３．診療支援部

（1）放射線室

１．スタッフ

診療放射線技師　23 名　会計年度任用職員　1 名
看護師 1 名
受付事務 1 名

２．令和４年度事業目標

①外来センター全身用Ｘ線ＣＴ診断装置の更新
②PET-CT 検査利用件数増
③画像等手術支援加算（ナビゲーション）の算定

３．令和 5 年度事業目標達成状況

①令和 5 年 12 月 16 日～令和 6 年 1 月 5 日に入替工事実施、停止期間を短縮し装置の導入を行いました。接続、調整は問題なく終了し、心臓ＣＴ等の検査精度も向上し現在まで順調に稼動しています。
②予約枠など検討し件数増を試みたが運営目標の 93.1%の検査数にとどまりました。
来年度より新たに認知症診断のためのアミロイド PET 検査を導入できたので件数増に期待したい。
③外科・整形外科の手術適応症例において、術前 CT 検査から 3D 画像を再構築し手術前および手術中に画像参照できるように PACS に転送を行った。今年度の算定実績は 61 件となりました。

４．今後の課題

①高精度医療機器（X 線 CT・MRI・PET-CT 等）有効活用の為に、人員配置、予約枠など検討し検査件数増加を図る。また、地域医療機関と連携し医療機器共同利用においても検査件数を伸ばしていきたい。
②診療用放射線に係わる安全管理体制に関する規定に基づき対象となる医療機器等の線量管理を実施し放射線量の適正化をはかり、診断に最適な画像提供と、被ばく線量低減を進め、安全かつ適切な検査を行っていく。

③医療安全対策として、患者氏名・検査内容・同意書・体内デバイス（ペースメーカー・ICD等）・体内金属等について確認作業を徹底し、事故のない、安全で確実な検査を実施できるように努めていく。

④医師の負担軽減を目的とした、タスクシフト／シェアを推進することから、診療放射線技師の業務を拡大するための法改正が行われました。この業務拡大により造影剤を使用した検査や核医学検査のために、静脈路を確保する行為、核医学検査医薬品投与終了後に抜針及び止血を行う行為などが追加されました。新たに追加された行為を行おうとするときは、厚生労働大臣が指定する研修（告示研修）を受けなければならない、とされています。

また、上記行為を行う場合は、医師又は歯科医師の具体的な指示の下に行う必要があり、アナフィラキシーショック等が生じた場合には医師又は歯科医師が適切に対応できる体制の下で行うなど、安全の確保を十分に図るものとすることとされております。このため所属技師の研修受講をすすめ、院内においても安全の確保や緊急時の対応、教育体制の確立、業務拡大に伴う人員補充、他部署との連携などの運用体制を確認し新たに追加された行為を安全に行えるようにしていきたい。

（文責：萩原　茂紀）

（2）検査室

1．スタッフ

検体検査 11 名　生理機能検査 9 名　会計年度職員 3 名　室長

2．業務の現況

新型コロナウイルスの扱いが 2023 年 5 月より 5 類分類となり、検査出検数や対応・行動にある程度大きな変化があるかと思われましたが、前年とさほど変わらず推移いたしましたが年明けくらいから出検数の減少が見られました。

昨年度に新規導入した検査項目は 6 月に β2 マイクログロブリン、そして 2 月にビリルビン試薬を変更し、直接ビリルビン測定から抱合型ビリルビン測定へ切り替えました。

β2 マイクログロブリンは、外注から院内検査になったということで検査結果を直ぐに診療に役立てられ患者さんや臨床に貢献できたと考えております。

直接ビリルビンは、当院において長年 δ（デルタ）ビリルビンを計り込む試薬が使用されてきていましたが、その試薬は間接ビリルビンの一部も計り込んでいることがデータ相関取りの時に判明し、実際の値よりも高く報告されている傾向にあり減黄期の病態を把握しやすい抱合型ビリルビン測定の試薬を採用することにしました。採用後は、クレームやトラブルもなく順調に稼動（推移）できていると考えています。

4．今後の目標

・10 年以上使用している自動分析機の入替え計画と調整を計る。
・認定制度資格を取得する技師と超音波検査を実施できる女性技師の増員および育成を図る。
・タスク・シフト／シェアの資格取得者を増やす。

（文責：相馬　千恵子）

（3）リハビリテーション室

1．スタッフ

公立藤岡総合病院	リハビリ医師 3 名	兼務医師 13 名		
	理学療法士 27 名	作業療法士 20 名	言語聴覚士 10 名	看護師 1 名
訪問リハビリ部門	理学療法士 4 名	作業療法士 1 名		
介護老人保健施設	理学療法士 2 名	作業療法士 2 名		

２．業務の状況

病院部門は急性期部門、回復期リハビリ部門、外来部門に分かれています。

急性期は発症早期からの介入により、早期離床・廃用予防を促し最終的な機能的予後を高めるよう努めると共に、他職種との連携を密に取りながら入院期間の短縮に貢献できるよう努めております。また、院内の栄養サポート・がん緩和医療・糖尿病・褥瘡・フットケアチーム医療にも参加しております。必要な患者様には土日祝日のリハビリ提供も行っております。回復期リハビリは、より濃密なリハビリが提供できるよう人員を増やし患者様個人のレベルに合わせ職場復帰や自動車運転の練習など社会復帰に向けたサポートを他職種と連携し行っています。外来では回復期・生活期のリハビリを担当しており、機能的改善と、より快適な仕事や趣味などを含めた在宅生活を送っていただけるよう努めております。また、一泊ドックご利用者の健康増進を目的とした運動指導の実施をおこない予防の視点でも関与しています。

訪問リハビリ部門では、通院でのリハビリが困難な患者様を対象に、ご自宅にてリハビリを提供しております。介護保険と医療保険のどちらでも対応が可能な体制をとっており、退院直後の在宅生活移行期や難病やがん終末期の患者様にも対応しています。現在、藤岡市内・旧新町・旧吉井町・埼玉県北部地域等を対象地域として実施しております。今後は、地域での生活を基盤とした地域包括ケアシステム推進に向けて、さらなる充実が必要な部門です。

介護老人保健施設では生活期のリハビリを担当しており、在宅強化型施設として入所・通所でのリハビリを実施しております。医療機関から家庭復帰への橋渡しを行うと共に、ご利用者がより快適な在宅生活をより長く送れるよう努めております。

リハビリテーション室は「患者様（利用者様）の立場に立ったリハビリテーションの実施」を基本理念とし、感染対策をしっかり行いスタッフ一丸となり臨床・地域貢献・研究・教育に邁進しております。

（文責：関根　圭介）

（4）栄養室

１．スタッフ

公立藤岡総合病院　管理栄養士８名（介護老人保健施設兼務１名）
業務委託職員 25 名（管理栄養士４名　栄養士３名　調理師６名
調理補助 12 名）

介護老人保健施設　業務委託職員８名（管理栄養士１名　栄養士２名　調理補助３名）

２．栄養室目標

『食べる楽しみ』『生きる喜び』につながる栄養管理

基本方針

①患者さん個々人にあった食事を提供します

②信頼される食のエキスパートを目指します

３．事業目標

①入院・外来の栄養指導の充実

②患者満足度の向上（食事）

４．業務の現況

（入院棟）

①給食管理業務

②個人栄養指導・・前年度比 5.7%増

③他部門との連携に努め、チーム医療に積極的に参加しています。

④特別食割合・・前年度比 16%増
④糖尿病教室や腎臓病教室で「簡単レシピ」を紹介しています。
（外来棟）
①個別栄養指導・・前年度比 12.3%減
②糖尿病透析予防管理料・・前年度比 47%増
③人間ドック講話のテーマ：「主食」「主菜」「副菜」を意識してバランスの良い食事を心掛けましょう
（介護老人保健施設しらさぎの里）
管理栄養士が入所時に食形態の写真を提示し食事内容の聞き取りを行い、安全で美味しくさらに楽しい環境で食事が出来るよう栄養面や環境面でのサポートを行っています。また、行事食・おやつレクレーション・笑顔になれるメニューを職員全員で考え提供しています。
ミールラウンドを行い、食欲不振や嚥下障害のある利用者には適切な食事を提供できるよう他職種と協力しながら栄養管理を行っています。引き続き低栄養予防や褥瘡予防、疾病に合わせた食事の提供に力を入れていきます。

５．今後の目標
当年度は多くの患者に栄養指導を行い、在宅医療機関とも栄養連携を深め地域の健康増進に貢献することができました。来年度も引き続き地域医療に貢献できるよう専門知識の向上に努め、患者から信頼される管理栄養士となれるようスタッフ一同努力してまいります。
食事提供は、満足度調査の結果を食事内容に取り入れ、栄養室の目標である「食べる楽しみ」「生きる喜び」に繋げられるよう多職種で取り組んでまいります。

（文責：堀越　勝）

（５）臨床工学室

１．スタッフ
臨床工学技士８名

２．業務内容
①透析室：回路の組み立てやプライミング、穿刺、返血、透析中の血圧確認や透析装置のチェック、透析装置に供給する透析液を作る機械室の点検などを行っています。またアフェレーシス・PMX・CART といった治療の機器操作も行っています。その他、告示研修終了により動脈表在化穿刺、穿刺困難者エコー下穿刺も行っています。
②手術室：麻酔器の始業点検の他に内視鏡や顕微鏡といった医療機器の管理、トラブルにも対応しています。
③高度治療室（HCU）：呼吸・循環・代謝などの容態が悪化している患者さんに対して人工呼吸器や補助循環装置などの生命維持管理装置の操作や稼働中の点検、また高流量酸素療法（NFNC）、除細動器、体温管理装置などの点検・管理も行っています。また 24 時間 CHDF も行っています。
④心血管カテーテル室：ペースメーカの植え込み手術の立ち会いを行っています。また MRI 検査前後、手術前後のペースメーカチェックも行っています。緊急時には補助循環装置（ECMO・IABP）介助、ロータブレーター介助も行っています。
⑤ME 機器中央管理室：機器管理システムを導入し、始業点検や必要に応じた定期点検を行っています。また輸液ポンプや人工呼吸器、テレメータなどの医療機器の貸し出し返却を行っています。
⑥その他：上記で挙げた業務の他にもペースメーカ外来や遠隔モニタリング、自動心臓マッサージシステム・保育器・ネブライザー等の点検にも関わっています。また RST（呼吸療法サポートチーム）にも加わり人工呼吸器の適正使用や早期抜管への取り組みに積極的に介

入しています。新規導入医療機器や新人教育を踏また勉強会も随時開催しています。

３．目標

臨床においては充分な感染対策を取り診療科や急性期・慢性期を問わずさまざまな場面で治療に使用される医療機器の安全利用を通じて管理や保守点検の強化を図り事故を起こさぬよう患者さんの治療に貢献していく。

４．業務実績

透析年間回数 14329 回、病棟出張透析回数 99 回、血漿交換 10 回、G-CAP10 回、DHP 61 回、CART8 回、CHDF1 回。麻酔器始業点検 1480 回。人工呼吸器（マスク含）使用中点検 1700 回、NFNC 使用中点検 1517 回。ペースメーカ新規植え込み 42 件。ジェネレータ交換 19 件。MRI 対応 29 件。外来 576 件、臨時チェック 311 件。緊急呼び出し（透析・ME 機器）44 件。ME 機器点検・修理（ポンプ等）149 件。

５．ME 機器台数

人工呼吸器 14 台、NPPV 装置 9 台、NFNC6 台、テレメータ関連 293 台、IABP3 台、ECMO2 台、除細動器 16 台、輸液ポンプ 160 台、シリンジポンプ 60 台、人工透析監視装置 31 台、保育器 13 台、超音波ネブライザー30 台、Arctic sun3 台、麻酔器 7 台、自動心臓マッサージ装置 2 台。

（文責：宇津木　徹）

（6）視能訓練室

１．スタッフ

常勤視能訓練士 2 名　会計年度職員 1 名

２．業務内容

診療日（月曜日・木曜日・金曜日午前）は主に眼科一般検査（視力・屈折検査、眼圧検査）や眼底写真検査（デジタル・自発蛍光眼底造影）、光干渉断層計検査、角膜内皮細胞検査などを主に行っておりますが、視力低下や視野欠損、複視等、緊急性の高い疾患に対する視野検査などの特殊検査も診察日当日に実施しております。

検査日（火～水曜日）及び金曜日午後(手術日)は視野検査（静的視野検査・動的視野検査・両眼単一視野）や斜視弱視検査及び訓練、網膜電位図検査や眼筋機能検査、眼鏡処方検査・白内障手術前検査及び眼内レンズの度数計算など専門的特殊検査を行っております。

３．業務実績

眼科一般検査：視力検査 6,705 件・眼圧検査 6,342 件・屈折及び角膜曲率半径検査 5,256 件
眼科特殊検査：視野検査 742 件・斜視弱視検査及び訓練 127 件・眼球運動検査 17 件・眼鏡検査 133 件・光干渉断層計撮影 3,231 件・眼底写真撮影（自発蛍光撮影を含む）1,298 件・網膜電位図 0 件・色覚検査 20 件・角膜内皮細胞検査 275 件・角膜形状解析検査 6 件・眼軸長測定 94 件　等

４．今後の目標

令和 6 年度は月・火（午前）・木・金曜日が診察日となり、診療曜日により群大医師交替となるため、診察及び検査が速やかに行えるように体制を整えます。

近年、「日本眼科啓発会議」によりアイフレイル（(加齢による目の機能低下）という概念が提唱されています。眼疾患による目の不調を早期発見するために患者様の話しを聴きとり、早期治療へと導くことも視能訓練士の重要な役割と考えています。

今後も検査技術の向上と新しい知識の習得に取り組み、正確な検査を行い医師の診療に繋げること、また、患者様が理解しやすい説明を行い安心して検査を受けていただくよう努めていきます。

（文責：宮本 恵子）

（7）歯科衛生室

１．スタッフ

常勤歯科衛生士２名（内１名令和５年６月～育児休暇より復職）

会計年度歯科衛生士２名

２．業務内容

１）診療補助

歯科口腔外科診療日の午前中は主に初診患者、午後は再診患者、入院患者の往診での診療補助を行っております。また、近医歯科医院等より紹介のある智歯の抜歯、全身疾患を有する患者の抜歯、顎口腔領域の粘膜疾患・腫瘍・嚢胞の組織検査や治療、顎口腔領域の軟組織損傷・顎骨骨折など、局所麻酔下での処置が可能な場合は外来で外科処置が行われるため、その補助を行っております。全身麻酔下の手術は、月曜日と木曜日の午後に行われるため、その手術補助を行っております。

２）予防処置、保健指導

当院で肺癌や消化器癌、乳癌等の手術を施行される患者の周術期において、気管内挿管時の歯牙脱落や術後誤嚥性肺炎、創部感染、歯性感染による敗血症や感染性心内膜炎などの発症予防を目的とした口腔機能管理を行っております。また、化学療法や放射線治療中に起こる口内炎や粘膜炎などの口腔内有害事象発現の予防や軽減を目的とした口腔機能管理も行っております。さらに、口腔衛生管理を必要とする入院患者に対して歯石除去、歯面清掃などの口腔ケア、歯ブラシやその他補助清掃用具の使用方法などセルフケアについて指導を行っております。糖尿病教育入院患者に対しても、歯周病コントロールが糖尿病コントールに関係することを説明し、かかりつけの歯科医院へ定期的に受診する必要性を指導しております。

３）その他

器材を含めた歯科口腔外科外来診察室の管理を行っております。また、患者からの問い合わせや予約取得、変更などの電話対応や病棟との連絡調整も行っております。

さらに、水曜日の午後は歯科医師の先生方とともに栄養サポートチームのラウンドに参加させていただいております。

３．業務実績

歯科衛生業務：診療補助 5354 件、外来外科処置補助 431 件、全身麻酔下での手術補助 57 件、歯周検査 1136 件、歯石除去 341 件、機械的歯面清掃 544 件、歯科保健指導 29 件、歯膜清掃 583 件

周術期等口腔機能管理：Ⅰ（術前）75 件（術後）1 件、Ⅱ（術前）190 件（術後）264 件、Ⅲ（化学療法）265 件（放射線治療）17 件（緩和ケア）4 件

４．今後の目標

令和 5 年度は会計年度職員 1 名採用、6 月以降は常勤職員 1 名育児休暇からの復職により当部署において最多人数の 4 名体制となりました。業務体制の再構築を行うことで業務の効率性・

生産性の向上を図ることができ、少しずつではありますが業務数も増加し始めました。令和6年度は人員数に変化はありませんが、令和5年度で会計年度職員1名が退職し、新卒常勤職員1名が入職します。新人教育システムの見直しを行ってく中で脱属人化できるよう知識の共有を行うことができました。新人教育・指導を行いながらコミュニケーションが円滑に進み、情報伝達不足によるコミュニケーションエラーを防止できるよう環境整備にも邁進して参ります。

（文責：齊藤 由佳）

4．看護部

（1）看護部長室

令和5年度は、健全な経営への貢献、医療機能強化と良質な看護サービスの提供、大規模感染症対策、職員の働き方改革、医療スタッフの充実に主眼をおき、目標設定し達成に向け取り組んだ。

Ⅰ．令和5年度看護部事業目標および評価

1．健全な経営への貢献

1）病床利用率・稼働率の向上

①定期的に病床稼働率、平均在院日数を把握し、入院時から退院後を見据えた支援・介入を行い、急性期病棟利用率 83%・稼働率 92%、回復期リハビリ病棟利用率 75%・稼働率 75.3%、地域包括ケア病棟利用率 37.6%・稼働率 41.4%以上を目指す

DPC 期間Ⅱ超え患者割合 30%以内を目指す

ハイケアユニット管理料1算定に向けた準備

②差額室算定率の向上

各個室の利用状況、算定状況を把握し、個室の有効利用を進め 40%を目指す

2）急性期病棟平均在院日数短縮

11 日以下を目指す

【評価】

毎朝の看護師長ミーティングにて、平均在院日数・病床稼働率を共有するとともに、急性期入院患者の退院支援を円滑に行うために、退院支援部会を通じスタッフの退院支援カンファレンス参加を推進し退院調整を進めた。さらに回復期リハビリ病棟の利用推進のため回復期リハ病棟について啓発を図った。結果として、急性期病棟利用率 80.9%・稼働率 89.6%、回復期リハビリ病棟利用率 73.3%・稼働率 74.6%、地域包括ケア病棟利用率 59.4%・稼働率 64%であった。平均在院日数は、11.6 日、差額ベッド算定稼働率 34%であった。地域包括ケア病棟以外は、病床利用率・稼働率、平均在院日数、差額ベッド算定率ともに目標値に到達できなかった。また、DPC 期間Ⅱ超え患者割合 35%で目標達成には至らなかった。要因としては、入退院調整のバランスが取れず、退院患者が週末に集中し、平日に効果的な病床運用が行えなかったことと新型コロナウィルス感染症の流行に伴う病棟閉鎖が大きな要因と考えられる。次年度は、新型コロナウィルス感染症対応を継続しつつ、入院早期からの退院支援・調整の強化に努め、病床利用率・稼働率の向上、平均在院日数の短縮に努めていきたい。

また、ハイケアユニット管理料1算定に向け、HCU 病床の適正利用を推進するために、HCU および関連する一般病棟において看護体制の見直しを行った。

2．医療機能の強化と良質な看護サービスの提供

1）患者サービスの向上

①患者・家族の意思決定支援の実践

②IC 同席を推進し IC 時や IC 後の患者家族の反応を看護記録に記載する

③患者満足度調査を実施し現状を把握する。

④接遇・身だしなみの強化

接遇・身だしなみチェックを実施し遵守率 90%とする
接遇自己評価を実施する
⑤看護提供体制の検討
2）安全かつ質の高い看護の提供
①身体抑制フローに沿った対応遵守と抑制解除に向けたカンファレンスの実施　15 日以上拘束件数を 10 件/月以下にする
②患者確認を徹底し、患者誤認 0 を目指す
③インシデントレポートレベル別件数の把握とレベル 0 報告推進

【評価】

患者サービス向上では、昨年度から引き続き IC 同席と IC 時の患者家族の反応を記録に残すことに取り組み、IC 同席率は 90%で昨年度より 5%増となった。これは、各部署での努力の成果と看護師の意識の変化が大きいと考える。患者満足度調査では、昨年度と同様の調査を実施した。その結果、入院満足 89.5%（23 位/82 施設）昨年より 11.3%増、外来満足 80.4%（21 位/82 施設）昨年より 16.5%増となった。ご意見においても、感謝の言葉が増加し、看護師の対応への苦情は減少してきている。各部署に置いての接遇や患者さんへの対応の配慮の結果であると考える。しかし、これに甘んじることなくさらに良い評価をいただけるよう努力していく必要がある。

安全かつ質の高い看護の提供において、身体抑制解除に向けた取り組みとして、認知症看護検討部会において、一時解除件数や一時解除率を可視化し各部署へ周知を行った。さらに、解除に向けての事例検討も各部署で行った。その結果、抑制率は 3.4%で昨年より 1.4%減少した。これは、各部署での取り組みとともに認知症看護認定看護師の活動の成果でもあると考える。次年度は、身体抑制率減少とともに抑制しない看護の実現に向けて取り組んでいく必要がある。患者誤認件数は、53 件/年で昨年度よりも増加している。患者確認ルールが守られなかったことが要因である。次年度は、患者確認実施の徹底を進めるとともに、ルールが守られない背景を分析し、ルール遵守の意識づけを強化していく。インシデントレポートレベル別件数把握では、レベル 0 報告数は 1,007 件で、病院全体のレベル 0 報告数の 78.7%を占めている。次年度もレベル 0 報告推進を行うことで、アクシデント発生を抑制していく。

3．大規模感染症対策
1）新型コロナウィルス感染症対策と適切な看護の提供
①感染防止策の徹底
②クラスター発生時の拡大防止と適切な看護体制の維持

【評価】

新型コロナウィルス感染症が感染症法分類 5 類とはなったが、従来の対応の継続が必要である。感染対策の実践でも感染管理認定看護師、感染制御実践看護師が各部署と連携し支援を行い、適切な看護の提供に努めた。しかし、感染対策を講じていたにも関わらず、流行期の影響は大きく、看護職員の陽性者の発生、複数の病棟におけるクラスターの発生が見られた。病床運用としては、新型コロナウィルス感染症陽性者新規入院患者受け入れは原則南 7 階病棟とし、一般病棟入院後に陽性が判明した場合は当該病棟での対応とした。次年度も流行に備え、適切な対応を取る必要がある。クラスターの発生を最小限にとどめるよう感染対策の基本の徹底を推進していく。

4．職員の働き方改革
1）働きやすい職場環境の整備
①職員やりがい度の向上
②時間外勤務時間の把握
③看護職員が就業継続できる環境の整備

育児支援制度利用の推進
ハラスメント対応の検討
離職率 5.8%以下

2）看護師の業務負担軽減
①夜間看護助手導入
②病棟クラークの導入

【評価】

職員やりがい度調査を昨年度から引き続き実施した。その結果は、職員満足 32.8%（25 位/103 施設）で昨年度より 1%減少した。ハラスメント対応については、看護師長会を中心に啓発ポスター掲示や安心な職場環境サポートブックを作成し、ハラスメントに対しての啓発に取り組んだ。離職率は、4.9%で目標値を下回ることができた。次年度も働きやすい環境の整備に取り組んでいく。

看護師の業務負担軽減では、夜間看護助手の導入、日勤看護助手の増員により負担軽減にはつながっているが、定着が課題である。病棟クラークは 1 名増員となり、配置病棟の看護職員の負担軽減につながっている。

5．医療スタッフの充実

1）人材育成の推進
①キャリアラダーレベル別研修実施と評価
②新人看護職員研修プログラム実施とプリセプターシップの運用
③実習指導者の育成
④専門・認定看護師、特定行為研修修了者の育成

2）優秀な人材の確保
①看護師・助産師の確保
②看護助手の確保

【評価】

人材育成の推進では、キャリアラダーレベル別研修をレベルⅠ～Ⅲ対象に実施した。研修内容は看護実践能力・組織役割遂行能力・人間関係形成能力・教育研究能力を向上させる目的の内容とし、e-learning や動画講義も取り入れた。初めて行う研修が多く、講師を担った看護職員の負担は大きいものがあったと思われるが、受講者の評価も良く、講師・受講者双方にとって効果的な研修となったと考える。新人看護職員研修については、集合研修と OJT を連携させた計画とし実施できた。基礎教育の状況に配慮した計画を実施するとともに、看護観や倫理観を養う研修を今後も充実させていく。また、適切な学生指導に繋げるため、実習指導者マニュアルを積極的に活用し効果的な臨地実習が行えるよう取り組んでいく。専門・認定看護師育成では、1 名が特定行為を含む感染管理認定看護師に認定された。

看護師・助産師の確保として、就職ガイダンス 2 回参加、当院主催就職説明会とインターンシップを開催した。インターンシップは今年度からの取り組みであるが、30 名ほどの参加があったが、就職ガイダンスや就職説明会参加者数は過去 3 年間で一番少ない状況であった。広報や情報発信の方法や内容の検討、実習環境の調整等に取り組む必要がある。看護助手の確保では、急性期看護補助体制加算 25：1、夜間看護補助体制加算 100：1 を算定できるまで確保はできたが、定着に繋がらない状況があり、看護助手定着に向けた対策に次年度取り組む必要がある。

（文責　髙田幸子）

（2）南 3 階病棟（HCU）

1．スタッフ

兼任医師 1 名、看護師 26 名、薬剤師 1 名、MSW1 名、医療事務 1 名、臨時看護助手 1 名、夜間看護助手 1 名

２．業務の概要

令和５年度事業目標

1）医療機能の強化と良質な医療サービスの提供

（1）せん妄予防ケアの充実

（2）患者誤認が昨年度より減少する

（3）I/A レポートレベル０の増加、レベル３の減少

（4）MDRPU の発生件数が昨年度より減少する

2）医療スタッフの充実

（1）人材育成の推進

①キャリアラダーレベル別研修を受講し、キャリアラダーを取得する

②HCU 看護の専門性を高める

3）職員の働き方改革

（1）働きやすい職場環境の整備

①計画的に年休を一人当たり６日/年取得する

②夜勤専従の導入及び早出業務の確率

4）健全な経営基盤の確立

（1）重症度、医療・看護必要度　を確実に評価する

（2）医療材料及び薬品の適正管理を行う

（3）平均在院日数を短縮する

5）大規模感染症対策

（1）手指衛生サーベイランス実施、患者一人当たりの一日の手指衛生回数 30 回

（2）針刺し・血液暴露が昨年度より低下する

当病棟は、環器疾患、脳血管疾患、呼吸器疾患などの重症患者や全身管理の必要な術後患者、そして COVID-19 感染症患者を受け入れている。今年度の実績は、入院患者延べ数 5329 人、平均在院日数 4.4 日、平均病床回転率 6.9%、平均病床稼働率 74.7%であった。

今年度は、医療機能の強化と良質な医療サービスの提供に力を入れ取り組んだ。また、病床数を 24 床から徐々に 16 床に減らし、HCU 入院料算定に向け取り組んでいるところである。スタッフがやりがいを持ち看護ができる、働きやすい職場づくり、専門性の高い看護の提供を行うため、今後も継続して取り組んでいきたい。

（文責：樋口　美恵子）

（3）南４階病棟

１．スタッフ

循環器内科医師６名、腎臓内科医師６名、糖尿病内科医師１名

看護師 27 名、看護助手３名、薬剤師１名、医療事務２名、MSW1 名

２．業務の概要

令和５年度事業目標

1）医療機能の強化と良質な医療サービスの提供

（1）患者サービスの向上

患者・家族の意思決定支援の実践

看護提供体制の検討

（2）安全かつ質の高い看護の提供

身体拘束０、患者誤認０に向けた取り組みの実施と評価

2）健全な経営基盤の確立

（1）安定的な収入確保、支出の削減を実現する
平均在院日数の短縮
差額ベッド算定稼働率の向上
3）大規模感染症対策
（1）新型コロナウイルス感染症対策と適切な看護の提供
感染防止対策の徹底とクラスター発生の抑制
4）職員の働き方改革
（1）働きやすい職場環境の調整
有給休暇取得6日以上に向けた取り組み
夜勤時間72時間以内
看護職員離職率5.8%以下

3．業務実績

令和5年度の実績は、入院患者延べ数15418人、平均在院日数11日、平均病床稼働率99.9%、平均病床回転数30.1回であった。

患者サービス向上のために病状説明の同席を促進し、病状説明の見える化を図り患者・家族の意思決定支援につなげた。看護提供体制の検討はリーダー・メンバー業務の見直しを行い、看護師1人当たりの受け持ち患者数を減らし看護の質向上に向けて取り組んだ。安全かつ質の高い看護の提供については、抑制解除のカンファレンスを毎日実施し身体拘束0にむけ取り組むことができた。大規模感染対策については手指サーベイランス調査を毎月行い、その結果をグラフ化することによりスタッフの意識向上につなげクラスター発生の抑制につなげた。

少子高齢化の中で患者家族のニーズは複雑・多様化し、さらに平均在院日数は短縮し多職種連携も増え看護をとりまく環境は増々厳しくなっている。このような状況の中においても継続して責任の持てる患者中心の看護の提供を目指し、患者が安心して入院できるよう注力していきたい。

（文責：針谷　ゆかり）

（4）南5階病棟

1．スタッフ

整形外科医師6名、脳神経外科医師3名、看護師29名（認知症看護認定看護師1名（12月異動））、看護助手1名、夜勤看護助手3名、薬剤師1名、MSW1名、管理栄養士1名、医療事務2名、病棟クラーク1名

2．業務の概要

令和5年度目標

1）医療機能強化と良質な医療サービスの提供
（1）患者サービスの向上
（2）安全かつ質の高い看護の提供
2）健全な経営基盤の確立
（1）病床利用率・稼働率の向上
（2）重症度、医療・看護必要度基準値のクリア
3）職員の働き方改革
（1）働きやすい職場環境の整備
（2）看護師の業務負担軽減
4）人材育成
5）大規模感染対策
（1）新型コロナウィルス感染症における適切な感染管理と看護の提供

（2）院内感染防止対策の実施

３．業務実績

令和 5 年度の実績は、入院患者延べ数 15,652 名、平均在院日数 11.8 日、病床利用率 91.1%、病床稼働率 98.9%、平均病床回転数 2.6 回、整形外科手術件数 699 件、脳神経外科手術 199 件、うち血管内治療 85 件であった。

良質な医療サービスの提供の一環として、看護提供体制について検討した。日勤スタッフの受持患者数を均等化し、担当業務を明確にして、患者サービスの向上に努めた。また、業務整理を行い、夜勤助手や病棟クラークへ業務を移行し、看護師の負担軽減を図った。クリニカルパスは 5 件作成、既存パス 3 件の見直し、当科特有の業務などの手順書やチェックリストを見直し、質の確保と記録の効率化を図った。退院支援においては、入院時から他職種で介入し、カンファレンスによる意見交換を基に、患者家族の意向を確認しながら早期離床に努め、退院支援を行った。IC には同席し、患者家族の受け止め方や希望を看護記録に記載し、カンファレンスで共有した。また、身体抑制低減に向けて、切迫性、代替性、一時性の 3 要件をもとに検討し、抑制解除に取り組んだ。毎月の抑制件数、一時解除、全解除件数は可視化して部署内で共有した。重症度、医療・看護必要度平均は 37.1%だった。新型コロナ感染拡大においては、病棟閉鎖、転院延期、調整先のクラスター等が影響し、平均在院日数は前年度より 0.2 日遅延した。感染対策として業務手順の見直し、環境整備を行い、手指衛生や標準予防策を強化した。

今後も、安全で質の高い看護を目指し、患者、家族の気持ちに寄り添った看護を提供していきたい。

（文責：神宮　由香）

（5）南 6 階病棟

１．スタッフ

医師 7 名（泌尿器科 3 名、血液内科 4 名）、看護師 24 名、准看護師 1 名、看護助手 1 名、夜間看護助手 2 名、MSW1 名、薬剤師 1 名、管理栄養士 1 名、医療事務 2 名

２．業務の概要

令和 5 年度は、看護部の目標に沿って以下の内容に取り組んだ。

1）医療機能の強化と良質な医療サービスの提供
（1）患者満足度の向上
（2）安全かつ質の高い看護の提供
（3）接遇・身だしなみの強化
2）健全な経営基盤の確立
（1）病床利用率・稼働率の向上
（2）差額ベッドの利用率向上
（3）重症度、医療・看護必要度基準値のクリア
（4）医療材料の適正管理
3）職員の働き方改革
（1）働きやすい環境の整備
（2）ハラスメント対策の強化
4）大規模感染症対策
（1）新型コロナウイルス感染対策の強化
5）人材育成の推進
（1）人材育成の推進

病床数 46 床を有する泌尿器科と血液内科の混合病棟である。46 床のうち 13 床は無菌管理

区域病床であり、白血病や悪性リンパ腫など血液がん患者の抗がん剤治療を行っている。

３．業務実績

令和５年度の実績は、入院患者延べ数 12709 名、月平均入院患者数 1059 名、平均在院日数 11.12 日、平均病床回転率 24.5%、平均病床稼働率 8.21%であった。

患者満足度の向上を図るため、業務効率主体から患者中心の看護に向け、ペアナーシング体制を前年度導入した。令和６年度はペアナーシング導入後の評価と課題の明確化を図るとともに、各看護師が目指す看護師像へ近づけるようコアメンバーを中心に活動を行った。

今後も、看護部理念に基づき人間愛に基づいた専門性の高い看護サービスの提供を目指していきたい。

（文責：齊田　亜弓）

（６）南７階病棟

１．スタッフ

医師１名、看護師 19.4 名（認知症看護認定看護師１名含む）看護助手 1.8 名、薬剤師１名（兼任）理学療法士１名（専従）、MSW1 名（専従）、医療事務１名（兼任）

２．業務の概要

令和５年度所属別行動計画

1）地域包括ケア病棟の健全経営

病床利用率・稼働率の向上

新規入院患者４割以上、在宅復帰率 72.5%の維持

2）医療機能の強化と良質な医療サービスの提供

患者満足度の向上

安全かつ質の高い看護の提供

3）新型コロナウイルス感染症対策と適切な看護の提供

３．業務実績

令和５年度は、入院患者延数 10,370 名、平均入院患者数 28.4 名、平均在院日数 12.8 日、病床回転率 2.4、病床稼働率 60.3%であった。

当病棟は、令和 2 年度より引き続き地域包括ケア病棟と併用して新型コロナウイルス感染症患者受け入れ病棟として稼働している。５月より５類移行に伴い入院患者は 166 名/年と減少した。そのため地域包括ケア病棟として、稼働率が前年度 37.5%から 60.3%へ上昇したが、新型コロナウイルス感染症患者以外の新規入院患者数は８名のみだった。

安全かつ質の高い看護の提供では、身体拘束解除に向けた取り組みを継続しており、今年度も認知症看護認定看護師及び病棟内の認知症ケアチームを中心に、勉強会の開催や解除に向けたカンファレンスを必要時タイムリーに実施できている。転棟時の抑制実施者 9 名のうち完全解除できた件数は５件、一時解除は４件だったが解除のためのカンファレンスを繰り返すことにより、スタッフの意識が「どうすれば外せるか？」へシフトし積極的な取り組みへ繋がっていると考える。

新型コロナウイルス感染症対策と適切な看護の提供では、院内感染防止対策として適切な手指衛生の実施をあげた。手指衛生サーベイランスは年間 20 回だったが、下期の手指衛生直接観察では患者に触れる前が 50.6%、触れた後が 84.4%と低値のため次年度はより一層改善に取り組む必要がある。

今後もこれまで同様、安全な療養生活を確保しながら、患者・家族の意思を尊重し適切な退院支援に繋げられるよう取り組みたい。

（文責：江原　忍）

（7）北２階病棟（回復期リハビリテーション病棟）

１．スタッフ

リハビリテーション科医師２名、看護師 23 名、看護助手４名、理学療法士５名、作業療法士２名、言語聴覚士１名、薬剤師１名、MSW1 名、管理栄養士１名、医療事務１名

２．業務概要

令和５年度事業目標

1）医療機能強化と良質な医療サービスの提供

（1）同一患者の転倒転落を繰り返さず看護を行える

（2）患者・家族に寄り添った看護の実践、安全・安楽を守り倫理的配慮を考慮した看護の提供

（3）病棟スタッフが６チームに別れ、個々が役割を果たしリハビリテーション看護の質の向上のため活動を行う

2）健全な経営基板の確立

（1）回復期リハビリテーション病棟入院基本料１の要件の維持（重症度 40%以上の受け入れを急性期病棟とタイムリーな連携を図る）

（2）回復期リハビリテーション病棟　利用率　71.9%　稼働率　71.2%（令和４年度）以上維持

3）職員の働き方改革

（1）個々が役割を認識しやりがいを感じられる職場環境

（2）有休取得率をアップしワークライフバランスの充実を図る

（3）働きやすい職場環境の整備

３．業務実績

令和５年度の実績は延べ入院患者数 12､862 人､平均在院日数 56.3 日､平均病床稼働率 73.2%であった。身体抑制 0 を維持するため倫理カンファレンスを行い、患者さんにとって最善は何か、その人らしさを考え、見守りの看護の充実を図った。また、回復期リハビリ病棟の患者さんは入院生活が長くなる中、コロナ禍で家族との面会が十分に行えないため、リハビリ意欲の向上につながるよう、気分転換、楽しみを感じられるようレクレーションを充実し、七夕飾り、運動会、クリスマス会、節分の行事を継続して行った。退院支援は他職種で連携し、患者、家族の意向に沿った退院先を叶えられるよう力を入れているため、今後も、患者の回復が最大限になるようチームで協力し支援していきたい。

（文責：久保　愛）

（8）北４階病棟

１．スタッフ

医師９名、非常勤医師６名、助産師 17 名、看護師 11 名、看護助手１名、夜間看護助手２名、薬剤師１名（兼任）、MSW1 名（兼任）、医療事務２名（兼任）

２．業務の概要

当病棟は、病床数 38 床の小児科、産婦人科、歯科口腔外科、眼科、乳腺外科、内科の混合病棟である。主に産科では周産期管理、婦人科、歯科口腔外科、眼科および乳腺外科では手術治療、婦人科、歯科口腔外科では化学療法、終末期医療を行い、令和５年度の延べ入院患者数 7374 名､分娩件数 162 件､手術件数 414 件､平均在院日数 7.0 日､平均入院患者数　23.5 人、平均病床稼動率 71.2%であった。

３．業務実績

令和５年度は、看護部の目標に沿って以下の取り組みを行った。

1）医療機能の強化と良質な医療サービスの提供

・患者サービスの向上

・チーム医療の充実

・医療安全管理体制の充実

2）医療スタッフの充実

・新人・ローテーター看護師・助産師の育成

・NICU 担当、眼科担当、歯科口腔外科担当の出来るスタッフの養成

・NCPR 講習会およびアップデート講習を企画・実施し、資格有効期限を延長する

3）大規模感染症対策

・新型コロナウイルス感染防止対策の強化

・その他の感染症防止対策の強化

NICU を持つ小児科と分娩を取り扱う産婦人科を含む混合病棟であり、助産師・NICU 担当看護師などそれぞれ役割を担いつつ、多職種と連携して、様々な状態の患者さんやご家族のケアを行った。新興感染症に対して、感染防止対策を見直し、感染に留意しながら分娩の介助、患者さんへのケアを実施する事ができた。また、クリニカルパスを作成・運用し、多様な診療科の患者さんに対しても一定の水準を担保した治療やケアを行うことに努めた。

今後も、患者さん一人一人に寄り添い、患者様の満足と看護者のやりがいのある看護を提供するため、スタッフの看護実践能力を高め、看護の質向上につなげていきたい。

（文責：中村　道子）

（９）北５階病棟

１．スタッフ

医師９名、看護師 27 名、会計年度看護師１名、会計年度看護助手１名、薬剤師１名、MSW1 名、医療事務１名、病棟クラーク１名、夜間補助者２名

２．業務の概要

令和５年度の目標

1）医療機能の強化と良質な医療サービスの充実

・患者満足度の向上

・安全かつ質の高い看護の提供

2）健全な経営基盤の確立

・病床利用率、稼働率の向上

・平均在院日数の短縮

3）医療スタッフの充実

・キャリアラダーレベル別研修の推進

・外科専門分野、緩和ケア研修参加推進

4）職員の働き方改革

・働きやすい職場環境の整備

・短時間夜勤の継続

5）大規模感染対策

・新型コロナウイルスの感染症対策と適切な看護の提供

３．業務実績

2023 年度の実績は入院患者数延べ数 13,761 名、平均在院日数 9.1 日、平均病床稼働率 91.0%、

平均病床回転率 3.2、手術件数 436 件であった（主な手術は大腸癌、直腸癌、胃癌、乳癌、胆石症、鼠径ヘルニア）。

医療機能の強化と良質な医療サービスの提供として、患者の意志を尊重し患者・家族に寄り添った看護の供と接遇の強化に努めた。また 6 月には緩和病床の充実を図るためスタッフ 4 名が参加し富岡総合病院緩和ケア病棟の見学を行った。

健全な経営基盤では、医師や他職種と連携し退院支援を強化、在院日数の短縮に努めることができた。

医療スタッフの充実では専門性を高め質の高い看護の提供を行うため、がんリハビリテーション研修、ストーマケア研修、認知症看護研修を受講し専門的な知識、技術の向上に努めることができた。またスタッフ 1 名が感染管理教育課程を修了し認定資格取得ができた。認定看護師は 4 名となり、各分野の専門性を発揮し組織横断的な活躍ができている。

職員の働き方改革では、夜勤負担の軽減のため短時間夜勤の継続と、子育て世代の看護師が仕事と家庭の両立ができるよう時短勤務が継続できている。

今後はＡＣＰを含めた意思決定支援と、患者や家族ケアの充実ができるようスタッフ全員で取り組んでいきたいと考える。

（文責：髙木　元美）

（１０）北６階病棟

１．スタッフ

医師：呼吸器内科 4 名、呼吸器外科 2 名、消化器内科 1 名、皮膚科 1 名、看護師：28 名、看護助手：4 名（夜間 2 名）、薬剤師 2 名（兼任）、医療事務：1 名、MSW：1 名、管理栄養士 1 名

２．業務の概要

令和 5 年度事業目標

1）健全な経営基盤の確立「安定的な収入確保、支出の削減を実現する」

（1）病床利用率、稼働率の向上、平均在院日数の短縮、差額ベッド利用率の向上と重症室適正使用

（2）DPC を意識した病床利用

（3）重症度、医療・看護必要度基準値クリア

（4）医療材料の適正管理

2）医療機能の強化と良質な医療サービスの提供「患者サービスの向上」「安全かつ質の高い看護の提供」

（1）入院患者満足度の向上、身体拘束 0 を目指す

（2）患者・家族への意思決定支援の実践と倫理的問題検討の推進

（3）IA レポート 0 提出の推進、患者誤認 0 を目指す

（4）クリニカルパスの見直しと新規作成

3）医療スタッフの充実「人材育成の推進」

（1）新人教育プログラムに沿った教育計画の実施

（2）キャリアの整合性を図りラダーに合わせた看護実践及び研修参加

（3）キャリアラダーレベルに沿った目標設定の実施

4）大規模感染対策「新型コロナウイルス感染対策と適切な看護の提供」「院内感染防止対策の実施」

（1）新型コロナウイルス感染症対策、5 類後の感染防止対策の徹底

（2）手指サーベイランスの実施と結果を踏まえた対策の強化

5）職員の働き方改革「働きやすい職場環境の整備」

（1）1人当たりの夜勤時間の平均化
（2）ハラスメントに対する意識向上を図り、ハラスメントでの離職者0
（3）有給休暇6日以上の取得

３．業務実績

令和5年度の病棟実績は入院患者延べ15,758人、平均在院日数11.9日、平均病床稼働率98.9%、平均病床利用率91.6%、重症度、医療・看護必要度37.99%で、急性期病棟の中でも稼働率、利用率は常に高く推移している。

当病棟は呼吸器内科、外科・消化器内科・皮膚科における急性期病棟としての役割を担っている。国民の5人に1人が後期高齢者という超高齢化社会を迎え、複数の疾患を合併する患者も増えており、入院中に更なる合併症を併発する患者さんもいる中、私たち1人ひとりが専門職としての自覚をもって多職種でのチーム医療の推進を強化すると共に、入院時の状態を悪化させることなく治療を進めていけるよう退院後の生活を見据えた支援を意識して取り組み、患者・家族の思いを受け止め、寄り添う看護の実現を目指している。

（文責：南雲　和子）

（１１）人工透析室

１．スタッフ

医師5名　看護師8名　准看護師1名　臨床工学技士8名

２．業務概要

令和5年度事業目標

1）医療機能の強化と良質な医療サービスの提供
（1）患者満足度の向上
（2）安全な透析環境の提供
2）健全な経営基盤の確立
（1）取得可能な加算体制の維持
（透析導入期加算２、透析時運動等指導加算）
（2）フットケア外来の充実
3）大規模感染対策
（1）新型コロナウイルス感染防止対策の強化
（2）院内感染防止体制の強化
4）職員の働き方改革
（1）スタッフの業務負担軽減
（2）働きやすい労働環境の整備

３．業務実績

令和5年度は上記の事業目標を掲げよりよい透析室運営に努めた。年間の血液透析の延べ件数は14,315件、新規導入血液透析件数は72件であった。令和4年度診療報酬改定から新設された透析時運動等指導加算を継続し、透析中の腎臓リハビリテーションを実施することにより、透析患者のADL、QOLの向上に努めた。また、腎臓リハビリテーションを実施するにあたっては、医師、看護師、臨床工学技士、リハビリスタッフなどの協力が不可欠であり多職種協働につながった。

人工透析室では、年間30件以上の腎代替療法選択指導を実施しており、患者・家族の意思決定を尊重し個別性を重視した看護を提供できるよう努めている。

（文責：武井　浩之）

（１２）中央手術室

１．スタッフ

看護師　17 名

２．業務の概要

令和 5 年度事業目標と達成状況

1）健全な経営基盤の確立

（1）年間（2019.4～2023.3）平均件数 2395 件以上

（2）急性期病院として年間全身麻酔手術件数 1250 件以上の確保

2）医療機能の強化と良質な医療サービスの提供

（1）患者サービスの向上

3）職員の働き方改革

（1）業務分担をして看護業務に専念できる

（2）職員やりがい度の推進

4）大規模感染対策

（1）新型コロナウィルス感染症対策と適切な看護の提供

（2）院内感染防止対策の実施

３．業務実績

令和 5 年度の手術件数は、血管撮影室で行われる血管内手術を含めて 2,408 件と目標の平均件数より 13 件多く、全身麻酔件数も 1,253 件と目標件数を上回った。令和 3 年度から 3 年間手術件数に大きな増減はなく、手術件数を維持している。

今年度の目標に対する評価として、手術件数の維持は出来ており、適切な手術運営が行えた。術後訪問で患者からスタッフの評価を聞き、「よかった」という評価が半数を超えていた。「悪かった」という評価は無く、手術室スタッフの対応はよい評価を得ることが出来た。

職員のやりがい度の推進に対して、年次有給休暇の取得をはかり、平均して約 10 日の年次有給休暇が取得でき、ワークライフバランスの推進に向けた調整が行えた。

急性期病院の手術室として、今後も安心で安全な手術が受けられるようにチーム力を発揮し、今後も地域医療に貢献していきたい。

（文責：宮原　裕三）

（１３）内視鏡センター

１．スタッフ

内視鏡担当兼務医師 21 名（消化器内科、外科、呼吸器内科、非常勤含む）、看護師 14 名、准看護師 1 名（消化器内視鏡技師 7 名含む、臨時職員 4 名含む）

２．業務概要

令和 5 年度事業目標

1）医療機能の強化と良質な医療サービスの提供

（1）患者満足度の向上　接遇、身だしなみ強化

（2）チーム医療の充実と医療安全の維持向上

（3）安心、安全な内視鏡看護の提供

2）大規模感染症対策

（1）新型コロナウィルス感染対策の実施と看護の実践

3）職員の働き方改革

（1）働きやすい職場環境の整備

（2）年次有給休暇の取得　短時間有給休暇の取得

4）医療スタッフの充実
（1）看護師の専門性の向上
（2）人材育成の推進
（3）人事評価目標の適切な設定

３．業務実績

令和5年度内視鏡センター実績は、上部消化管検査5,665件、下部消化管検査1,519件、内視鏡的膵胆管造影50件、気管支鏡検査126件、下部ポリペクトミー及びEMR530件、ESD（早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術）54件、EST（内視鏡的乳頭括約筋切開術）31件、ERBD（内視鏡的逆行性胆汁ドレナージ）14件、であった。

医療機能の強化と良質な医療サービスの提供を目標に、患者さんにとって満足度の高い内視鏡医療を提供するため、最先端の内視鏡機器を導入した。内視鏡治療では最新の技術で、早期悪性腫瘍に対するESD（早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術）を実施し、前年度比は増加した。リーダー看護師を中心に、患者さんが、安心、安全に内視鏡医療が受けられるよう、報連相の徹底、安全面の強化と、質の高い看護サービスを提供した。また、日中の検査、治療だけでなく、休日及び夜間は救急センターで業務し24時間、緊急内視鏡に対応している。インシデントカンファレンスを実施し、レベル0、レベル1のIAレポート件数は昨年度より上回って提出でき、対策に取り組むことができた。接遇については、患者からのクレームは無く、ハラスメント対策に取り組み、職場環境の心理的安全性の保持に努めた。

感染対策については、内視鏡センター出入り口前や、各検査ブースに設置となっているアルコール手指擦式消毒を継続し、患者さん、健診利用者に手指衛生の協力を引き続きお願いした。患者さんや利用者からクラスター発生は無かった。また、検査、治療前に医師と協力しタイムアウトを実践し、安心、安全に内視鏡医療が受けられる体制確立を図った。今後も感染防止対策を含め、患者さんの安全を担保し、「患者さん主体の内視鏡看護」を提供していきたい。

（文責：設楽　理枝）

（１４）救急センター

１．スタッフ

看護師16名（救急看護認定看護師1名含む）、夜勤スタッフ2名（1名カテーテル業務担当）、内視鏡センタースタッフ1名

２．業務概要

令和5年度事業目標

1）医療機能の強化と良質な医療サービスの提供
（1）救急外来看護体制の強化
（2）患者満足度の向上
（3）安全かつ質の高い看護の提供
2）健全な経営基盤の確立
（1）安定した収入確保、救急患者の受け入れ強化
（2）支出の削減、適切な救急加算算定と医療材料の適正管理
3）職員の働き方改革
（1）働きやすい職場環境の整備
（2）職員やりがい度の向上
（3）離職率低下
4）大規模感染症対策
（1）新型コロナウィルス感染症対策における適切な感染管理と看護の提供
（2）部署の感染防止対策の実施

３．業務実績

令和５年度救急センターの実績は、救急外来患者数 8,825 人/年、(月平均 24.14 件)、救急車収容数 4,462 人/年（1 日平均 12.2 人）救急車収容率は、81％で前年比 1％減だが、収容数は 4,462 人で前年比 80 人増であった。カテーテル業務を担当し、循環器内科で、冠動脈造影、冠動脈血管カテーテル治療、ペースメーカー他、腎臓内科でシャント血管治療など合計 838 件/年、脳外科で、脳動脈瘤コイル塞栓術、頚動脈ステント留置術、血栓回収療法他、合計 85 件/年、rt-PA 静注療法 56 件/年。救急外来からの緊急手術（脳外科、外科、整形外科、泌尿器科）出棟に対応した。

救急センターでは 24 時間体制で、緊急性、専門性の高い脳卒中、急性心筋梗塞、外傷など複数の診療科領域にわたる疾病、幅広い疾患に対して、高度な専門的医療を総合的に実施し、救急看護師として看護を提供してきた。また、カテーテル担当看護師として、24 時間 365 日、予定の検査、治療だけでなく緊急カテーテルに対応した。また、救急外来からの緊急手術に対して、速やかに手術が受けられるよう出棟の準備を行った。地域医療の貢献に努め、周辺地域の医療機関と連携を図り積極的に患者さんを受け入れた。

部署の目標として、医療機能の強化と良質な医療サービスの提供を挙げ、救急外来看護体制の強化に努めた。患者満足度の向上、患者さんやご家族の意思決定において支援を行い、安心・安全で質の高い看護サービスの提供に取り組んでいた。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、感染対策を徹底し多職種連携を図り、救急患者さんの対応にあたった。今後も看護の専門性を発揮し、患者さんや地域の皆様に信頼される医療、看護の提供に努めていきたい。

（文責：設楽　理枝）

（１５）外来

１．スタッフ

看護師 20 名（保健師 2 名・助産師 2 名含む）、非常勤看護師 21 名、看護補助者 4 名

２．業務概要

令和５年度事業目標

1）安定的な収入確保、支出の削減を実現する

・外来診療で算定できる加算・指導料を適性に確保する

・医療材料の適正管理

2）患者サービスの向上

・外来患者満足度向上

・患者・家族への意思決定支援の実践

3）安全かつ質の高い看護の提供

・インシデントレポートレベル 0 提出の推進、レベル 3 以上の発生件数の減少

・発生要因の分析の実施

4）新型コロナウイルス感染症対策と適切な看護の提供

・外来における感染防止対策の徹底

３．業務実績

令和５年度外来患者数は 162,885 人/年（平均 670.3 人/月）で、前年比約 0.29％減だった。紹介率は 72.4％、逆紹介率は 94％であり、紹介率は前年比 5.6％増だった。5 月より新型コロナウイルス感染症の感染症法の分類が 5 類に移行となったが、感染症対策は継続して行われ、救急センターと協力し役割分担して診療を行った。

事業目標に対しては、患者満足度の向上を目標として取り組み、95 件／年の病状説明に同席し、患者支援に繋げることができた。内科外来では、糖尿病透析予防指導 211 件／年を行

い、前年度比 7.1%増の指導実績となった。フットケア外来は、今年度フットケア研修受講スタッフが 1 名増え、2 名の外来スタッフが携わり 39 件／年の実績となった。助産師外来は 262 件／年で前年比 19%減だった。外来化学療法件数は 3,364 件／年であった。がん治療における製剤変更により皮下注射となっている薬剤もあり、病状にあった治療の選択、患者の QOL を考えた支援を行うことができていた。

患者満足度の向上を目標として、各科外来で患者カンファレンスを実施し、患者・家族に対する支援の強化に繋げることができた。

今後も専門性を高め、地域住民に信頼されるよう看護の質の向上に努めていきたい。

（文責：飯島　京子）

（１６）訪問看護ステーションはるかぜ

１．スタッフ

看護師 10 名（非常勤 3 名）常勤換算 9.6 名、リハビリスタッフ 5 名、訪問リハビリ事業所と兼務

２．業務概要

令和 5 年度利用者数 220 名（看護師 162 名、リハビリ主体 17 名、併用 41 名）、月平均利用者数 133 名　月平均訪問件数 832 件（看護師 663 件・リハビリ 170 件）、1 日平均訪問件数 37.8 件（看護師 33.5 件・リハビリ 8.4 件）

当訪問看護ステーションは、全ての科を対象に疾患も様々で、年齢を問わず幅広く対応している。また緊急時訪問看護加算・24 時間連絡対応体制を取得しており、待機は毎日 2 名 1 番・2 番で対応している。医療依存度の高い利用者が多く、年間緊急訪問 585 件（昨年度より 66 件減少）、休日訪問件数年間 591 件（昨年度より 134 件減少）であった。医療用麻薬持続注射、褥瘡や潰瘍の処置、輸液など毎日訪問が必要な利用者には休日も計画的に訪問をしている。疾患状況では、悪性腫瘍の利用者が最も多く、病院の緩和ケアと連携を行い入院中から介入するケースが増えている。リハビリにおいてもターミナルや進行疾患などの対応を行っている。癌以外の看取りも含めて、令和 5 年度の在宅での看取りは 19 名で昨年度より 26 名減少している。老衰で亡くなる人が増加しているが、緩和ケア病床に入院し亡くなるケースも多くなっている。

３．令和 5 年度の事業目標

Ⅰ　健全な経営の確立

1）重症度の高い利用者の受け入れと各種加算算定率の向上

2）地域における人材育成

3）医療機関と共同

重症者の受け入れ、ターミナルケア、緊急時の対応などを随時行い、看護体制強化加算Ⅰ、機能強化型訪問看護管理療養費 3 は今年度も算定できた。地域の訪問看護 ST や医療機関の看護師との勉強会企画や参加できた。地域の医療機関からの新規利用者の受け入れを行い連携できた。

Ⅱ　医療機能強化と良質な医療サービスの提供

1）利用者サービスの向上

2）安全かつ質の高い看護の提供

3）人材育成

接遇アンケートでは満足度 90%以上得られた。IA レポート 0 レベルでの報告が増加した。訪問看護ステップ 1 研修を終了できた。

Ⅲ　働き方改革働き方改革

1）働きやすい環境の整備

待機の負担を軽減するよう待機後に年休消化を行った。有給休暇5日以上、リフレッシュ休暇は取得できた。

Ⅳ　大規模感染対策

1）新型コロナウィルス感染症における適切な感染管理と看護の提供

職員間での感染はなかった。BPC作成し、今後も継続して見直していく必要がある。

（文責：山口　明子）

5．経営管理部

（1）総務課

1．スタッフ

課長外　8名（内、会計年度任用職員1名）

2．業務の現況

・組合議会に関すること
・組合例規の制定及び改正
・職員の採用に関すること
・職員共済会に関すること
・職員の人事給与に関すること
・医局事務に関すること

3．今後の目標

・医師の確保（医師支援業務の充実）
・人事評価制度の見直し
・組織の業務内容の見直し
・個人情報管理の徹底
・働き方改革の推進
・藤岡市との人事交流の促進

（文責：塩川　広幸）

（2）用度課

1．スタッフ

課長外　8名

2．業務の現況

・医療機器、薬品、診療材料、消耗品等の購入業務
・薬品、診療材料、消耗品等の物品管理業務
・委託、賃借等契約業務
・医療機器の保守、修繕等管理業務
・その他資産の管理業務

3．今後の目標

・安全で良質な物品を提供し、医療現場の要望に即応できる体制の確立。
・経費削減における取り組みの検証、及び見直しを行い更なる経費節減・抑制をする。
・病院の医療機器一元管理。

(文責：平澤　和興)

（3）医事情報課

1．スタッフ

課長外 16 名、医事業務委託職員、医師事務作業補助者派遣職員
医療情報システム業務委託職員

２．業務の現況

（医事グループ）

・医事業務管理業務
・施設基準等の届出業務
・各種調査、統計業務
・地域がん診療拠点病院に関する業務
・訪問看護請求管理業務

（診療情報グループ）

・診療録、サマリーの点検業務
・診療録等の保管管理業務
・診療統計、各学会等のデータ登録業務
・診療情報開示に関する業務
・がん登録、がん統計に関する業務

（診療支援グループ）

・医師事務作業補助業務
・診断書等の文書作成支援業務

（システム管理グループ）

・電子カルテ及び連携する各システムの運用管理
・インターネットおよび E メールの運用管理
・各種統計類の作成業務
・組合全般の情報管理業務

３．今後の目標

①令和 6 年度診療報酬改定への対応
②査定・返戻内容の診療部へのフィードバック
③医師事務作業補助者の人員確保
④職員の専門性の向上（がん登録）
⑤老朽化した各種医療情報システム・ネットワークの更新計画立案
⑥新医療情報システムに対応した BCP の見直し

（文責：清宮　きよ江）

（4）企画財政課

１．スタッフ

課長外　4 名

２．業務の現状

予算編成及び資金計画の作成
決算の調整及び執行
現金預金及び財産の記録管理、経理業務
各種補助金の実施申請
企業債の実施申請
各種病院基準の申請
財務統計データの作成

３．今後の目標

公立病院経営強化プランの作成

機器等の適正な整備計画

運営資金の確保

委託契約方法の見直し

（文責：五十嵐　哲二）

（５）しらさぎの里管理課

１．スタッフ

課長外　８名

２．業務の現況

管理

事務３名　庶務・経理・用度・修繕・設備・車両等　施設全般の管理業務

介護老人保健施設

・支援相談員１名　入退所の調整や入所相談など

・介護支援専門員１名　入所者の療養計画の作成や家族への連絡・調整など

居宅介護支援事業所

介護支援専門員３名　在宅高齢者の介護計画やサービス事業者との調整など

３．今後の目標

利用者数（年間平均利用者数）の増加

入所者　一日平均人数：　74 人　　単価：12,850 円／1 人 1 日

通所者　一日平均人数：　43 人　　単位：　9,700 円／1 人 1 日

居宅　　一日平均人数：　110 人　　単価：14,000 円／1 人 1 日

在宅強化型への移行と維持

利用者の満足度と職員のモチベーションの向上

（文責：横坂　政彦）

６．研修管理センター

１．スタッフ

研修管理センター長兼臨床研修統括部長　臨床研修医 15 名（2 年次 8 名・1 年次 7 名）

事務統括（医局秘書兼務）・事務(医局秘書兼務）・図書司書（医局秘書兼務）

２．業務実績

・職員研修に関すること（人材育成）

全職種合同新入職者オリエンテーションの実施（4 月 3 日間）

院内で実施する研修会や講演会及び各部門勉強会の計画・実績把握

シミュレーター室の管理及び運用

・職員の資格取得に関すること

全職員の資格取得・資格更新・各研修会修了等の把握管理

・人材育成・新人研修プログラムの把握管理

・医学生の実習に関すること

・臨床研修に関すること（卒後臨床研修機能評価 4 年認定）

研修医症例発表会の実施（1 月）

・図書に関すること（図書管理・文献検索・学会支援）

・医局事務に関すること

3．今後の目標

・臨床研修医を確実に採用し、修了認定までのサポートを行なう。
・医師の働きやすい環境づくりのため院内外での調整を図る。
・必要とされる研修について、計画的な実施を検討し研修評価や改善を図る。

（文責：金澤　祐子）

7．安全管理センター

1．スタッフ

・安全管理センター長　1名（病院長補佐）
・安全管理事務統括　1名

安全管理グループ

・医療安全管理者　1名（看護師長）
・院内感染管理者　1名（感染制御実践看護師）
・事務員　1名（電気主任技術者）

施設管理グループ

・事務員　5名

2．業務内容

・医療安全管理委員会の開催（毎月）
・リスクマネージャー専門部会の開催（毎週）
・全リスクマネージャー会議の開催
・インシデント・アクシデントレポートの集計、報告、分析、対策、実施状況の評価
・医療安全巡視の実施
・医療安全研修会開催（全職員対象年間2回以上）
・医療安全キャンペーンの実施
　「IAレポート報告の推進　0レベルでも報告する！」
　「チェックバック（復唱）で確実に情報伝達をしよう！　」
　「本人確認の徹底　＊フルネームで名乗ってもらう＊リストバンドで患者確認」
　「十分な説明と同意を得る＊わかりやすい言葉で＊対応したことは記録する」
・医療安全地域対策連携加算相互評価
　（審査：太田記念病院　訪問：渋川医療センター）
・院内感染予防対策委員会開催（毎月）
・ICT活動（毎週ICTラウンド週1回、会議1回）
・AST活動（毎週カンファレンスを実施）
・藤岡地域感染防止対策カンファレンス
　（第1回7/7　第2回9/21　第3回1/18　第4回3/13）
・新興感染症に対する訓練（11/16）
・感染対策地域連携加算相互評価
　（審査：日高病院　　訪問：足利赤十字病院）
・院内感染対策研修会（全職員対象年2回）
・地域周辺の病院・施設からのコンサルテーション対応
・職員手帳発行準備
・医療安全標語の募集、提示
・医療安全　患者文化アンケートの実施　(全職員対象)
・地震災害総合訓練（年1回）
・火災避難訓練（年1回）
・水防訓練（年1回）

・委託、賃借等契約業務
・施設設備の維持
・その他資産の管理業務

3．研修業績

【医療安全研修会】

・医療安全必須研修会　職員全員対象
　前期　「医療安全とヒューマンエラー」
　　「サイバー攻撃の脅威とその対策」
　後期　「裁判例に学ぶ診療記録（診療録、看護記録等）の重要性」
　　「医療機関における個人情報保護対策」
・新入職者医療安全研修
・新人看護師研修
・看護補助者医療安全研修
・職種別医療安全研修
・しらさぎの里老健施設

【感染防止対策研修】

・感染対策必須研修会　職員全員対象
　前期　「最近、話題の感染症」
　後期　「ノロウイルスの感染対策」
・新入職者-職種別-実習生関連の感染対策研修会
・新入職看護職員
・中途採用者研修（適宜）
・感染対策の基本と手洗い（実習生）
・看護補助業務における感染管理
・診療部会　感染対策研修（6月・1月）
・委託職員
・しらさぎの里老健施設

4．今後の目標

・医療安全管理指針、医療安全マニュアル、感染対策マニュアルの改訂
・薬剤関連エラー防止、ドレーンチューブエラー防止、患者誤認エラー防止の徹底
・災害対策
　（BCP、マニュアル、一斉連絡配信システム登録者の整備）
・医療安全地域対策連携加算・感染対策向上加算、施設基準継続の取り組み
・安全管理センターにおける業務整理と改善
・施設設備管理の徹底
・節電対策

（文責：高橋　富士美）

8．患者支援センター

1．スタッフ

センター長（副院長兼患者支援センター長）1名
課長兼事務統括1名
副看護師長1名・グループリーダー（社会福祉士）1名
看護師8名（再任用3名含む）
社会福祉士8名

事務員３名（会計年度任用職員２名含む）

２．業務の現況

地域医療連携業務

・患者さんのご紹介に関する相談　・医療機関からの予約診療受付
・医療機器の共同利用に関すること　・セカンドオピニオンに関すること
・診療情報提供書、返書管理　・登録医に関すること
・生活保護、介護保険関連の書類に関すること
・市民講座、講演会等の開催　・患者会事務局

入退院支援業務

・予約入院患者に対する入院手続き及びご案内
・予約入院患者の情報収集、各種スクリーニング
・周術期歯科受診予約　・多職種連携による入退院支援

医療福祉相談業務

・療養中の心理的・社会的問題、経済的問題の解決、調整援助
・転院や施設入所、在宅療養（各種サービス調整含）に関する相談援助
・社会復帰援助　・福祉関係者とのネットワーク構築

総合相談業務

・診療情報提供書をお持ちの患者さんの事前電話予約受付（電話予約含む）
・外来から地域医療機関への紹介受診の調整　・入院や通院に対するご意見、苦情
・診療に関する不安や疑問、不明な点についての相談

３．今後の目標

・地域の医療、介護、福祉、行政機関と顔の見える連携構築
・紹介率、逆紹介率の向上
・入退院支援室、総合相談室における患者支援の推進
・スタッフの資質向上を図り、患者さんやそのご家族に寄り添った支援と効率的な業務遂行との両立

（文責：五十嵐　哲二）

９．緩和ケアセンター

１．スタッフ

緩和ケアセンター長　（専任医師）１名
専従看護師１名、専任看護師１名、医療相談員１名、兼任看護師３名

２．業務概要

緩和ケアセンターは、生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者やその家族に対して、診断時からより迅速かつ適切な緩和ケアを切れ目なく提供するために、医師・看護師を中心に多職種が連携した質の高いチーム医療に努めている。

令和５年度事業目標

1）医療機能の強化と良質な医療サービスの提供

（1）緩和ケア提供体制の充実

がん相談件数 387 件　緩和ケアチーム新規介入件数 344 件　緩和ケア病床登録患者数延べ134件　病床登録患者在宅医介入率50.4%　訪問看護介入率89.6%であり緩和ケア病床を活用し安心して在宅移行できる患者が増加した。

2）人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関する取り組み

緩和ケアリンクナース部会で倫理的問題についての検討を課題とした。各部署で取り組み、

24 例の事例検討を行うことができた。難しい症例に関しては、緩和ケアチーム内で臨床倫理カンファレンスを実施。多職種で患者・家族にとっての最善を検討した。

3）地域がん診療連携拠点病院として、がん医療の質の向上に向けた取り組み

院内外を対象とした研修を年間計画に沿って実施できた。緩和ケア研究会やがん診療講演会はハイブリットでの開催が定着し、院外からも 20〜30 名／回参加があった。

3．今後の目標

・質の高い緩和ケアを診断早期から遂行するためのスクリーニング方法の検討と実践を行う。
・がん相談支援センターの役割の周知といつでも相談できる体制を構築する。
・緩和ケアチームカンファレンスを充実させ、院内外との多職種連携を強化していく。
・緩和ケア病床を活用した在宅療養や在宅看取りに繋がる支援をおこなう。
・グリーフケアの充実を図る。
・アドバンス・ケア・プランニングや倫理的問題についての意識向上に努め、患者・家族への意思決定支援を実践する。
・がん診療連携拠点病院指定要件に準じた研修を企画・実施する。

（文責：古池　きよみ）

病　院　行　事

病院行事

１．主な病院行事

実施年月日	行　事　名
令和５年４月１日	辞令交付式、新採用職員研修 臨床研修医オリエンテーション
５月２２日	職員採用試験
５月２７日	職員採用試験
７月２５日	職員採用試験
７月２９日	職員採用試験
８月２日	職員採用試験
８月５日	職員採用試験
８月９日	令和５年度臨床研修医採用試験
８月２３日	令和５年度臨床研修医採用試験
９月１７日	職員採用試験
１０月２３日	職員採用試験
１１月２０日	職員採用試験
１１月１５日	職員永年勤続表彰
１１月１６日	第２回組合議会定例会
１２月２８日	仕事納め
令和６年１月４日	仕事始め、辞令交付式
１月９日	職員採用試験
２月５日	職員採用試験
２月１４日	第１回組合議会定例会
２月２０日	職員採用予定者説明会
３月５日	職員採用試験
３月３１日	定年退職者等辞令交付式

２．職員健康管理

実施年月日	内　　容
６月１９日～６月３０日	前期職員健康診断
令和５年８月３日～令和６年２月８日	ＨＢワクチン接種
９月２２日～１０月２０日	前期電離放射線健康診断
１１月６日～１１月１７日	インフルエンザワクチン接種（混合）
１２月１８日～令和６年１月１７日	後期職員健康診断
令和６年３月１３日～３月２９日	後期電離放射線健康診断

３．職員共済行事

実施年月日	行　事　名
令和５年６月２１日	理事会・評議員会
１１月１５日～１１月３０日	厚生部 勤続 10 年記念品配布
令和６年３月６日	理事会・評議員会
開催中止	群馬県公的病院バレーボール大会
開催中止	西毛地区公立病院親善野球大会

＜令和５年度＞　病院年報
発　行　日　　令和６年１１月
発　　行　　多野藤岡医療事務市町村組合
公立藤岡総合病院
〒375-8503　群馬県藤岡市中栗須813番地1
TEL　0274-22-3311
企画・編集　　経営管理部　企画財政課

多野藤岡医療事務市町村組合
公立藤岡総合病院